

Mazda CX-3

“Zoom-Zoom” …

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。

誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。

車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。

カラダがビュンビュン流れる時の、快感。

めまいがするよううれしさ。

きっと、みんな知っていたはずです。

でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。

それを、マツダは忘れません。

それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

小さい時に知っていた、

ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、

素晴らしいクルマを作り続けます、という

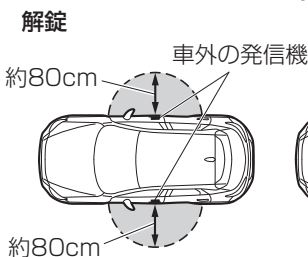
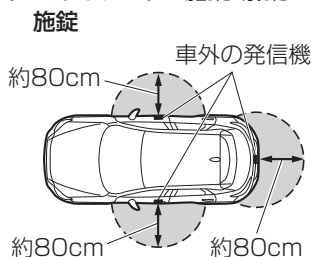
私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

運転する前に

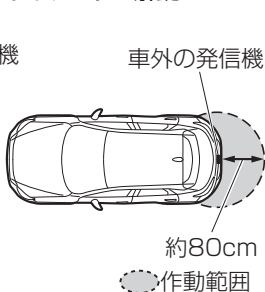
アドバンストキー

●アドバンストキーの作動範囲（ドア、リヤゲートの施錠/解錠）

ドア、リヤゲートの施錠/解錠



リヤゲートの解錠



●ドア、リヤゲートの施錠/解錠

フロントドア

キーを携帯し、フロントドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠/解錠します。

リヤゲート（施錠のみ）

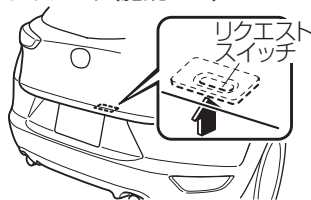
キーを携帯し、リヤゲートのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠します。

フロントドア



リクエストスイッチを押して施錠/解錠できます。

リヤゲート（施錠のみ）



	施錠時	解錠時
非常点滅灯/ チャイム	1回作動	2回作動

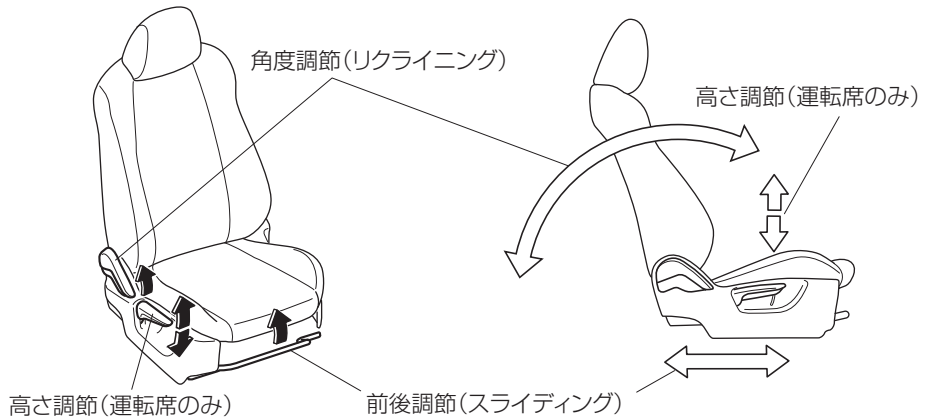
●リヤゲートを開けるときの

キーを携帯し、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを持ち上げます。

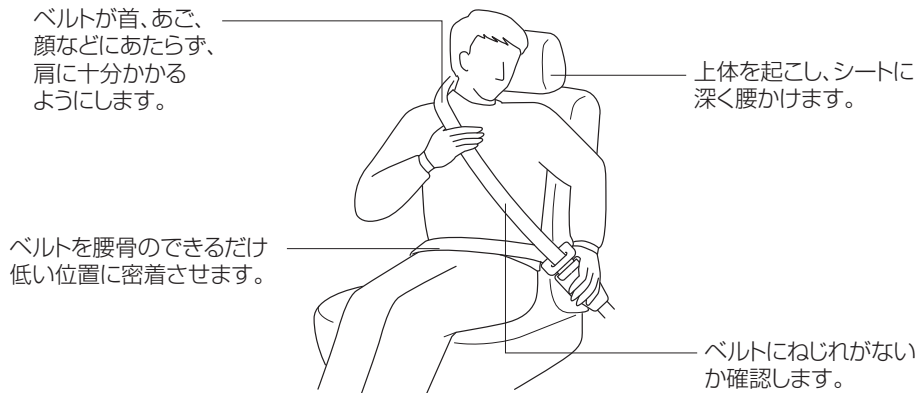


シート、シートベルト、ハンドル、ミラーの調節

●フロントシート



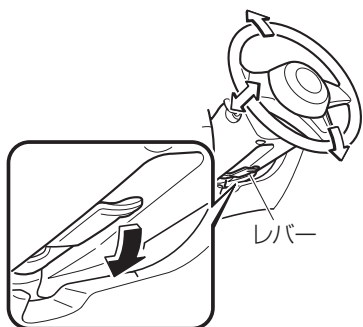
●シートベルト



運転する前に

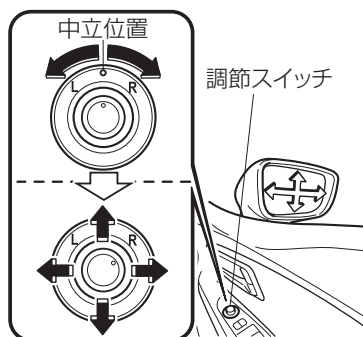
●ハンドル

レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節し、調節後は、レバーを押し上げて固定します。



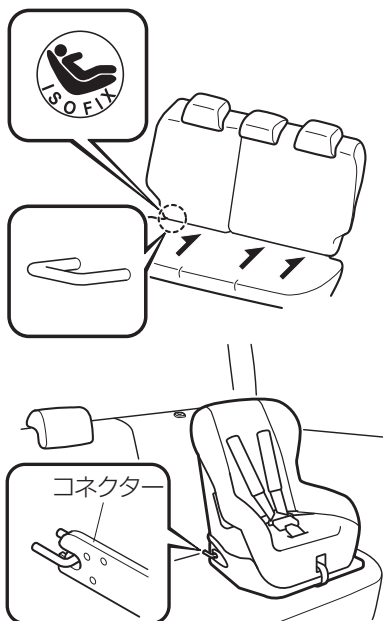
●ドアミラー

1. 調節スイッチを運転席側 (R) または助手席側 (L) にまわします。
2. 調節スイッチを操作して、角度を調節します。

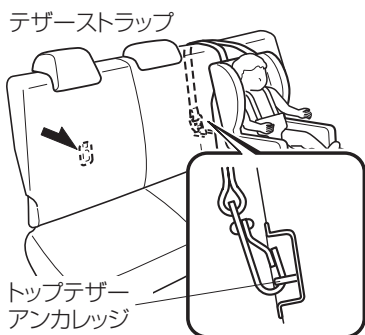


ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ

- ・リヤシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。
- ・お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使用してください。選択の目安表は本文を参照してください。



1. チャイルドシートとフロントシートが干渉しないように、フロントシートを調節します。
2. フロントおよびリヤシートが確実に固定されていることを確認します。
3. シートクッションにある縦の切れ目を広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。
4. ヘッドレストを取りはずします。
5. チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。

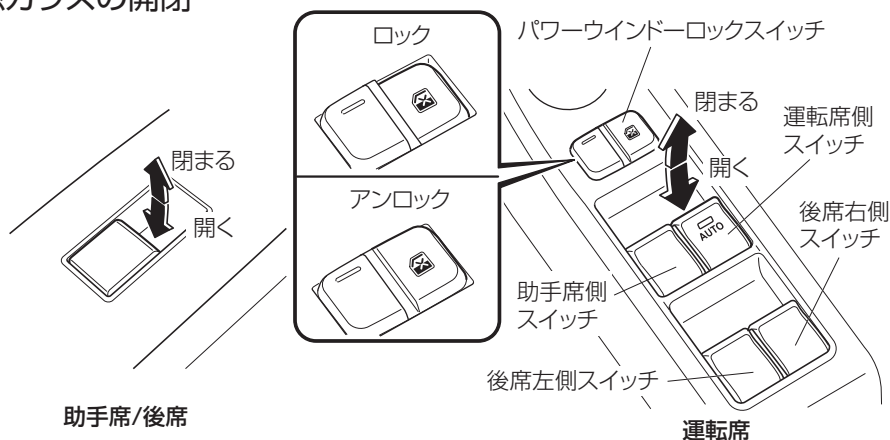


6. チャイルドシートのテザーストラップをイラストのように通して、トップテザーアンカレッジにかけます。

7. テザーストラップがたるまないように調節します。
8. チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

運転する前に

窓ガラスの開閉



スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席、後席の窓ガラスは、運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。

給油するとき

使用燃料	低硫黄軽油	
タンク容量 (参考値)	2WD車	48L
	4WD車	44L



1. 運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと、フューエルリッドが開きます。

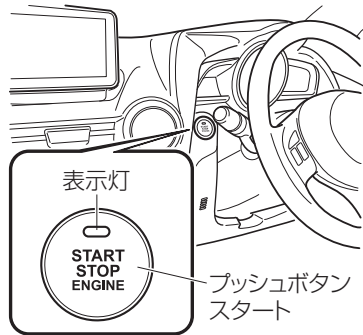
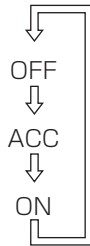
2. 取りはずしたキャップは、フューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。

エンジンの始動と停止

●電源ポジション（エンジンスイッチ）

マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏まない状態で、プッシュボタンスタートを押すごとにOFF、ACC、ONの順に電源ポジションが切り替わります。ONからもう一度、プッシュボタンスタートを押すとOFFへもどります。

電源ポジションの切り替わり



●エンジンをかけるとき

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. マニュアル車は、チェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3. キーを携帯していることを確認します。
4. 以下のペダルを踏みながら、プッシュボタンスタートを押してエンジンを始動させます。
マニュアル車: ブレーキペダル、クラッチペダル
オートマチック車: ブレーキペダル



運転するときに

i-stop (アイ・ストップ)

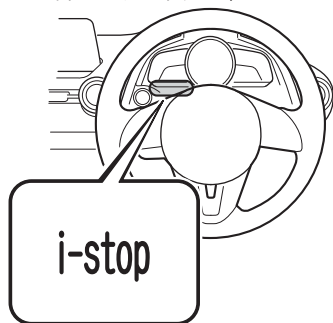
●i-stopとは

i-stopは、燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

●アイドリングストップ・再始動

知識

- ・ 次の条件のときに、i-stop 表示灯 (緑) が点灯します。
 - ・ 走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき
 - ・ アイドリングストップ中のとき



- ・ エンジンが再始動すると、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

マニュアル車

1. ブレーキペダル、次にクラッチペダルを踏み込んで、車両を停車させます。
2. クラッチペダルを踏み込んだまま、チェンジレバーをニュートラルの位置にします。クラッチペダルから足を放したあと、アイドリングストップします。
3. クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動します。

オートマチック車

1. 走行状態 (Rレンジ、Mレンジの2速固定モード時以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。
2. D/M (2速固定モードではない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動します。
3. セレクトレバーがNまたはPレンジでは、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーをD/M (2速固定モードではない) またはRレンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行ってください。)

● i-stop表示灯/i-stop警告灯

i-stop表示灯 (緑)

i-stop

走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。
エンジンが再始動すると消灯します。

i-stop警告灯 (橙)

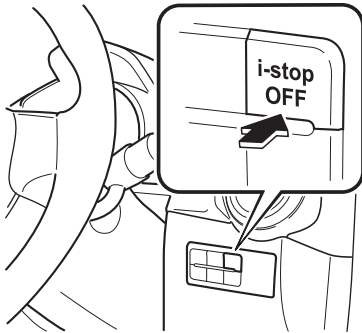
i-stop

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
i-stop OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。

● i-stop警告チャイム

アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。

● i-stop OFFスイッチ



i-stopの解除

- スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
- メーター内のi-stop警告灯 (橙) が点灯します。

i-stopの作動

- スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
- メーター内のi-stop警告灯 (橙) が消灯します。

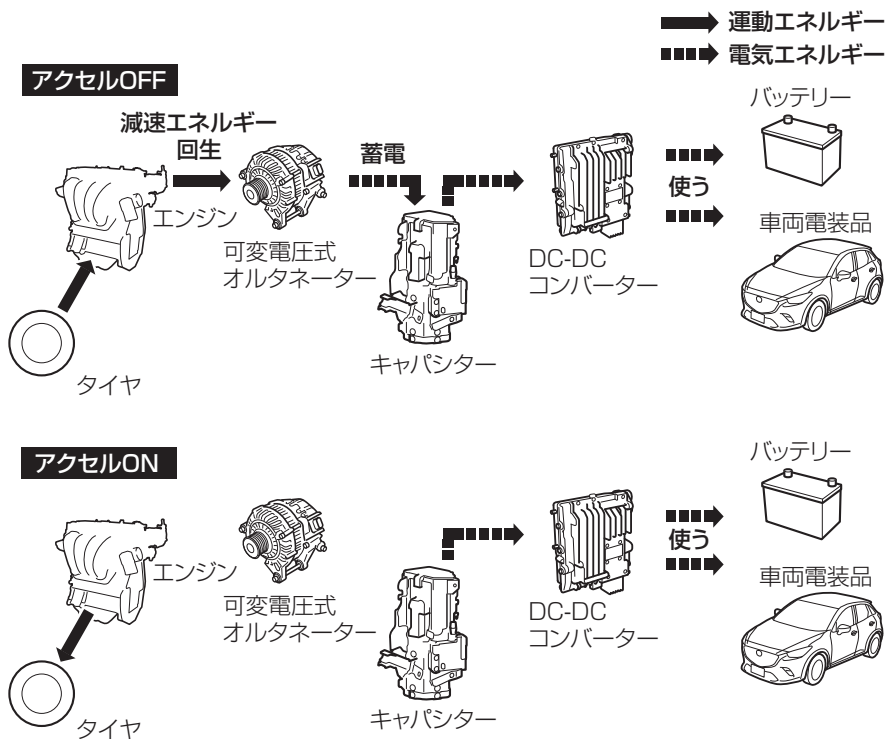
運転するときに

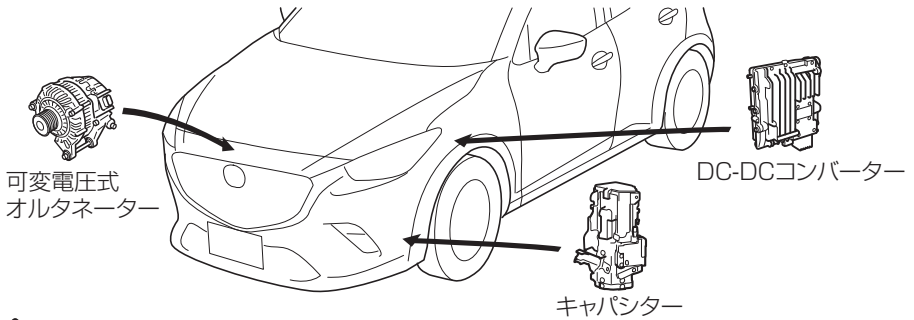
i-ELOOP

● i-ELOOPとは

i-ELOOPとは、減速エネルギー回生システムです。ブレーキ操作やエンジンブレーキで減速する際に発生する運動エネルギーを発電機により電気エネルギーに変換し、変換された電気エネルギーを蓄電器（キャパシターおよびバッテリー）に蓄えます。蓄電された電気エネルギーは、バッテリー充電やエアコン、ヘッドライトなどの車両電装品の電源として活用しています。

- 運動エネルギーを電気エネルギーに変換する発電機には、車両状態に応じて効率的に発電できる可変電圧式オルタネーターを採用しています。
- 発電された大量の電気エネルギーを瞬時に蓄え、すばやく取り出すことができるキャパシターを採用しています。
- 蓄電された電気エネルギーを車両電装品で使用可能な電圧に降圧するDC-DCコンバーターを採用しています。





⚠ 注意

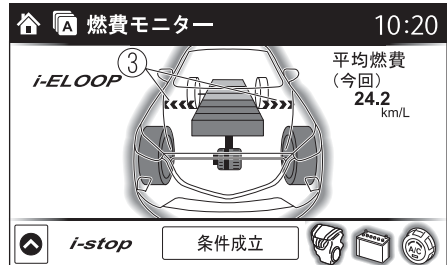
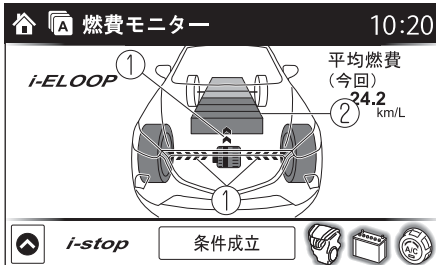


次のものには高電流が流れているため触れないでください。

- 可変電圧式オルタネーター
- DC-DCコンバーター
- キャパシター

● 状態表示

センターディスプレイにi-ELOOPのエネルギー回生状況を表示することができます。



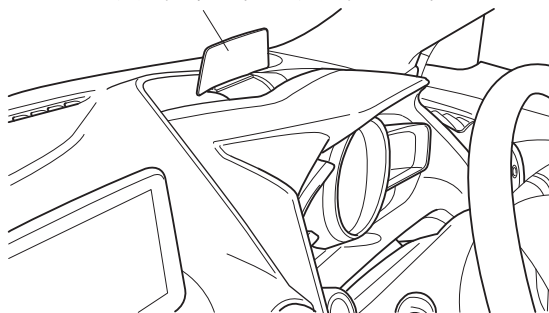
- ① 減速エネルギーを利用して発電した電気の量と、発電した電気が蓄電器に流れている状態を表示します。表示は発電量が増えると太くなります。
- ② 蓄電器に蓄えている電気の量を表示します。
- ③ 蓄電器に蓄えられた電気を電装品に供給している状態を表示します。(車全体が同時に発光します。)



運転するときに

アクティブドライビング ディスプレイ

アクティブドライビングディスプレイ



警告

**ディスプレイの明るさや位置の調節は必ず車両を停止した状態で行なう
走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。**

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) はディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる粒子状物質のほとんどを捕集し除去するもので、排出ガス処理能力を向上させています。

DPFに堆積した粒子状物質が自動で除去されるとき、エンジンオイルに燃料が混ざり、油量が増えることがあります。油量がレベルゲージの×の位置を超えている場合はオイル交換をしてください。



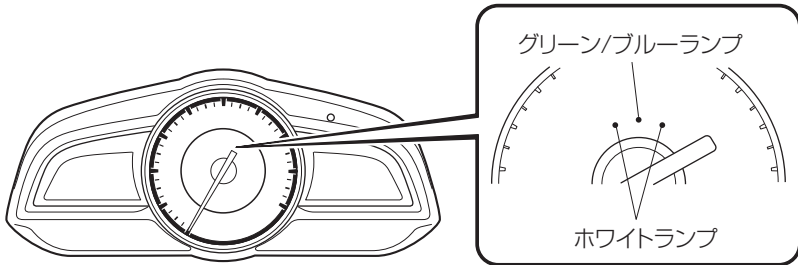
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

●i-DMとは

「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

●インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ

走行中の運転操作（アクセル、ブレーキ、ハンドル）の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の状況を知らせます。（コーチング機能）



運転操作の状況は、次のように表示されます。

ランプの種類	内容
グリーンランプ	やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。
ブルーランプ	しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。 走行タイプ1 適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。 走行タイプ2 加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。
ホワイトランプ	体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまりよくない運転です。

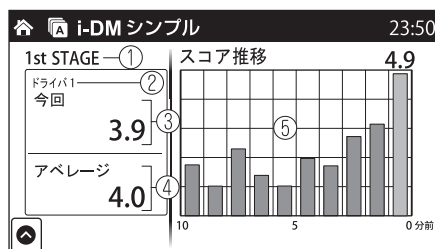
運転するときに

●i-DM表示

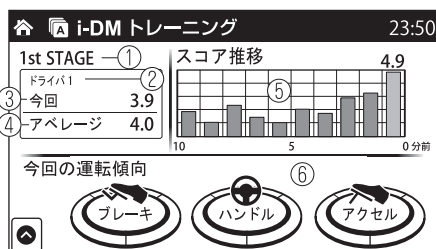
運転の評価をスコア（点数）で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。

インテリジェントドライブ・マスター（i-DM）の情報をセンターディスプレイに表示します。表示にはシンプルモードとトレーニングモードの2種類あります。

（シンプルモード）



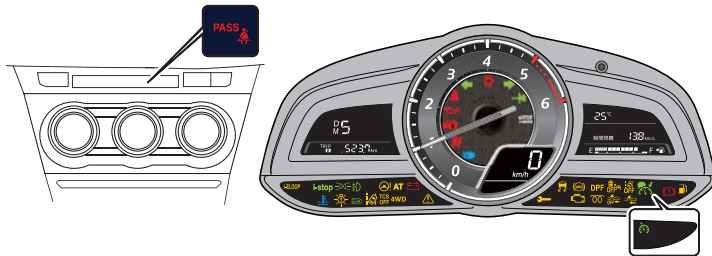
（トレーニングモード）



- ① 現在のステージを表示します。
- ② ドライバ名を表示します。
- ③ 今回のスコアを表示します。
- ④ アベレージスコアを表示します。
- ⑤ スコアの推移を棒グラフで表示します。過去10分間の記録を表示し、最新のグラフはハイライトされます。
- ⑥ 今回の運転操作傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージは、やや急な運転の多さを示し、青のゲージは、しなやかな運転の多さを示します。

警告灯/表示灯配置図 (警告灯/表示灯の位置はグレードによって異なります。)

メーター内にマスター警告灯が点灯したとき、センターディスプレイで点灯理由を確認できます。

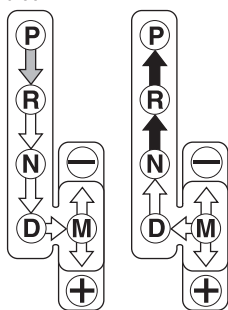


	マスター警告灯		LEDヘッドランプ警告灯
	ブレーキ警告灯		i-LOOP警告灯 (橙)
	ABS警告灯		i-LOOP表示灯 (緑)
	充電警告灯		車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯
	オイル警告灯		車線逸脱警報システム (LDWS) OFF表示灯
	エンジン警告灯		ハイビームコントロールシステム (HBC) 警告灯 (橙)
	高水温警告灯 (赤)		ハイビームコントロールシステム (HBC) 表示灯 (緑)
	低水温表示灯 (青)		ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF表示灯
	i-stop警告灯 (橙)		レンチ表示灯
	i-stop表示灯 (緑)		TCS/DSC表示灯
	オートマチックトランスミッション警告灯		TCS OFF表示灯
	電動パワーステアリング警告灯		予熱表示灯
	4WD警告灯		DPF表示灯
	エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯		セレクトレバー位置表示
	燃料残量警告灯		ヘッドランプ上向き表示灯
	シートベルト警告灯		方向指示/非常点滅表示灯
	半ドア警告灯		セキュリティ表示灯
	KEY警告灯 (赤)		マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 警告灯 (橙)
	KEY表示灯 (緑)		マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 (緑)
	スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS / SCBS) 警告灯 (橙)		クルーズメイン表示灯 (橙)
	スマートブレーキサポート/ スマートシティブレーキサポート (SBS / SCBS) 表示灯 (赤)		クルーズコントロール表示灯 (緑)
	スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS / SCBS) OFF表示灯		車幅灯表示灯
			フォグランプ表示灯

運転するときに

オートマチックトランスミッション

●セレクトレバーの操作

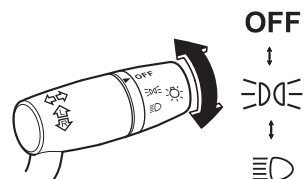


レバー操作	
→	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
→	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作します。
→	セレクトレバーボタンを押して操作します。

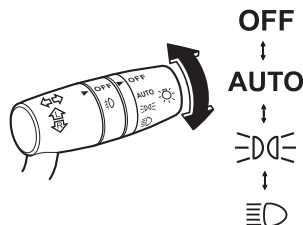
スイッチの使いかた

●ヘッドランプ/方向指示器

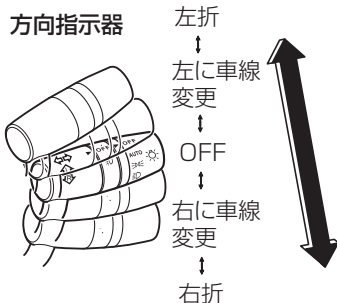
標準タイプ



オートライト機能付きタイプ



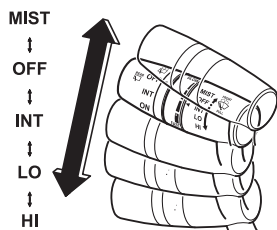
方向指示器



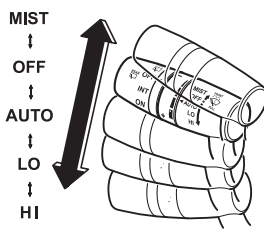
●ワイパー/ウォッシャー

フロントワイパー

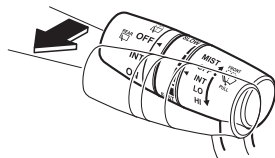
標準タイプ



オートワイパー機能付きタイプ

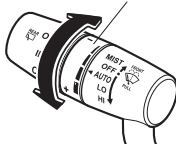


フロントウォッシャー



雨に反応しにくい

スイッチ



雨に反応しやすい

レバーを **AUTO** の位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

i-ACTIVSENSEについて

●ACTIVSENSEとは

i-ACTIVSENSE（アイ・アクティブセンス）とは、フォワードセンシングカメラ（FSC）やレーダーセンサーなどの検知システムを利用したマツダの先進安全・運転支援システムの総称です。これらのシステムは、アクティブセーフティ技術とプリクラッシュセーフティ技術で構成されています。

これらのシステムはあくまで、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、運転負荷や事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

アクティブセーフティ技術とは

アクティブセーフティ技術とは、安全・安心な運転を支援し、事故を未然に防止する技術です。

認知支援システム

夜間視界

- ・アダプティブフロントライティングシステム（AFS）
- ・ハイビームコントロールシステム（HBC）

左右側面・後側方認知

- ・車線逸脱警報システム（LDWS）
- ・ブラインドスポットモニタリング（BSM）

車間認知

- ・車間認知支援システム（DRSS）

駐車場発進時後方認知

- ・リアクロストラフィックアラート（RCTA）

運転支援システム

車間距離

- ・マツダレーダークルーズコントロール（MRCC）

プリクラッシュセーフティ技術とは

プリクラッシュセーフティ技術とは、事故が避けづらい状況での衝突回避、避けられず衝突した際の被害低減を図る技術です。

低速度域衝突被害軽減

前進時

- ・スマートシティブレーキサポート（SCBS）
- ・AT誤発進抑制制御

中・高速度域衝突被害軽減

- ・スマートブレーキサポート（SBS）



運転するときに

●マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) とは

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は、レーダーセンサー (フロント) が前方車を検知することで、ドライバーがアクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、約30 km/h～100 km/h の設定した速度での定速走行や、前方車との車間距離を車速に応じて一定に保つ追従走行ができるシステムです。

また、追従走行時に前方車が急ブレーキをかけたときなど、前方車に接近したときは、警報音と同時にディスプレイに警告を表示し、車間距離を十分確保するようお知らせします。

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は高速道路、加速/減速の繰返しが少ない自動車専用道路などで使用してください。

警告

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を過信しない。

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は、天候状況、道路状況等によっては前方車の検知に限界があります。

また、前方車が急ブレーキをかけたときや他車が割り込んだときなどは十分な減速ができず、前方車に接近するなどして思わぬ事故につながる可能性があります。周囲の安全を確認し、前後を走行する車両との車間距離を十分確保して下さい。

思わぬ事故につながるおそれがあるため、次のような場所では使用しない。

- ・急カーブ、交通量の多い道路、頻繁に加減速を繰り返す道路
- ・高速道路のインターチェンジ、サービスエリアの進入時
- ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
- ・長い下り坂

知識

次のようなときは、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が一時的に解除され、メーター内のディスプレイにキャンセル表示が表示され、同時にMRCC表示灯(緑)が消灯します。

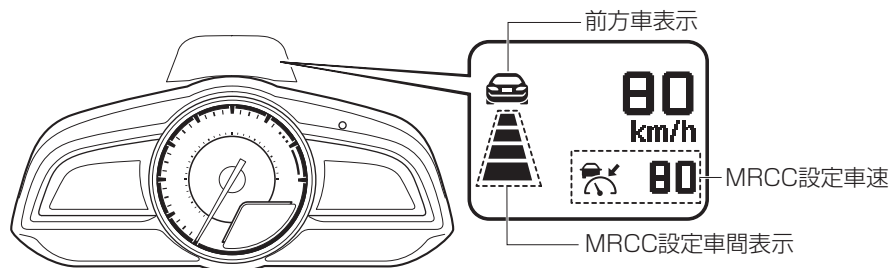
- ・CANCELスイッチを押したときまたは、ブレーキペダルを踏んだとき
- ・パーキングブレーキがかかったとき
- ・シフトレバーがP、N、Rになったとき (マニュアル車はRのみ)
- ・車速が25 km/h以下になったとき
- ・DSC、スマートブレーキサポート (SBS)、スマートシティブレーキサポート (SCBS) のいずれかが作動したとき
- ・システム異常が発見されたとき

雨・霧・雪など天候が悪いときやラジエーターグリルの前面が汚れたときもマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が解除される場合があります。

その他、詳細は本文に記載しています。

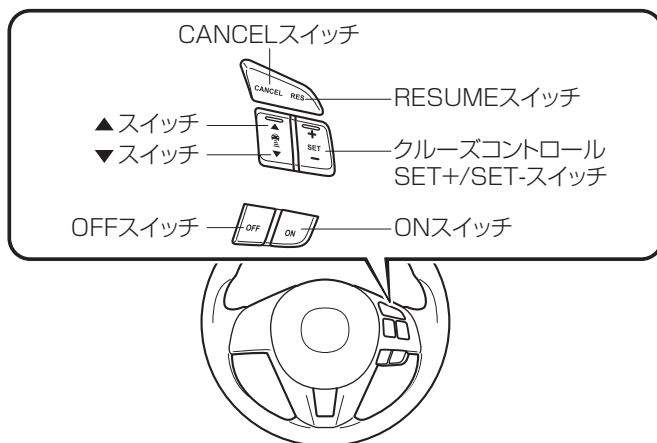
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) ディスプレイ表示

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) の設定状況および作動状況をアクティブドライビングディスプレイに表示します。



設定するとき

ONスイッチを押すと速度の設定や追従走行時の車間距離の設定ができる状態になり、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) ディスプレイ表示がアクティブドライビングディスプレイに表示されます。



運転するときに

速度を設定するとき

- 1. アクセルペダルの操作で設定したい速度に調節します。
- 2. SET+またはSET-スイッチを押すと定速走行をはじめます。ディスプレイに設定速度が表示され、車間表示の白線表示が白色の塗りつぶし表示に変わります。同時にマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 (緑) が点灯し、チャイムが一鳴ります。

走行状態	定速走行時	追従走行時
ディスプレイ表示	 80 km/h  80	 80 km/h  80

追従走行時の車間距離を設定するとき

▲スイッチを押すことにより車間距離を短く設定します。▼スイッチを押すことにより車間距離を長く設定します。車間距離は長、中、短、極短の4段階で設定できます。

車間距離の目安 (約80 km/h走行時)	長 (約50 m)	中 (約40 m)	短 (約30 m)	極短 (約25 m)
ディスプレイ表示	 80 km/h  80	 80 km/h  80	 80 km/h  80	 80 km/h  80

設定速度を変更するとき

スイッチで加速/減速するとき
SET+スイッチまたはSET-スイッチを押したまま、設定車速を変更すると10 km/hずつ調整することができます。
またSET+スイッチまたはSET-スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度を5 km/hずつ調節することができます。

アクセルペダルで加速するとき
アクセルペダルを踏んで、希望の速度になったところで、SET+スイッチまたはSET-スイッチを押し、手を放します。スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を放すと、もとの設定速度にもどります。

接近警報

追従走行時に前方車が急制動を行ったときなど前方車に接近したときは、警報音が鳴り、アクティブドライビングディスプレイにブレーキ警告が表示されます。周囲の安全を確認してブレーキペダルを踏むなど、前方車との車間距離を十分に確保してください。また、後続車との車間距離も確保してください。

ブレーキ！

●スマートブレーキサポート (SBS) とは

車速が15 km/h以上でレーダーセンサー（フロント）が前方車へ衝突する可能性があるとは判断したときに、ディスプレイや警報により衝突の危険性を知らせます。さらに衝突を回避できないと判断したときには、ブレーキを自動制御することで、衝突時の被害を軽減します。



警告

スマートブレーキサポート (SBS) を過信しない。

スマートブレーキサポート (SBS) は衝突時の被害を軽減するシステムであり、対象物、天候状況、道路状況等によっては対象物の検知に限界があります。

周囲の安全を確認し、前後を走行する車両との車間距離を十分確保して下さい。

知識

次のようなときは、スマートブレーキサポート (SBS) が作動しないときがあります。

- ・前方車と部分的な接触の可能性があるとき
- ・前方車と同程度の速度で走行しているとき
- ・ブレーキペダル、ハンドル、セレクトレバー、方向指示器を操作しているとき

その他、詳細は本文に記載しています。

システム作動対象は4輪車両ですが、次のような検知対象物は、レーダーセンサー（フロント）が前方車と判断し、スマートブレーキサポート (SBS) が作動する場合があります。

- ・カーブ入り口に路側物があるとき（ガードレール、雪壁等も含む）
- ・コーナーを曲がるときやカーブですれ違うときに対向車両があるとき
- ・狭い鉄橋、低いゲートやトンネル、狭いゲート、地下駐車場の入口を通過するとき
- ・路面上に金属物、段差または突起物があるとき
- ・バイク、自転車等の2輪車、歩行者、立ち木 など

その他、詳細は本文に記載しています。

衝突警報

前方車と衝突する可能性がある場合、チャイムが断続的に鳴り続け、アクティブドライビングディスプレイに警報が表示されます。

ブレーキ！



運転するときに

●スマートシティブレーキサポート (SCBS) とは

スマートシティブレーキサポート (SCBS) は、前方車をレーザーセンサー (フロント) が検知し、衝突を回避できないと判断したときに、ブレーキ制御を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。自車と前方車との相対速度が約20 km/hより低いときは、衝突を回避できる場合があります。

警告

システムを過信しない。

- ・スマートシティブレーキサポート (SCBS) は、前方車 (4輪車両) に対して作動するシステムです。2輪車や歩行者に対しては作動保障しません。

サスペンションを改造しない。

- ・車高や車の傾きが変わると前方車や障害物を正しく検知できないため、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な事故につながるおそれがあります。

知識

スマートシティブレーキサポート (SCBS) は近赤外線レーザー光を照射し、前方車のリフレクター (反射板) からの反射を測定して前方車を検知しています。

そのため、次のようなときは、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が作動しない場合があります。

- ・荷台の低いトラック、極端に車高の低い／高い車両、キャリアカーなど、特殊な形状をした車両
- ・雨・霧・雪など天候が悪いとき
- ・ウインドーウォッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
- ・フロントガラスが汚れているとき
- ・ハンドルを大きく切った状態や、アクセルを踏み込んだ状態で、前方車に接近しているとき

その他詳細は本文に記載しています。

●AT誤発進抑制制御とは

AT誤発進抑制制御は、車両が徐行中（約10 km/h以下）や停車時、前方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた（アクセルペダルを踏み間違えたと判断した）ときに、エンジン出力を抑制することで、衝突時の被害を軽減します。システム作動中は、スマートシティブレーキサポート（SCBS）表示灯（赤）の点滅とAT誤発進抑制制御表示で作動中をお知らせすると同時に、警報音で運転者に警告します。

知識

- ・ 次のような障害物はAT誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
 - ・ 障害物の高さが低いとき（低い壁、低いガードレール、トレーラーなどの後部）
 - ・ 障害物が小さい、細い、汚れている、黒いのいずれかのとき
 - ・ 障害物が自車の中心から外れた位置にあるとき
 - ・ フェンス、ガラスなどレーザーが透過（通過）する障害物
 - ・ 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両、キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

その他詳細は本文に記載しています。

- ・ 雨・霧・雪など天候が悪いときは、AT誤発進抑制制御が正常に作動しない場合があります。

その他詳細は本文に記載しています。

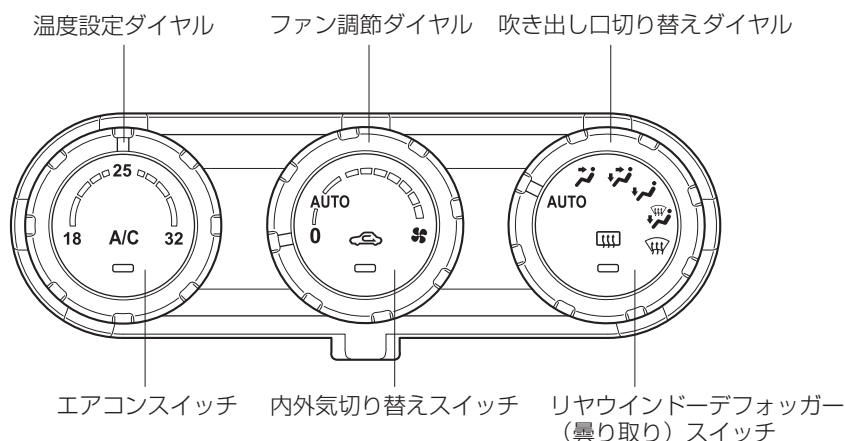
- ・ 次のようなときは、レーザーセンサー（フロント）が障害物と判断し、AT誤発進抑制制御が作動する場合があります。
 - ・ 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスを感知しているとき
 - ・ 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき

その他詳細は本文に記載しています。



快適装備の使いかた

フルオートエアコン

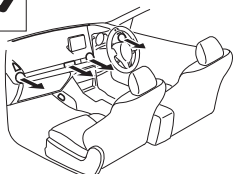


● 通常の使いかた

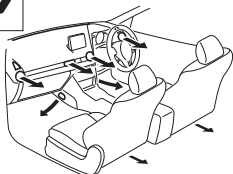
1. 吹き出し口切り替えダイヤルをAUTOの位置にします。設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行います。
2. 内外気切り替えスイッチを外気導入（表示灯消灯）にします。
3. ファン調節ダイヤルをAUTOの位置にします。設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。
4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動（表示灯点灯）させます。
5. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に調節します。
6. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを0の位置にします。

● 吹き出し口の選択

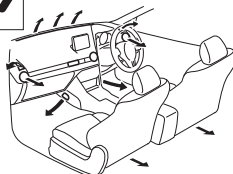
上半身に送風するとき



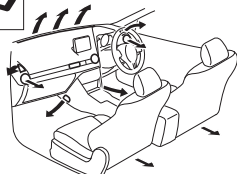
上半身、足元に送風するとき



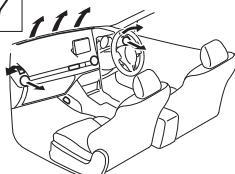
主に足元に送風するとき



足元への送風とガラスの曇りを取るとき



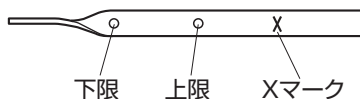
ガラスの曇りを取るとき



エンジンオイルの点検、補充

エンジンオイルがレベルゲージの×の位置を超えている場合はオイル交換をしてください。
エンジンオイルの量を点検するときは、オイルレベルゲージをひねらずまっすぐに抜いてください。
また、オイルレベルゲージを差すときは、必ずオイルレベルゲージの×マークを車両前方に向けてひねらずまっすぐ差し込んでください。

レベルゲージ



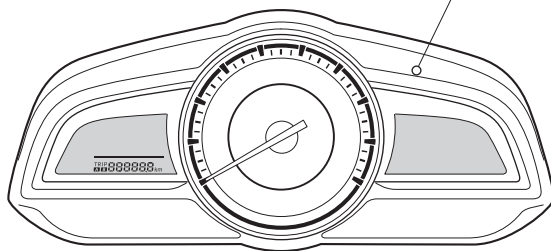
オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化（オイルデータリセット）を行なうか、お客様自身で記憶値の初期化を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、レンチ表示灯またはオイル警告灯が点灯することがあります。

知識

記憶値の初期化（オイルデータリセット）は次の手順でも行なうことができます。

1. 電源ポジションをOFFにします。
2. オド/トリップ切り替えボタンを押したまま、電源ポジションをONにし、マスター警告灯  が点滅するまで、オド/トリップ切り替えボタンを約5秒間押し続けます。

オド/トリップ切り替えボタン



3. マスター警告灯  が数秒間点滅したら、初期化は完了です。

お手入れのしかた

日常点検

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

● エンジンルームをのぞいて

- ・ エンジンオイルの量
- ・ 冷却水の量
- ・ ウォッシャー液の量
- ・ ブレーキ液の量
- ・ バッテリー液の量

● 全体を見まわして

- ・ ウォッシャー液の噴射状態
- ・ ワイパーの払拭状態
- ・ 灯火装置および方向指示灯の点灯、または点滅具合、汚れ、損傷
- ・ タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなど

● 運転席にすわって

- ・ ブレーキペダルの踏みしろ（踏み込んだときの床板とのすき間）
- ・ ブレーキの効き
- ・ パーキングブレーキの引きしろ
- ・ エンジンのかかり具合、異音
- ・ エンジンの低速および加速の状態

ランプ類、電気装置が作動しない

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。

まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。



MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

目次

イラスト目次	2 ページ
詳細目次	8 ページ

1 運転する前に

13 ページ

運転する前に必要な操作と取り扱い

運転する
前に

2 運転するときに

83 ページ

運転するときに必要な操作と取り扱い

運転する
ときに

3 快適装備の使いかた

259 ページ

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

快適装備の
使いかた

4 お手入れのしかた

361 ページ

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

お手入れの
しかた

5 トラブルが起きたら

407 ページ

車が故障したとき、事故にあったときの処置

トラブルが
起きたら

車両スペック

456 ページ

車両
スペック

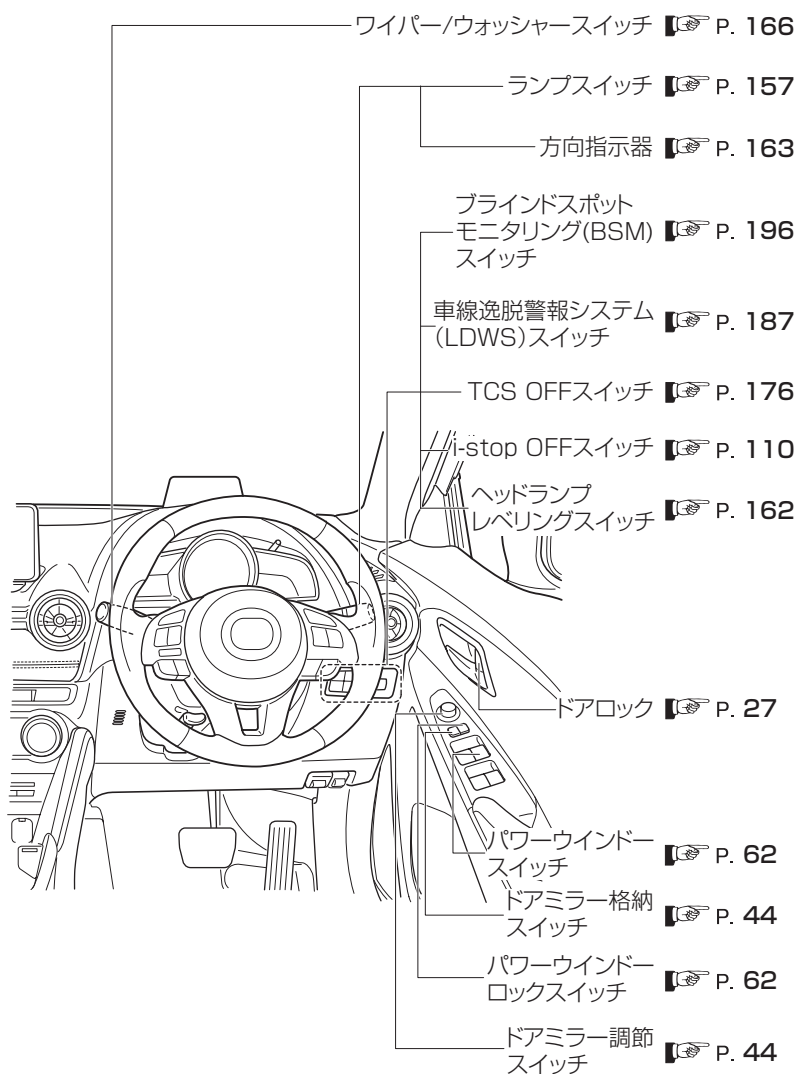
さくいん

476 ページ

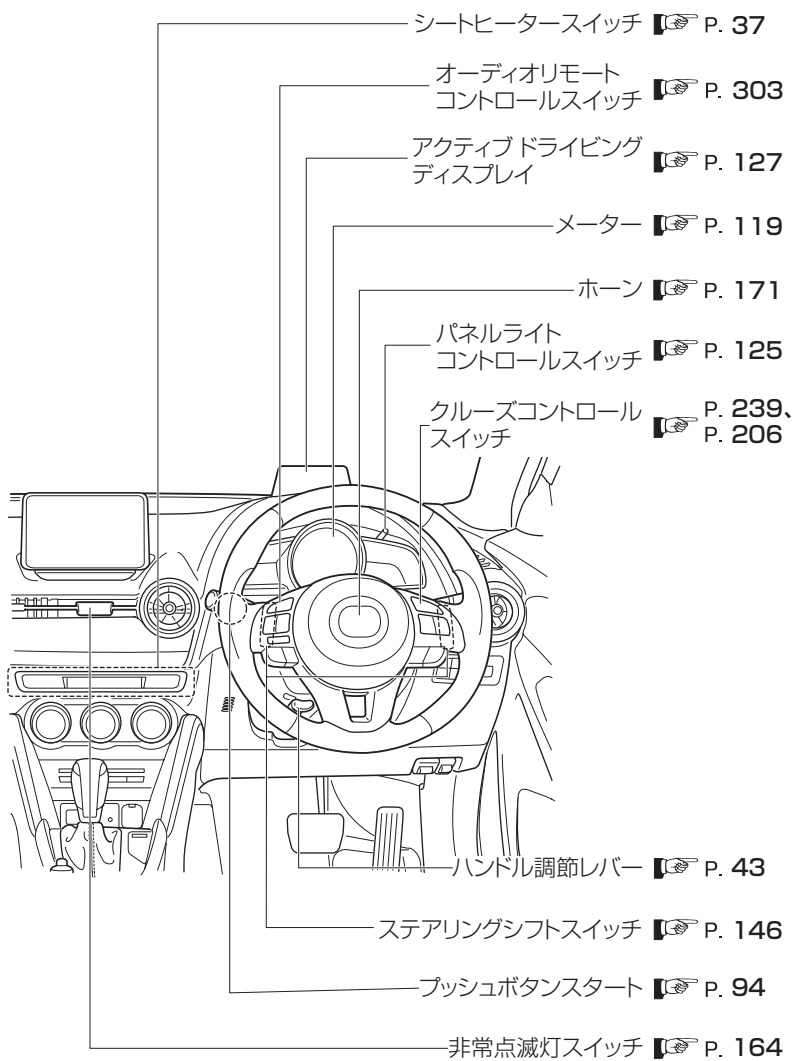
さく
いん

イラスト目次

ハンドルまわり



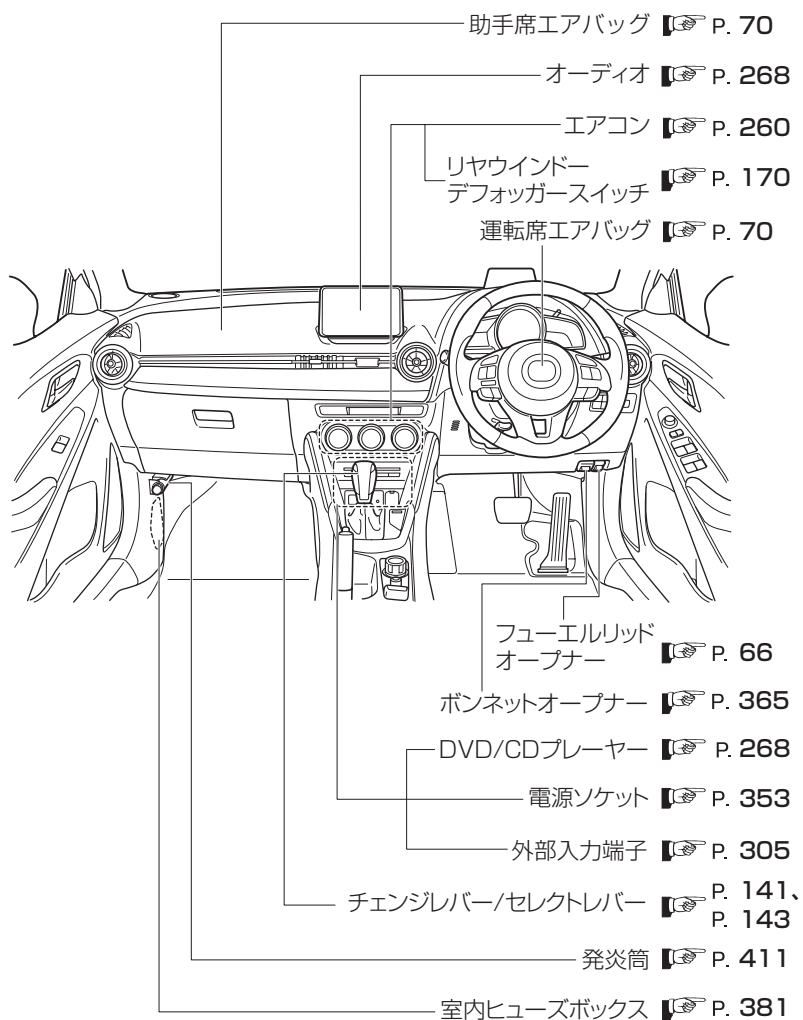
グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

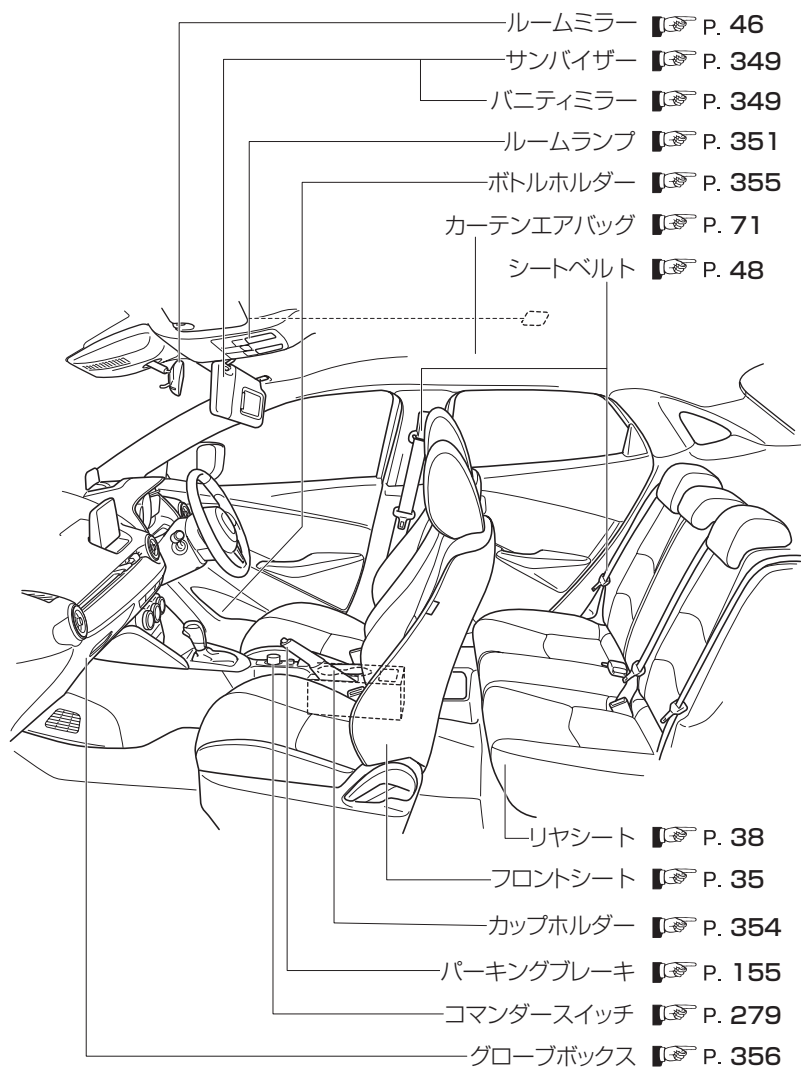
イラスト目次

運転席まわり



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

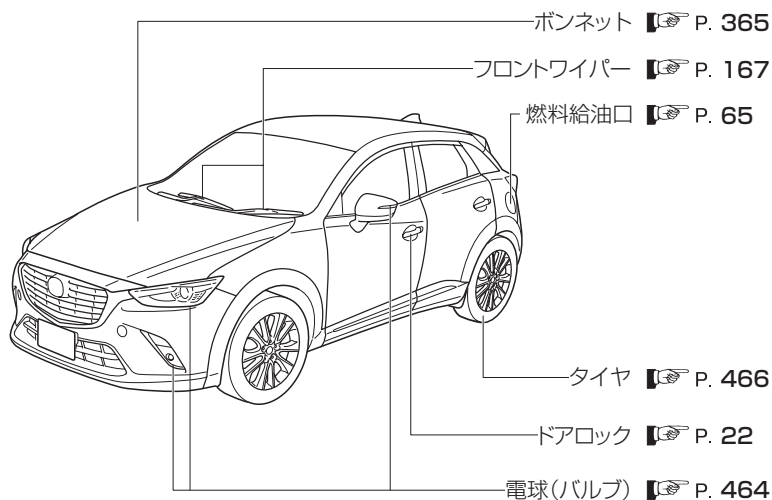
室内



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

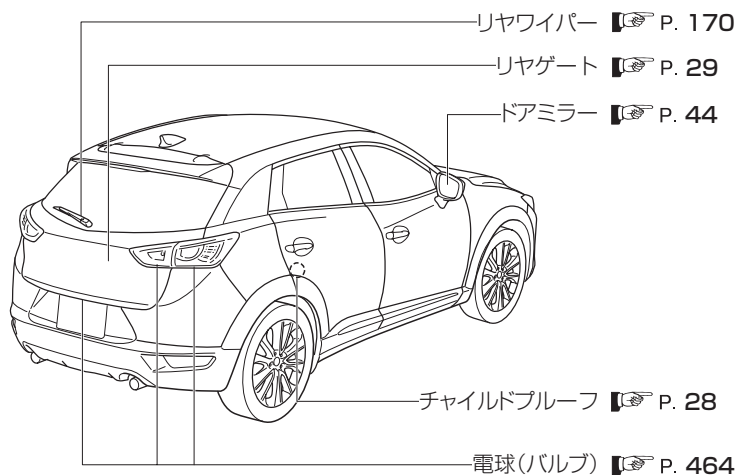
イラスト目次

フロント外観



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

リヤ外観



グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

MEMO

詳細目次

1 運転する前に

安全なドライブのために 14

お出かけ前に	14
お子さまを乗せるとき	15
安全装備について	16

キー 17

キーについて	17
--------------	----

ドア 22

ドアの開閉.....	22
------------	----

リヤゲート 29

リヤゲートの開閉	29
----------------	----

トノカバー 33

トノカバーの使いかた	33
------------------	----

シート 34

正しい運転姿勢	34
フロントシートの調節	35
リヤシートの操作	38
ヘッドレストの使いかた.....	40

ハンドル 43

ハンドルの調節	43
---------------	----

ドアミラー 44

ドアミラーの操作	44
----------------	----

ルームミラー 46

ルームミラーの操作	46
-----------------	----

シートベルト 47

シートベルトの種類	47
シートベルトの正しい着用のしか た.....	48
3点式シートベルト	52

お子さまの安全 54

お子さま専用シートについて	54
チャイルドシートを固定するとき...	59

ウインドー 62

窓ガラスの開閉	62
---------------	----

燃料補給口 65

給油するとき	65
--------------	----

盗難防止システム 68

イモビライザーシステム.....	68
------------------	----

SRS エアバッグシステム 70

SRS エアバッグシステムについて...	70
エアバッグの種類	70
エアバッグの注意点	71

安全に運転をしていただくた めに 82

積雪、寒冷時の取り扱い.....	82
------------------	----

2 運転するときに

安全なドライブのために 86

運転するとき	86
運転装置について	88
こんなことにも注意	88
駐停車するとき	92
お子さまを乗せるとき	93

エンジンの始動と停止 94

電源ポジション (エンジンスイッチ)	94
エンジンの始動	95
エンジンの停止	102
i-stop について	103

i-ELOOP について 113

i-ELOOP とは	113
------------------	-----

燃費モニター 115

燃費モニター	115
--------------	-----

メーター、警告灯、表示灯の見方 119

メーター	119
アクティブ ドライビング ディスプレイ	127
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)	129
警告灯、表示灯	134

トランスミッションの使いかた 141

マニュアルトランスミッション ...	141
オートマチックトランスミッション	143

ブレーキ 155

ブレーキの操作	155
---------------	-----

4WD 156

4WD について	156
----------------	-----

スイッチの使いかた 157

ランプスイッチ	157
方向指示器	163
非常点滅灯スイッチ	164
フォグランプスイッチ	165
ワイパー / ウォッシャースイッチ ...	166
リヤウインドーデフォッガー (曇り取り) スwitch	170
ホーン	171

ABS について 172

ABS とは	172
--------------	-----

ヒルローンチアシスト (HLA) について 173

ヒルローンチアシスト (HLA) とは	173
---------------------------	-----

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について 174

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは	174
---------------------------------	-----

トラクションコントロールシステム (TCS) について 175

TCS とは	175
--------------	-----

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について 177

DSC とは	177
--------------	-----

i-ACTIVSENSE について 179

i-ACTIVSENSE とは	179
AFS (アダプティブフロントライティングシステム) とは	181
ハイビームコントロールシステム (HBC) とは	182
車線逸脱警報システム (LDWS) とは	184
ブラインドスポットモニタリング (BSM) とは	191
車間認知支援システム (DRSS) とは	197
リアクロストラフィックアラート (RCTA) とは	200
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) とは	203
スマートシティブレーキサポート (SCBS) とは	215
AT 誤発進抑制制御とは (オートマチック車)	220
スマートブレーキサポート (SBS) とは	224
フォワードセンシングカメラ (FSC) について	227
レーダーセンサー (フロント) について	230
レーザーセンサー (フロント) について	233
レーダーセンサー (リア) について	236

クルーズコントロールについて 238

クルーズコントロールとは	238
--------------------	-----

駐車支援システムについて 243

駐車支援システムとは	243
------------------	-----

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について 252

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) とは	252
-----------------------------------	-----

メンテナンスモニター 253

メンテナンスモニター	253
------------------	-----

様々な状況での運転のときは 255

悪天候での運転	255
---------------	-----

環境保護のために 257

経済的な運転	257
--------------	-----

3 快適装備の使いかた

空調 260

エアコンの上手な使いかた	260
吹き出し口	262
フルオートエアコン	264

オーディオ 268

アンテナ	268
オーディオの上手な使いかた	268
オーディオの操作	279
オーディオリモートコントロールスウィッチの操作	303
ポータブルオーディオ機器を使用し ていただくために	305

Bluetooth® 314

Bluetooth®	314
Bluetooth® ハンズフリー	324
Bluetooth® オーディオ	333
トラブルシューティング	345

室内装備 349

サンバイザー	349
室内照明	349
電源ソケット	353
カップホルダー	354
ボトルホルダー	355
収納	355

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 362

必ずまもる	362
-------------	-----

点検、整備 363

点検整備について	363
定期点検	364
日常点検の前に	365
日常点検	367
その他の手入れ	376

ヒューズ切れ、電球切れのとき 377

ヒューズの受け持つ装置	377
ランプ類、電気装置が作動しないとき	381

電池交換 391

電池を交換するときは	391
------------------	-----

車の手入れ 394

外装の手入れ	394
内装の手入れ	398

季節の準備 402

冬にそなえて	402
夏にそなえて	404

環境保護のために 405

廃棄物を処理するときは	405
-------------------	-----

5 トラブルが起きたら

故障したとき 408

路上で動けなくなったとき	408
スタックしたとき	409
踏切内で動けなくなったとき	410

緊急用具の取り扱い 411

発炎筒	411
工具、ジャッキの格納場所	412
ジャッキの取り扱い	413

パンクしたとき 418

タイヤパンク応急修理キット	418
---------------------	-----

バッテリーがあがったとき 427

バッテリーあがりについて	427
--------------------	-----

エンジンが始動しないとき 431

燃料切れしたときは	431
-----------------	-----

オーバーヒートしたとき 432

オーバーヒートについて..... 432

キーが作動しないとき 434

キー一時停止機能..... 434

けん引について 435

けん引してもらうとき..... 435

固定用フックについて..... 438

万一事故が起きたとき 439

警告灯 / 表示灯 440

警告灯が点灯、点滅したときは... 440

センターディスプレイにメッセージ
が表示されたときは..... 448

警報チャイム 450

チャイムがなったときは..... 450

リヤゲート 453

リヤゲートが開けられなくなったと
き..... 453

アクティブ ドライビング ディスプレイ 454

アクティブ ドライビング ディスプ
レイが作動しないとき..... 454

1 運転する前に

安全なドライブのために 14

お出かけ前に.....	14
お子さまを乗せるとき.....	15
安全装備について.....	16

キー 17

キーについて.....	17
-------------	----

ドア 22

ドアの開閉.....	22
------------	----

リヤゲート 29

リヤゲートの開閉.....	29
---------------	----

トノカバー 33

トノカバーの使いかた.....	33
-----------------	----

シート 34

正しい運転姿勢.....	34
フロントシートの調節.....	35
リヤシートの操作.....	38
ヘッドレストの使いかた.....	40

ハンドル 43

ハンドルの調節.....	43
--------------	----

ドアミラー 44

ドアミラーの操作.....	44
---------------	----

ルームミラー 46

ルームミラーの操作.....	46
----------------	----

シートベルト 47

シートベルトの種類.....	47
シートベルトの正しい着用のしかた...	48
3点式シートベルト.....	52

お子さまの安全 54

お子さま専用シートについて.....	54
チャイルドシートを固定するとき.....	59

ウインドー 62

窓ガラスの開閉.....	62
--------------	----

燃料補給口 65

給油するとき.....	65
-------------	----

盗難防止システム 68

イモビライザーシステム.....	68
------------------	----

SRS エアバッグシステム 70

SRS エアバッグシステムについて....	70
エアバッグの種類.....	70
エアバッグの注意点.....	71

安全に運転をしていただくために 82

積雪、寒冷時の取り扱い.....	82
------------------	----

1. 運転する前に 安全なドライブのために

お出かけ前に

日常点検は必ず実施する

363ページの「点検整備について」をよくお読みください。

日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

375ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

日常点検としてタイヤを定期的に点検する

370ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

65ページの「給油するとき」をよくお読みください。

燃料補給時の注意

65ページの「給油するとき」、67ページの「フューエルキャップの開閉」をよくお読みください。

荷物を積むときは固定する

38ページの「荷室を作るとき」、29ページの「リヤゲートの開閉」をよくお読みください。

可燃物、危険物は積まない

燃料の入った容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

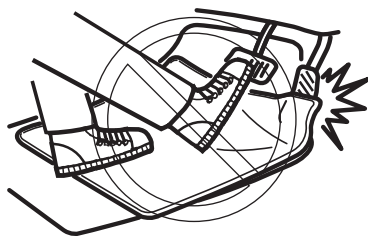
運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマットは車に合ったものを使用する



車に合ったものを、フロアカーペットの上にしっかり固定して使用してください。フロアマットを敷くときは次の点を守ってください。

- 大きすぎるフロアマットは使用しない
- フロアマットは重ねて使用しない

フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

正しい運転姿勢に調節する

34ページの「正しい運転姿勢」をよくお読みください。

シートベルトは全員着用する

48ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

外気取り入れ口をふさがない

260ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

お子さまを乗せるとき

お子さまはリヤシートに乗せる

54ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

お子さまにもシートベルトを着用させる

48ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、71ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

チャイルドシートは正しく取り付ける

54ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

安全なドライブのために

ドア、窓ガラスの開閉やシートなどの調節は大人が操作する

22ページの「ドアの開閉」、28ページの「チャイルドブルーフの使いかた」をよくお読みください。

窓から手や顔を出させない

62ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

安全装備について

SRS エアバッグシステムの注意

70ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

キーについて

キーナンバープレート



キーナンバープレート

お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

知識

● 保管するときは

キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。

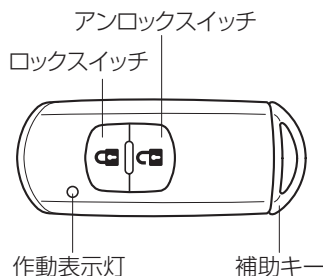
● 紛失したときは

万一、キーを紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。マツダ販売店にご相談ください。

キー

知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。



キーを携帯することにより、キーを取り出すことなく以下の操作ができます。

- エンジンを開始 / 停止する。
- ドア、リヤゲートを施錠 / 解錠する。
- リヤゲートを解錠する。

またリモートコントロールの操作にも使用します。
キーは2本あります。

補助キー

キーに内蔵されています。
ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠に使用します。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

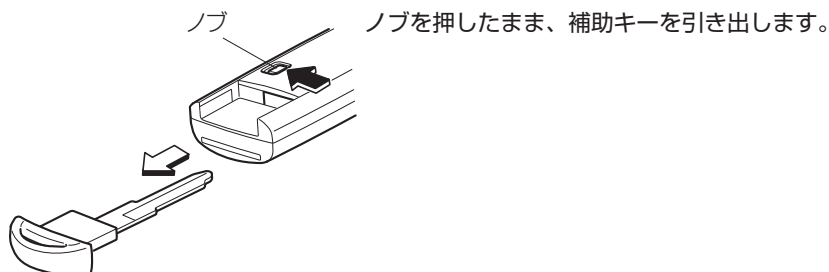
お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

補助キーの取りはずしかた



キーの注意点

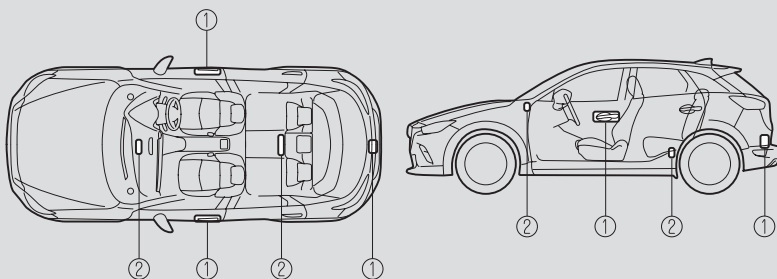
⚠ 警告



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内・車外のアンテナから約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



①車外のアンテナ ②車内のアンテナ



必ず守る

以下以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造者などに確認する。

- 植込み型心臓ペースメーカー
 - 植込み型除細動器
- 電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。

⚠ 警告



必ず守る

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

キーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはキーが正常に作動しないことがあります。

- 携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
- 金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
- パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
- 近くに電波を発する設備があるとき



禁止

キーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。



必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあてたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 重い物を上に置かないでください。
- 直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。
- 磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。



禁止

航空機内ではキーを操作しないでください。

キーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、キーのスイッチが容易に押されないように注意してください。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

● **電池の寿命について**

電池の寿命は、約 1 年程度です。メーターに KEY 表示灯（緑）が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。

電池の消耗度合いによっては KEY 警告灯 / 表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1 年を目安に電池の交換をおすすめします。



● **キーの紛失について**

キーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、マツダ販売店にご相談ください。

● **キーを追加するときは**

別売りのキーを購入される場合、お手持ちのキーとあわせて、同じ車両で 6 個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。

アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作

アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠、エンジンの始動 / 停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

→ 23 ページ「キーによる施錠 / 解錠」

機能の作動範囲

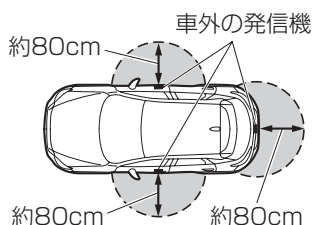
キーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

知識

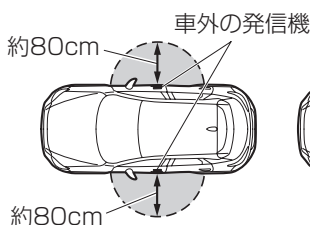
- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
 - 電池が消耗しているとき
電池交換の目安は 20 ページをお読みください。
 - 強い電波、ノイズのある場所
 - 窓ガラスやドアハンドル、リヤゲートに近づきすぎた場合
- 次のような場所にキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
 - インストルメントパネルの周辺
 - グローブボックスや小物入れなど
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

ドア、リヤゲートの施錠/解錠

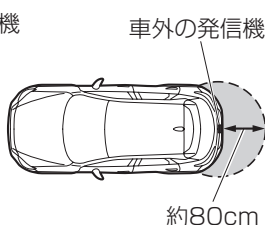
施錠



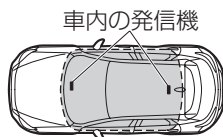
解錠



リヤゲートの解錠



エンジンの始動



 作動範囲

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

ドアの開閉

⚠ 警告



必ず守る

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。

半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

お子さまにドアの開閉をさせない。

手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

半ドア警告灯が点灯したまま走行しない。

走行中に、ドア、リヤゲートが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

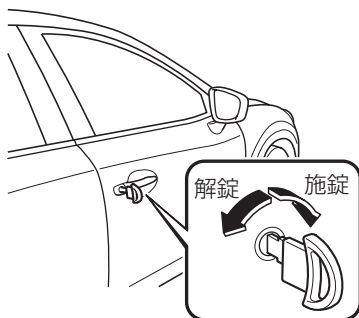
ドアを開閉するときは、強風や傾斜地等周囲の状況を確認して開閉してください。指をはさんだり、ドアが通行人に当たるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

車から離れるときは

必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

補助キーによる施錠 / 解錠



運転席ドアに、補助キーを差し込み、まわすとすべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

キーによる施錠 / 解錠

知識

施錠 / 解錠するときに鳴るチャイムを鳴らないように設定を変更することができます。また、音量を変更することができます。

→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

変更する場合は以下の手順で行なってください。

1. 電源ポジションを OFF にして、すべてのドア、リヤゲートを閉めます。
2. 運転席ドアを開けます。
3. 運転席ドアを開けてから、30 秒以内にキーのロックスイッチを 5 秒以上長押しします。すべてのドア / リヤゲートが解錠され、現在設定されている音量でチャイムが鳴ります。（現在の設定がチャイムを鳴らないように設定している場合は鳴りません。）

キーのロックスイッチを押すごとに設定が切り替わり、設定される音量でチャイムが鳴ります。（チャイムを鳴らないように設定した場合は鳴りません。）

4. 以下のいずれかを行なって設定の変更を終了します。

- 電源ポジションを ACC か ON にする。
- 運転席ドアを閉める。
- リヤゲートを開ける。
- 10 秒間キーの操作をしない。
- キーのロックスイッチ以外のスイッチを押す。
- リクエストスイッチを押す。

1. 運転する前に ドア

リクエストスイッチ

フロントドア

キーを携帯し、フロントドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠 / 解錠します。

リヤゲート（施錠のみ）

キーを携帯し、リヤゲートのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠します。



知識

施錠について

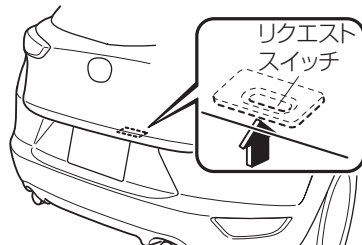
いずれかのドアまたはリヤゲートが開いていると施錠できません。

フロントドア



- 施錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

リヤゲート（施錠のみ）



知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、リヤゲートが確実に施錠されたことを確認してください。
リヤゲートについては電磁式リヤゲートオープナーを押さずにリヤゲートを動かし、半ドアでないことを確認してください。
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
オートロック機能
キーを携帯してすべてのドア、リヤゲートを閉めると、チャイムが1回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約3秒後に自動的にすべてのドア、リヤゲートを施錠します。（作動範囲から出ない場合でも約30秒後に自動的に施錠します。）ただし、以下のようなときは施錠されません。
 - 車内に別のキーがあるとき。
 - ドア、リヤゲートが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
施錠されるまでの時間を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
 - いずれかのドアまたはリヤゲートを開ける。
 - 電源ポジションをOFF以外にする。
- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

運転
中に
する

運
転
す
る
時
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

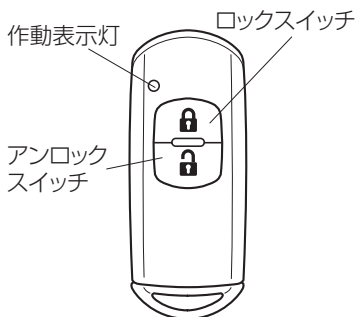
リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

スイッチはゆっくりと確実に押してください。

知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
 - 電源ポジションが OFF 以外するとき
 - いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。

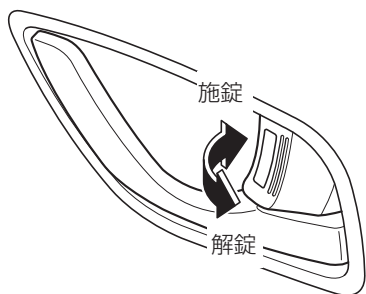


- 施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。
- 解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

知識

- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
施錠されるまでの時間を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
 - いずれかのドアまたはリヤゲートを開ける。
 - 電源ポジションを OFF 以外にする。

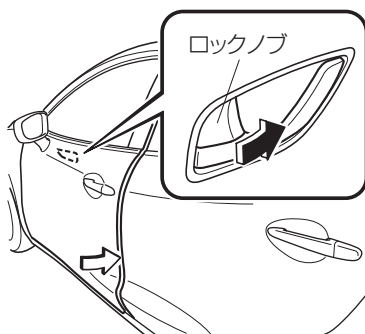
ロックノブによる施錠 / 解錠



運転席ドアのロックノブを操作します。すべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

車外から操作するとき

助手席ドア、後席ドアは車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



運転
席に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の

トラ
ブル
が
起
きた
ら

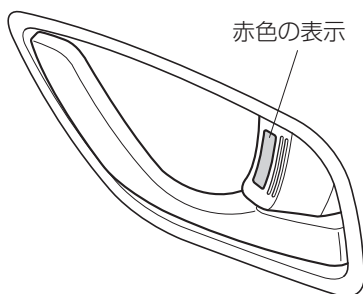
車両
仕様

さく
いん

1. 運転する前に ドア

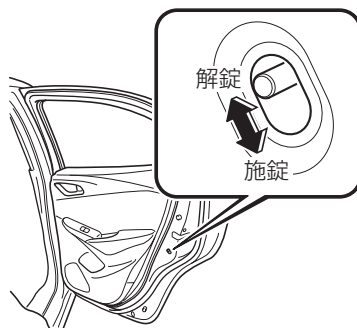
知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、ロックノブを施錠側にするとはね返るためこの方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。
- ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。



チャイルドブルーフの使いかた

お子さまをリヤシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。



チャイルドブルーフレバーを施錠側にして閉めたリヤドアは、車内のロックノブの位置に関係なく車内からは開けることができません。

お子さまの安全のため、両側のリヤドアのチャイルドブルーフレバーを施錠側にしてください。

ドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、車外のドアハンドルを引いてください。

リヤゲートの開閉

警告



禁止

荷室内に人を乗せない。

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

リヤゲートは必ず閉めてから走行する。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。



必ず守る

荷物を積むときはそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定する。

走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

運転
する
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
仕様

さ
く
い
ん

1. 運転する前に リヤゲート

⚠ 注意



リヤゲートを開ける前に、リヤゲートの雪や氷などの付着物を取り除いてください。リヤゲートを開けたときに、雪や氷などの重みでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。



強風時にリヤゲートを開閉するときは、注意して開閉してください。リヤゲートが風におおられると、急に閉まり、けがをするおそれがあります。



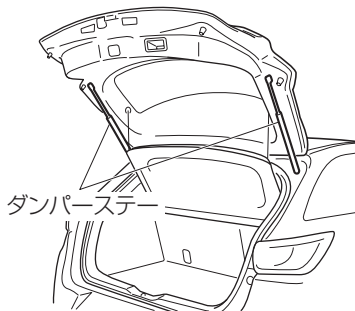
リヤゲートを開けるときは全開にして、リヤゲートが止まることを確認してください。リヤゲートを途中で止めると、振動や突風などでリヤゲートが閉まり、けがをするおそれがあります。



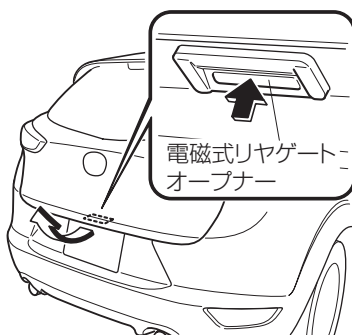
荷室の荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。



リヤゲートのダンパーステーに手をかけるなどして過度の力を加えないでください。ダンパーステーが曲がり、リヤゲートの作動に影響をおよぼすおそれがあります。



リヤゲートを開けるとき



ドアを解錠し、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを持ち上げます。

キーを携帯して電磁式リヤゲートオープナーを押すと、施錠されている状態でもリヤゲートを開けることができます。

知識

- ドア、リヤゲートが施錠されている状態から、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを開けるときは、すぐに解錠されないことがあります。
- ドアが施錠されている状態で、車内にキーを入れたままリヤゲートを閉めると、リヤゲートは閉まりますが、施錠されません。電磁式リヤゲートオープナーを押すことにより、リヤゲートを開けることができます。ただし、この操作をしてもリヤゲートを開けることができないときは、リヤゲートを押さえつけるようにして完全に閉めてから電磁式リヤゲートオープナーを押して開けてください。
- 電磁式リヤゲートオープナーを押して、リヤゲートを開けずに一定の時間が経過するとリヤゲートが少し浮いた状態のままリヤゲートを開けることができなくなります。

● リヤゲートを開ける場合

もう一度、電磁式リヤゲートオープナーを押して、リヤゲートを開けてください。

● リヤゲートを閉める場合

一度、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを開け、1 秒以上待つてから閉めてください。

- バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは、応急処置を行なうとリヤゲートを開けることができます。
→ 453ページ「リヤゲートが開けられなくなったとき」

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

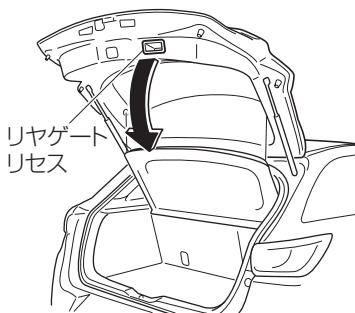
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

1. 運転する前に リヤゲート

リヤゲートを閉めるとき



リヤゲートをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。リヤゲートリセスを使用すると便利です。リヤゲートを閉めたあとは、電磁式リヤゲートオープナーを押さずにリヤゲートを動かし、半ドアでないことを確認してください。

⚠ 警告



リヤゲートを閉めたあとは、確実にロックされていることを確認する。

走行中にリヤゲートが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

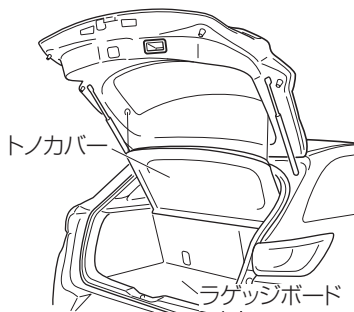
⚠ 注意



リヤゲートを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。



リヤゲートを閉めるときは、ラゲッジボードをもとの位置にもどしてください。ラゲッジボードを立てたままリヤゲートを閉めるとトノカバーを破損するおそれがあります。



トノカバーの使いかた グレード/仕様別装備

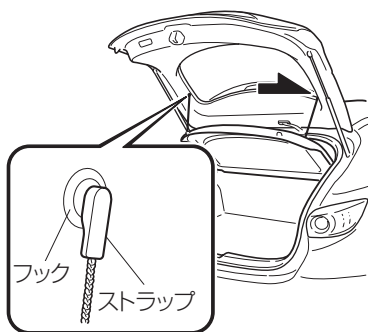
⚠ 注意



トノカバーの上に重い荷物を置くなどして、無理な力をかけないでください（最大荷重約 5kg）。無理な力がかかると、トノカバーが変形または、損傷するおそれがあります。また、リヤゲートが下がり、けがをするおそれがあります。

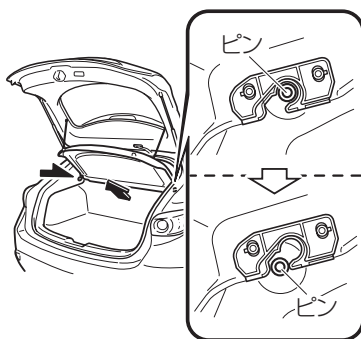


トノカバーが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないまま使用すると、走行中不意にトノカバーがはずれて、けがをするおそれがあります。



ストラップをリヤゲートのフックにかけておくと、リヤゲートと同時に開閉します。

トノカバーを取り外すとき



1. フックからストラップをはずします。
2. トノカバーの後ろ側を持ち上げて後方へ引っ張り、ピンからはずします。
3. トノカバーの前側を持ち上げ、トノカバーをはずします。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に シート

正しい運転姿勢

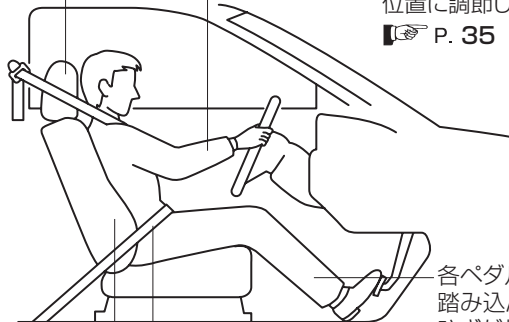
正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節してください。

ヘッドレストの中央が
耳の高さになる位置に
調節します。

【👉】 P. 40

ひじがわずかに曲がり、
ハンドル操作が楽にできる
位置に調節します。

【👉】 P. 35



シートに深く腰かけた
ときに、背もたれと背中が
離れない位置に調節します。

【👉】 P. 35

シートベルトが正しく
着用できる位置に調節
します。

【👉】 P. 35

各ペダルを
踏み込んだときに、
ひざがわずかに曲がる
位置に調節します。

【👉】 P. 35

⚠ 警告



必ず守る

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、
思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

シートが損傷した場合は必ずマツダ販売店で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシート内部の
エアバッグシステムの部品が本来の機能を損なっているおそれがあるため、
万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそ
れがあります。衝突後やシートクッションが破れたり、ウレタンまで達する
ほどの損傷の場合は、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。



禁止

背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の
効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

背もたれは必要以上に倒さない。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。

フロントシートの調節

⚠ 警告



必ず守る

操作後は確実にロックされていることを確認する。

走行中シートが不意に動くと言転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

シートを前後に動かすときや、後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。

運
転
す
る
前
に

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

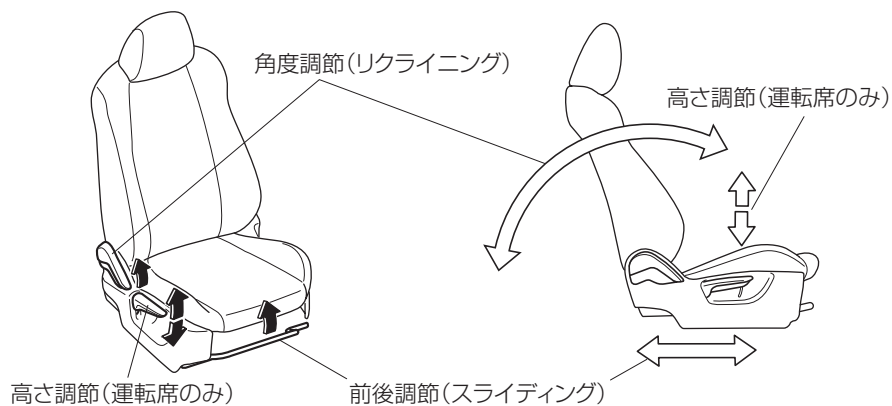
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

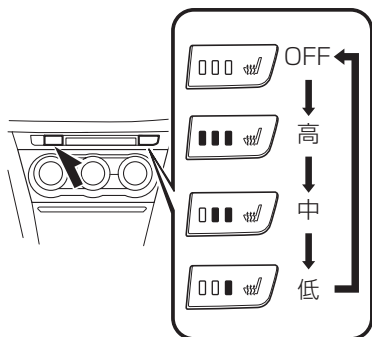
1. 運転する前に シート

フロントシートの使いかた



シートヒーターの使いかた グレード/仕様別装備

シートを温めることができます。



電源ポジションが ON のとき、スイッチを押すと作動します。

作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。

スイッチを押すごとに、図のように作動状態が切り替わります。

⚠ 注意



必ず守る

次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意してください。

- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方
- 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用した方



禁止

毛布や座布団など保温性のよいものをかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。



禁止

仮眠するときは使用しないでください。低温やけどをするおそれがあります。



禁止

突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピン等でシートクッションをつきささないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。



禁止

シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。

📖 知識

エンジン回転中に使用してください。エンジンを止めたままで、シートヒーターを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

リヤシートの操作

⚠ 注意



禁止

シートの操作をするときは、シートの動く部品周辺やサイドトリムなどに手や指を置かないでください。手や指を置いているとけがをするおそれがあります。

荷室を作るとき

リヤシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

⚠ 警告



禁止

倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて走行しない。

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定する。

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

荷物を運ぶときは、シート背もたれの高さを越えないようにする。

後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

背もたれを折りたたむとき

⚠ 注意



必ず守る

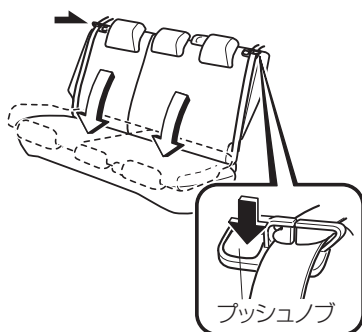
背もたれを折りたたむ前にフロントシートの位置を確認してください。フロントシートの位置によっては、リヤシートの背もたれがフロントシートに当たって、フロントシートやシートバックポケットが損傷、破損したり、背もたれを折りたたむことができなくなったりする場合があります。また、必要に応じてリヤシート左右席のヘッドレストは、取りはずしてください。



必ず守る

背もたれを前に倒すときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、ブッシュノブを押す指などにけがをするおそれがあります。

1. ヘッドレストを一番下の位置に下げます。



2. プッシュノブを押して背もたれを前に倒します。

もとにもどすとき

警告



必ず守る

背もたれをもとにもどすときは、3点式シートベルトが、はさまれていないこととねじれていないことを確認する。

シートベルトが、背もたれにはさまれていたり、ねじれていたりしている状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分発揮できないため重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

背もたれをもとにもどすときは確実にロックし、赤色の表示が見えないことを確認する。

プッシュノブ後部に赤色の表示が見えているときは、背もたれがロックされていません。ロックしないまま走行すると、背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

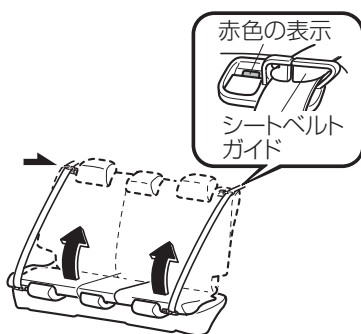
車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に

シート

1. シートベルトが、シートベルトガイドに正しく通っていることとねじれていないことを確認し、シートベルトがはさまらないようにして背もたれをおこします。



2. 背もたれを後ろに押しつけロックさせます。背もたれをもとの位置にもどした後は、確実にロックされていることを確認してください。

ヘッドレストの使いかた

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。
ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

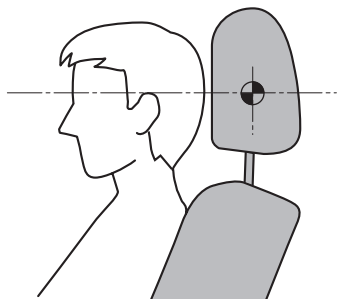
ヘッドレストを調節するとき

⚠ 警告



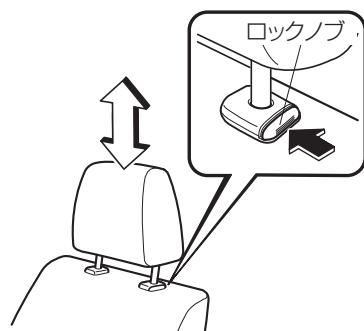
高さを調節しないままで走行しない。

高さを調節しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、リヤシート（全席）のヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。



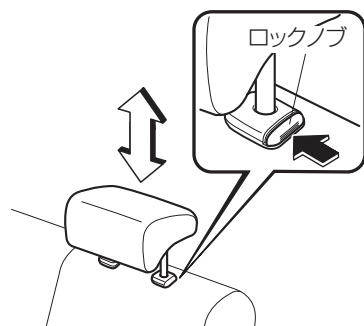
ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調節してください。

フロントシート



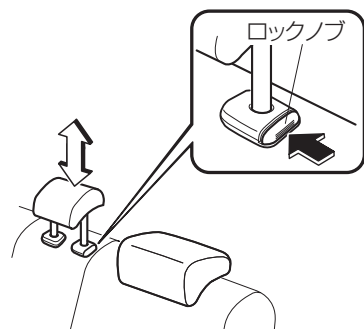
- 高くするとき
そのまま引き上げます。
- 低くするとき
ロックノブを押したまま下げます。

リヤシート左右席



- 高くするとき
ロック位置まで引き上げます。
- 低くするとき
ロックノブを押したまま下げます。

リヤシート中央席



- 高くするとき
ロック位置まで引き上げます。
- 低くするとき
ロックノブを押したまま下げます。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

ヘッドレストを脱着するとき

- ヘッドレストを取りはずすとき
ロックノブを押しながら引き上げます。
- ヘッドレストを取り付けるとき
ロックノブを押しながら差し込みます。

警告



禁止

ヘッドレストをはずした状態で走行しない。

取りはずした状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

取り付け後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げる。

ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。

注意



必ず守る

ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストがはずれ、けがをするおそれがあります。



必ず守る

フロントシート・リヤシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。

ハンドルの調節

警告



必ず守る

調節は必ず車両を停止した状態で行なう。

走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

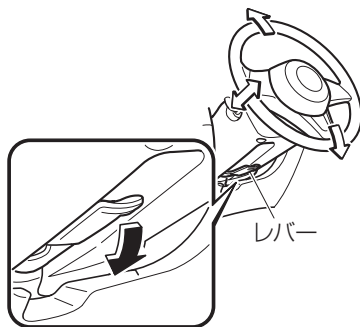


必ず守る

調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。

走行中ハンドルが不意に動くと言運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。



1. レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
2. 調節後は、レバーを押し上げて固定します。

知識

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。レバーが上がりにくい場合はハンドルを前後に少し動かしてレバーを押し上げてください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ドアミラー

ドアミラーの操作

⚠ 警告

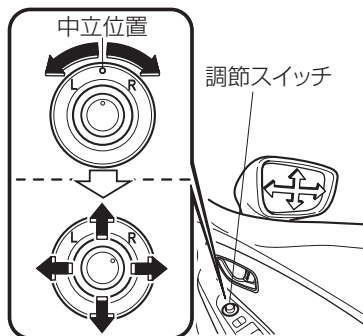


調節は走行前に行なう。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。



1. 調節スイッチを運転席側 **R** または助手席側 **L** のどちらか調節したいミラー側にまわします。
2. 調節スイッチを操作して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、調節スイッチを中立位置にもどします。

ドアミラーを格納するとき

⚠ 注意

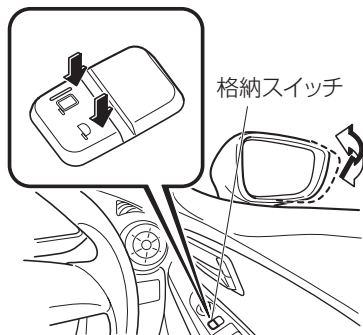


ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。

⚠ 注意



電動格納ミラーはスイッチで操作してください。手動で操作すると、ミラーが固定されず後方確認ができなくなることがあります。



電源ポジションが ACC または ON のときに格納できます。

スイッチの下側を押すと格納されます。
スイッチの上側を押すともとにもどります。

キー OFF 後作動機構

ドアミラーは、電源ポジションを ON から OFF にした後でも、約 40 秒間は角度調節や格納することができます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの
簡単

トラ
ブルが
起き

車両
仕様

さく
いん

1. 運転する前に ルームミラー

ルームミラーの操作

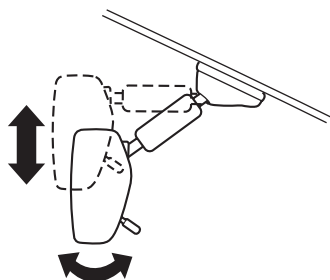
⚠ 警告



調節は走行前に行なう。

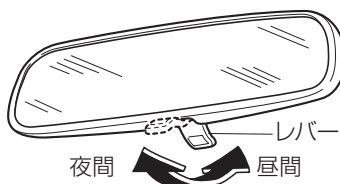
走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラーの角度 / 高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調節します。

後続車のヘッドランプがまぶしいとき



通常はレバーを押した状態にします。
夜間など、後続車のヘッドランプがまぶしいときは、
レバーを手前に引いて切り替えます。

シートベルトの種類

シート	シートベルトの機構
フロントシート	プリテンショナー & ロードリミッター機構付 ELR3 点式シートベルト
リヤシート左右席	ロードリミッター機構付 ELR3 点式シートベルト
リヤシート中央席	ELR3 点式シートベルト

⚠ 警告



必ず守る

シートベルトは正しく着用する。

正しく着用していないと、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、
万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。

📖 知識

● プリテンショナー機構について

- ・ 車両前方または側方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- ・ プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。

● 事故などにあったときは

プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

ELR（緊急時固定）機構

3 点式シートベルトには ELR（緊急時固定）機構が装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

プリテンショナー機構

フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。
車両前方または側方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

1. 運転する前に シートベルト

ロードリミッター機構

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。

シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

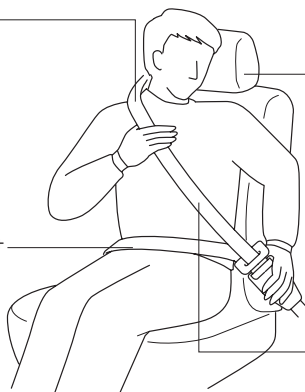
シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

ベルトが首、あご、
顔などにあたらず、
肩に十分かかる
ようにします。

上体を起こし、シートに
深く腰かけます。

ベルトを腰骨のできるだけ
低い位置に密着させます。



ベルトにねじれがない
か確認します。

⚠ 警告

着用について



必ず守る

シートベルトは全員が着用する。

着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトは正しく着用する。

急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用する。

シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。



禁止

1 つのシートベルトを同時に 2 人以上で使用しない。

2 人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告



禁止

シートベルトの改造や交換をしない。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

ベルトがねじれた状態で使用しない。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。



禁止

肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

背もたれは必要以上に倒さない。

急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。



運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に シートベルト

⚠ 警告



禁止

シートベルトのバックルの中に異物を入れない。

異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは



必ず守る

お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させる。

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用する。

ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスについて



禁止

シートベルトを分解しない。

分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

事故などにあつたときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがあるので、必ずマツダ販売店で点検を受ける。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告



必ず守る

プリテンショナー機構付きベルトが装備された車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店に相談する。

プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に シートベルト

3 点式シートベルト

シートベルト着用忘れチャイム

運転席 / 助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。（鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。）シートベルトを着用すると鳴り止みます。

シートベルトを着用するとき



1. プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。
2. ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

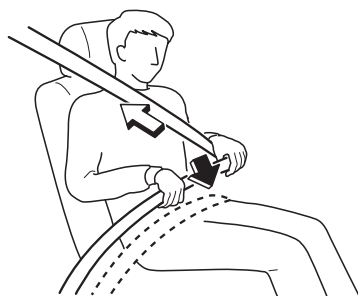
知識

ベルトがロックして引き出せないときは

一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

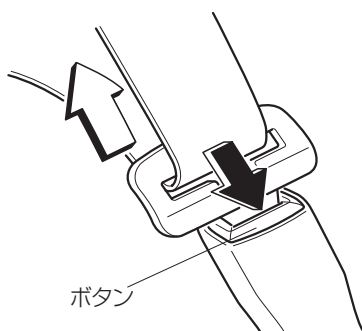


3. ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



4. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。

シートベルトをはずすとき

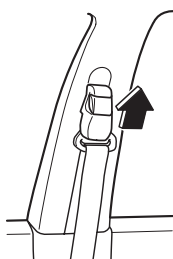


はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

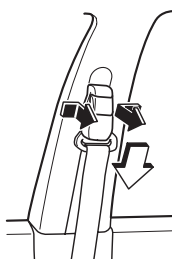
シートベルトの高さ調節

フロントシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。シートベルトが首にあたり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。

高くするとき



低くするとき



1. 高くするとき、そのまま上に動かします。低くするときはボタンを引いたまま下げます。
2. 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。

シートベルト固定タイプのベビーシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。

また ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートは、リヤシート左右席に装備されているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

警告



必ず守る

お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

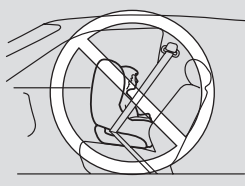
⚠ 警告



助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



警告ラベル



📖 知識

ISO は International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略です。

お子さま専用シートの種類

UNECE 44 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。

📖 知識

- UNECE は United Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。
- UNECE 44 法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重
0	10kg まで
0 +	13kg まで
I	9 ~ 18kg

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

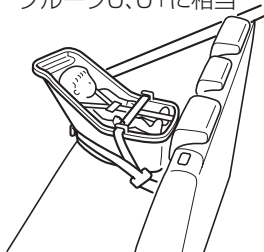
1. 運転する前に お子さまの安全

グループ	体重
Ⅱ	15 ～ 25kg
Ⅲ	22 ～ 36kg

本書では、3種類のお子さま専用シートについて説明します。
取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

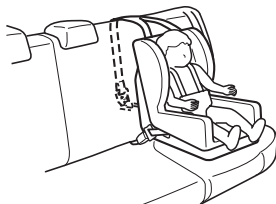
ベビーシート

UNECE 44法規の
グループ0、0+に相当



チャイルドシート

UNECE 44法規の
グループⅠに相当



ジュニアシート

UNECE 44法規の
グループⅡ、Ⅲに相当



シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

⚠ 警告



必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。

誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (ISOFIX 対応タイプ)

リヤシートにお子さま専用シートを取り付けるときは、フロントシートとお子さま専用シートがあたらないようにフロントシートの位置を調節してください。

→ 35ページ「フロントシートの調節」

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート (外席)
キャリコット	F	ISO/L1	X
	G	ISO/L2	X
		(1)	X
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL
		(1)	X
0 + (13kg まで)	E	ISO/R1	IL
	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
		(1)	X
I (9 ~ 18kg まで)	D	ISO/R2	IL
	C	ISO/R3	IL
	B	ISO/F2	IUF
	B1	ISO/F2X	IUF
	A	ISO/F3	IUF
		(1)	X
II (15 ~ 25kg まで)		(1)	X

運転
前に
する

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

1. 運転する前に お子さまの安全

質量グループ	サイズ等級	器具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート（外席）
III (22 ～ 36kg まで)		(1)	X

上表の記号について：

(1) サイズ等級識別表示 (A ～ G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF = この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリ前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。

IL = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

X = お子さま専用シートを取り付けることはできません。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表（シートベルト固定タイプ）

リヤシートにお子さま専用シートを取り付けるときは、フロントシートとお子さま専用シートがあたらないようにフロントシートの位置を調節してください。

→ 35ページ「フロントシートの調節」

質量グループ	着座位置（または他の場所）		
	助手席	リヤシート（外席）	リヤシート（中央席）
O (10kg まで)	X	U	X
O + (13kg まで)	X	U	X
I (9 ～ 18kg まで)	UF	U	X
II (15 ～ 25kg まで)	UF	U	X
III (22 ～ 36kg まで)	UF	U	X

上表の記号について：

U = この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

UF = この質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリのお子さま専用シートに適しています。

X = お子さま専用シートを取り付けることはできません。

チャイルドシートを固定するとき

シートベルトを使用するとき

お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

また、取り付けるシートのヘッドレストを取りはずしてください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ & トップテザーアンカレッジ

リヤシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。

この固定ロアアンカレッジには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート（チャイルドシート固定ロアアンカレッジ）のみを取り付けることができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

警告



必ず守る

チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認する。

異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

1. チャイルドシートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートを調節します。
→ 35ページ「フロントシートの調節」
フロントシートが確実に固定されていることを確認します。
2. リヤシートが確実に固定されていることを確認します。

運転
前に
する

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

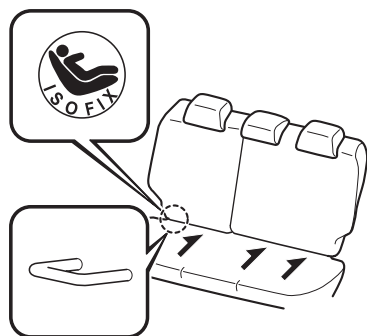
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

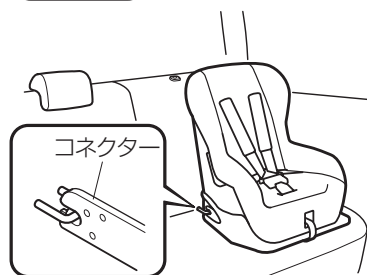
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

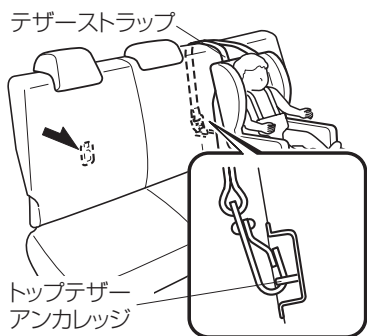
1. 運転する前に お子さまの安全



3. シートクッションにある縦の切れ目を広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。



4. ヘッドレストを取りはずします。
5. チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。



6. チャイルドシートのデザーストラップをイラストのように通して、トップデザーアンカレッジにかけます。
7. デザーストラップがたるまないように調節します。

知識

デザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

8. チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

警告



禁止

トップテザーアンカレッジは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しない。

チャイルドシートの固定以外のことを使用すると、アンカレッジ部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの
しやす

トラ
ブルが
起き

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ウインドー

窓ガラスの開閉

電源ポジションが ON のとき、パワーウインドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

警告



必ず守る

窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。

特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さまにパワーウインドースイッチの操作をさせない。

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

お子さまが同乗しているときは、パワーウインドーロックスイッチをロックの位置にしておく。

お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

窓から手や顔を出させない。

走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

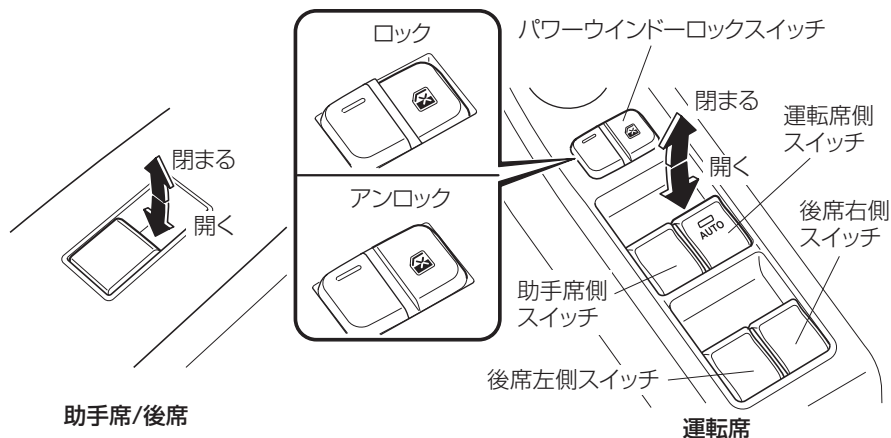
知識

全開 / 全閉したあともスイッチを操作し続けると、窓ガラスを開閉できなくなることがあります。

窓ガラスの開閉ができないときはしばらく待って、再度操作してください。

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。

助手席、後席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウィンドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



便利な装備について

自動開閉機構

運転席に装備しています。

スイッチを強く押すと自動で全開し、強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

知識

自動で全開 / 全閉できないときは

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開 / 全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開 / 全閉できなくなります。

次の操作で復帰させてください。

1. 電源ポジションを ON にします。
2. スwitchを押して窓ガラスを全開にします。
3. スwitchを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。

キー OFF 後作動機構

運転席に装備しています。

電源ポジションを ACC または OFF にしたあとも、約 40 秒間は開閉することができます。

運転席
前に
する

運転席
ときに

快適な
使いかた

お手入れ
の

トラブル
が

車両
スペック

さく
いん

1. 運転する前に ウインドー

安全装備について

はさみ込み防止機構

運転席に装備しています。

閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。

- 電源ポジションが ON で窓ガラスを自動で閉めているとき。
- 電源ポジションを OFF または ACC にしてから約 40 秒の間に窓ガラスを閉めているとき。

注意



次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。

- 窓ガラスが閉まりきる直前
- スイッチを引き続けたままの状態

知識

- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。

給油するとき

⚠ 警告



必ず守る

燃料補給時には必ずエンジンを止める。また、燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけない。

火災につながるおそれがあります。



必ず守る

燃料を補給するときは、必ず次の点を守る。

身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。



必ず守る

給油ノズルは確実に燃料補給口へ差し込む。

給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。



必ず守る

給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しない。

オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。



必ず守る

気化した燃料を吸い込まないように注意する。

人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

1. 運転する前に 燃料補給口

⚠ 注意



禁止

指定燃料以外の燃料を補給したり、燃料添加剤や水抜き剤を使用しない。

→ 456ページ「燃料」

ガソリンや灯油、混合率が5%を超えるバイオディーゼル燃料、高濃度アルコール含有燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。



必ず守る

燃料を補給するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。



必ず守る

燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗装はがれの原因となります。

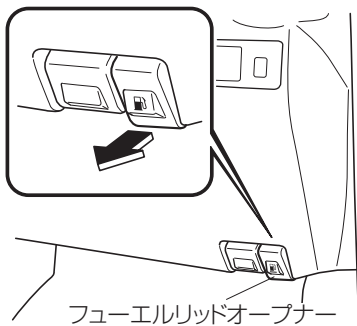


必ず守る

燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

燃料補給口は車の左側後方にあります。燃料計が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

フューエルリッドの開閉



運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。

閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

フューエルキャップの開閉

⚠ 警告



必ず守る

フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取り外す。

急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

フューエルキャップは確実に閉める。

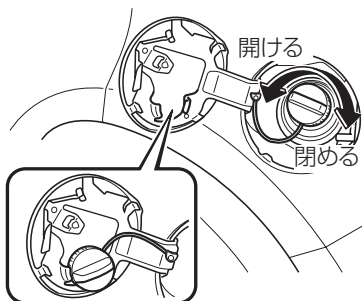
キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。



取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。

キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

盗難防止システム

イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。

万一、キーが電池切れや故障の場合は、電池切れ時のエンジン始動手順を行なうとイモビライザーシステムが解除され、エンジンを始動できます。

⚠ 注意



キーの故障を防ぐために次のことを守る。

- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。
- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。

システムの作動



電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

システムの解除

登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンを始動できます。そのときセキュリティ表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- キーを（車内でも）感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

処置方法

一度、電源ポジションを OFF にもどし、キーを別の場所に置いて、再度エンジンを始動してください。

→ 20 ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っでの操作」

セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は（点灯 / 点滅したまま等）、一度電源ポジションを OFF にもどし、しばらく待って再度エンジン始動してください。

3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、マツダ販売店で点検を受けてください。

運転中にセキュリティ表示灯が点灯 / 点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのままマツダ販売店で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。

知識

イモビライザーシステムを修理するときは

コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。

キーを追加するときは

- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。
- キーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でキーを追加することはできません。

キーを紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。登録されていないキーではエンジンを始動することができません。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

SRS エアバッグシステム

SRS エアバッグシステムについて

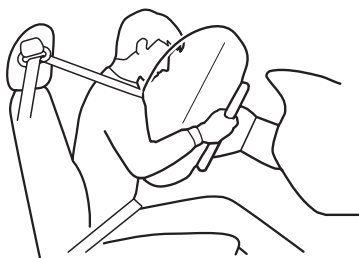
SRS とは Supplemental Restraint System (サブルメンタルレストRAINTシステム) の略で、補助乗員保護装置の意味です。

エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

エアバッグの種類

運転席エアバッグ



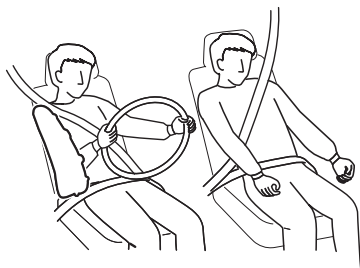
運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

助手席エアバッグ



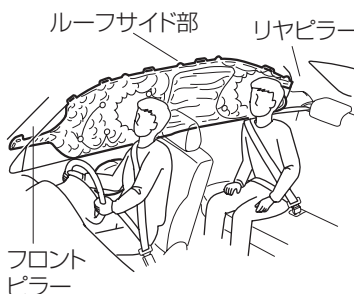
助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

サイドエアバッグ



サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

カーテンエアバッグ



カーテンエアバッグはフロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。

エアバッグの注意点

⚠ 警告

お車に乗る前に



必ず守る

運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。

SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

⚠ 警告

シートに座ったときは



禁止

ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。

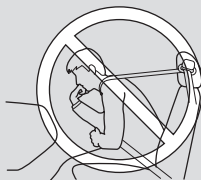
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



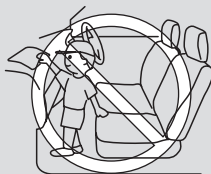
お子さまを乗せるときは



必ず守る

お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させる。

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。



⚠ 警告

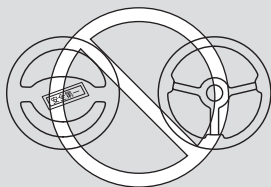
こんなことにも注意



禁止

ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。

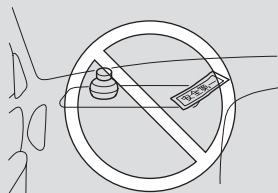
万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリ用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

車両前部にグリルガードなどを装着しない。

SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

サスペンションの改造をしない。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

警告



禁止

SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

メンテナンスや廃車について



必ず守る

事故後は必ずマツダ販売店で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店に相談する。

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け



必ず守る

車を廃車にする場合は、必ずマツダ販売店に相談する。

不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 警告

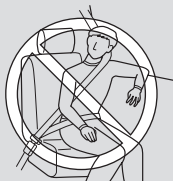
サイドエアバッグについて



禁止

フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロントシートにシートカバーを使用するときは、この車専用のサイドエアバッグ対応純正品を使用する。

純正品以外のものを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。ご購入の際は、マツダ販売店にご相談ください。



禁止

フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリー用品を取り付けない。

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロントシートの下に荷物などを置かない。

フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さ
く
い
ん

⚠ 警告

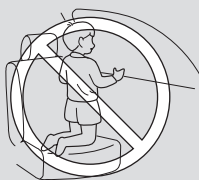
カーテンエアバッグについて



必ず守る

ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づいたりしないようにして座る。

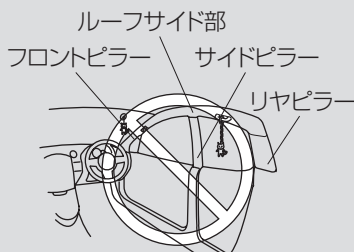
カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしない。

カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけない。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。



禁止

ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイドおよびカーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

📖 知識

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物（カス）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

SRS エアバッグシステム

エアバッグの作動条件について

運転席 / 助手席エアバッグは正面衝突において、サイド / カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

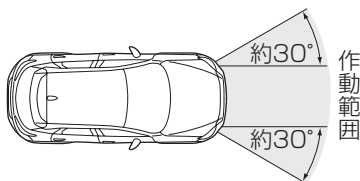
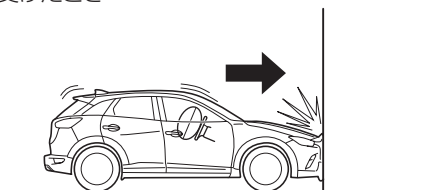
エアバッグが作動するとき

運転席 / 助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

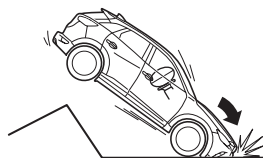
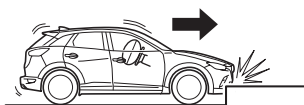


次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

中央分離帯や縁石などに衝突したとき

深い穴や溝に落ちたとき

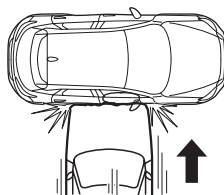
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



サイド / カーテンエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に衝突されたとき



エアバッグが作動しにくいとき

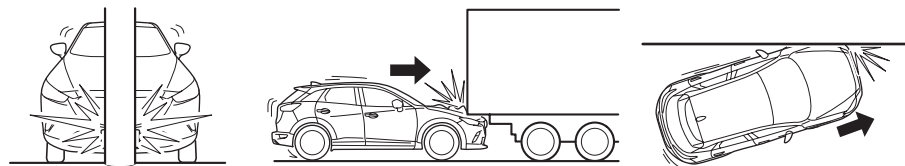
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席 / 助手席エアバッグ

立木や電柱に衝突したとき

トラックの下などに潜り込んだとき

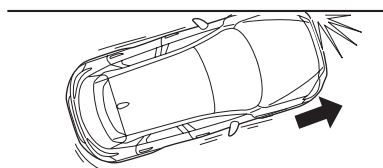
斜め前方に衝突したとき



サイド / カーテンエアバッグ

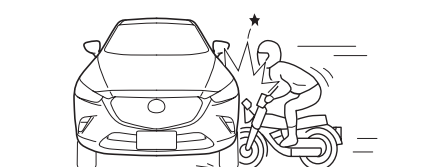
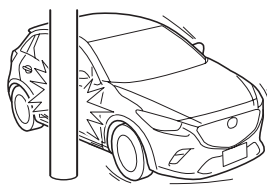
斜め前方に衝突したとき

横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき

2輪車が側面に衝突したとき



運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

SRS エアバッグシステム

エアバッグが作動しないとき

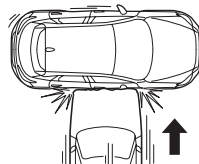
次のようなときには作動しません。

運転席 / 助手席エアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき

横転や転覆したとき

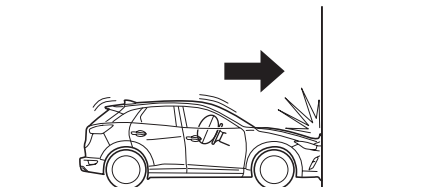
横方向から衝突されたとき



サイド / カーテンエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき

正面衝突したとき



EDR（イベントデータレコーダー）について

本車両は、SRS エアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。

そのコンピュータは、SRS エアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録・蓄積する EDR を装備しています。

記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報（加速度波形等）
- エアバッグシステムの故障診断情報



知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

データの開示について

マツダおよびマツダの委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。

なお、取得したデータは以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

積雪、寒冷時の取り扱い

お車に乗る前に

ルーフに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
走行前に取り除いてください。
- ルーフの雪を取り除くときは、アンテナに注意して取り除いてください。アンテナを損傷するおそれがあります。

ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。
プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。
無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。
無理に動かそうとすると故障の原因になります。

お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。

ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

2 運転するときに

安全なドライブのために 86

運転するとき.....	86
運転装置について.....	88
こんなことにも注意.....	88
駐停車するとき.....	92
お子さまを乗せるとき.....	93

エンジンの始動と停止 94

電源ポジション (エンジンスイッチ)...	94
エンジンの始動.....	95
エンジンの停止.....	102
i-stop について.....	103

i-ELOOP について 113

i-ELOOP とは.....	113
-----------------	-----

燃費モニター 115

燃費モニター.....	115
-------------	-----

メーター、警告灯、表示灯の 見方 119

メーター.....	119
アクティブ ドライビング ディスプレ イ.....	127
インテリジェント・ドライブ・マス ター (i-DM).....	129
警告灯、表示灯.....	134

トランスミッションの使いか た 141

マニュアルトランスミッション.....	141
オートマチックトランスミッション...	143

ブレーキ 155

ブレーキの操作.....	155
--------------	-----

4WD 156

4WD について.....	156
---------------	-----

スイッチの使いかた 157

ランプスイッチ.....	157
方向指示器.....	163
非常点滅灯スイッチ.....	164
フォグランプスイッチ.....	165
ワイパー / ウォッシャースイッチ...	166
リヤウインドーデフォグガー (曇り取 り) スwitch.....	170
ホーン.....	171

ABS について 172

ABS とは.....	172
-------------	-----

ヒルローンチアシスト (HLA) について 173

ヒルローンチアシスト (HLA) とは...	173
------------------------	-----

エマージェンシーシグナルシ ステム (ESS) について 174

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは.....	174
-----------------------------------	-----

トラクションコントロールシ ステム (TCS) について 175

TCS とは.....	175
-------------	-----

2 運転するときに

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について 177

DSC とは 177

i-ACTIVSENSE について 179

i-ACTIVSENSE とは 179

AFS (アダプティブフロントライティングシステム) とは 181

ハイビームコントロールシステム (HBC) とは 182

車線逸脱警報システム (LDWS) とは 184

ブラインドスポットモニタリング (BSM) とは 191

車間認知支援システム (DRSS) とは 197

リアクロストラフィックアラート (RCTA) とは 200

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) とは 203

スマートシティブレーキサポート (SCBS) とは 215

AT 誤発進抑制制御とは (オートマチック車) 220

スマートブレーキサポート (SBS) とは 224

フォワードセンシングカメラ (FSC) について 227

レーダーセンサー (フロント) について 230

レーザーセンサー (フロント) について 233

レーダーセンサー (リア) について... 236

クルーズコントロールについて 238

クルーズコントロールとは 238

駐車支援システムについて 243

駐車支援システムとは 243

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について 252

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) とは 252

メンテナンスモニター 253

メンテナンスモニター 253

様々な状況での運転のときは 255

悪天候での運転 255

環境保護のために 257

経済的な運転 257

MEMO

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

運転するとき

走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

坂道ではエンジンブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。また、走行中にチェンジレバーをニュートラル位置にいったままにしないでください。エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよく効きます。

オートマチック車は走行中にセレクトレバーをNにいけない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響を及ぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に
する

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

クラッチペダルやブレーキペダルに足をのせたまま走行したり、必要以上に半クラッチ操作を行わないでください。

- クラッチやブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

運転
する
とき

ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

快適
装備
の
使い
かた

警告灯が点灯 / 点滅したら車を止める

走行中に警告灯が点灯 / 点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯 / 点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お
手
入
れ
の
し
か
た

パンクやバースト（破裂）してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト（破裂）が考えられます。

- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

スタックした状態から脱出するときは注意する

409ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。

異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。

そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

安全なドライブのために

異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じるとき。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

運転装置について

オートマチック車を運転するとき

151ページの「オートマチック車を運転するときに」、143ページの「オートマチック車の特性」、95ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

4WD 車の特性

156ページの「4WD について **グレード/仕様別装備**」、156ページの「走行するときは」をよくお読みください。

タイヤについて

370ページの「タイヤの点検」、362ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、403ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

けん引してもらうとき

435ページの「けん引してもらうとき」をよくお読みください。

こんなことにも注意

発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

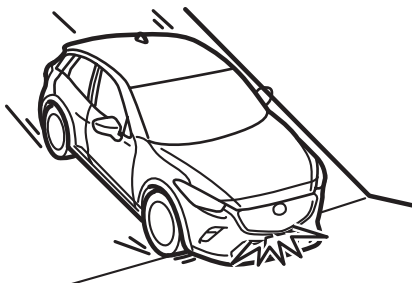
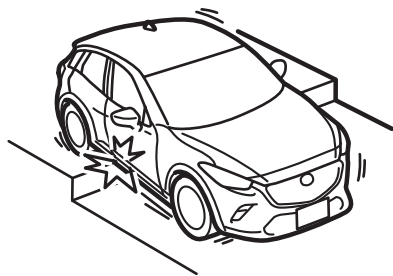
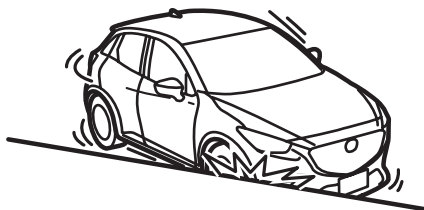
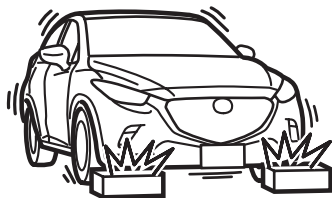
運転中は携帯電話を使用しない

運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



運転
する
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

2. 運転するときに 安全なドライブのために

違法改造はしない

362ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

362ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、370ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

タイヤバルブキャップは純正品を使用する

370ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

362ページの「部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する」をよくお読みください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

362ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

アクセサリを取り付けない

フロントガラスや窓ガラス、また、その周辺にアクセサリを取り付けると、運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、アクセサリーの吸盤が凸レンズの働きをして、火災につながるおそれがあります。

エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

432ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

エンジンルーム内に物を置き忘れない

363ページの「点検整備について」をよくお読みください。

ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

432ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

バッテリーの取り扱いに気をつける

427ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

航空機内ではキーを操作しない

17ページの「キー」をよくお読みください。

一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色 / 無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい / 吐き気 / 頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気をとり入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

運転
前に
する

ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

運転
とき
に

ターボ車の特性

ターボ装置は、エンジンに多量の空気を過給することにより大きな出力を得る装置で、非常に精密に作られています。

またその潤滑や冷却は、エンジンオイルによって行われています。

ターボ装置の故障を防ぐため、次の点を守ってください。

- エンジンオイル、オイルフィルターは必ず指定された期間で交換してください。
- エンジン始動直後の空ふかし、急加速は行なわないでください。
- ターボ装置の冷却のため、高速走行や登坂走行の直後は、エンジンを停止する前にアイドリング運転を行なってください。ただし、i-stop が作動したときはアイドリング運転は不要です。

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

運転状況	アイドリング時間
高速走行	約 1 分
特殊な連続走行または急な登坂走行	約 2 分

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

駐停車するとき

燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくとおそれがあります。

仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたまま仮眠しないでください。無意識にチェンジレバー / セレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へ入りやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをPにいらしてください。

急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

お子さまを乗せるとき

車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

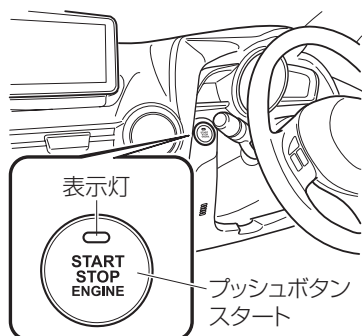
車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

電源ポジション（エンジンスイッチ）

各位置の働き



マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏まない状態で、プッシュボタンスタートを押すごとに OFF、ACC、ON の順に電源ポジションが切り替わります。ON からもう一度、プッシュボタンスタートを押すと OFF へもどります。

電源ポジション	働き
OFF	プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、消灯します。
ACC	エンジン停止時に、オーディオなどの電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、点灯します。
ON	全ての電装品が使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、点灯します。（エンジン回転中は、プッシュボタンスタートの表示灯は消灯します。）

知識

● **ハンドルがロックされているときは**

プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅します。ハンドルを左右に動かしながら、プッシュボタンスタートを押して、ハンドルのロックを解除してください。

- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。電源ポジションを ACC（オートマチック車は、セレクトレバーが P の位置になっていること）で放置した場合は、約 25 分間で電源ポジションが OFF になります。
- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっばいに踏み込んだ状態で、プッシュボタンスタートを押すとエンジンが始動します。電源ポジションの切り替えを行う場合は、ペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してください。

エンジンの始動

エンジンをかける前に

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. マニュアル車はチェンジレバーがニュートラル位置、オートマチック車はセレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3. 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→ 34ページ「正しい運転姿勢」

クラッチスタートシステムについて（マニュアル車）

クラッチスタートシステムとは、クラッチペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してもエンジンを始動させない装置で、車が動き出すのを防止します。
エンジンを始動するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。

知識

エンストで動けなくなったとき

ギヤを入れたままプッシュボタンスタートを押し続けても車は動きません。
→ 410ページ「エンストで動けなくなったとき」

運転
前に
に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

エンジンをかけるとき

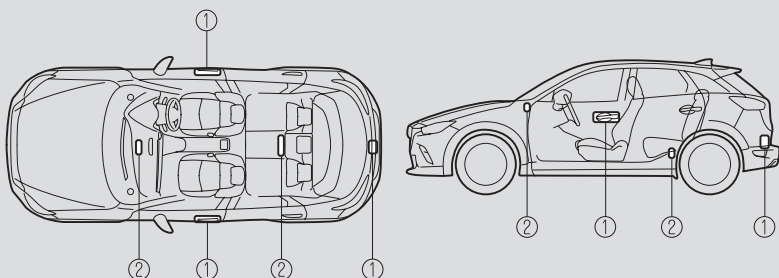
⚠ 警告



禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方は車内・車外のアンテナから約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。



①車外のアンテナ ②車内のアンテナ



必ず守る

以下以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

- 植込み型心臓ペースメーカー
- 植込み型除細動器

電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。



必ず守る

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。

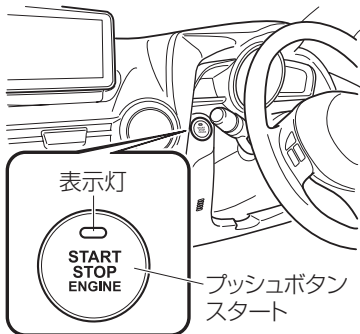
詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- 電源ポジションの状態 (OFF、ACC、ON) に関係なく、エンジンを始動できます。

1. キーを携帯していることを確認します。
2. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。
3. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっばいに踏み込み続けます。

4. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）と KEY 表示灯（緑）が点灯するのを確認します。
プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅するときは、キーの電池切れなどが考えられます。
→ 100ページ「キーが電池切れしたときのエンジン始動」



5. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯している状態でプッシュボタンスタートを押します。

注意



プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が点滅するときは、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

知識

- 次のようなときは、KEY 警告灯（赤）が点滅し、エンジンをかけることができません。
 - キーの電池切れ
 - キーが作動範囲内にない
 - キーを車内でも感知しにくい場所に置いている
→ 20ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使つての操作」
 - キーに類似した他社のキーが作動範囲内にある
- プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が点滅しているときは、通常の操作ではエンジンを始動できない場合があります。マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっばいに踏み込み、エンジンが完全に始動するまでプッシュボタンスタートを押し続けてください。
- 予熱表示灯が消灯するまで、スターターは回りません。
- エンジン始動時は、プッシュボタンスタートを押したあと、メーター内の予熱表示灯が消灯して、エンジンがかかるまでマニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを放さないでください。
- エンジンがかかる前にマニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを放した場合、再度マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏み込みプッシュボタンスタートを押してエンジンを始動してください。
- エンジン始動後、プッシュボタンスタートの表示灯（橙）は消灯し、電源ポジションは ON 状態になっています。
- 冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- 冷間始動後は、排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがあります。部品機能の異常ではありません。
- 外気温が -10°C より低いときは、エンジン保護のためエンジンが始動してから約 3 分間、最高回転数が制限される場合があります。

知識

- 予熱が終了したあと、電源ポジションが ON のままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い予熱表示灯が点灯する場合があります。



- **(マニュアル車)**

エンスト時、エンジンが完全停止したあと約 3 秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。

ただし次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。

- 運転席のドアが開いているとき
- 運転席のシートベルトが装着されていないとき
- エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
- エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
かた

お手
入れ
の
しかた

トラ
ブル
が
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

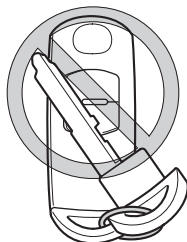
キーが電池切れしたときのエンジン始動

⚠ 注意

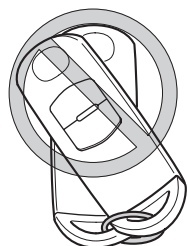
キーの使用について

次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

- キーに他のキーの金属部や金属製のものが接している



- キーにスペアのキーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある



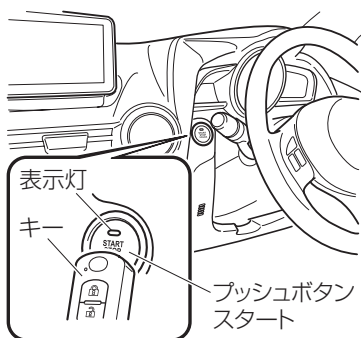
- キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある

キーの電池切れなどで、エンジンが始動できないときは、次の手順でエンジンを始動することができます。

1. エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. マニュアル車は、エンジンが完全に始動するまで、クラッチペダルをいっばいに踏み込み続けます。
3. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅するのを確認します。

知識

マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを踏む前にプッシュボタンスタートを押すと、プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅します。この状態からペダルを踏み、キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れると、エンジンが始動します。



4. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅中に、キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れます。

5. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯に変わったら、プッシュボタンスタートを押します。

知識

- マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルをいっばいに踏み込まないとエンジンがかからないようになっています。
- プッシュボタンスタート機能に異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。
- キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れるときは、ロックスイッチ側を上にして、ボタンに触れてください。プッシュボタンスタートに触れたときにボタンを押してしまうとエンジンが始動することがあります。
- プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯しない場合は、最初から操作を行ってください。それでも点灯しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションの切り替えを行う場合は、プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯に変わったあと、マニュアル車はクラッチペダル、オートマチック車はブレーキペダルを放してからプッシュボタンスタートを押してください。電源ポジションが ACC、ON、OFF の順に切り替わります。なお、電源ポジションが OFF になると、それ以降は電源ポジションの切り替えができませんので、エンジンを始動する場合は最初から操作を行ってください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

エンジンの停止

1. マニュアル車はチェンジレバーをニュートラルの位置、オートマチック車はセレクトレバーをPの位置にします。
2. プッシュボタンスタートを押します。エンジンが停止し、電源ポジションがOFFになります。

注意



禁止

緊急時以外は、走行中にエンジンを停止しないでください。



必ず守る

車から離れるときは、電源ポジションがOFFになっていることを確認してください。

知識

● キーの電池容量について

電源ポジションをONからACCまたはOFFにしたとき、キーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、KEY表示灯（緑）が点滅します。新しい電池と交換してください。

→ 391ページ「キー」

● 電源ポジションについて

オートマチック車はセレクトレバーがP以外の位置のときに、プッシュボタンスタートを押してエンジンを停止させると、電源ポジションはACCになります。

● 電源ポジションをOFFにせずに車から離れると

KEY警告灯（赤）が点滅し、警告チャイムが鳴ります。

→ 450ページ「チャイムがなったときは」

● エンジンルームの冷却について

エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションをONからOFFにしても、エアコンのON/OFFにかかわらずクーリングファンが数分間回転することがあります。

緊急エンジン停止

車両が停止していなくてもプッシュボタンスタートを押し続ける、または素早く何度も押すとエンジンが停止します。電源ポジションはACCになります。

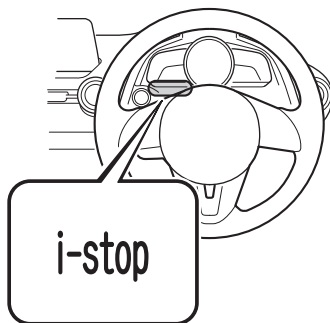
i-stop について

i-stop (アイ・ストップ) は、燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

アイドリングストップ・再始動

知識

- 次の条件のときに、i-stop 表示灯 (緑) が点灯します。
 - ・ 走行中にアイドリングストップする条件を満たしたとき
 - ・ アイドリングストップ中のとき



- エンジンが再始動すると、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

マニュアル車

1. ブレーキペダル、次にクラッチペダルを踏み込んで、車両を停車させます。
2. クラッチペダルを踏み込んだまま、チェンジレバーをニュートラルの位置にします。クラッチペダルから足を放したあと、アイドリングストップします。
3. クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動します。

オートマチック車

1. 走行状態 (R レンジ、M レンジの 2 速固定モード時以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。
2. D/M (2 速固定モードではない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

3. セレクトレバーが N または P レンジでは、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) または R レンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なってください。)

作動条件

作動するとき

次の条件のとき i-stop 表示灯 (緑) が点灯して、アイドリングストップします。

- エンジン冷間以外
- 定期的に自動で実施される燃料噴射量学習が行われていないとき
- エンジンを始動し、一度走行したあと
- ボンネットを閉めて、エンジンを始動したとき
- バッテリーの状態が良好のとき
- すべてのドア、リヤゲート、ボンネットが閉まっているとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  の位置で作動していないとき
- エアコンの温度設定ダイヤルが最大冷房 (A/C ON) 以外の位置になっているとき
- 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
- i-stop 警告灯 (橙) が点灯 / 点滅していないとき
- キーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能が正常なとき
- ブレーキ負圧が十分に高いとき
- ハンドルを操作していないとき
- (マニュアル車)
 - 車速が 3km/h 以下のとき
 - チェンジレバーがニュートラルの位置のとき
 - クラッチペダルを踏んでいないとき

● (オートマチック車)

- 車両が停車しているとき
- セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジのとき
- オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
- オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
- ハンドルがほぼ直進状態のとき (直進状態にしている場合でもハンドルに力がかかっているとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルにかけている力をゆるめてください。)
- ブレーキペダルを踏んで停車させたとき
- 急制動ではないとき

作動しないとき

次の条件のとき、アイドリングストップしません。

- 走行せずにアイドリングを続けていているとき
- エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルが  の位置で作動しているとき
- エアコンの温度設定ダイヤルが最大冷房 (A/C ON) の位置のとき
- 車内の温度とエアコンの設定温度の差が大きいとき
- 外気温が非常に低い、または高いとき
- 気圧が低いとき (標高が高いところを走行しているとき)
- (オートマチック車)
 - 急な坂道で停車したとき
 - 停車時のハンドルが直進状態でないとき
- ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) による PM (Particulate Matter: 粒子状物質) の除去が行われているとき

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

知識

アイドリングストップするまでに時間がかかるとき

- 車両を長時間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
- 外気温が高いとき、または低いとき
- バッテリー交換等によりバッテリー端子をはずしたあと
- ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) による PM の除去が行われたあと

エンジンが再始動しないとき

アイドリングストップ中に次の操作を行うと安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常の操作でエンジンを始動してください。

- ボンネットを開けたとき
- **(マニュアル車)**
チェンジレバーがニュートラル以外の位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
- **(オートマチック車)**
セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

エンジンの停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなるとき

- 外気温が高いとき、または、低いとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- 車両電装品の消費電力が多いとき

知識

アイドリングストップ中にエンジンが自動で再始動するとき

次のようなときは自動でエンジンを再始動します。

- i-stop OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
- エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルを  の位置で作動させたとき
- エアコンの温度設定ダイヤルが最大冷房 (A/C ON) の位置にしたとき
- 車内の温度とエアコンの温度設定の差が大きくなったとき
- 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動き出したとき
- アイドリングストップしてから 2 分経過したとき
- バッテリーの放電が進んだとき

● (マニュアル車)

チェンジレバーがニュートラルの位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

● (オートマチック車)

- セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジで、アクセルペダルを踏んだとき
- セレクトレバーを R レンジにしたとき
- セレクトレバーを N または P レンジから D/M (2 速固定モードではない) レンジにしたとき
- セレクトレバーが D/M (2 速固定モードではない) レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
- セレクトレバーが M レンジで、2 速固定モードにしたとき
- セレクトレバーが N または P レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作したとき (オートマチック車)

- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) レンジから N または P レンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンは再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) または R レンジへ操作すると再始動します。(安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作するときは、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行ってください。)
- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M (2 速固定モードではない) レンジから N または P レンジへ操作し、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき、自動でエンジンが再始動します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
か
る

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

知識

バッテリー端子をはずしたとき

バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、i-stop の機能を確認する必要がありますので、マツダ販売店にご相談ください。

i-stop 警告灯（橙）/i-stop 表示灯（緑）

i-stop

i-stop は、安心かつ快適にご使用いただくために、運転者の操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、i-stop 警告灯（橙）/i-stop 表示灯（緑）によりさまざまな注意を運転者にお知らせします。

知識

センターディスプレイ装備車は、i-stop の作動状況を燃費モニターの作動状況表示に表示します。

→ 116ページ「i-stop、i-ELOOP 状態表示」

i-stop 警告灯（橙）

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- i-stop OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯します。
- アイドリングストップ中に次の操作を行うと i-stop 警告灯（橙）が点灯します。この場合、安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常操作でエンジンを始動してください。
 - ボンネットを開けたとき
 - （マニュアル車）
チェンジレバーがニュートラル以外の位置で、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
 - （オートマチック車）
セレクトレバーが D/M（2 速固定モードではない）レンジで、運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

知識

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき
- エンジンがかかっている状態で、i-stop OFF スイッチを操作しても点灯し続けるとき

運転
前に
する

点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

i-stop 表示灯（緑）

運転
する
とき

点灯するとき

- アイドリングストップ中に点灯し、エンジンが再始動すると消灯します。
- 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと点灯します。

快適
装備の
使用
に
あた

点滅するとき

- （マニュアル車）
アイドリングストップ中、チェンジレバーをニュートラル以外の位置にしたとき点滅し、アイドリングストップ中であることをお知らせします。クラッチペダルを踏み込むと自動でエンジンが再始動し消灯します。
- （オートマチック車）
ブレーキペダルを強く踏まずに停車させたとき点滅します。ブレーキペダルの踏力が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。

お
手
入
れ
の
し
か
た

i-stop 警告チャイム

- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。
- アイドリングストップ中に次の操作を行うとチャイムが鳴ります。この場合、安全確保のため自動でエンジンは再始動しません。通常の操作でエンジンを始動してください。
 - （マニュアル車）
チェンジレバーがニュートラル以外の位置で運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき
 - （オートマチック車）
セレクトレバーが D/M（2 速固定モードではない）レンジで運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき

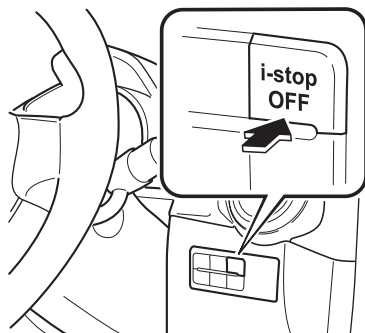
ト
ラ
ブル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

エンジンの始動と停止

i-stop OFF スイッチ



スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、i-stop の作動が解除され、メーター内の i-stop 警告灯（橙）が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけると i-stop が作動可能な状態になり、i-stop 警告灯（橙）が消灯します。

知識

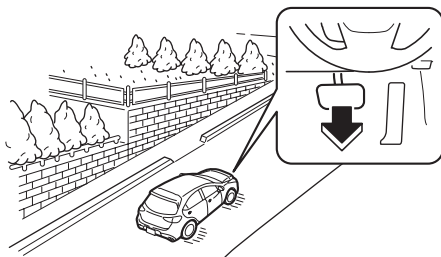
i-stop を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると i-stop は作動可能な状態にもどります。

発進補助装置について（オートマチック車）

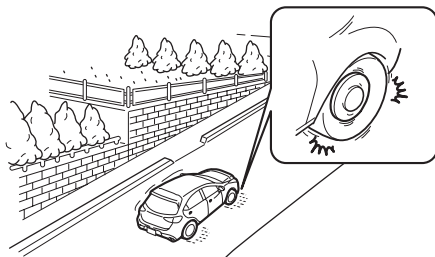
i-stop 装備車には発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中（車両の後退防止）
- 再始動時（急なクリーブ現象発生による車両の飛び出し防止）
ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに、ブレーキまたはオートマチックトランスミッションの制御により車両が急に動き出すことを防止しています。

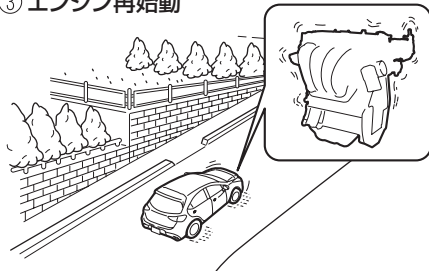
① ブレーキペダルから足を放す



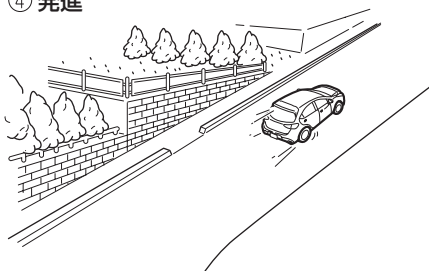
② 車を保持



③ エンジン再始動



④ 発進



運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに エンジンの始動と停止

警告



システムを過信しない

発進補助機能はあくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 4 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。



発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放す

アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。セレクトレバーが N レンジの状態では、発進補助機能が解除されたあとに車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

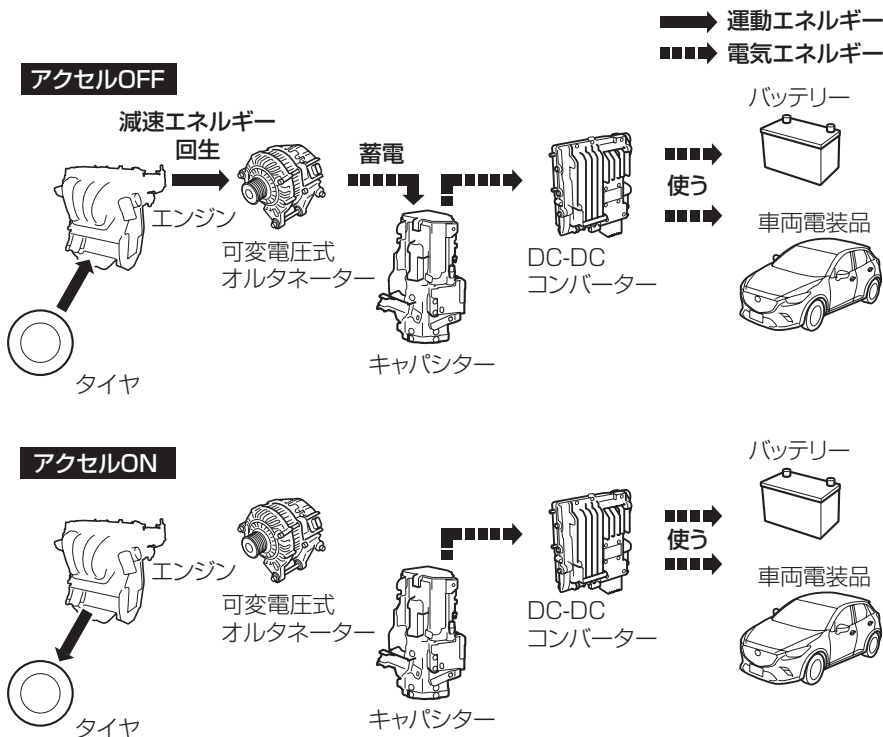
知識

- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため坂道発進補助機能は作動しません。
- 発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

i-ELOOP とは グレード/仕様別装備

i-ELOOP とは、減速エネルギー回生システムです。ブレーキ操作やエンジンブレーキで減速する際に発生する運動エネルギーを発電機により電気エネルギーに変換し、変換された電気エネルギーを蓄電器（キャパシターおよびバッテリー）に蓄えます。蓄電された電気エネルギーは、バッテリー充電やエアコン、ヘッドランプなどの車両電装品の電源として活用しています。

- 運動エネルギーを電気エネルギーに変換する発電機には、車両状態に応じて効率的に発電できる可変電圧式オルタネーターを採用しています。
- 発電された大量の電気エネルギーを瞬時に蓄え、すばやく取り出すことのできるキャパシターを採用しています。
- 蓄電された電気エネルギーを車両電装品で使用可能な電圧に降圧する DC-DC コンバーターを採用しています。



運転する
前に

運転する
ときに

快適な
使いかた

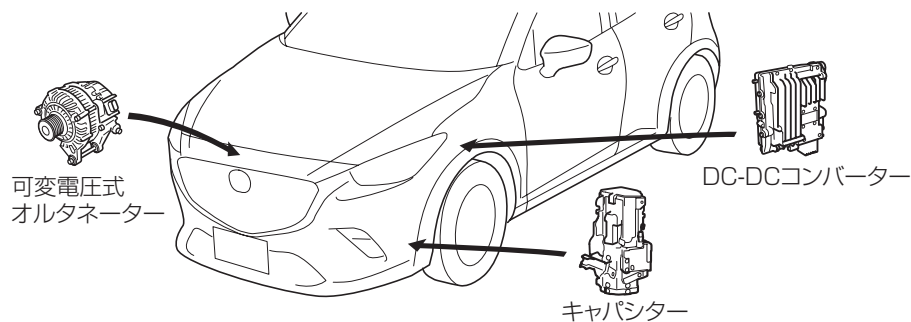
おし
しかた

トラ
ブルが
きたら

車両
仕様

さく
いん

2. 運転するときに i-ELOOP について



⚠ 注意



禁止

次のものには高電流が流れているため触れないでください。

- 可変電圧式オルタネーター
- DC-DC コンバーター
- キャパシター

📖 知識

- i-ELOOP のエネルギー回生状況を燃費モニターの i-stop/i-ELOOP 状態表示に表示します。
→ 116ページ「i-stop/i-ELOOP 状態表示」
- エアコンやヘッドランプなどの車両電装品の使用状況によっては燃費に差が生じることがあります。
- キャパシターを廃棄する場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。
詳しくは次の URL を参照ください。
<http://www.mazda.com/csr/environment/recycling>

燃費モニター

センターディスプレイ内の各アイコンを操作することにより i-stop、i-ELOOP 状態表示、燃費情報、i-stop 効果を切り替え表示します。また、運転終了後、エンディング表示が ON のときは、今回の運転のエネルギー効率実績などを表示します。

1. ホーム画面の アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 燃費モニターを選択します。
3. コマンダースイッチを操作、または画面にタッチしてメニューを表示します。
4. メニュー内のアイコンを選択します。各アイコンは次の様に機能します。

運転する
ときに

燃費モニター
のアイコン

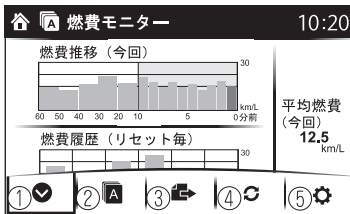
快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん



- ①メニュー表示を閉じます。
- ②アプリケーション画面にもどります。
- ③燃費モニターの表示を、i-stop、i-ELOOP 状態表示、i-stop 効果表示、燃費情報の順に切り替えます。
- ④燃費データをリセットします。
- ⑤次のセッティング画面を表示します。

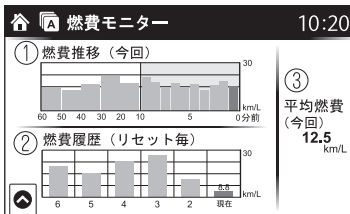
- エンディング表示の ON/OFF 切り替え
- 燃費データのリセットをトリップメーター (TRIP A) と同期させる機能の ON/OFF 切り替え

知識

電源ポジションを ON から OFF にしたときの燃費モニター画面が、次回電源ポジション ON したとき、最初の燃費モニター画面になります。

燃費情報

燃費に関する情報を表示します。



- ①過去 60 分間の燃費を表示します。
 - 過去 1 ~ 10 分間は、1 分間毎の燃費を表示します。
 - 過去 10 ~ 60 分間は、10 分間毎の燃費を表示します。
- ②過去 5 回分のリセット時の平均燃費とリセット後 (現在) の平均燃費を表示します。
- ③走行開始後の平均燃費を 1 分間毎に算出して表示します。

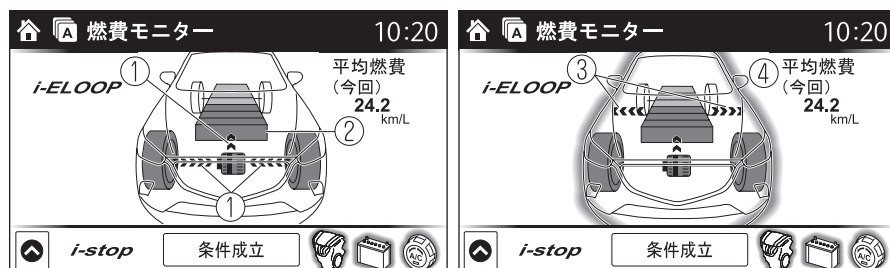
2. 運転するときに 燃費モニター

📖 知識

- 燃費データは、次の操作を行うとリセットされます。
 - ・ メニュー画面からリセットスイッチを押す。
 - ・ 燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のとき、トリップメーターで TRIP A をリセットする。
 - ・ トリップコンピューターに表示される平均燃費情報を消去する。
- 燃費データリセット後、平均燃費算出中は “———” が表示されます。
- 燃費データは、メニュー画面からリセットスイッチを押すとリセットできます。また、燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のときは、燃費モニターの燃費データをリセットする、またはトリップメーターの TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が同時にリセットされます。

i-stop、i-ELOOP 状態表示

i-stop の作動状況、および i-ELOOP のエネルギー回生状況を表示します。



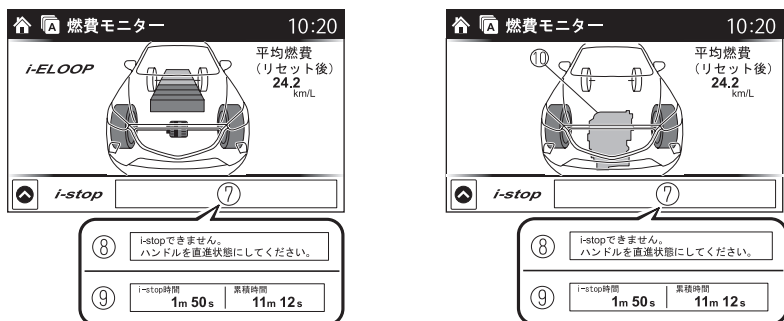
- ① 減速エネルギーを利用して発電した電気の量と、発電した電気が蓄電器に流れている状態を表示します。表示は発電量が増えると太くなります。
- ② 蓄電器に蓄えている電気の量を表示します。
- ③ 蓄電器に蓄えられた電気を電装品に供給している状態を表示します。(車全体が同時に発光します。)

④平均燃費を表示します。



⑤アイドリングストップが可能かどうかの準備状況を表示します。

⑥アイドリングストップ準備状況をアイコン（エンジン、バッテリーおよびエアコン）の色で表示します。準備ができたアイコンは発光します。発光していないアイコンは準備ができていないことを知らせます。



⑦車両停止時のアイドリングストップ状況を表示します。

⑧アイドリングストップしていないとき、アイドリングストップするために必要な運転者の操作を表示します。

⑨アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

⑩アイドリングストップの作動状況をエンジン部分の色で表示します。アイドリングストップ中は青色、アイドリングストップしていないときは灰色で表示します。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

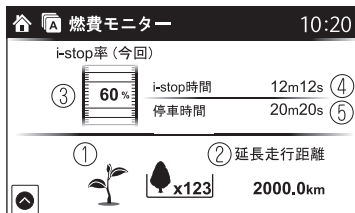
車両スペック

さくいん

2. 運転するときに 燃費モニター

i-stop 効果表示

エネルギー効率実績を表示します。



- ① システムの効果により削減された二酸化炭素 (CO₂) 排出量に応じてリーフ (葉) が成長します。成長したリーフは累計され、本数を表示します。
- ② アイドリングストップで延ばすことが出来た全走行距離を表示します。
- ③ 全停車時間のうち、アイドリングストップの割合を表示します。
- ④ アイドリングストップした時間を表示します。
- ⑤ 全停車時間を表示します。

エンディング表示

燃費モニターのエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エネルギー効率実績を表示します。

知識

燃費モニターとi-DMのエンディング表示を両方ONしている場合は、両方のエンディングが表示されます。

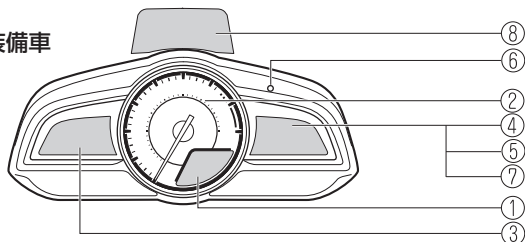
2. 運転するときに メーター、警告灯、表示灯の見方

メーター

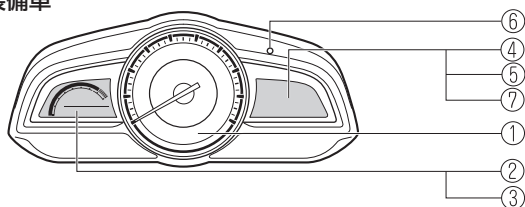
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

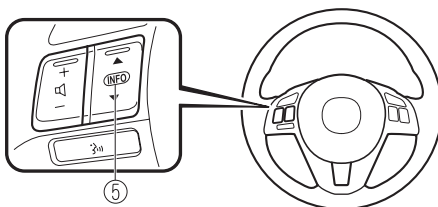
アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



ステアリングスイッチ



(1) スピードメーター	120ページ
(2) タコメーター	120ページ
(3) オドメーター / トリップメーター	121ページ
(4) 燃料計	124ページ
(5) トリップコンピューター	122ページ
(6) パネルライトコントロールスイッチ	125ページ
(7) 外気温表示	126ページ
(8) アクティブ ドライビング ディスプレイ	127ページ

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

スピードメーター

走行速度を km/h で示します。

知識

(アナログタコメーター非装備車)

電源ポジションを OFF にしてしばらくすると、指針が振れることがありますが異常ではありません。

タコメーター

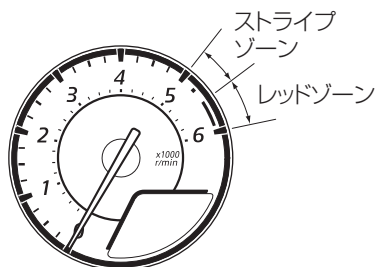
1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

注意

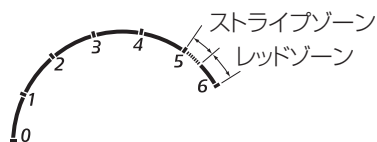


指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。

アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



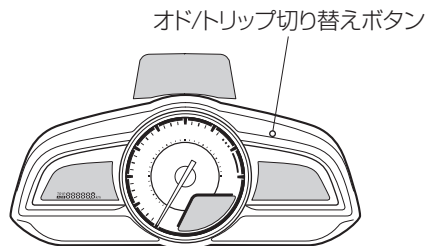
知識

ストライプゾーンはレッドゾーンに入らないようにするために、早めの変速を促すゾーンです。

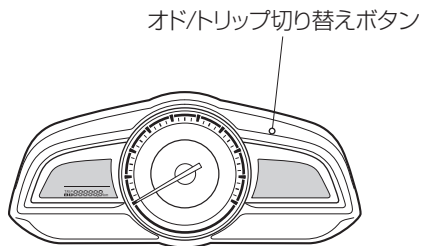
オドメーター / トリップメーター

オドメーター / トリップメーターが表示されているとき、オド / トリップ切り替えボタンを押すごとに、オドメーターとトリップメーターの表示が切り替わります。

アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します。

右側の数字は 100m 単位です。

2 種類 (TRIP A、TRIP B) の区間距離を計測することができます。

たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。

トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときオド / トリップ切り替えボタンを 1 秒以上押し続けます。

知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター / トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します (ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え / リセットされます)。
 - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
 - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
 - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
 - 走行距離が 9999.9km を超えたとき。
 - 燃費モニターとトリップメーターを同期させる機能が ON のときは、燃費モニターで燃費データのリセットを行なう、またはトリップメーターで TRIP A をリセットすると、燃費データと TRIP A が同時にリセットされます。
→ 115 ページ「燃費モニター」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

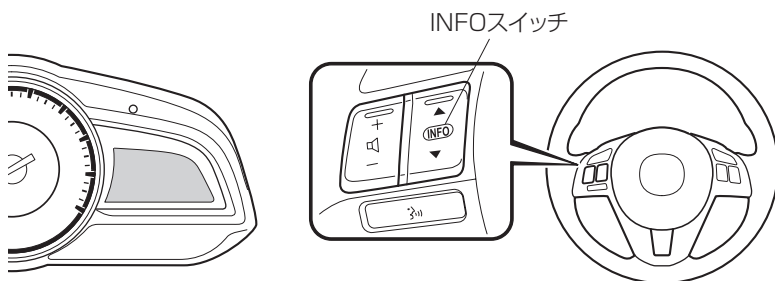
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

トリップコンピューター



電源ポジションが ON のとき、次の情報を表示します。

- 走行可能距離表示
- 平均燃費表示
- 瞬間燃費表示
- 平均車速表示

INFO スイッチを押すことに表示を切り替えます。

知識

- 表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、マツダ販売店にご相談ください。

走行可能距離表示

走行可能距離

280 km

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計の残量目盛りが“E”に近づくか、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
燃料残量警告灯が点灯すると、燃料計の目盛りが 1/4 以上になるまで燃料を加えないと走行可能距離表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。
- お車を購入されたときやバッテリー端子をはずした後など過去の燃費情報がないときは、実際に走行できる距離と異なる数値を表示することがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

平均燃費表示

平均燃費

20.0 km/L

お車を購入されたとき、または、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

快適
装備
の
使用
が
た

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押す、または、トリップメーターの TRIP A を“0.0”にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間 --- km/L を表示します。

お
手
入
れ
の

瞬間燃費表示

瞬間燃費

20.0 km/L

走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費を消費燃料から算出して表示します。

ト
ラ
ン
ス
ミ
ッ
シ
ョ
ン
の
起
き
た
ら
う

知識

車速が約 5 km/h 以下になると --- km/L を表示します。

車両
スペク

平均車速表示

平均車速

20 km/h

お車を購入されたとき、または、過去のデータを消去したときは、データを消去したときからの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押します。データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間 - - - km/h を表示させます。

燃料計

Full



電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。

→ 446ページ「処置する」

目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→ 65ページ「燃料補給口」

1/4



Empty

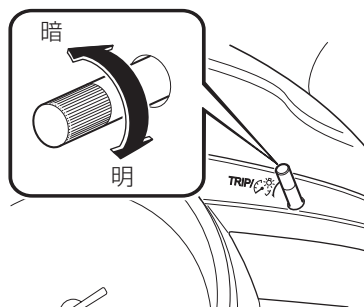


知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 1/4 以下の表示は、残量がより詳細に分かるように、目盛りを細かくしています。
-  の矢印は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

燃料が少なくなり、エンジン不調やエンストする場合は速やかに安全な場所へ車を移動させ、燃料を少なくとも 10L 補給してください。

パネルライトコントロールスイッチ



電源ポジションが ON で、車幅灯が点灯しているとき、メーターは減光されます。

知識

車幅灯が点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。

→ 157ページ「ヘッドランプの点灯 / 消灯」

パネルライトコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

- 左にまわすと暗くなり、最も暗い位置で音が鳴ります。
- 右にまわすと明るくなります。

減光解除機能

電源ポジションが ON で、メーターが減光しているときに、パネルライトコントロールスイッチを右に音が鳴るまでまわすと、減光を解除できます。周囲が明るく減光状態ではメーターが見えにくい場合は減光を解除してください。

知識

- 減光を解除しているときは、車幅灯が点灯しても、メーターは減光されません。
 - 減光を解除しているとき、センターディスプレイは常に昼画面になります。
- 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

運転
前に
する

運転
とき
に

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

外気温表示



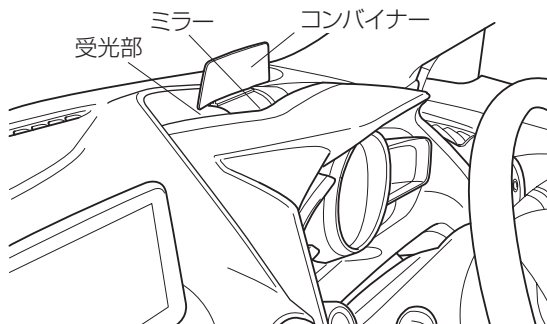
電源ポジションが ON のとき表示します。

知識

次のようなとき、外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行時

アクティブ ドライビング ディスプレイ グレード/仕様別装備



⚠ 警告



必ず守る

**ディスプレイの明るさや位置の調節は必ず車両を停止した状態で
行なう**

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

コンバイナーの角度調節・開閉は手で行わないでください。コンバイナーに指紋がつき見えにくくなったり、無理な力で操作することで作動部が破損し、故障の原因になります。



禁止

アクティブ ドライビング ディスプレイ付近に物を置かないでください。アクティブ ドライビング ディスプレイが作動できない、またはアクティブ ドライビング ディスプレイの作動のさまたげになり、故障の原因になります。



禁止

アクティブ ドライビング ディスプレイ付近に飲み物を置かないでください。水やその他の液体がアクティブ ドライビング ディスプレイにかかると装置の故障の原因となります。



禁止

表示の妨げとなりますので、アクティブ ドライビング ディスプレイの上にものを置いたり、コンバイナー / ミラー / 受光部にシール等を貼らないでください。



禁止

表示輝度をコントロールするためのセンサーが内蔵されています。その受光部を塞ぐと表示輝度が下がり、表示が見えにくくなります。



禁止

受光部に強い光を当てないでください。故障の原因になります。

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

知識

- サングラスを着用しているときは表示が見えにくいときがあります。サングラスをはずす、または輝度を調節してください。
- バッテリーを脱着したとき、またはバッテリーの電圧が低下してきたときは、調節した位置がずれることがあります。
- 気象条件（雨、雪、光、温度等）によっては、表示が見づらかったり、一時的に影響を受ける場合があります。

アクティブ ドライビング ディスプレイは次の情報を表示します。

- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) の作動状態と警告
- スマートブレーキサポート (SBS) の警告
- スマートシティブレーキサポート (SCBS) の作動状態
- AT 誤発進抑制制御の警告
- 車間認知支援システム (DRSS) の作動状態
- 車線逸脱警報システム (LDWS) の作動状態と警告
- ターン バイ ターン (TBT) (方向と距離)
- 車速

センターディスプレイで、次の項目の設定 / 調節ができます。

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、設定画面を表示します。
2. AD-Disp を選択します。
3. 設定したい項目を選択します。
 - アクティブ ドライビング ディスプレイの角度（高さ）
 - 画面の明るさを調節する方法（自動 / 手動）
 - 画面の明るさの初期設定（自動調節を選択した場合）
 - 画面の明るさの調節（手動調節を選択した場合）
 - ターン バイ ターン (TBT) の表示 / 非表示（ナビガイダンス）
 - アクティブ ドライビング ディスプレイの ON/OFF（表示）
 - 設定のリセット（リセット）

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽やかなドライブを楽しめるようになる運転技量の習得 / 向上をサポートします。

インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ

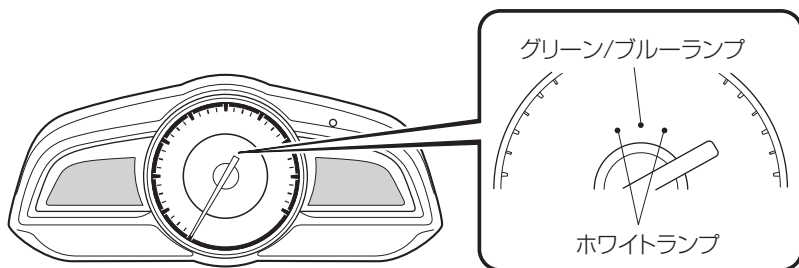
走行中の運転操作（アクセル、ブレーキ、ハンドル）の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の状況を知らせます。（コーチング機能）

知識

インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプを非表示にしているときは表示しません。

インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプの表示 / 非表示を変更することができます。

→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」



グリーンランプ

次の運転のときはランプが緑で点灯します。

内容	運転のポイント
やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。	● 加速をするとき / やめるときに、アクセルペダルをゆっくり踏む / もどす ● 減速をするとき / やめるときに、ブレーキペダルをゆっくり踏む / もどす ● 旋回をするとき / 直進にもどすときに、ハンドルをゆっくり切る / もどす

メーター、警告灯、表示灯の見方

ブルーランプ

次の運転のときはランプが青で点灯します。

内容	運転のポイント
しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。 走行タイプ 1 適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。 走行タイプ 2 加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。	走行タイプ 1 の場合 - 加速をするときに、最適な踏み込み量 / 速さでアクセルペダルを操作する - 減速をするときに、最適な踏み込み量 / 速さでブレーキペダルを操作する - 旋回をするときに、最適な切り込み量 / 速さでハンドルを操作する 走行タイプ 2 の場合 - 加速をするときに、一定の加速度を継続するようにアクセルペダルを操作する - 減速をするときに、一定の減速度を継続するようにブレーキペダルを操作する - 旋回をするときに、一定の横 G を維持するようにハンドルおよびアクセルペダルを操作する

ホワイトランプ

次の運転のときはランプが白で点灯します。

内容	運転のポイント
体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまりよくない運転です。	- 加速をするとき / やめるときに、アクセルペダルをやや急に踏む / もどす - 減速をするとき / やめるときに、ブレーキペダルをやや急に踏む / もどす - 旋回をするとき / 直進にもどすときに、ハンドルをやや急に切る / もどす

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示

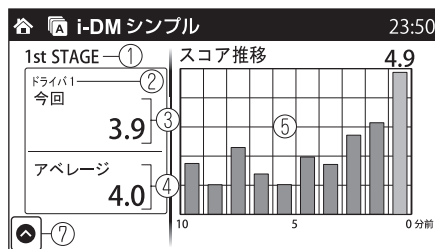
運転の評価をスコア（点数）で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) の情報をセンターディスプレイに表示します。

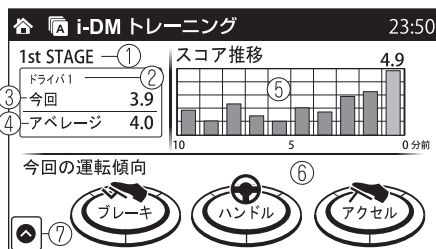
表示にはシンプルモードとトレーニングモードの 2 種類あります。

1. ホーム画面の **(A)** アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。
2. インテリジェント・ドライブ・マスターを選択します。

(シンプルモード)



(トレーニングモード)



- ①現在のステージを表示します。
- ②ドライバー名を表示します。
ドライバー名の登録 / 選択については、次のページを参照してください。
→ 133ページ「ドライバー選択」
- ③今回のスコアを表示します。
- ④アベレージスコアを表示します。
- ⑤スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは 1 分間のスコアを示し、過去 10 分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作が無かった場合はゼロのグラフが表示されます。
- ⑥今回の運転操作傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

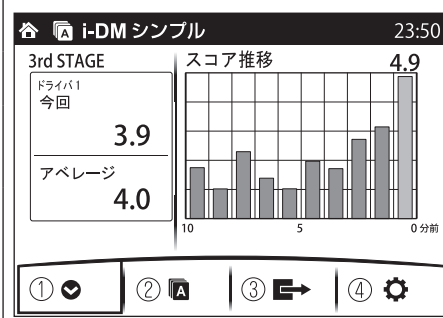
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

メーター、警告灯、表示灯の見方

⑦  アイコンを選択すると画面下部に次のメニュー画面が表示されます。

表示	内容
 3rd STAGE ドライバ1 今回 3.9 アベレージ 4.0 スコア推移 4.9 10 5 0分前 ①  ②  ③  ④ 	①メニュー画面を閉じます。
	②アプリケーション画面にもどります。
	③トレーニング / シンプル画面を切り替えることができます。
	④設定画面に進みます。

設定画面

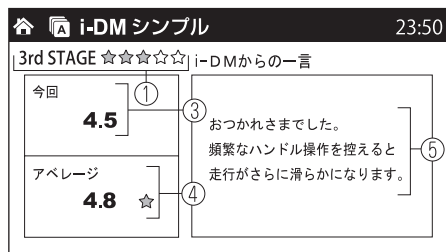
次の表示 / 非表示の切り替えができます。

- エンディング表示
- インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプ

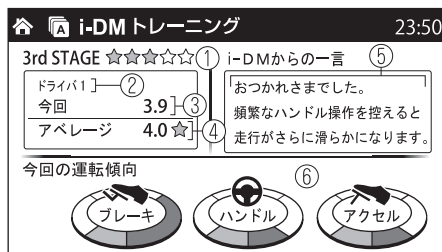
エンディング表示

i-DM のエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、現在のステージ、今回のスコア（現在の評価値）とアベレージスコア（過去 10 回のスコアの平均値）などを表示します。また今回のスコアに応じて、文字によるワンポイントアドバイスも表示します。（ティーチング機能）

（シンプルモード）



（トレーニングモード）



- ①現在のステージを表示します。★マークはアベレージスコア 4.8 以上を連続して獲得した回数を示しています。アベレージスコア 4.8 以上を 5 回連続で獲得すると★マークが 5 個になり次のステージへ上がります。
- ②ドライバ名を表示します。
- ③今回のスコアを表示します。
- ④アベレージスコアを表示します。

- ⑤ 運転評価メッセージと、ワンポイントアドバイスを表示します。
- ⑥ 現在の運転傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。

📖 知識

燃費モニターとi-DMのエンディング表示を両方ONしている場合は、両方のエンディングが表示されます。

運転
前に
する

ドライバ選択

センターディスプレイ装備車は、車両にドライバ名を5名分登録することができます。登録したドライバ名はインテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) で使用でき、ステージ/スコア情報などをドライバ名ごとに管理できます。

運転
とき
に

📖 知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

快適
装備
の
使
い
か
た

1. ホーム画面の  アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。
2. 「ドライバ選択」を選択します。
3. 「ドライバ選択」を選択すると、次の画面が表示されます。



お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

① ドライバ選択 ON/OFF 切り替え

ドライバ選択機能の ON/OFF を切り替えます。

ON のとき、ドライバの選択やドライバ名の編集ができます。OFF にすると、「ドライバ選択なし」が自動で選択されます。

車両
スペク

さく
いん

② ドライバ名リスト (1 ~ 5)

ドライバ名 (未登録の場合はドライバ番号) を5つ表示します。選択中のドライバ名にはチェックマークが表示されます。

エンジン始動後、登録されたキーごとにドライバ名が自動で選択されます。ドライバ情報を変更したい場合は、該当するドライバ名を選択します。

メーター、警告灯、表示灯の見方

知識

選択されたドライバ名で、インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) を表示し更新されます。

③ ドライバ選択なし

ドライバの識別が出来ないとき、またはドライバ選択機能が OFF のときは、「ドライバ選択なし」として表示されます。

④ ドライバ名編集

選択されているドライバ名の編集 / 登録画面へ移動します。

知識

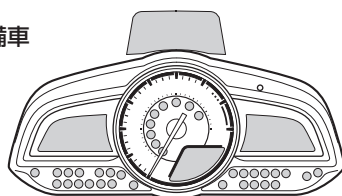
既に登録されているドライバ名と同一のドライバ名は登録できません。

警告灯、表示灯

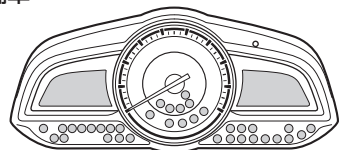
メーターはグレードや仕様により異なります。

メーター

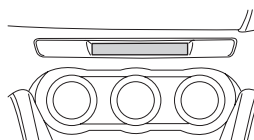
アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



ダッシュボード中央



警告灯

故障時などに点灯します。

表示	警告灯名称	ページ
	マスター警告灯 ^{*1}	440
	ブレーキ警告灯 ^{*1*2}	440
	ABS 警告灯 ^{*1}	440
	充電警告灯 ^{*1}	440
	オイル警告灯 ^{*1}	440
	エンジン警告灯 ^{*1}	440
 (赤)	高水温警告灯 ^{*1}	440
i-stop (橙)	i-stop 警告灯 ^{*1}	点灯したとき 108
		点滅したとき 440
AT	オートマチックトランスミッション警告灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	440
	電動パワーステアリング警告灯 ^{*1}	440
4WD	4WD 警告灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	440
	エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯 ^{*1}	440
	燃料残量警告灯	440

運転
前に

運転
するとき

快適
装備の
使用

お
手入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	警告灯名称	ページ
 PASS 	シートベルト警告灯	440
	半ドア警告灯	440
 (赤)	KEY 警告灯 ^{*1}	440
 (橙)	スマートブレーキサポート / スマートシティ ブレーキサポート (SBS/SCBS) 警告灯 グレード/仕様別装備	440
	LED ヘッドランプ警告灯 グレード/仕様別装備	440
i-ELOOP	i-ELOOP 警告灯 グレード/仕様別装備	440
	車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	点灯したとき 440
		点滅したとき 184
 (橙)	ハイビームコントロールシステム (HBC) 警告 灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	440
 (橙)	マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 警告灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	440

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

*2 パーキングブレーキをかけているときは点灯し続けます。

表示灯

システムが作動中などに点灯します。

表示	表示灯名称	ページ
 OFF	ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	195
 (緑)	KEY 表示灯	20
	レンチ表示灯 ^{*1}	139
	TCS/DSC 表示灯 ^{*1}	175、178
TCS OFF	TCS OFF 表示灯 ^{*1}	176
 (赤)	スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) 表示灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	219、226
 OFF	スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) OFF 表示灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	219、226
 OFF	車線逸脱警報システム (LDWS) OFF 表示灯 ^{*1} グレード/仕様別装備	189
	予熱表示灯 ^{*1}	140
DPF	DPF 表示灯 ^{*1}	252
i-stop (緑)	i-stop 表示灯	108

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さ
く
い
ん

メーター、警告灯、表示灯の見方

表示	表示灯名称	ページ
 (青)	低水温表示灯	139
	セレクトレバー位置表示 グレード/仕様別装備	143
 (緑)	ハイビームコントロールシステム (HBC) 表示灯 グレード/仕様別装備	183
	ヘッドランプ上向き表示灯	160、160
	方向指示 / 非常点滅表示灯	163、164
	セキュリティ表示灯 ^{*1}	68
 (緑)	マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 グレード/仕様別装備	206
 (橙)	クルーズメイン表示灯 グレード/仕様別装備	238
 (緑)	クルーズコントロール表示灯 グレード/仕様別装備	238
	車幅灯表示灯	157
	フォグランプ表示灯 グレード/仕様別装備	165

*1 作動確認のため、電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯、またはエンジンがかかると消灯します。点灯しない、または消灯しないときはマツダ販売店で点検を受けてください。

レンチ表示灯

メンテナンス時期になると点灯 / 点滅します。



点灯するとき

- あらかじめ設定されたメンテナンス時期になると点灯します。
設定 / リセット方法については、次のページを参照してください。
→ 253ページ「メンテナンスモニター」
- エンジンオイルが劣化しているときに点灯します。
- エンジンオイルの点検方法については、次のページを参照してください。
→ 373ページ「エンジンオイルの点検、補充」

知識

お車の使用条件によっては、別冊のメンテナンスノートに記載された交換時期よりも早く点灯することがあります。

点滅するとき

フューエルフィルター（セジメンタ）の水抜きが必要なときに点滅します。マツダ販売店へご相談ください。

低水温表示灯（青）



エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続けます。
十分に暖機しても点灯したままのときはマツダ販売店
で点検を受けてください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた

お車
の
入
り
か
た
の

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

予熱表示灯



電源ポジションを ON にすると点灯します。予熱が終了すると消灯します。

→ 96ページ「エンジンをかけるとき」

次のようなときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
- 点滅しているとき



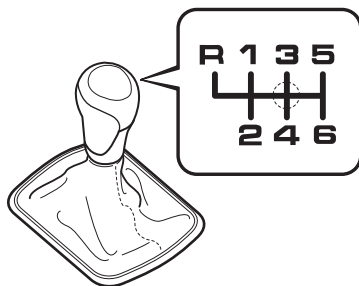
知識

予熱が終了したあと、電源ポジションが ON のままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い点灯することがあります。

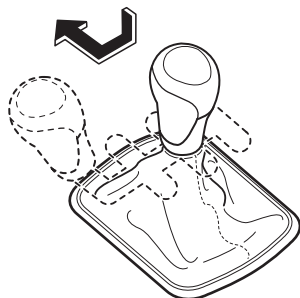
2. 運転するときに トランスミッションの使いかた

マニュアルトランスミッション

チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルを
いっぱい踏み込んでください。



○ニュートラル位置



マニュアルトランスミッションは、シフトの誤操作を
防ぐ装置が装備されています。

R にいれるときは、チェンジレバーを下方向へ押しな
がら R 方向へ操作してください。

⚠ 注意



必ず守る

R にいれるときは、車が完全に止まってから行なってください。トランスミ
ッションの故障につながるおそれがあります。



禁止

5 速から 4 速に変速するときは、チェンジレバーを横方向に押し過ぎないで
ください。思いがけず 2 速に入りトランスミッションの故障につながるおそ
れがあります。



禁止

R にいれるとき以外は、誤操作を防ぐためにチェンジレバーを下方向へ押さ
ないでください。

運転
する
前に

運転
する
ときに

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ン
ス
ミ
ッ
シ
ョ
ン
の
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに トランスミッションの使いかた

知識

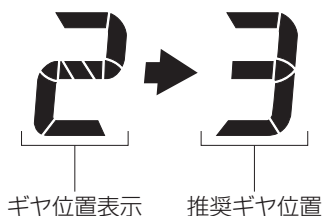
エンスト時、エンジンが完全停止したあと 3 秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。

次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。

- 運転席のドアが開いているとき
- 運転席のシートベルトが装着されていないとき
- エンスト後にクラッチペダルを完全に放していないとき
- エンジンが完全に止まっていない状態でクラッチペダルを踏んだとき

ギヤシフトインジケーター

ギヤシフトインジケーターは、燃費のよい快適な走行をサポートします。メーター内で選択したギヤ位置を表示し、実際の走行状態に適したギヤ位置に変更するよう運転者に知らせます。



表示	内容
ギヤ位置表示	現在のギヤ位置を表示
推奨ギヤ位置	走行状態に適したギヤ位置を表示

注意



ギヤシフトインジケーターを過信しないでください。実際の走行状況では、表示と異なるシフト操作が必要な場合があります。変速する前に道路や周囲の状況を正確に判断してください。

知識

次のようなとき、ギヤシフトインジケーターは表示しません。

- 停車時
- チェンジレバーがニュートラル位置または R のとき
- 後退時
- 発進時、クラッチを完全につないでいないとき
- 走行中に 2 秒以上クラッチペダルを踏み続けたとき

オートマチックトランスミッション

オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

クリープ現象

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーが P、N 以外にはっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかりと踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンすることができます。

- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

知識

アクセルペダルを踏み込んでいくと途中で重くなり、さらに踏み込むと軽くなります。この踏力の変化はキックダウンさせるためのアクセルペダルの踏み込み量を容易に認識し、キックダウンさせる・させないをコントロールするための機能です。

セレクトレバー位置表示



電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示します。

ギヤ位置表示

マニュアルモードのとき使用しているギヤ位置を表示します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

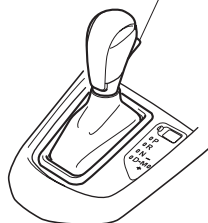
車両
スペック

さく
いん

トランスミッションの使いかた

各位置の働き

セレクトレバーボタン



○ P

P (パーキング)

駐車およびエンジンを始動する位置。

○ R

R (リバース)

車を後退させる位置。

○ N —

チャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいつていることを運転者に知らせます。

○ D-M ○
+

N (ニュートラル)

動力が伝わらない位置。

エンジンを始動することはできますが、安全のため P の位置で行なってください。

D (ドライブ)

通常走行する位置。

車速に応じて 1 速から 6 速までを自動変速します。

M (マニュアル)

マニュアル走行する位置。

ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

→ 146ページ「マニュアルモード」

シフトロック装置

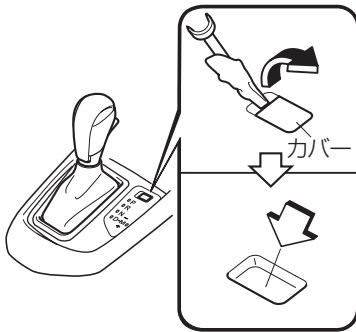
シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。



知識

電源ポジションが ACC または OFF のときは、セレクトレバーを P から動かすことはできません。

シフトロック装置の解除



万一、セレクトレバーをPから操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスイライバーなどで解除ボタンを押したまま、セレクトレバーボタンを押してセレクトレバーを操作します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

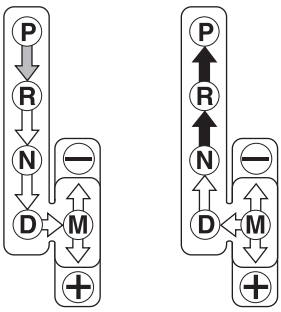
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

マイナスイライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスイライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

セレクトレバーの操作



レバー操作	
→	ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーボタンを押して操作します。
→	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作します。
→	セレクトレバーボタンを押して操作します。

知識

- 誤作動防止について**
→の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行なってください。
- 先にブレーキペダルを踏んでから操作する**
セレクトレバーをPから操作するとき、セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

トランスミッションの使いかた

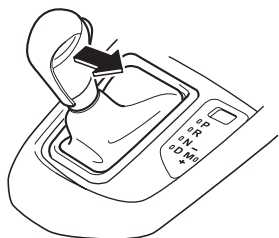
AAS モードについて

AAS（アクティブアダプティブシフト）モードとは、運転者が快適に運転するため、道路の状況や運転者の操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。

セレクトレバーがDの状態、登り坂や下り坂、コーナーや高地を走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することでAASモードになる場合があります。

走行状態、路面状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが遅れたり、行なわれない場合がありますが、異常ではありません。

マニュアルモード



セレクトレバーをDからMにいとるとマニュアルモードになります。

マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

セレクトレバーをMからDにいとるとマニュアルモードが解除されます。

知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは1速になります。
- Dレンジ5速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは4速になります。また、Dレンジ6速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは5速になります。

表示灯

マニュアルモード表示

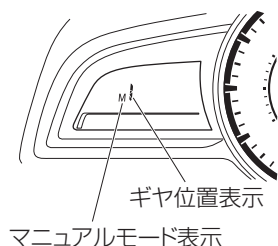
マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示灯の M が点灯します。

ギヤ位置表示

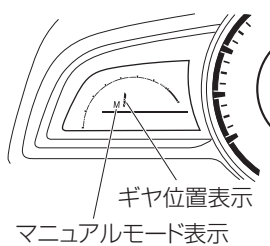
ギヤ位置が表示されます。

高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が 2 回点滅します。

アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



知識

自動変速になる場合があります

オートマチックトランスミッションフルード (ATF) の温度が高温になると、ギヤ位置表示が消灯しマニュアルモードが解除されるため自動変速になる場合があります。これはオートマチックトランスミッションを保護するための正常な機能です。しばらくして ATF 温度が下がるとギヤ位置表示が再び点灯しマニュアルモードでの走行が可能になります。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

トランスミッションの使いかた

シフトチェンジ（変速）のしかた

セレクトレバーまたはステアリングシフトスイッチによりシフトチェンジすることができます。

シフトアップ (M1 → M2 → M3 → M4 → M5 → M6)

セレクトレバー



（セレクトレバーでの操作）

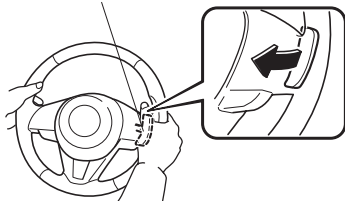
セレクトレバーを＋側に動かすとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。

（ステアリングシフトスイッチでの操作）

ハンドル右裏側の UP スイッチ（+ / OFF）を手前に引くとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。

ステアリングシフトスイッチ☆

UP スイッチ（+ / OFF）



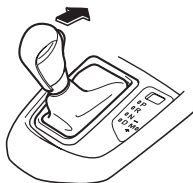
☆印はグレードや仕様などにより
装備の有無が異なります。

知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードではタコメーターの指針がレッドゾーンにはいらないように運転してください。なお、エンジン回転数が高いとき、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。
- ステアリングシフトスイッチは、走行中セレクトレバーが D レンジでも、一時的に使用することができます。また、UP スイッチ（+ / OFF）を一定時間以上手前に引いたときは自動変速にもどります。

シフトダウン (M6 → M5 → M4 → M3 → M2 → M1)

セレクトレバー



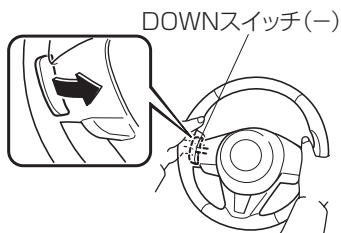
(セレクトレバーでの操作)

セレクトレバーを←側に動かすとシフトダウン（低速ギヤに変速）します。

(ステアリングシフトスイッチでの操作)

ハンドル左裏側の DOWN スイッチ（－）を手前に引くとシフトダウン（低速ギヤに変速）します。

ステアリングシフトスイッチ☆



☆印はグレードや仕様などにより
装備の有無が異なります。

⚠ 警告



必ず守る

高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避ける。

タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでも、アクセルペダルをいっばいに踏み込むとキックダウンします。
→ 143ページ「オートマチック車の特性」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

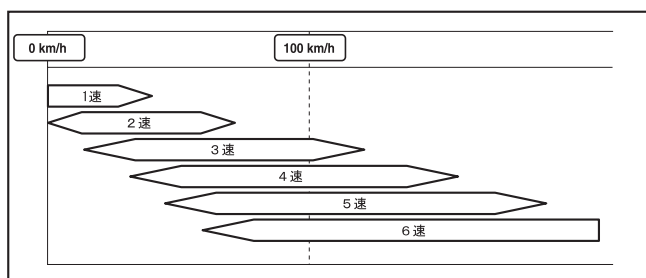
2 速固定モード

車速が約 10 km/h 以下のときにセレクトレバーを＋側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギヤ位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。

2 速固定モードのときに、セレクトレバーを＋側または－側に動かして 2 速以外にすると 2 速固定モードは解除されます。

シフトチェンジ（変速）制限速度

マニュアルモードでは、各ギヤ位置において次の表のような制限速度を設けています。制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



シフトアップ

制限速度より低いときはシフトアップしません。

シフトダウン

制限速度を超えているときはシフトダウンしません。

制限速度を超えていてシフトダウンしなかった場合には、ギヤ位置表示が 2 回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっばいに踏み込むと、シフトダウンします。



知識

2 速固定モード時も、キックダウンでシフトダウンします。

オートシフトダウン

減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。



知識

2 速固定モード時は、2 速のまま停車します。

ダイレクトモード グレード/仕様別装備

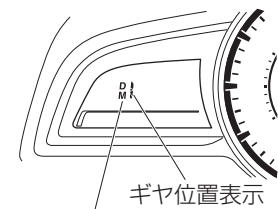
セレクトレバーをDの位置で走行中、ステアリングシフトスイッチを操作すると一時的にギヤ位置を切り替えることができます。

ダイレクトモードのときは、表示灯にDとMが点灯し、使用しているギヤ位置が表示されます。

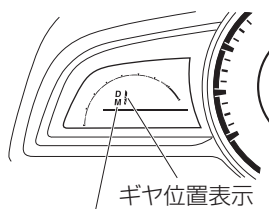
ダイレクトモードは、次の状態になると解除されます。

- UP スイッチ (+/OFF) を一定時間以上手前に引いたとき
- 一定時間以上走行したとき（操作時の走行状態により時間は異なります）
- 停車したとき、または、低速走行になったとき

アナログタコメーター装備車



デジタルタコメーター装備車



オートマチック車を運転するときに

発進または後退するとき



警告



禁止

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は慎重に行ってください。

1. ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
前進…D、M
後退…R
2. セレクトレバーの位置を確認します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

運転
前に
に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使用
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

トランスミッションの使いかた

注意



後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。

知識

- セレクトレバーを R にいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいつていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーを R に入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを N にもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

走行するとき

通常走行

セレクトレバーを D にいれて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速/減速します。ギヤは 1 速から 6 速の間で、自動的に変速されます。

マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーを D から M にいれると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

→ 146ページ「マニュアルモード」

急加速

セレクトレバーが D または M のとき、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

下り坂での走行

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。

マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて 1 段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N または P にいれます。

⚠ 警告



禁止

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。

セレクトレバーが P、N 以外にはいつているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。

意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。

駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジン进行を止めます。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備の
使用
に
注意

お手
入れ
の
注意

トラ
ブル
が
起き
たら

車両
仕様

さく
いん

トランスミッションの使いかた

警告



必ず守る

駐車するときは、セレクトレバーを P にいれ、パーキングブレーキをかける。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーを P にいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

エンジンをかけたまま駐車しない。

万一セレクトレバーが P、N 以外にはいていた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

セレクトレバーを P にいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーを P にいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

そのほかに気をつけること

警告



禁止

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキの操作

パーキングブレーキ

⚠ 警告

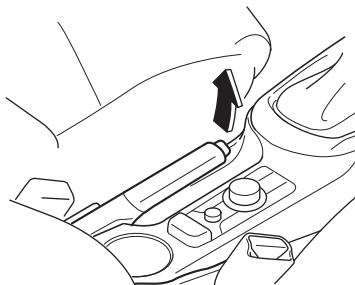


禁止

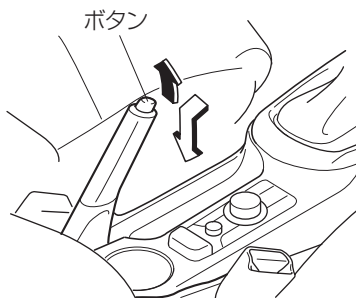
パーキングブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

かけるとき



解除するとき



レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

4WD

4WD について

グレード/仕様別装備

4WD は、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

走行するときは

オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。

4WD 車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

ランプスイッチ

ヘッドランプの点灯 / 消灯

電源ポジションが ON のとき使用できます。車幅灯、尾灯、番号灯のみ電源ポジションが ON 以外でも使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯 / 消灯します。

各ランプが点灯すると、メーター内の車幅灯表示灯が点灯します。



知識

- エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 通行区分（左側通行、右側通行）の反対側を走行しても、対向車がまぶしくないヘッドランプを装備しています。そのため、一時的に自動車の通行区分（左側通行、右側通行）の反対側を走行するときに、ヘッドランプの光軸を調整する必要はありません。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

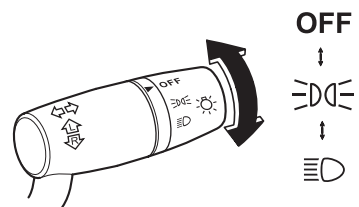
トラブルが
起きたら

車両
スペック

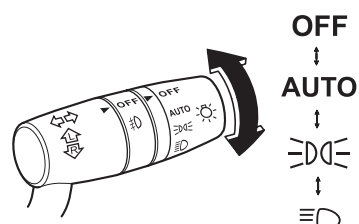
さく
いん

2. 運転するときに
スイッチの使いかた

標準タイプ



オートライト機能付きタイプ



スイッチ位置	電源ポジション	ランプ名称	
		ヘッドランプ	車幅灯、尾灯、番号灯
OFF	ON、ACC、OFF	消灯	
AUTO	ON	自動で点灯 / 消灯	
	ACC、OFF	消灯	消灯 ^{*1} / 点灯 ^{*2}
ON	ON、ACC、OFF	消灯	点灯
AUTO	ON	点灯	
	ACC、OFF	消灯	点灯 ^{*3}

- *1 電源ポジションが ON 以外のときに、スイッチ位置を**AUTO**にしても、ランプは点灯しません。
- *2 ランプが点灯しているときに、電源ポジションを ON から ON 以外にしても、ランプは点灯し続けます。
運転席ドアを開く、または点灯状態が 30 秒経過すると消灯します。
- *3 運転席ドアを開く、または点灯状態が 30 秒経過すると消灯します。

オートライト機能（オートライト機能付きタイプ）

電源ポジションが ON のとき使用できます。
ランプスイッチを**AUTO**の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯 / 消灯します。

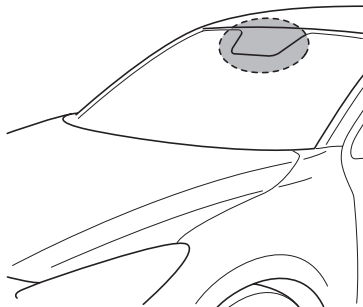
周囲の明るさ	明るい	薄暗い	暗い
ヘッドランプ	消灯	消灯	点灯
車幅灯、尾灯、番号灯	消灯	点灯	点灯

⚠ 注意



禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを感知できなくなり、オートライト機能が正常に作動しないことがあります。



📖 知識

- 長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。
この場合はランプスイッチを**OFF**の位置にすれば消灯します。
- 車幅灯やヘッドランプを点灯させるタイミングを変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

ランプ消し忘れ防止チャイム

ランプを点灯させたまま、電源ポジションを OFF にして、運転席ドアを開けると、チャイムが鳴りランプの消し忘れを知らせます。

📖 知識

- ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更することができます。
- 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転席
前に
に
運
転
す
る

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

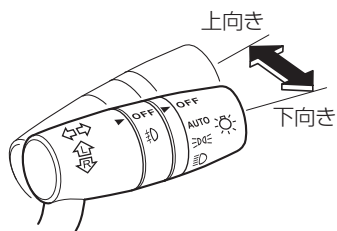
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

ヘッドランプの切り替え

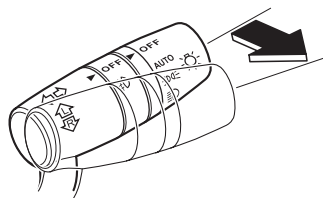


レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。



ヘッドランプが上向き（ハイビーム）で点灯しているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

パッシング合図



電源ポジションが ON のとき使用できます。ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き（ハイビーム）で点灯します。

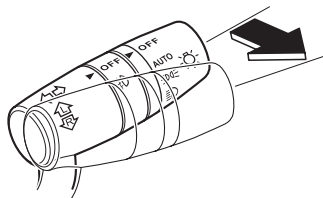


同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

カミングホームライトシステム

レバーを操作すると、ヘッドランプ（下向き）を点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションが ACC または OFF のときに、レバーを引くとヘッドランプが下向き（ロービーム）で点灯します。ドアを閉めてから一定時間経過すると消灯します。

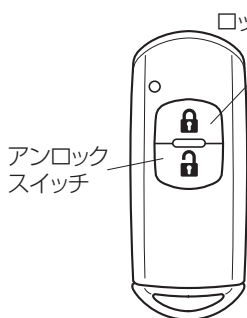
知識

- すべてのドアを閉めてからヘッドランプが消灯するまでの時間を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
- レバーを引いたあと、何も操作しない状態が3分間続いた場合、ヘッドランプは消灯します。
- ヘッドランプが点灯中に、もう一度レバーを引くとヘッドランプは消灯します。

リーピングホームライトシステム

車両から離れているときにキーのアンロックスイッチを押すと、ランプを点灯させるシステムです。

作動させるとき



電源ポジションおよびランプスイッチが、次の状態のときにキーのアンロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信するとランプが点灯します。一定時間（30秒）経過すると消灯します。

- 電源ポジション：OFF
- ランプスイッチ： または 

リーピングホームライトシステムを作動させると、次のランプが点灯します。
ヘッドランプの下向き（ロービーム）、車幅灯、尾灯、番号灯

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手持いの

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

知識

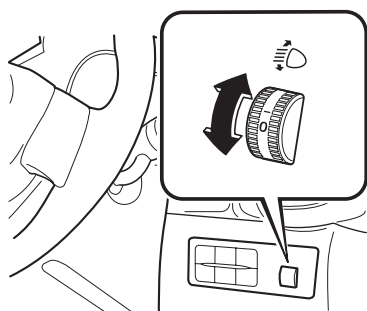
- ・ リーピングホームライトシステムの作動 / 非作動を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
- ・ キーのロックスイッチを押し、車両がキーの信号を受信すると消灯します。
- ・ ランプスイッチを00または0以外にすると消灯します。

ヘッドランプレベリング

オートタイプ

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

マニュアルタイプ



ヘッドランプが点灯しているとき、ヘッドランプの照らす方向を下向きに調節することができます。乗員や荷物が多いときなど、ヘッドランプが通常よりも上向きを照らしているときは、スイッチを下方向にまわしてヘッドランプの照らす方向を下向きにしてください。スイッチの数字が大きいほど下向きになります。

スイッチ位置の目安

積載状況		スイッチ位置
乗員	荷室	
運転席のみ乗車時	非積載時	0
	満載時	3
運転席と助手席乗車時	非積載時	0
全席乗車時	非積載時	1.5
	満載時	2

知識

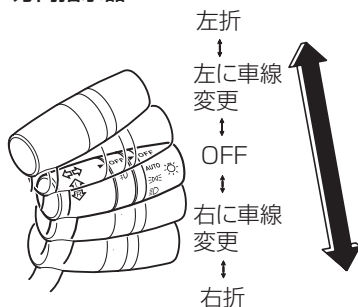
車検などで光軸調整をするときは、スイッチの位置を**0**にしてから行なってください。

方向指示器

方向指示器の操作

電源ポジションが ON のとき使用できます。

方向指示器



車線変更する場合

レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

左折、または右折する場合

レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

方向指示灯



知識

- 点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 方向指示器のブザーの音量を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快適
装備
の
使用
が
た
い

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら
う

車両
スペ
ック

さく
いん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

スリーフラッシュターンシグナル

レバーを操作し、すぐに手を離すと方向指示灯が3回点滅します。

知識

スリーフラッシュターンシグナルの作動 / 非作動を変更することができます。

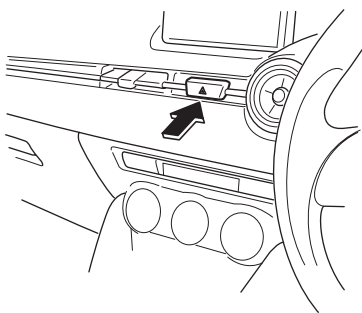
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

非常点滅灯スイッチ

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。

非常点滅灯スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示灯および、メーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。
もう一度押すと消灯します。



非常点滅表示灯



知識

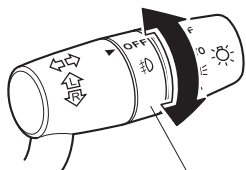
- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。
→ 174ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」
- エマージェンシーシグナルシステム (ESS) 作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させ、後続車に注意をうながします。
→ 174ページ「エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは」

フォグランプスイッチ グレード/仕様別装備

霧などで視界が悪いときに使用します。

電源ポジションが ON で、ランプスイッチが  または  の位置のとき使用できます。

フォグランプスイッチ



フォグランプスイッチ

OFF

↓



フォグランプスイッチを  の位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内のフォグランプ表示灯が点灯します。以下のいずれかの操作を行うと、フォグランプは消灯します。

- 電源ポジションを ON 以外にする。
- フォグランプスイッチを **OFF** の位置にする。
- ランプスイッチを **OFF** の位置にする。

フォグランプ表示灯



運転
前に
する

運転
とき
に

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

ワイパー / ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

警告



必ず守る

寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なう。

ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。



必ず守る

ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。



禁止

ウォッシャー液が十分にでないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。

知識

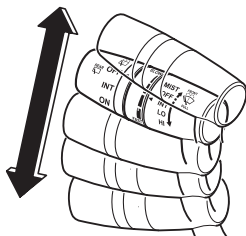
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースwitchを**OFF**の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

フロントワイパー / ウォッシャー

ワイパーの操作

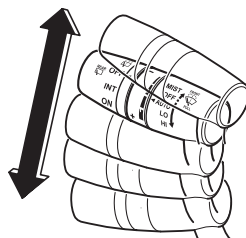
標準タイプ

MIST
↓
OFF
↓
INT
↓
LO
↓
HI



オートワイパー機能付きタイプ

MIST
↓
OFF
↓
AUTO
↓
LO
↓
HI



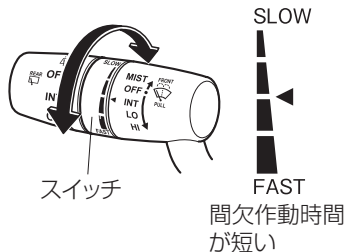
レバー位置	作動状態
MIST	レバーを上押ししている間作動
OFF	停止
INT	間欠作動
AUTO	オートワイパー機能 / 間欠作動 ^{*1}
LO	低速作動
HI	高速作動

*1 設定変更でオートワイパー機能を OFF にすると、間欠作動に固定されます。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ)」

間欠作動時間の調節 (標準タイプ)

間欠作動時間
が長い

レバーをINTの位置にしているとき、スイッチをまわすと、間欠作動時間を調節できます。



運転
前に
に
する

運転
の
とき
に
する

快適
な
装
束
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

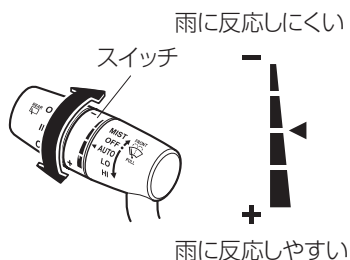
トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

オートワイパー機能（オートワイパー機能付きタイプ）



レバーをAUTOの位置にしているとき、レインセンサーが雨を検知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

雨量	作動状態
少ない	間欠作動
普通	低速作動
多い	高速作動

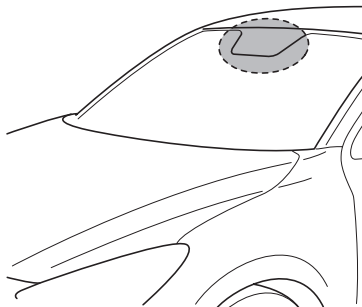
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

⚠ 注意



禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の雨量を検知できなくなり、オートワイパー機能が正常に作動しないことがあります。



禁止

電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。

- フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
- フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
- フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
- レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。



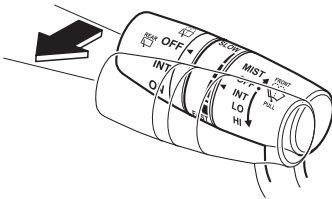
必ず守る

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

知識

- レインセンサーの温度が -10°C 以下、または 85°C 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物（氷や塩水などを含むもの）が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを**LO**または**HII**にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線などの影響により、ワイパーレバーが**AUTO**の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーを**OFF**の位置にして走行することをおすすめします。
- オートワイパー機能の作動 / 非作動を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

ウォッシャーの操作



レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快適
装備
の
使用
に
か
た

お手
入れ
の
し
か
た

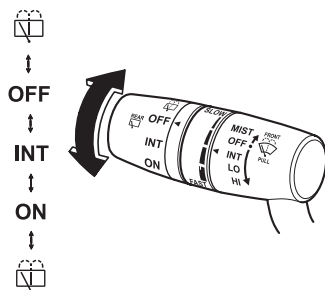
トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

2. 運転するときに スイッチの使いかた

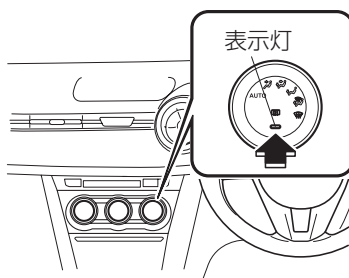
リヤワイパー / ウォッシャー



スイッチ位置	作動状態
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動 ^{*1}
OFF	停止
INT	間欠作動
ON	連続作動
	リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動

*1 ワイパーの作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、スイッチを**ON**の位置から上側にまわします。

リヤウインドーデフォグガー（曇り取り）スイッチ



リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。電源ポジションが ON のとき使用できます。スイッチを押すと約 15 分間作動します。作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。

⚠ 注意



リヤウインドーの内側には熱線が取り付けられています。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。

→ 396ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

📖 知識

エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

ミラーの曇り取り グレード/仕様別装備

電源ポジションが ON のとき、リヤウインドーデフォグスイッチを押すと、ドアミラーの曇りが取れます。

→ 170ページ「リヤウインドーデフォグ（曇り取り）スイッチ」

ホーン

ハンドルのマーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さ
く
い
ん

2. 運転するときに ABS について

ABS とは

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

警告



必ず守る

ABS を過信せず安全運転に心がける。

ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- タイヤチェーンを装着しているとき。
- 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。
- 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。

注意



必ず守る

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはならないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じる場合があります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

知識

- ABS は低速（約 10km/h 以下）では作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後に、モーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

2. 運転するときに ヒルローンチアシスト (HLA) について

ヒルローンチアシスト (HLA) とは

ヒルローンチアシスト (HLA) とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。

- **(マニュアル車)**
チェンジレバーが R 以外のときは上り坂で作動し、R のときは下り坂で作動します。
- **(オートマチック車)**
セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R のときは下り坂で作動します。

警告



禁止

ヒルローンチアシスト (HLA) を過信しない。

ヒルローンチアシスト (HLA) はあくまでも発進するときの補助装置です。システムが作動する時間は限られています (約 2 秒間) ので、システムを過信して発進すると車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあるため危険です。発進時は周囲の安全を確認してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。

知識

- 緩勾配の坂道ではヒルローンチアシスト (HLA) が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときや、車両が完全に停車していないときはヒルローンチアシスト (HLA) は作動しません。
- ヒルローンチアシスト (HLA) 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/DSC 作動表示灯が点灯しているときは、ヒルローンチアシスト (HLA) が作動しないことがあります。
- TCS OFF スイッチを押して TCS を解除してもヒルローンチアシスト (HLA) は解除されません。
- **(オートマチック車)**
アイドリングストップ中はヒルローンチアシスト (HLA) は作動しませんが、発進補助機能が作動して車両が動き出すことを防ぎます。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) とは

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は緊急制動時などに車両に急減速が生じたかを判断し、方向指示灯の点滅により、後続車に注意をうながすシステムです。

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) 作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させます。

ブレーキペダルを放すか、車両の減速度から急ブレーキではないと判断されたときにシステムは解除されます。

知識

- **点滅について**

すべての方向指示灯が高速点滅中に停車した場合、すべての方向指示灯は通常の周期で点滅し続けます。

- **作動について**

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) は約 60km/h 以下のときは作動しません。

- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム (ESS) が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS とは

TCS（トラクションコントロールシステム）は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

警告



TCS を過信せず安全運転に心がける。

TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCS を停止するときは、TCS OFF スイッチを押して停止してください。
→ 176ページ「TCS OFF スイッチ」

TCS/DSC 作動表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

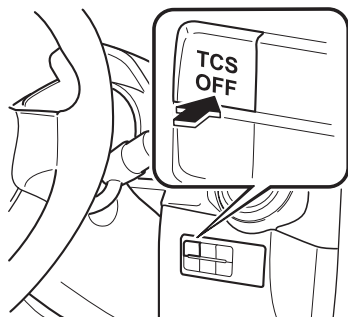
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS OFF スイッチ



スイッチを押すと TCS が停止され、メーター内の TCS OFF 表示灯が点灯します。
もう一度押すと TCS が作動可能な状態になり、TCS OFF 表示灯が消灯します。

知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS を停止します。
- TCS を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS は作動可能な状態にもどります。
- TCS を停止したときは、TCS が装備されていない車と同じ走行性能になります。
- TCS OFF スイッチを 10 秒以上押し続けると、その後 TCS OFF スイッチを押しても TCS を停止することができなくなります。
その場合、一度電源ポジションを OFF にして、再度電源ポジションを ON にすると、通常の TCS OFF スイッチの操作が可能になります。
- TCS を停止した状態でスマートシティブレーキサポート (SCBS) が作動すると、TCS は自動的に作動可能な状態に復帰します。

TCS OFF 表示灯

TCS OFF

点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- TCS OFF スイッチを押して、TCS を停止すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - TCS を停止していないのに点灯したとき。

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について

DSC とは

DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。

DSC は約 20km/h 以上で作動可能な状態になります。

「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。

→ 172 ページ「ABS とは」

→ 175 ページ「TCS とは」

⚠ 警告



必ず守る

DSC を過信せず安全運転に心がける。

DSC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

特に DSC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。

⚠ 注意



必ず守る

DSC を正常に作動させるために次の点をお守りください。

- 前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン（溝の模様）が同一のタイヤを装着してください。
- 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- 指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。

📖 知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

TCS/DSC 作動表示灯



点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
 - 走行中に点灯したとき。

点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

i-ACTIVSENSE とは グレード/仕様別装備

i-ACTIVSENSE（アイ・アクティブセンス）とは、フォワードセンシングカメラ（FSC）やレーザーセンサーなどを利用したマツダの先進安全・運転支援システムの総称です。これらのシステムは、アクティブセーフティ技術とプリクラッシュセーフティ技術で構成されています。

これらのシステムはあくまで、運転者の安全運転を前提としたシステムであり、運転負荷や事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

アクティブセーフティ技術とは

アクティブセーフティ技術とは、安全・安心な運転を支援し、事故を未然に防止する技術です。

認知支援システム

夜間視界

アダプティブフロントライティングシステム（AFS）..... 181ページ

ハイビームコントロールシステム（HBC）..... 182ページ

左右側面・後側方認知

車線逸脱警報システム（LDWS）..... 184ページ

ブラインドスポットモニタリング（BSM）..... 191ページ

車間認知

車間認知支援システム（DRSS）..... 197ページ

駐車場発進時後方認知

リアクロストラフィックアラート（RCTA）..... 200ページ

運転支援システム

車間距離

マツダレーダークルーズコントロール（MRCC）..... 203ページ

プリクラッシュセーフティ技術とは

プリクラッシュセーフティ技術とは、事故が避けづらい状況での衝突回避、避けられず衝突した際の被害低減を図る技術です。

低速度域衝突被害軽減

前進時

スマートシティブレーキサポート（SCBS）..... 215ページ

AT 誤発進抑制制御..... 220ページ

中・高速度域衝突被害軽減

スマートブレーキサポート（SBS）..... 224ページ

カメラ、センサについて

フォワードセンシングカメラ (FSC)

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、車線表示を検知したり、夜間走行時にはヘッドランプ、テールランプ、街灯を認識したりしています。フォワードセンシングカメラ (FSC) は、次のシステムが共用しています。

- ハイビームコントロールシステム (HBC)
- 車線逸脱警報システム (LDWS)
- スマートブレーキサポート (SBS)

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、フロントガラスの上のルームミラー付近に設置されています。

→ 227ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について **グレード/仕様別装備**」

レーダーセンサー (フロント)

レーダーセンサー (フロント) は、レーダーセンサーから送信される電波が前方車や障害物に反射し、もどってきた電波により対象物を検知します。レーダーセンサー (フロント) は次のシステムが共用しています。

- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC)
- 車間認知支援システム (DRSS)
- スマートブレーキサポート (SBS)

レーダーセンサー (フロント) は、ラジエーターグリルの裏側に設置されています。

→ 230ページ「レーダーセンサー (フロント) について **グレード/仕様別装備**」

レーザーセンサー (フロント)

レーザーセンサー (フロント) は、近赤外線レーザー光を照射し、前方車のリフレクター (反射板) や前方の障害物からの反射を測定して検知しています。レーザーセンサー (フロント) は次のシステムが共用しています。

- スマートシティブレーキサポート (SCBS)
- AT 誤発進抑制制御
- スマートブレーキサポート (SBS)

→ 233ページ「レーザーセンサー (フロント) について」

レーダーセンサー (リア)

レーダーセンサー (リア) は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。レーダーセンサー (リア) は次のシステムが共用しています。

- ブラインドスポットモニタリング (BSM)
- リアクロストラフィックアラート (RCTA)

レーダーセンサー (リア) はリヤバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。

→ 236ページ「レーダーセンサー (リア) について **グレード/仕様別装備**」

AFS（アダプティブフロンライティングシステム）とは

グレード/仕様別装備

AFS（アダプティブフロンライティングシステム）は、エンジン回転中、ヘッドランプが点灯しているとき、ハンドルの操作にあわせてヘッドランプの照らす方向を左右に自動で調節するシステムです。

知識

- 通行区分（左側通行、右側通行）の反対側を走行しても、対向車がまぶしくないヘッドランプを装備しています。そのため、一時的に自動車の通行区分（左側通行、右側通行）の反対側を走行するときに、ヘッドランプの光軸を調整する必要はありません。
- AFS（アダプティブフロンライティングシステム）を作動しないようにできます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

ハイビームコントロールシステム (HBC) とは グレード/仕様別装備

ハイビームコントロールシステム (HBC) は、フォワードセンシングカメラ (FSC) を使用することにより夜間走行時に前方の状況を判断し、ヘッドランプの上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を自動的に切り替えるシステムです。

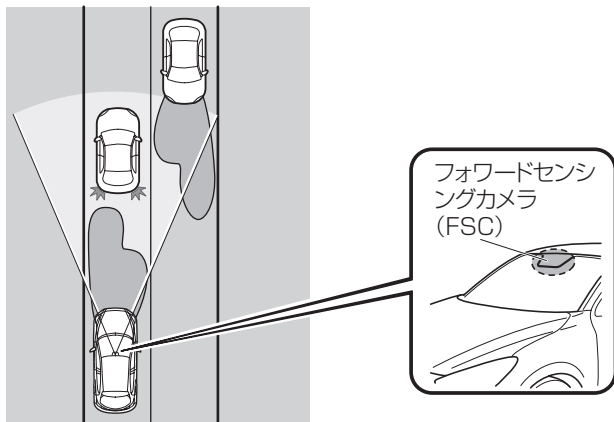
→ 227ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について グレード/仕様別装備」

車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がないときは、ヘッドランプは上向き (ハイビーム) に切り替わります。

次のときは、ヘッドランプは下向き (ロービーム) に切り替わります。

- 前方に前方車や対向車のランプ類を検知したとき
- 街灯が並んでいるエリアや、路面の明るい街中を走行しているとき
- 車速が約 20 km/h 未満のとき

ハイビームコントロールシステム (HBC) が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。



⚠ 注意



禁止

サスペンションの改造、ヘッドランプユニットの改造、カメラの取りはずしを行わないでください。ハイビームコントロールシステム (HBC) が正常に作動しなくなるおそれがあります。



必ず守る

システムを過信せず、常に周囲の状況に注意を払い、必要に応じて上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を手動で切り替えるなど、安全運転に心がけてください。

知識

次のような状況では、ヘッドランプの切り替わるタイミングが変化することがあります。適切に切り替わらない場合は、視界や道路状況、交通状況に応じて、上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を手動で切り替えてください。

- 周囲に街灯、電光掲示、信号機などの光源があるとき
- 周囲に反射板や標識などの反射物があるとき
- 雨、雪、霧などで視界が悪いとき
- カーブの多い道、起伏の激しい道を走行しているとき
- 前方車や対向車のランプが暗いときや電球切れしているとき
- 薄暗い早朝や夕暮れなどの暗さが不十分なとき
- 荷室やリヤシートに重い荷物をのせたとき
- 前方車が水をまき上げて走行するなど前方の視界状況が悪いとき

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

作動させるとき



電源ポジションが ON の状態でランプスイッチが **AUTO** の位置のときにヘッドランプを上向き（ハイビーム）にすると作動します。同時にメーター内のハイビームコントロールシステム（HBC）表示灯（緑）が点灯します。

周囲の明るさからハイビームコントロールシステム（HBC）が夜と判断すると作動します。

ランプスイッチを **AUTO** の位置以外にするか、下向き（ロービーム）またはパッシングにすると解除します。

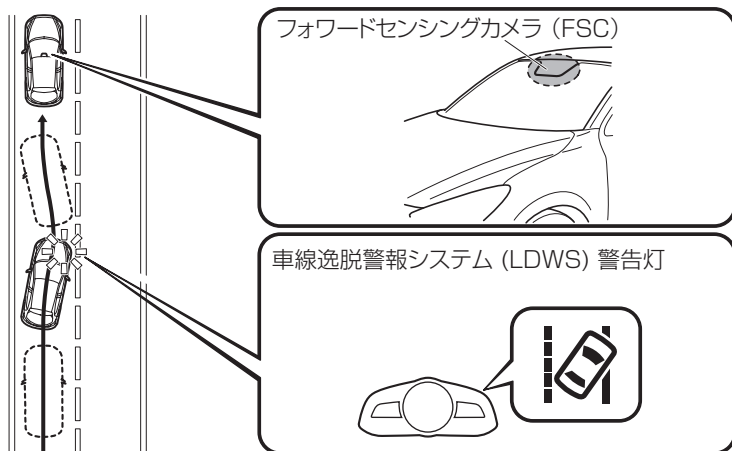
知識

- 車速約 30 km/h 以上で走行中に、前方に前方車や対向車がないときは、ヘッドランプは上向き（ハイビーム）に切り替わります。車速が 20 km/h 未満のときは、ヘッドランプはロービームに切り替わります。
- カーブを走行しているときは、ロービームからハイビームに切り替わらないことがあります。
- ハイビームコントロールシステム（HBC）を作動しないように変更できます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

車線逸脱警報システム (LDWS) とは グレード/仕様別装備

車線逸脱警報システム (LDWS) は自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせる装置です。走行中にフォワードセンシングカメラ (FSC) で車線の白線 (黄線) を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯の点滅と車線逸脱警報システム (LDWS) 警報チャイム、アクティブドライビング ディスプレイの表示 (アクティブドライビング ディスプレイ装備車) により運転者に知らせます。白線 (黄線) の整備された道路でご使用ください。

→ 227ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について グレード/仕様別装備」



⚠ 警告



禁止

次のような状況のときは、車線逸脱警報システム (LDWS) を使わない。

実際の走行状況にあわせた適切な作動ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急カーブのある道
- 悪天候のとき (雨、霧、雪のときなど)



禁止

車線逸脱警報システム (LDWS) を過信しない。

車線逸脱警報システム (LDWS) の機能には限界があります。常にハンドルの操作で進路を修正し、安全運転に心がけてください。車線逸脱警報システム (LDWS) は、前方不注意を補助するものではないため、車線逸脱警報システム (LDWS) を過信しすぎると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

サスペンションの改造を行わないでください。車線逸脱警報システム (LDWS) が正常に作動しなくなるおそれがあります。

知識

- 自車が車線を逸脱したときは、車線逸脱警報（警報音と警告表示）が作動します。適切にハンドルを操作し、車線に沿って車線の中央を走行するようにしてください。
- 車線変更などで方向指示器を操作すると、車線逸脱警報システム (LDWS) の警報を自動解除します。方向指示器をもどし、車線の中央付近を走行して、システムが白線（黄線）を検知すると、車線逸脱警報システム (LDWS) が復帰します。
- 急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作をしながら車線の白線（黄線）へ接近したときは、運転者が車線を変更すると判断し、車線逸脱警報システム (LDWS) の警報を自動解除します。
- 短時間のうちに連続して車線をはみ出したときは、車線逸脱警報システム (LDWS) が作動しない場合があります。
- 車線の白線（黄線）を検知していないときは、車線逸脱警報システム (LDWS) は作動しません。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

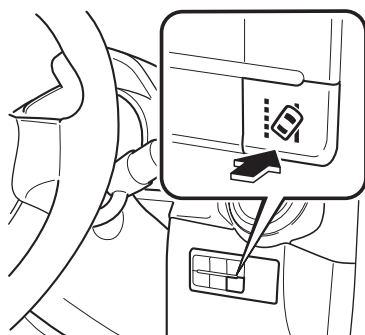
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

- 次のようなときは、車線の白線（黄線）を正しく検知することができず、車線逸脱警報システム（LDWS）が正常に作動しない場合があります。
 - ・ インストルメントパネルの上に置いた物が、フロントガラスに反射してカメラに写ったとき
 - ・ 荷室やリヤシートなどに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
 - ・ タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき
 - ・ 高速道路などで、料金所、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどの分岐路を走行するとき
 - ・ 白線（黄線）がかすれや汚れなどにより見えにくいとき
 - ・ 前方車が白線（黄線）の近くを走行して、白線（黄線）が見えにくいとき
 - ・ 天候（雨、霧、雪のときなど）により、白線（黄線）が見えにくいとき
 - ・ 工事による車線規制や仮設の車線がある区間を走行するとき
 - ・ 道路補修の消し残り線、影、残雪、雨のたまった轍など、白線（黄線）と紛らわしい線が見えるとき
 - ・ トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わるとき
 - ・ ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
 - ・ フロントガラスが汚れているときや曇っているとき
 - ・ 逆光を浴びて路面が光っているとき
 - ・ 雨あがりなどで、路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
 - ・ ガードレールなどの影が、道路上に白線（黄線）と平行して写っているとき
 - ・ 車線の幅が狭いときや広いとき
 - ・ 道路がうねっているとき
 - ・ 段差などにより車が大きく揺れたとき
 - ・ 2 本以上の白線（黄線）が隣接して描かれているとき
 - ・ 交差点付近に様々な路面表示や様々な形状のレーンマーカーがあるとき

作動させるとき



車線逸脱警報システム (LDWS) スイッチを押します。
メーター内の車線逸脱警報システム (LDWS) OFF 表示灯が消灯していることを確認します。
車線逸脱警報システム (LDWS) OFF 表示灯が消灯するとシステムが待機状態になります。

車線逸脱警報システム (LDWS) OFF 表示灯が消灯した状態で車線の中央を走行します。
次の条件をすべて満たすと、システム作動状態になります。

- 左右もしくは一方に白線（黄線）が引かれている車線の中央付近を走行しているとき
- 車速約 45 km/h 以上で走行しているとき
- 直線またはゆるやかなカーブの道路を走行しているとき

次のとき、車線逸脱警報システム (LDWS) は待機状態になります。

- 白線（黄線）を検知できないとき
- 車速が 40 km/h 未満になったとき
- 急なカーブを走行したとき
- 不適切な速度でカーブを走行したとき

知識

- 左右のどちらか一方の車線の白線（黄線）を検知するまでは、車線逸脱警報システム (LDWS) は待機状態のままになります。
- 左右のどちらか一方の車線の白線（黄線）を検知した場合、検知できていない方向への逸脱は警報できません。
- 車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断する距離、警報感度（警報しやすさ）を変更できます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

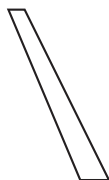
さ
く
い
ん

アクティブ ドライビング ディスプレイ 装備車

車線表示
待機状態



車線逸脱警報システム (LDWS) が待機状態、作動状態になると、アクティブ ドライビング ディスプレイ に車線表示が表示されます。



作動状態



自動解除

次のようなときは、車線逸脱警報システム (LDWS) が自動で解除され、メーター内の車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯が点灯します。アクティブ ドライビング ディスプレイ 装備車は、ディスプレイに車線表示 (待機状態) が表示されます。尚、車線逸脱警報システム (LDWS) が作動可能な状態になると自動で復帰し、車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯が消灯します。

- カメラ内部の温度が高温または低温になったとき
- カメラ付近のフロントガラスが曇ったとき
- カメラ付近のフロントガラスに遮蔽物があり前が見えないとき

警報の自動中止

次のような操作をおこなうと、運転者の意思で車線変更しているとシステムが判断し、車線逸脱警報システム (LDWS) の警報が自動で中止されます。尚、操作後は、車線逸脱警報システム (LDWS) が自動で復帰します。

- 急なハンドル操作をしたとき
- 急なブレーキ操作をしたとき
- 急なアクセル操作をしたとき
- 方向指示器を操作したとき (方向指示器がもどった後、進路を修正するための約 3 秒程度は、車線逸脱警報システム (LDWS) が作動しない場合があります)

知識

方向指示器を出したまま約 60 秒経過した後、車線の白線（黄線）に近づくと、車線逸脱警報システム（LDWS）が警報を行う場合があります。

解除するとき



車線逸脱警報システム（LDWS）を解除するときは、車線逸脱警報システム（LDWS）スイッチを押します。
車線逸脱警報システム（LDWS）OFF 表示灯が点灯します。

知識

電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、車線逸脱警報システム（LDWS）が作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときは車線逸脱警報システム（LDWS）は作動可能な状態のままです。

アクティブ ドライビング ディスプレイ 装備車

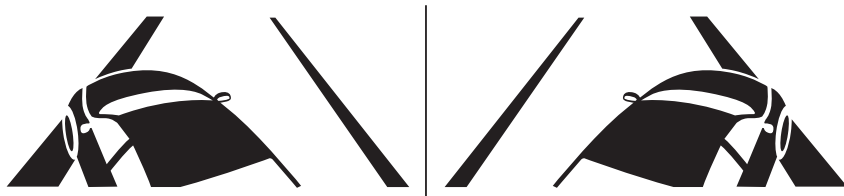
車線逸脱警報システム（LDWS）を解除すると、アクティブ ドライビング ディスプレイの車線表示が非表示になります。

車線逸脱警報

車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断すると、車線逸脱警報システム（LDWS）警報チャイムが鳴り、車線逸脱警報システム（LDWS）警告灯が点滅します。適切にハンドルを操作し、車線の中央を走行するようにしてください。

アクティブドライビングディスプレイ 装備車

車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した方向を、アクティブドライビングディスプレイに表示します。



運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん



知識

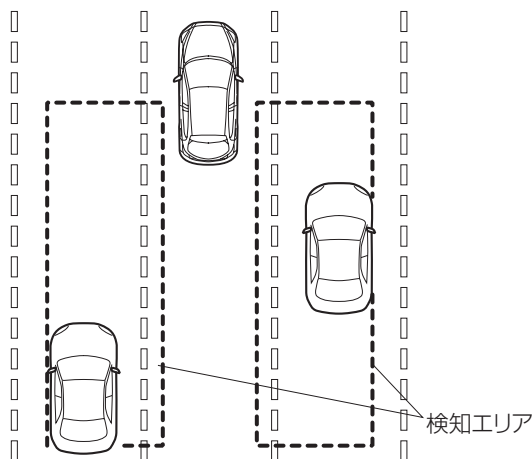
- 外部の騒音など状況によっては、車線逸脱警報システム (LDWS) 警報チャイムが聞こえない場合があります。
- 車線逸脱警報システム (LDWS) 警報音の種類、および音量を変更できます。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

ブラインドスポットモニタリング (BSM) とは グレード/仕様別装備

ブラインドスポットモニタリング (BSM) は、自車の後方から接近する車両の存在を知らせることにより、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。

ブラインドスポットモニタリング (BSM) は、車速が約 15 km/h 以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置したブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯を点灯させます。ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅するとともに警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。

当システムの検知エリアは、自車の左右に隣接する車線で、自車のフロントドア後端付近から自車の後方約 50 m までです。



警告



必ず守る

実際の車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

本システムは車線変更時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、隣接車線に車両が存在する場合でもブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

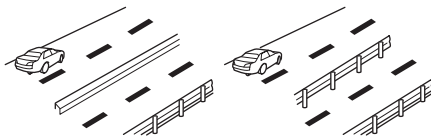
知識

- ブラインドスポットモニタリング (BSM) は次の条件をすべて満たしているときに作動します。
 - 電源ポジションが ON のとき
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを押してメーター内のブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯しているとき
 - 車速が約 15 km/h 以上のとき
- ブラインドスポットモニタリング (BSM) は次のときには作動しません。
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯している場合でも、車速が約 10 km/h を下回ったとき
 - チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R に入れて後退中のとき
- 次の場合、システムはブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
 - レーダーセンサー（リア）の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
 - レーダーセンサー（リア）付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき（氷、雪や泥が付着しているときは、これらを取り除いてください。）
 - 雪道を長時間走行したとき
 - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダーセンサー（リア）付近の温度が非常に高くなったとき
 - バッテリーの電圧が下がっているとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー（リア）が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 隣車線後方の検知エリアにいても、自車に接近してこない車両（接近車両はレーダーの検出データをもとにシステムが判断しています。）
 - 自車とほとんど速度差なく長い時間並走している車両
 - 対向車
 - 自車が追い越そうとしている隣接車線の車両
 - 道路幅が極端に広い場合の隣接車線の車両（レーダーセンサー（リア）の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）

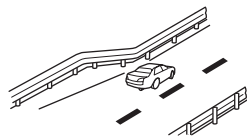
知識

- 次のような場合は、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅および警報チャイムの警告が遅れるか、点滅 / 警告ができないことがあります。
 - 車両が2つ離れた車線から隣接車線に車線変更してきたとき
 - 急勾配を走行しているとき
 - 峠を越えるとき
 - 回転半径が小さいとき（急カーブや交差点を曲がるときなど）
 - 自車線と隣接車線の高さに差があるとき
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後
- 道路幅が極端に狭い場合は、2車線横の車両を検知する場合があります。（レーダーセンサー（リア）の検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）
- 道路上および道路端の停止物（ガードレール、トンネル、側壁、駐車車両等）に対してブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯する場合があります。

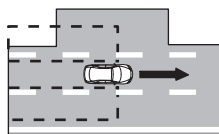
ガードレール、コンクリート壁等が
並行している場合



ガードレールや側壁の幅が
狭くなっているところ



トンネルの出入口やトンネル内の
側壁、待避所



- 市街地の交差点を曲がるときなどに、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅、または警報チャイムが複数回鳴る場合があります。
- トレーラー等をけん引したり、車両後部に自転車のキャリア等を装着した場合は、ブラインドスポットモニタリング (BSM) を解除してください。レーダーの電波がささげられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

知識

- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられているブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯の点灯 / 点滅が見えにくいことがあります。
 - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
 - フロント窓ガラスに曇、雪、汚れ、霜が付着しているとき
- チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R の位置にすると、リアクロストラフィックアラート (RCTA) に切り替わります。
→ 200ページ「リアクロストラフィックアラート (RCTA) とは

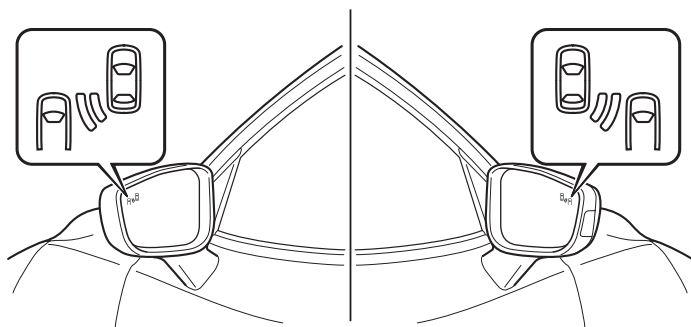
グレード/仕様別装備」

ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯/ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報チャイム

ブラインドスポットモニタリング (BSM) またはリアクロストラフィックアラート (RCTA) 作動中は、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯や警報チャイムで、隣接車線や自車後方に車両が存在することを知らせます。

ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯

ドアミラーに取り付けられています。後方からの接近車両を検知すると点灯します。電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。



前進時（ブラインドスポットモニタリング (BSM) 作動）

後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置したブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯します。また、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯 が点滅します。

後退時（リアクロストラフィックアラート (RCTA) 作動）

自車後方の左右に接近する車両を検知して、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅します。

減光解除機能

ランプスイッチを $\equiv$ 0 $\square$ または $\equiv$ 1 $\square$ の位置にすると、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯したときの明るさは減光されます。

雪道や霧での走行時など、周囲が明るく減光状態ではブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が見えにくい場合には、減光解除ボタンを押すと減光が解除されブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点灯したときの明るさが明るくなります。

→ 125ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報チャイム

ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅と同時に鳴ります。

知識

ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報チャイムの音量を変更できます。

→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯



- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを押して、ブラインドスポットモニタリング (BSM) およびリアクロスストラフィックアラート (RCTA) を停止すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを操作しても、点灯し続けるとき
 - 走行中に点灯したとき

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
か
る

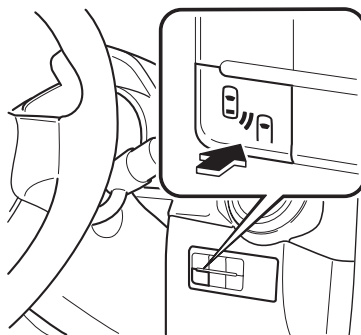
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さ
く
い
ん

ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチ



スイッチを押すとブラインドスポットモニタリング (BSM) およびリアクロストラフィックアラート (RCTA) が停止され、メーター内のブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯が点灯します。もう一度押すとブラインドスポットモニタリング (BSM) およびリアクロストラフィックアラート (RCTA) が作動可能な状態になり、ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯が消灯します。

知識

電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、ブラインドスポットモニタリング (BSM) およびリアクロストラフィックアラート (RCTA) が作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときはブラインドスポットモニタリング (BSM) およびリアクロストラフィックアラート (RCTA) は作動可能な状態のままです。

車間認知支援システム (DRSS) とは グレード/仕様別装備

車間認知支援システム (DRSS) は、車速が約 30km/h 以上のとき、レーダーセンサー（フロント）が前方車との車間距離を計測し、ディスプレイに表示します。さらに、車速に応じた適正な車間距離よりも前方車に近づきすぎた場合に、アクティブドライビングディスプレイにお知らせを表示して、適正な車間距離を保って運転ができるようアドバイスします。

警告



禁止

車間認知支援システム (DRSS) を過信しない

車間認知支援システム (DRSS) は前方車との安全な車間距離の目安をお知らせし、安全運転のアドバイスを行うシステムです。前方車の種類、天候状況、道路状況等によっては前方車の検知に限界がありますので、アクセルやブレーキの適切な操作を怠ると思われ事故につながるおそれがあります。周囲の安全を確認してブレーキペダルやアクセルペダルを踏むなど、前方車や後続車との車間距離を十分に確保してください。

知識

- 次の条件をすべて満たしているときに車間認知支援システム (DRSS) は作動します。
 - ・ 電源ポジションが ON のとき
 - ・ 車間認知支援システム (DRSS) が ON のとき
 - ・ セレクトレバーが R レンジ以外するとき
 - ・ 車速が約 30km/h 以上のとき
- システムの作動対象は 4 輪車両です。
- バイクや自転車等にも車間認知支援システム (DRSS) が作動することがあります。
- 次の条件のときは、車間認知支援システム (DRSS) が正常に作動しないことがあります。
 - ・ DSC が故障しているとき
 - ・ 前方車が極低速のとき
- 次の対象物には作動しません。
 - ・ 対向車
 - ・ 静止物（停車車両、障害物）
- 車間認知支援システム (DRSS) を作動しないようにできます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

ディスプレイ表示

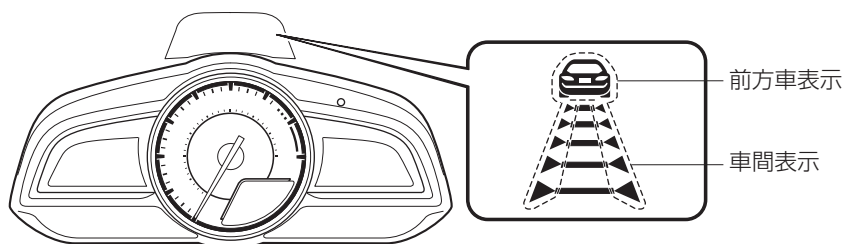
車間認知支援システム (DRSS) の作動状態をアクティブドライビングディスプレイに表示します。

システム故障時は、スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) 警告灯 (橙) が点灯します。センターディスプレイで点灯理由を確認してください。

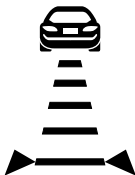
→ 440ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」

知識

電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、車間認知支援システム (DRSS) が作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときは車間認知支援システム (DRSS) は作動可能な状態になります。



車間表示の目安^{*1}

ディスプレイ表示	車間距離の目安 (約 40 km/h 走行時)	車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)
	約 25 m	約 50 m
	約 20 m	約 40 m

ディスプレイ表示	車間距離の目安 (約 40 km/h 走行時)	車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)
	約 15 m	約 30 m
	約 10 m	約 20 m
 (前方車表示が点滅)	約 10 m 以下	約 20 m 以下

*1 車間距離は車速によって異なります。

 知識

ディスプレイ表示の前方車表示が点滅する車間距離を変更できます。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
ス
ペ
ック

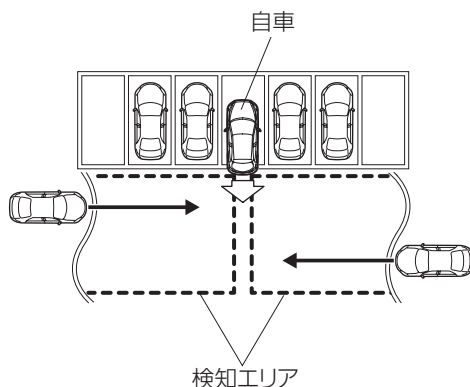
さ
く
い
ん

リアクロストラフィックアラート (RCTA) とは

グレード/仕様別装備

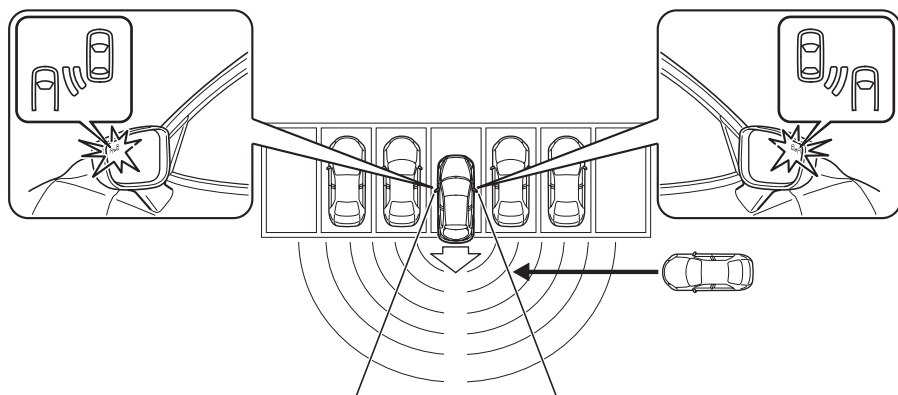
リアクロストラフィックアラート (RCTA) は、自車の後方に接近する車両の存在を知らせることにより、車両後退時の後方確認を支援するシステムです。

リアクロストラフィックアラート (RCTA) は、駐車場等から後退するときに自車の左右に接近した車両を検知して、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯の点滅、および警報チャイムにより運転者に危険を知らせます。



リアクロストラフィックアラート (RCTA) 作動

1. チェンジレバー (マニュアル車) またはセレクトレバー (オートマチック車) を R の位置にすると、リアクロストラフィックアラート (RCTA) が作動します。
2. 車両が接近し、自車と衝突の可能性がある場合、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅、同時に警報チャイムが鳴ります。



⚠ 警告



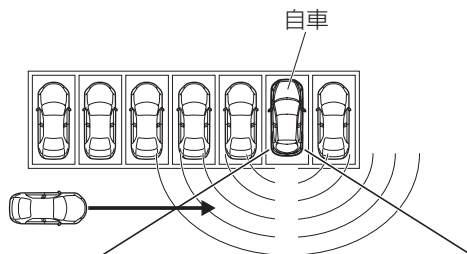
必ず守る

実際の車両後退時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

本システムは車両後退時の後方確認を支援するシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、自車後方に車両が存在する場合でもブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れる場合があります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

📖 知識

- 次の場合、システムはブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯を点灯させ、システムの作動を停止します。ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯 が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
 - ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
 - レーダーセンサー (リア) の車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき
 - レーダーセンサー (リア) 付近のリアバンパー上に雪や氷などが多量についたとき
 - 雪道を長時間走行したとき
 - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダー付近の温度が非常に高くなったとき
 - バッテリーの電圧が下がっているとき
- 次の場合、レーダーセンサー (リア) が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 後退時の車速が約 10 km/h 以上のとき
 - 隣接した壁や駐車車両によりレーダーセンサー (リア) の検知エリアが妨げられているとき (レーダーセンサー (リア) の検知エリアが妨げられない位置まで、自車を後退させてください。)



運転
前に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

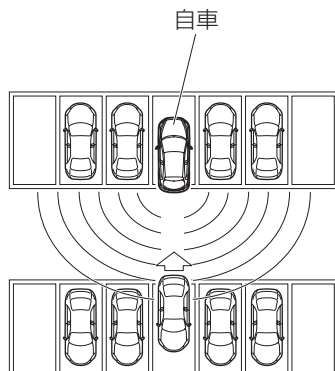
車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

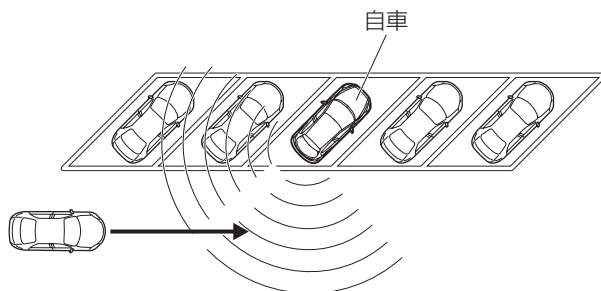
2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

知識

- 自車の真後ろから車両が接近してきたとき



- 車両が斜めに駐車されているとき



- ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを押してシステムを作動可能な状態にした直後
- 次のような場合は、ドアミラーに取り付けられているブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯の点灯 / 点滅が見えにくいことがあります。
 - ドアミラーに氷や雪が付着しているとき
 - フロント窓ガラスに曇りや雪、汚れ、霜が付着しているとき
- トレーラー等をけん引したり、車両後部に自転車のキャリア等を装着した場合は、リアクロスストラフィックアラート (RCTA) を解除してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) とは

グレード/仕様別装備

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は、レーダーセンサー（フロント）が前方車を検知することで、運転者がアクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、約 30 km/h ~ 100 km/h の設定した速度での定速走行や、前方車との車間距離を車速に応じて一定に保つ追従走行ができるシステムです。

また、追従走行時に前方車が急ブレーキをかけたときなど、前方車に接近したときは、警報音と同時にディスプレイに警告を表示し、車間距離を十分確保するようお知らせします。マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は高速道路、加速 / 減速の繰返しが少ない自動車専用道路などで使用してください。



警告



禁止

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を過信しない

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は運転者の負担を軽減するために、走行速度を一定に保つ、あるいは、前方車を検知して前方車との車間距離を車速に応じて一定に保つシステムですが、前方車の種類や状態、天候状況、道路状況等によっては前方車の検知に限界があります。また、前方車が急ブレーキをかけたときや他車が割り込んだときなどは十分な減速ができず、前方車に接近するなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。周囲の安全を確認してブレーキペダルやアクセルペダルを踏むなど、前方車や後続車との車間距離を十分に確保してください。



禁止

思わぬ事故につながるおそれがあるため、次のような場所では使用しない

- 急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分に取れない道路や頻繁に加減速を繰り返すような道路（道路状況に合わせた走行はできません。）
- 高速道路などでインターチェンジ・サービスエリア・パーキングエリアへ進入するなど本線から出るとき（本線上で追従走行していたときは、自車が本線から出ることにより前方車がいなくなり、設定された速度まで加速する場合があります。）
- 凍結路や積雪路などの滑りやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります。）
- 長い下り坂（車間距離を保つため自動的にブレーキを踏み続け、ブレーキが効かなくなる恐れがあります。）



必ず守る

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を使用しないときは、安全のためマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を OFF にする

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

注意



けん引されるとき、または、他の車をけん引するときは誤って作動しないようにシステムを OFF にしてください。



シャシーローラーを使用するときは、シャシーローラー上を走行中に誤って作動させないように、システムを OFF にしてください。

知識

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は次のすべての条件を満たしているときに作動できます。

- 車速が約 30 km/h ~ 100 km/h のとき
- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が ON のとき
- ブレーキペダルを踏んでいないとき
- パーキングブレーキがかかっていないとき
- DSC が正常に作動できる状態のとき

• (マニュアル車)

- チェンジレバーが R、N 以外のとき
- クラッチペダルを踏んでいないとき

• (オートマチック車)

セレクトレバーが D または M (マニュアルモード) のとき

次のときは、前方車と接近したときでも、警報が作動しない場合があります。

- 前方車と同程度の速度で走行しているとき
- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) をセットした直後
- アクセルペダルを踏んでいるとき、またはアクセルペダルを離した直後
- 他車が割り込んだとき

次の対象物については、対象物として検知しません。

- 対向車両
- 歩行者
- 静止物 (停車車両、障害物等)
- 前方車が極低速のときは、前方車を正しく検知できない場合があります。

追従走行をするときはバイク、自転車等の 2 輪車を前方車として設定しないでください。

接近警報が頻繁に作動するような状況では、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を使用しないでください。

知識

追従走行時は前方車の速度にあわせて加速や減速を行います。車線変更などで加速が必要なときや、前方車の急ブレーキなどで急接近したときは、状況に応じてアクセルペダルで加速、ブレーキペダルで減速を行ってください。

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を使用して走行しているときは、セレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車) を操作してもマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が解除されないため、意図したエンジンブレーキがかかりません。減速が必要なときは、設定速度を下げるか、ブレーキペダルを踏んでください。

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 自動ブレーキ作動中は、ブレーキランプが点灯しますが、下り坂を設定車速、または前方車に追従して一定車速で走行中はブレーキランプが点灯しないときがあります。

追従走行を解除し、定速走行のみを作動するように切り替えることができます。

→ 212ページ「定速走行機能」

運転中に

運転するとき

快適装備の使用に

お取り扱いの

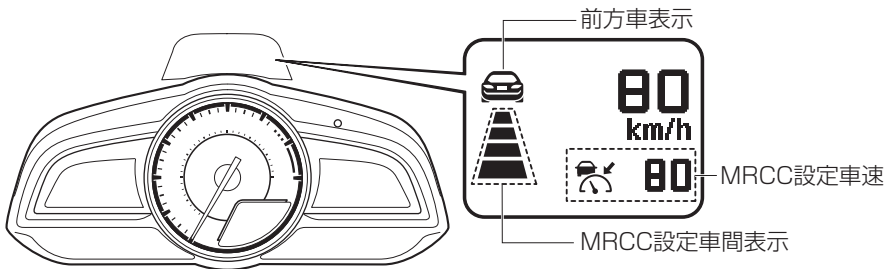
トラブルが

車両仕様

さくいん

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) ディスプレイ表示

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) の設定状況および作動状態をアクティブドライビング ディスプレイでお知らせします。

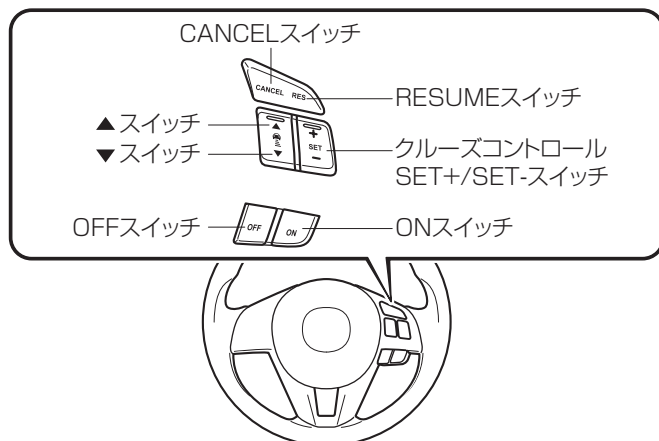


接近警報

追従走行時に前方車が急制動を行ったときなど前方車に接近したときは、警報音が「ピピピピピ…」と鳴り続け、アクティブドライビングディスプレイにブレーキ警告が表示されます。周囲の安全を確認してブレーキペダルを踏むなど、前方車との車間距離を十分に確保してください。また、後続車との車間距離も確保してください。

ブレーキ！

設定するとき



ON スイッチを押すと速度の設定や追従走行時の車間距離の設定ができる状態になり、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) ディスプレイ表示がアクティブドライビングディスプレイに表示されます。

知識

- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を ON にしたまま電源ポジションを ACC または OFF にしたとき、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は自動的に OFF になります。
- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を ON にした状態で、ON スイッチを約 2 秒押し続けると、定速走行機能に切り替わります。

速度を設定するとき



1. アクセルペダルの操作で設定したい速度に調節します。
2. SET + または SET - スイッチを押すと定速走行をはじめます。ディスプレイに設定速度が表示され、車間表示の白線表示が白色の塗りつぶし表示に変わります。同時にマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 (緑) が点灯し、チャイムが 1 回鳴ります。

走行状態	ディスプレイ表示
定速走行時	 80 km/h  80
追従走行時	  80 km/h  80

知識

- 定速走行中に前方車を検知すると、ディスプレイに前方車表示が表示され、追従走行を行います。また、前方車を検知しなくなったときは、ディスプレイの前方車表示が消灯し、定速走行に切り替わります。
- 設定速度より速い速度で走行している車両を前方車としての追従走行はできません。アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。
- ディスプレイの車間距離表示が白線表示のとき、SET + または SET - スイッチを押すとチャイムが 3 回鳴る場合があります。そのときは速度が設定できないことをお知らせしています。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

追従走行時の車間距離を設定するとき

▲スイッチを押すことにより車間距離を短く設定します。▼スイッチを押すことにより車間距離を長く設定します。車間距離は長、中、短、極短の4段階で設定できます。

車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)	ディスプレイ表示
長 (約 50m)	 80 km/h  80
中 (約 40m)	 80 km/h  80
短 (約 30m)	 80 km/h  80
極短 (約 25m)	 80 km/h  80

知識

- 車間距離は速度により異なり、速度が遅いほど車間距離は短くなります。
- 電源ポジションを ACC または OFF にしたときは、次回エンジン始動時に、前回設定した車間距離が自動的に設定されます。

設定速度を変更するとき

スイッチで加速するとき

SET +スイッチを押したまま、設定車速を変更すると 10 km/h ずつ調整することができます。

また SET +スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度を 5 km/h ずつ調節することができます。

たとえば、SET +スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 20 km/h 上がります。

スイッチで減速するとき

SET -スイッチを押したまま、設定車速を変更すると 10 km/h ずつ調整することができます。

また SET -スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度を 5 km/h ずつ調節することができます。

たとえば、SET -スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 20 km/h 下がります。

アクセルペダルで加速するとき

アクセルペダルを踏んで、希望の速度になったところで、SET +スイッチまたは SET -スイッチを押し、手を放します。スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を放すと、もとの設定速度にもどります。

注意

アクセルペダルを踏んでいるときは、警報やブレーキ制御が作動しません。

知識

- 追従走行中に SET +スイッチで加速したとき、設定速度の調節はできますが加速しません。前方車がいなくなったとき、設定速度になるまで加速し続けます。設定速度はディスプレイの設定速度表示で確認してください。
- アクセルペダルを踏んでいるときは、ディスプレイの車間距離表示は白線表示になります。
- 設定速度の下限は 30 km/h です。スイッチ操作で設定速度が 30 km/h になったときは、SET -スイッチを押しても約 30 km/h の定速走行を行います。このときマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) は解除されません。

解除するとき

OFF スwitchを押すと、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が解除されます。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
方法

お
手
入
れ
の
方
法

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
仕様

さく
いん

一時的に解除されるとき

次のようなときは、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が一時的に解除され、アクティブ ドライビング ディスプレイにマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) キャンセル表示が表示され、同時に MRCC 表示灯 (緑) が消灯します。

- CANCEL スイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- パーキングブレーキがかかったとき
- **(オートマチック車)**
セレクトレバーが P、N または R レンジになったとき
- **(マニュアル車)**
チェンジレバーが R になったとき

次のようなときは、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) キャンセル表示とチャイムが 1 回鳴ります。

- 車速が 25 km/h 以下になったとき
- DSC が作動したとき
- TCS が一定時間作動したとき
- スマートブレーキサポート (SBS) が作動したとき
- スマートシティブレーキサポート (SCBS) が作動したとき
- 下り坂を長時間走行したとき
- システムに異常が発見されたとき
- **(マニュアル車)**
 - チェンジレバーが一定時間ニュートラル位置だったとき
 - クラッチペダルを一定時間踏んだとき
- エンストしたとき

知識

- 雨・霧・雪など天候が悪いときやラジエーターグリルの前面が汚れたときもマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が解除される場合があります。
- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が一時的に解除されたときは、再度作動条件をすべて満たしているとき、RESUME スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。
- OFF スイッチを押してマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を解除したときは、RESUME スイッチを押しても、もとの設定速度にもどりません。

シフトアップ / シフトダウン要求表示について（マニュアル車）

マツダレーダークルーズコントロール（MRCC）作動中に、シフトアップ要求表示、またはシフトダウン要求表示が表示されることがあります。このときは、ギアの位置が不適切であるためシフトチェンジをしてください。

要求	ディスプレイ表示
シフトアップ	
シフトダウン	

知識

- シフトアップ要求表示が表示されてもシフトアップしないときはエンジンに負荷がかかり、マツダレーダークルーズコントロール（MRCC）が自動的に解除される、または、エンジンを損傷するおそれがあります。
- シフトダウン要求表示が表示されてもシフトダウンしないときはマツダレーダークルーズコントロール（MRCC）が自動的に解除される、または、エンストすることがあります。

運転中に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 警報

システムの故障や、使用上の注意が必要なときはマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 警報でお知らせします。チャイムによって確認してください。

警報	確認すること
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を設定するときに、チャイムが 3 回鳴るとき	車速が低すぎるなど、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が作動可能な条件を満たしていません。
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 作動時に、チャイムが 1 回鳴るとき	車速が 25 km/h 以下になるなどで、マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が解除されています。
走行中にチャイムが断続的に鳴るとき	前方車との車間距離が近すぎます。周囲の安全を確認し、減速してください。
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 作動時に、チャイムとメーター内のマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 警告灯 (橙) が点灯するとき	システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

定速走行機能

追従走行を解除し、定速走行のみを作動するようにする機能です。

車速を約 30 ～ 100 km/h の間に設定できます。

高速道路、加速 / 減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

警告

禁止

次のような場所では使用しない。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）
- 急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、設定速度をこえることがあります）
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）



必ず守る

安全運転に心がける

定速走行機能使用中は追従走行を行わないため、警報やブレーキ制御が作動しません。周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなど、前方車との車間距離を十分に確保し、安全運転を心がけてください。

定速走行機能に切り替えるとき

マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) を ON にした状態で、ON スイッチを約 2 秒押し続けると、定速走行機能に切り替わります。

同時にメーター内のマツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 (緑) が消灯し、アクティブドライビングディスプレイにクルーズコントロール表示が表示されます。



警告



必ず守る

定速走行機能を使用しないときは、必ず OFF にする。

常に使用できる状態にしておくと、誤って定速走行機能を作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

速度を設定するとき

アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。

SET + または SET - スイッチを押すと定速走行をはじめます。

知識

- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- SET + スイッチを押したままにすると加速をはじめます。SET - スイッチを押したままにすると減速をはじめます。

設定速度をあげるとき

次の操作で設定速度を上げることができます。

スイッチで加速するとき

SET + スイッチを押したまま、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節 (約 1 km/h) ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4 km/h 上がります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

アクセルペダルで加速するとき

アクセルペダルを踏み、希望の速度になったところで SET + または SET - スイッチを押します。

スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

設定速度を下げるとき

SET スイッチを押し続け、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節（約 1 km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4 km/h 下がります。

解除するとき

OFF スイッチで解除するとき

OFF スイッチを押すと、定速走行機能が解除されます。

ON スイッチで解除するとき

ON スイッチを約 2 秒押し続けると、定速走行機能が解除され、追従走行が可能な状態に切り替わります。

次のようなときは、定速走行機能が自動的に解除されます。車速が 30 km/h 以上であれば、RESUME スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- CANCEL スイッチを押したとき。
- ブレーキペダルを踏んだとき。
- パーキングブレーキをかけたとき。

（マニュアル車）

- クラッチペダルを踏んだとき。
- チェンジレバーをニュートラルの位置にしたとき

（オートマチック車）

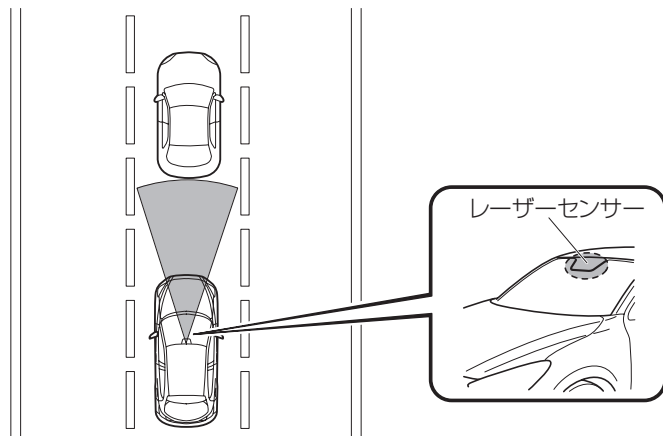
- セレクトレバーを N または P レンジにしたとき

知識

- 設定速度より、約 15 km/h 以上下がったとき、定速走行機能が解除されることがあります。
- 車速が 30 km/h 未満になると、定速走行機能が解除されます。この場合、車速を 30 km/h 以上にして RESUME スイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。定速走行機能を設定しなおしてください。

スマートシティブレーキサポート (SCBS) とは

スマートシティブレーキサポート (SCBS) は車速が約 4 km/h ～約 30 km/h で走行中に前方車をレーザーセンサー（フロント）が検知し、前方車との衝突を回避できないと判断したときに、ブレーキ制御 (SCBS ブレーキ) を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。また自車と前方車との相対速度が約 20 km/h より低いときは、衝突を回避できる場合があります。なお、約 4 km/h ～約 30 km/h でシステム作動範囲に入っているときに、運転者がブレーキペダルを踏んだときは、ブレーキが素早く確実にかかるよう補助します。（ブレーキアシスト (SCBS ブレーキアシスト)）



運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

警告



必ず守る

システムを過信しない

- スマートシティブレーキサポート (SCBS) は、あくまでも衝突時の被害を軽減するシステムです。システムを過信してアクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スマートシティブレーキサポート (SCBS) は、前方車 (4 輪車両) に対して作動するシステムです。2 輪車や歩行者に対しては作動保障しません。
- スマートシティブレーキサポート (SCBS) のレーザーセンサー (フロント) はルームミラー付近に設置され、AT 誤発進抑制制御と共用しています。スマートシティブレーキサポート (SCBS) の正しい作動のため、次のことをお守りください。
 - レーザーセンサー (フロント) 付近のフロントガラス表面にステッカー (透明なものを含む) などを貼り付けしないでください。レーザーセンサー (フロント) が前方車や障害物を正しく検知できず思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - フロントガラスにガラスコーティング剤などを使用しないでください。レーザーセンサー (フロント) が前方車や障害物を正しく検知できず思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - レーザーセンサー (フロント) の分解などを行なわないでください。
 - 飛び石などでフロントガラスのレーザーセンサー (フロント) 周辺に傷などが認められるときは、ただちにスマートシティブレーキサポート (SCBS) の使用を停止し、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。レーザーセンサー (フロント) の周辺にひび割れや引っかき傷などがあるまま運転を続けると意に反して作動し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
作動を停止させるときは次のページを参照してください。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」
- フロントガラスやフロントワイパーを交換する際は、マツダ販売店に相談してください。



禁止

サスペンションを改造しない

車高や車の傾きが変わると前方車や障害物を正しく検知できないため、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行する際はスマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止してください。



必ず守る

4 輪ともすべて指定されたサイズで、同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンのタイヤを使用してください。また、磨耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。タイヤを混ぜて使用すると、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が正常に作動しなくなるおそれがあります。



必ず守る

レーザーセンサー (フロント) は、ガラスの汚れを検知してお知らせする機能を備えていますが、ビニール袋や氷、雪などが付着した場合など、状況によっては検知できない場合があります。このようなときは前方車を正しく判断できず、正しい制御ができないおそれがあります。常に前方を注意して運転してください。



必ず守る

シャシーローラーを使用するときは、シャシーローラー上を走行中に誤って作動しないようにシステムを停止してください。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」

📖 知識

- スマートシティブレーキサポート (SCBS) は、運転者が意図的に運転操作 (アクセル操作、ハンドル操作) を行なったときは作動しません。
- スマートシティブレーキサポート (SCBS) は次の条件のとき作動します。
 - エンジンがかかっているとき
 - スマートシティブレーキサポート (SCBS) 警告灯 (橙) が点灯していないとき
 - 車速が約 4 km/h ~ 約 30 km/h のとき
 - スマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止していないとき
 - DSC が故障状態でないとき

運転
前に
に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

- スマートシティブレーキサポート (SCBS) は近赤外線レーザー光を照射し、前方車のリフレクター（反射板）からの反射を測定して前方車を検知しています。そのため、次のようなときは、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が作動しない場合があります。
 - 車両形状等により反射作用が低い車両
 - 前方車が著しく汚れているとき
 - 雨・霧・雪など天候が悪いとき
 - ウインドウウォッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
 - フロントガラスが汚れているとき
 - ハンドルを大きく切った状態や、アクセルを踏み込んだ状態で、前方車に接近しているとき
 - 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
 - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両
- 次のような状態のときはスマートシティブレーキサポート (SCBS) が正常に作動しない場合があります。
 - 荷室やリヤシートへ重い荷物をのせたとき
 - 前方車と部分的な接触の可能性があるとき
 - カーブが連続する道路やカーブの出入口を走行しているとき
 - ルーフレールなどを装着してレーザーセンサー（フロント）をおおうような長尺物をのせたとき
 - 前方車の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
 - 偏摩耗の著しいタイヤを装着して走行しているとき
- 次のようなときはレーザーセンサー（フロント）が前方車と判断し、スマートシティブレーキサポート (SCBS) が作動する場合があります。
 - カーブ入口に路側物があるとき
 - カーブで対向車両とすれ違うとき
 - 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
 - ETC ゲートを通過するとき
 - ビニールカーテン、旗などを潜って通行するとき
 - パイロンなどのプラスチック類
 - 2 輪車、歩行者、動物や立ち木
- **(マニュアル車)**
SCBS ブレーキの作動により車両が停止した場合、クラッチペダルを踏み込まないとエンジンが停止します。

スマートシティブレーキサポート (SCBS) 表示灯 (赤)



スマートシティブレーキサポート (SCBS) 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

運転
前に
する

自動ブレーキ作動表示 (アクティブ ドライビング ディスプレイ装備車)

SCBS

自動ブレーキ作動

SCBS ブレーキ作動中やブレーキアシスト (SCBS ブレーキアシスト) 作動中に、アクティブドライビングディスプレイに「SCBS 自動ブレーキ作動」と表示されます。

運転
時に
する

快適
装備の
使用
した

知識

- SCBS ブレーキ作動中やブレーキアシスト (SCBS ブレーキアシスト) 作動中は、衝突警報音が断続的に鳴ります。
→ 450ページ「チャイムが鳴ったときは」
- SCBS ブレーキの作動により車両が停止した場合、ブレーキペダルを踏まないと、約 2 秒後にチャイムが鳴り、SCBS ブレーキが自動的に解除されます。

お
手
入
れ
の
し
か
た

スマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止させるには

スマートシティブレーキサポート (SCBS) を作動しないようにできます。
→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」



スマートシティブレーキサポート (SCBS) を作動しないようにすると、スマートシティブレーキサポート (SCBS) OFF 表示灯が点灯します。

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

知識

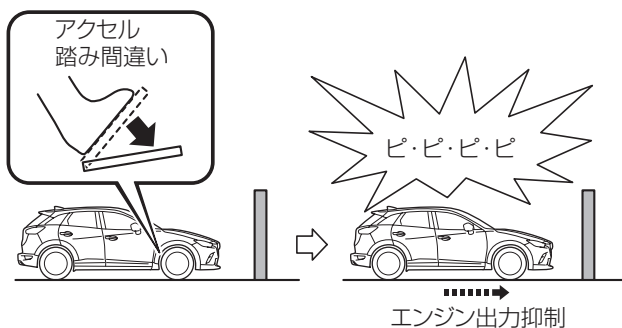
スマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとスマートシティブレーキサポート (SCBS) は作動可能な状態にもどります。

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

AT 誤発進抑制制御とは（オートマチック車）

AT 誤発進抑制制御は車両が徐行中（約 10 km/h 以下）や停車時、前方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた（アクセルペダルを踏み間違えたと判断した）ときに、エンジン出力を抑制することで、衝突時の被害を軽減します。システム作動中は、スマートシティブレーキサポート（SCBS）表示灯（赤）の点滅と AT 誤発進抑制制御表示（アクティブドライビングディスプレイ装備車）で作動中をお知らせすると同時に、警報音で運転者に警告します。



⚠ 警告



必ず守る

AT 誤発進抑制制御を過信せず安全運転に心がける

AT 誤発進抑制制御は、ペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を十分に確認して操作してください。シフト、アクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁 止

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない

停車状態を保ったり、発進を緩やかにするものではありません。また、障害物の近くで故意にアクセルを踏み込まないでください。意に反して車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

踏切内に閉じ込められた場合、レーザーセンサー（フロント）が遮断機を障害物と判断し、AT 誤発進抑制制御が作動することがあります。遮断機を押しのけて進む場合、あわてずにアクセルを踏み続ける、または踏みなおして脱出してください。脱出の際、車両が急加速することがありますので注意して運転してください。

知識

- AT 誤発進抑制制御は次の条件のときに作動します。
 - ・ エンジンがかかっているとき
 - ・ スマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止していないとき
 - ・ TCS OFF スイッチを押して TCS を作動停止状態にしていないとき
 - ・ スマートシティブレーキサポート (SCBS) 警告灯（橙）が点灯していないとき
 - ・ セレクトレバーが D/M レンジのとき
- レーザーセンサー（フロント）の検知能力には限界があります。次のようなときは、AT 誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
 - ・ 前方車が著しく汚れているとき
 - ・ フロントガラスに氷、曇り、雪、霜、汚れ、ビニール袋等の異物が付着しているとき
 - ・ ウィンドウウォッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
- 次のような障害物は AT 誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
 - ・ 障害物の高さが低いとき（低い壁、低いガードレール、トレーラーなどの後部）
 - ・ 障害物が小さいとき
 - ・ 障害物が細いとき（標識の支柱など）
 - ・ 障害物が自車の中心から外れた位置にあるとき
 - ・ 黒い障害物、汚れた障害物（レーザーが反射しにくい障害物）
 - ・ フェンス、ガラスなどレーザーが透過（通過）する障害物
 - ・ 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
 - ・ キャリアカーなど、特殊な形状をした車両
- 次のような状態のときは AT 誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
 - ・ 急カーブ、急な坂道のとき
 - ・ ハンドルを大きく切っているとき
 - ・ ボンネットの上に雪などの障害物があるとき

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

知識

- 次のような状態のときは、AT 誤発進抑制制御が正常に作動しない場合があります。
 - ・ 雨・霧・雪など天候が悪いとき
 - ・ 前方車の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
 - ・ 荷室やリヤシートへ重い荷物をのせたとき
 - ・ 障害物などと部分的な接触の可能性があるとき
 - ・ カーブが連続する道路やカーブの出入口を走行をしているとき
 - ・ ルーフレールなどを装着してレーザーセンサー（フロント）をおおうような長尺物を装着したとき
 - ・ 車、二輪車、自転車などが横から割り込んだり、飛び出してきたとき
 - ・ 自車が進路変更を行い、障害物のすぐ後ろに接近したとき
- 次のようなときは、レーザーセンサー（フロント）が障害物と判断し、AT 誤発進抑制制御が作動する場合があります。
 - ・ 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスを感知しているとき
 - ・ 草の生い茂った場所や、オフロードなど悪路を走行するとき
 - ・ 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
 - ・ 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
 - ・ ビニールカーテン、旗などを潜って通行するとき
 - ・ パイロンなどのプラスチック類
 - ・ 完全に開いていない駐車場ゲートや遮断器
 - ・ シャシーダイナモなど使用するとき
 - ・ キャリアカーに積載するとき

AT 誤発進抑制制御表示（アクティブ ドライビング ディスプレイ装備車）

AT 誤発進抑制制御が作動中に、スマートシティブレーキサポート（SCBS）表示灯（赤）の点滅と同時にアクティブドライビングディスプレイに表示します。

注意！

アクセルを
踏んでいます

AT 誤発進抑制制御を停止させるには

スマートシティブレーキサポート (SCBS) を停止させると、AT 誤発進抑制制御が停止します。

作動を停止させるときは次のページを参照してください。

→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さ
く
い
ん

スマートブレーキサポート (SBS) とは グレード/仕様別装備

スマートブレーキサポート (SBS) は、車速が約 15km/h 以上でレーダーセンサー（フロント）が前方車へ衝突する可能性があるかと判断したときに、アクティブドライビングディスプレイへの警告表示、および警報音により運転者に対して衝突の危険性を知らせます。さらに衝突を回避できないと判断したときには、自動ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害を軽減します。また、運転者がブレーキペダルを踏んだときは、ブレーキが素早く作動するよう補助します（ブレーキプリフィル付き）。

警告



禁止

スマートブレーキサポート (SBS) を過信しない

スマートブレーキサポート (SBS) は衝突時の被害を軽減するシステムであり、対象物、天候状況、道路状況等によっては対象物の検知に限界があります。このためアクセルやブレーキの適切な操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。周囲の安全を確認してブレーキペダルやアクセルペダルを踏むなど、前方車や後続車との車間距離を十分に確保してください。

注意



必ずする

次のときは誤って作動しないようにシステムを OFF にしてください。

- けん引されるとき、または、他の車をけん引するとき
 - シャシーローラーを使用するとき
- 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

知識

- 次の条件をすべて満たしているときにスマートブレーキサポート（SBS）は作動します。
 - ・ 電源ポジションが ON のとき
 - ・ スマートブレーキサポート（SBS）が ON のとき
 - ・ スマートブレーキサポート（SBS）警告灯（橙）が点灯していないとき
 - ・ 車速が約 15km/h 以上で前進しているとき
 - ・ 自車と前方車との相対速度が約 15km/h 以上のとき
 - ・ DSC が作動していないとき
- 次のような状態のときは、スマートブレーキサポート（SBS）が作動しないときがあります。
 - ・ 前方車と部分的な接触の可能性があるとき
 - ・ 前方車と同程度の速度で走行しているとき
 - ・ 急なアクセルペダル操作をしているとき
 - ・ ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ・ ハンドルを操作しているとき
 - ・ セレクトレバーを操作しているとき
 - ・ 方向指示器を操作しているとき
 - ・ フォワードセンシングカメラ（FSC）／レーザーセンサー（フロント）に関する警告や汚れのメッセージがセンターディスプレイに表示されているとき
 - ・ 前方車にテールランプが装備されていない、または夜間テールランプが消灯しているとき
- システムの作動対象は 4 輪車両ですが、次のような検知対象物は、レーダーセンサー（フロント）が障害物と判断し、スマートブレーキサポート（SBS）が作動する場合があります。
 - ・ カーブ入り口に路側物があるとき（ガードレール、雪壁等も含む）
 - ・ コーナーを曲がるときやカーブですれ違うときに対向車両があるとき
 - ・ 狭い鉄橋を通るとき
 - ・ 低いゲートやトンネル、狭いゲートなどを通過するとき
 - ・ 地下駐車場の入り口などに侵入するとき
 - ・ 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
 - ・ 前方車に急接近したとき
 - ・ 背の高い草むら等を走行するとき
 - ・ バイク、自転車等の 2 輪車
 - ・ 歩行者、立ち木など

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

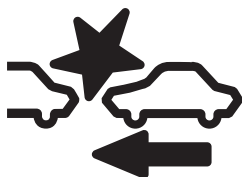
トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

2. 運転するときに i-ACTIVSENSE について

スマートブレーキサポート (SBS) 表示灯 (赤)



スマートブレーキサポート (SBS) 作動中に表示灯 (赤) が点滅します。

衝突警報

前方車や障害物と衝突する可能性がある場合、警報音が「ビビビビビ…」と鳴り続け、アクティブドライビングディスプレイに警報が表示されます。

ブレーキ!

スマートブレーキサポート (SBS) を停止させるには

スマートブレーキサポート (SBS) を作動しないようにできます。

→ 468ページ「設定変更 (カスタマイズ機能)」



スマートブレーキサポート (SBS) を作動しないようにすると、スマートブレーキサポート (SBS) OFF 表示灯が点灯します。

📖 知識

スマートブレーキサポート (SBS) を作動しないようにすると、スマートシティブレーキサポート (SCBS) も作動しなくなります。

フォワードセンシングカメラ (FSC) について グレード/仕様別装備

この車両にはフォワードセンシングカメラ (FSC) が装備されています。フォワードセンシングカメラ (FSC) は次のシステムが共用しています。

- ハイビームコントロールシステム (HBC)
- 車線逸脱警報システム (LDWS)
- スマートブレーキサポート (SBS)

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、車線表示の検知、および夜間走行時に前方の状況を判断しています。フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を認識できる距離は、周囲の状況により異なります。

フォワードセンシングカメラ (FSC) はルームミラー付近に設置されています。



運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

⚠ 注意



正しい作動のため、次のことをお守りください。

- フォワードセンシングカメラ (FSC) を取りはずさないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) のカバーをはずさないでください。
- インstrumentパネルの上に光を反射するものを置かないでください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスにアクセサリ、ステッカーやフィルムを貼らないでください。フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズの前方に妨げとなるものがあると、透明なステッカーでも誤作動の原因となります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスは、汚れたり曇ったりしないように常に綺麗な状態にしてください。曇ったときは、エアコンの吹き出し口切り替えダイヤルを  の位置にしてガラスの曇りを取ってください。
- フロントガラスの手入れをするときは、ガラスクリーナーなどが、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズに付着しないようにしてください。また、フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズには触れないでください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 前方のフロントガラス内側の清掃はマツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズを汚したり、傷をつけたりしないでください。また、分解などもしないでください。故障、誤動作の原因になります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体周辺の修理を行なうときは、マツダ販売店にご相談ください。
- ルームミラー周辺の修理を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。
- カメラのレンズの手入れは、マツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体やその周辺部に強い衝撃や力を加えないでください。万一、衝撃が加わった場合は、ハイビームコントロールシステム (HBC)、車線逸脱警報システム (LDWS)、およびスマートブレーキサポート (SBS) の使用を中止しマツダ販売店にご相談ください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) の向きは厳密に調整されていますので、フォワードセンシングカメラ (FSC) の取り付け位置を変更したり、取りはずしたりしないでください。故障、誤動作の原因になります。

知識

- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が正確に対象物を検知できず、各システムが正常に作動しない場合があります。
 - ・ 前方車が車高の低い車両のとき
 - ・ 前方車と同程度の速度で走行しているとき
 - ・ 夜間、またはトンネル内でヘッドランプを点灯していないとき
- 次のような場合は、フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できないことがあります。
 - ・ 模様のない壁の横を走行しているとき (フェンスや縦じま模様の壁を含む)
 - ・ 前方車のテールランプ (尾灯 / 制動灯など) が消灯しているとき
 - ・ 前方車がヘッドランプの照射範囲外にいるとき
 - ・ 急カーブ、急な上り坂、急な下り坂を走行しているとき
 - ・ トンネルの出入り口を走行しているとき
 - ・ 重い荷物の積載などにより車が傾いているとき
 - ・ 前方に強い光を受けたとき (逆光やヘッドランプ上向き (ハイビーム) など)
 - ・ 車両前方にたくさんの光を発するものがあるとき
 - ・ 前方車にテールランプ (尾灯 / 制動灯など) が装備されていないとき
 - ・ 前方車が特殊な形状のとき

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

レーダーセンサー（フロント）について グレード/仕様別装備

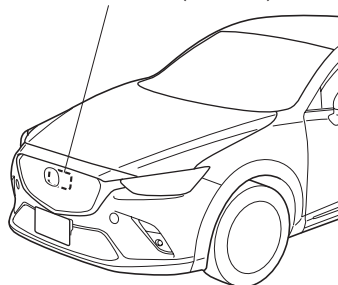
この車両にはレーダーセンサー（フロント）が装備されています。レーダーセンサー（フロント）は次のシステムが共用しています。

- 車間認知支援システム (DRSS)
- マツダレーダークルーズコントロール (MRCC)
- スマートブレーキサポート (SBS)

レーダーセンサー（フロント）は、レーダーセンサーから送信される電波が前方車や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。

レーダーセンサー（フロント）はフロントのエンブレムの裏側に設置されています。

レーダーセンサー（フロント）



スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) 警告灯（橙）が点灯したときは、レーダーセンサー（フロント）付近が汚れている可能性があります。センターディスプレイの「ウォーニング」を確認してください。

→ 440ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」

⚠ 注意



各システムの正しい作動のため、次のことをお守りください。

- レーダーセンサー（フロント）付近のラジエーターグリル、およびエンブレム表面にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けたり、ラジエーターグリルおよびエンブレムをレーダーセンサー用の正規品以外の物に取り換えたりしないでください。
- レーダーセンサー（フロント）は、センサー前面の汚れを検知してお知らせする機能を備えていますが、ビニール袋や氷、雪などが付着した場合などは、検出に時間がかかったり、状況によっては検知できない場合があります。このようなときは、システムが正常に作動しなくなるおそれがありますので、センサーはいつもきれいにしておいてください。
- グリルガードなどを取り付けしないでください。
- 接触事故などでフロント部分を破損したときは、レーダーセンサー（フロント）の位置がずれることがあります。ただちにシステムの使用を中止し、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。
- 駐車スペースなどから車両を出すときに、他の車両や障害物をフロントバンパーで押さないでください。レーダーセンサー（フロント）に荷重が加わり、位置がずれる可能性があります。
- レーダーセンサー（フロント）を取り外したり、分解、改造しないでください。
- レーダーセンサー（フロント）付近を修理、塗装、交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。
- サスペンションを改造しないで下さい。サスペンションの改造をすると車の傾きが変わり、前方車を正しく検知できないことがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
か
か
る

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

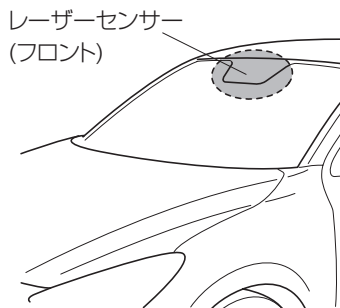
- 次のようなときは、レーダーセンサー（フロント）が前方車を正確に検知できないことがあります。
 - 前方車が空荷のトレーラーや荷台を幌で囲った車両、樹脂製テールゲートの車両、丸い形状の車両など後面が電波を反射しにくい車両のとき
 - 前方車が車高の低い車両など電波を反射する面積が小さい車両のとき
 - 前方車が水、雪、砂などをまき上げて走行するなど前方の視界状況が悪いとき
 - ラゲッジルームや後席へ重い荷物をのせたとき
 - フロントのエンブレムの表面に氷や雪、汚れなどが付着しているとき
 - 雨、雪、砂嵐など天候が悪いとき
 - 強力な電波を発生させる施設や物体などの近くを走行しているとき
- 次のような場合は、レーダーセンサー（フロント）が隣の車線の車両や周辺の障害物を検知したり、前方車を検知できないことがあります。
 - カーブの始まりやカーブの終わり
 - カーブが連続する道路
 - 工事中や車線規制で車線幅の狭い道路
 - 前方車がレーダーセンサー（フロント）の死角にいます
 - 前方車が事故や故障で不安定な走行をしているとき
 - 上り坂、下り坂が繰り返される道路
 - 悪路、未舗装の道路を走行しているとき
 - 前方車との車間距離が極端に短いとき
 - 割り込みなどで急接近したとき
- システムが正常に作動しなくなるおそれがあるため、4 輪ともすべて指定されたサイズで、同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンのタイヤを使用してください。また、摩耗差の著しいタイヤや空気圧が著しく異なるタイヤを混ぜて使用しないでください。（応急用スペアタイヤも含む）
- バッテリーが弱ってきた場合は、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 交通量が少なく、レーダーセンサー（フロント）が検知する前方車や障害物が少ない道路を走行すると、レーダーセンサー（フロント）汚れと判定し、スマートブレーキサポート/スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) 警告灯（橙）が一時的に点灯することがありますが異常ではありません。

レーザーセンサー（フロント）について

この車両にはレーザーセンサー（フロント）が装備されています。レーザーセンサー（フロント）は次のシステムが共有しています。

- スマートシティブレーキサポート (SCBS)
- AT 誤発進抑制制御
- スマートブレーキサポート (SBS)

レーザーセンサー（フロント）は、フロントガラスの上のルームミラー付近に設置されています。



各システムの正しい作動のため、レーザーセンサー（フロント）付近のフロントガラス表面は、いつもきれいにしておいてください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備の
使用
に
かた

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
仕様

さく
いん

注意



各システムの正しい作動のため、次のことをお守りください。

- いつもフロントガラスをきれいにしてください。
- フロントガラス表面にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けないでください。
- 飛び石などでフロントガラスのレーザーセンサー（フロント）周辺に傷などが認められるときは、ただちに各システムの使用を停止し、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。
作動を停止させるときは次のページを参照してください。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
- フロントガラスにガラスコーティング剤などを使用しないでください。
- フロントガラスやフロントワイパーを交換する際は、マツダ販売店に相談してください。
- センサーは絶対に取り外さないでください。
- 取り外したセンサーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M の条件を満たしませんので、目に対する安全を保証できません。
- センサーから 100 mm 以内の距離で、拡大鏡・顕微鏡・対物レンズなど拡大機能がある光学機器を使用して、センサーをのぞき込まないでください。

レーザー等級ラベル

INVISIBLE LASER RADIATION
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS (MAGNIFIERS)
CLASS 1M LASER PRODUCT

レーザー説明ラベル

Max average power: 45 mW
Pulse duration: 33 ns
Wavelength: 905 nm

IEC 60825-1 :2007
Complies with FDA performance standards for laser products
except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated
July 26th, 2001

レーザーセンサー放射線データ

最大平均出力: 45 mW

パルス幅: 33 ns

波長: 905 nm

発散角 (水平×垂直): 28° × 12°

知識

次のような場合は、レーザーセンサー（フロント）が前方車や障害物を検知できず、各システムが正常に作動しない場合があります。

- フロントガラスが汚れているとき
- ルーフレールなどを装着してレーザーセンサー（フロント）をおおうような長尺物をのせたとき
- 前方車の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき

飛び石などでフロントガラスに傷などが認められるときは、フロントガラスを必ず交換してください。交換する際は、マツダ販売店にご相談ください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

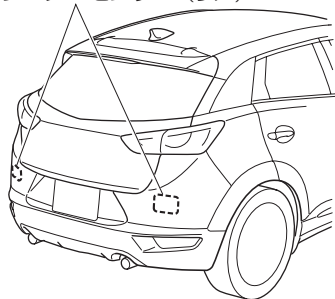
レーダーセンサー（リア）について グレード/仕様別装備

この車両にはレーダーセンサー（リア）が装備されています。レーダーセンサー（リア）は次のシステムが共用しています。

- ブラインドスポットモニタリング (BSM)
- リアクロストラフィックアラート (RCTA)

レーダーセンサー（リア）は、レーダーセンサーから送信される電波が後方からの接近車両や障害物に反射し、もどってきた電波を検知することで制御しています。

レーダーセンサー（リア）



レーダーセンサー（リア）は、リヤバンパーの内側に左右1つずつ設置されています。

レーダーセンサー（リア）の正しい作動のため、レーダーセンサー（リア）付近のリヤバンパー表面は、いつもきれいにしておいてください。またステッカー等も貼り付けしないでください。

→ 394ページ「外装の手入れ」

⚠ 注意



必ず守る

リヤバンパーに強い衝撃が加わったときは、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。ただちにシステムの使用を中止し、マツダ販売店で点検を受けてください。

知識

- レーダーセンサー（リア）の検知性能には限界があります。次のような場合は検知性能が低下し、正常に作動しないことがあります。
 - レーダーセンサー（リア）付近のリアバンパーが変形したとき
 - リアバンパーのレーダーセンサー（リア）付近に氷、雪や泥が付着しているとき
 - 雨、雪、霧などの悪天候のとき
- 次のような対象物は、レーダーセンサー（リア）が検知しない、もしくは検知しにくいことがあります。
 - 小型の二輪車、自転車、歩行者、動物、ショッピングカート、道路上および道路端の静止物体
 - レーダーが反射しにくい形状の車両（車高の低い空荷のトレーラー、スポーツカーなど）
- レーダーセンサー（リア）が接近車両を正しく検知するために、車両搭載状態でレーダーセンサー（リア）の向きを車両ごとに調整して出荷しています。レーダーセンサー（リア）の向きが何らかの原因でずれた場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。
- レーダーセンサー（リア）の修理、交換およびレーダーセンサー（リア）付近のバンパー修理、塗装、交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。
- トレーラー等をけん引したり、車両後部に自転車のキャリア等を装着した場合は、システムを停止してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。
- レーダーセンサー（リア）は、日本国内の電波法の認可を受けています。日本国外で走行する際には、その国の認可を受ける必要があります。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

2. 運転するときに クルーズコントロールについて

クルーズコントロールとは グレード/仕様別装備

アクセルペダルを踏まなくても車速を約 30 ～ 100km/h の間に設定できる装置です。高速道路、加速 / 減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

警告



禁止

次のような場所では使用しない。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）
- 急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、セット速度をこえることがあります）
- 凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）

表示灯



クルーズメイン表示灯（橙）

点灯するとき

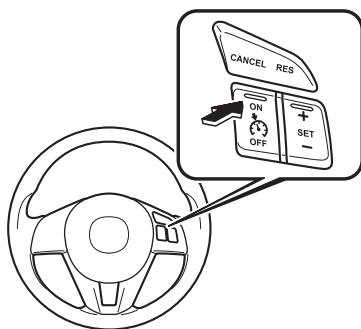
ON スイッチを押すと点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

クルーズコントロール表示灯（緑）

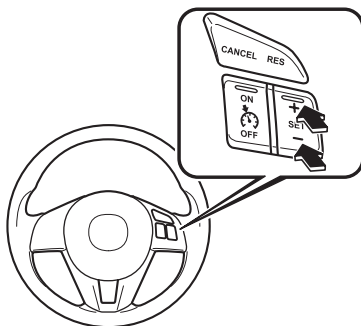
点灯するとき

速度が設定されると点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

設定するとき



1. ON スイッチを押すと速度の設定ができる状態になります。同時にメーター内のクルーズメイン表示灯が点灯します。



2. アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。
3. SET + または SET - スイッチを押すと定速走行をはじめます。同時にメーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。クルーズコントロール表示灯が点灯したら、すぐにスイッチから手を離します。

警告



必ず守る

クルーズコントロールを使用しないときは、必ず OFF にする。

常に使用できる状態にしておくと、誤ってクルーズコントロールを作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
方法

お手
入れ
の
方法

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
仕様

さく
いん

2. 運転するときに クルーズコントロールについて

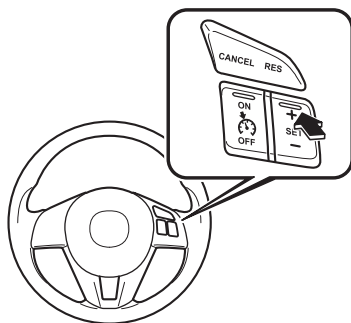
知識

- 次のときは、クルーズコントロールの速度設定ができません。
 - **(オートマチック車)**
セレクトレバーがPまたはNレンジのとき
 - **(マニュアル車)**
チェンジレバーがニュートラル位置のとき
 - パーキングブレーキをかけているとき
- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- SET **+** スイッチを押したままにすると加速をはじめます。SET **-** スイッチを押したままにすると減速をはじめます。

設定速度を上げるとき

次の操作で設定速度を上げることができます。

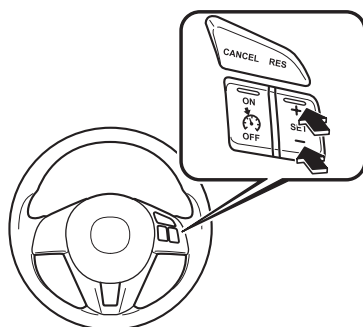
スイッチで加速するとき



SET **+** スイッチを押したまま、希望の速度になったところで手を離します。

スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節（約 1km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4km/h 上がります。

アクセルペダルで加速するとき

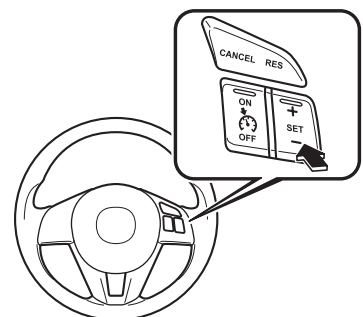


アクセルペダルを踏み、希望の速度になったところで SET + または SET - スイッチを押します。スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

運転
前に
に
する

運転
する
とき
に

設定速度を下げるとき

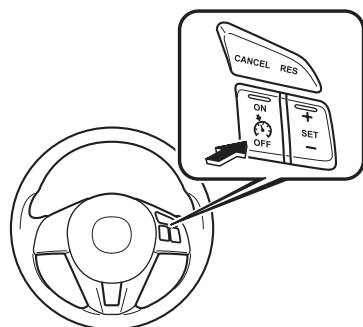


SET - スイッチを押し続け、希望の速度になったところで手を離します。スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節 (約 1km/h) ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4km/h 下がります。

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

解除するとき



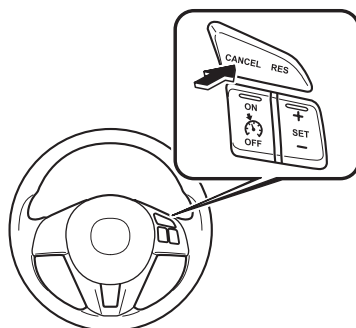
OFF スイッチを押すと、クルーズコントロールが解除され、クルーズコントロール表示灯とクルーズメイン表示灯が消灯します。

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

2. 運転するときに クルーズコントロールについて



次のようなときは、クルーズコントロールが解除されクルーズコントロール表示灯が消灯しますが、クルーズメイン表示灯は点灯したままです。車速が30km/h以上であれば、RESUMEスイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- CANCELスイッチを押したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- **(マニュアル車)**
クラッチペダルを踏んだとき

知識

- 次のような状態になった場合も、クルーズコントロールシステムが一時的に解除されます。
 - パーキングブレーキをかけているとき
 - **(オートマチック車)**
セレクトレバーがPまたはNレンジのとき
 - **(マニュアル車)**
チェンジレバーがニュートラル位置のとき
- クルーズコントロールシステムが一時的に解除された場合、解除された条件にひとつでも該当する場合は、速度を再設定することが出来ません。
- 設定速度より、約15 km/h以上下がったとき、クルーズコントロールが解除されることがあります。
- 車速が30 km/h未満になると、クルーズコントロールが解除されます。この場合、車速を30 km/h以上にしてRESUMEスイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。クルーズコントロールを設定しなおしてください。
- **(オートマチック車)**
クルーズコントロールを使用して走行しているときは、マニュアルモード（セレクトレバーをDからMレンジに操作）にしてもクルーズコントロールは解除されません。そのため、低速ギヤにシフトダウンしてもエンジンブレーキが効きません。減速が必要なときは、設定速度を下げるか、ブレーキペダルを踏んでください。

駐車支援システムとは

駐車支援システムは次のシステムで構成されています。

- バックガイドモニター
車両後方の映像上に映し出したガイド線で、車の後退を補助するシステムです。

⚠ 警告

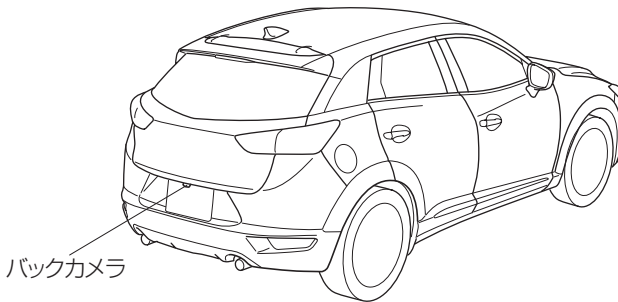


必ず守る

必ず前方 / 後方および周囲の安全を直接確認しながら運転する。

駐車支援システムはあくまでも後退操作を行なうための補助装置です。画面に映し出されている映像は実際の状況と異なることがあります。システムを過信して後退すると障害物に接触したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

カメラの取り付け位置



バックカメラ

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

バックガイドモニター

⚠ 注意



禁止

以下のような状況では危険ですので、バックガイドモニターを使用しないでください。

- 凍結した滑りやすい路面や雪道
- タイヤチェーン・応急用タイヤを使用しているとき
- リヤゲートが完全に閉まっていないとき
- 坂道などの平坦でない道路



必ず守る

ディスプレイが冷えているとき、映像が尾を引いたり、画面が通常よりも暗くなり、車両周辺の状況を確認しにくくなる場合があります。必ず後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



禁止

カメラ部に強い衝撃を与えないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれるおそれがあります。



禁止

カメラ部は防水構造となっていますので、分解、改造、取りはずしをしないでください。



必ず守る

カメラのカバーは樹脂ですので、油膜取り剤、有機溶剤、ワックス、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにやわらかい布等でふき取ってください。



禁止

カメラのカバーを強くこすったり、研磨剤や硬いブラシなどでみがいたりしないでください。カバーまたはレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

📖 知識

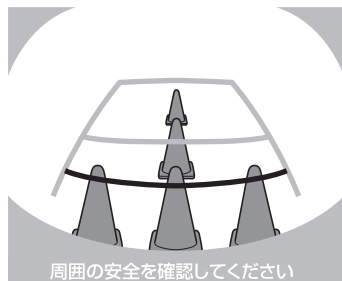
- カメラのレンズに水滴や雪、泥などがついているときは、やわらかい布等でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 車両後部をぶつけたときは、カメラ（位置、取り付け角度）がずれているおそれがあります。必ずマツダ販売店で確認を行なってください。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラ部に急激な温度変化をあたえるとバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- バッテリーの電圧が低いときや、アイドリングストップが再始動するときに画面が見えにくくなる場合がありますが、異常ではありません。
- ディスプレイに「映像信号を受信できません。」と表示されたときは、カメラ等の故障が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

画面に映し出される範囲

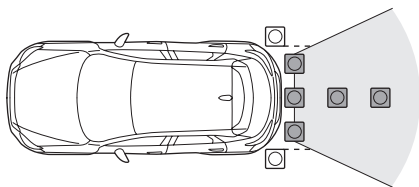
車両後方の映像を映し出して駐・停車時に障害物や車間距離を確認するときの補助としてご使用ください。

車両後部に設置されたカメラから、ほぼ水平に映し出します。

(画面の状況)



(実際の状況)



運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

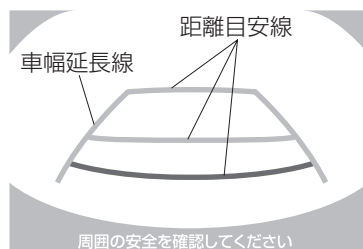
さく
いん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

知識

- 自車の状況や路面状況により、映し出される範囲は異なります。
- カメラが映す範囲には限界があります。バンパーの下にあるものやバンパーの両端付近は映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- バックガイドモニターは鏡面画像になっています。
- 装備によってはカメラに写りこむ場合があります。カメラの視野に影響をおよぼすもの（視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできたものなど）は取り付けないでください。
- 次のような状況では、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - 夜間など暗いところ
 - レンズ付近の温度が高い / 低いとき
 - 雨天時など、カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき
 - カメラ付近に泥などの異物がついたとき
 - 太陽やヘッドランプなどの光がカメラのレンズに直接当たったとき

画面の見方



車幅延長線（黄色）

- 車幅の延長の目安を示すライン

距離目安線

- 車両後方の距離（バンパー後端から）を示すライン
 - 赤色のラインは約 0.5m 先を示します。
 - 黄色のラインは約 1m と約 2.7m 先を示します。

⚠ 注意



バックガイドモニターを使って駐車する方法は、駐車時の道路事情、路面状況、自車の状況によって違います。ハンドル操作のタイミング、操作量は状況によって異なりますので、周囲を直接確認しながら状況に合わせた操作を行ってください。また、操作を行なう前は、必ず駐車スペースに車両が駐車できるかを確認してください。

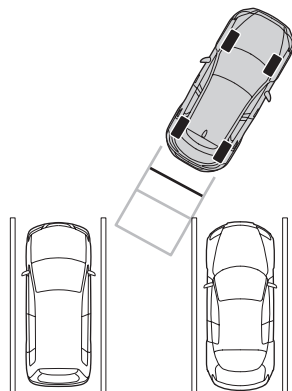
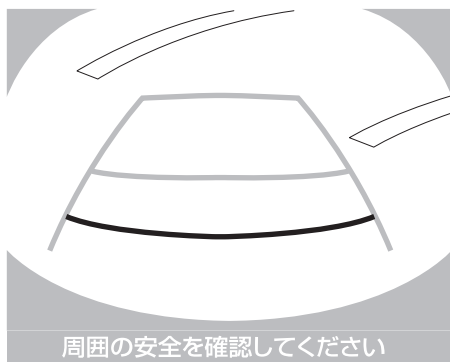
📖 知識

次に示す状況は、ハンドルを右側にまわして後退し、駐車する例を示しています。逆方向から後退し駐車するときは、左右が逆になります。

1. チェンジレバー（マニュアル車）またはセレクトレバー（オートマチック車）を R の位置にし、バックガイドモニターを表示します。
2. 車両が駐車スペースの中に入るようにハンドル操作を行ない後退します。

（画面の状況）

（実際の状況）



運転
前に
する

運転
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
き
た
ら

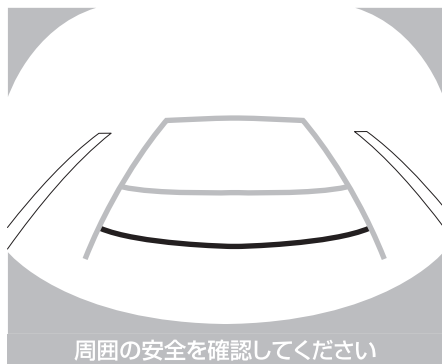
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

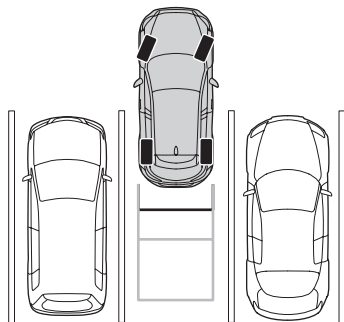
2. 運転するときに 駐車支援システムについて

3. 車両が駐車スペース内にはいったら、車幅延長線と駐車スペース左右の間隔が、車両付近の位置で同じくらいになるようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

(画面の状況)

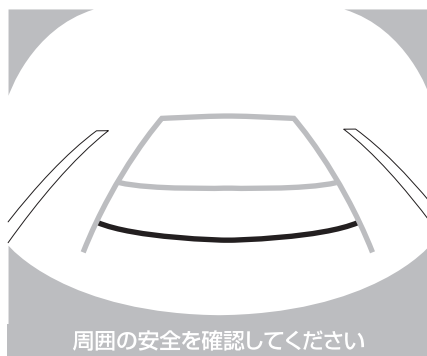


(実際の状況)

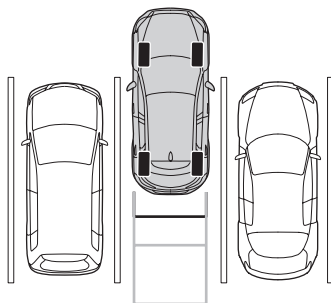


4. 車幅延長線と駐車スペースが平行になるようにハンドルを操作します。
5. 平行になったら、ハンドルを直進状態にして、ゆっくり後退します。周囲の状況を十分に確認し、最適な位置で停止します。(駐車スペースに区画線がある場合は区画線と車幅延長線が平行になったら)

(画面の状況)



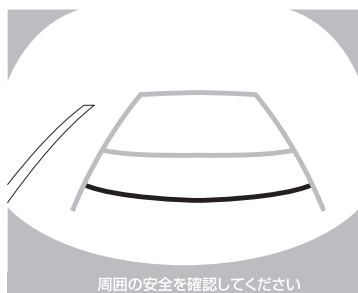
(実際の状況)



知識

駐車するときは、以下のように画面に映し出される映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

- 画面に映し出される駐車スペース（車庫など）の後端と距離目安線が平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
- 駐車場の区画線が片側しかないときは、区画線と車幅延長線が平行に見えていても、実際には平行ではないことがあります。

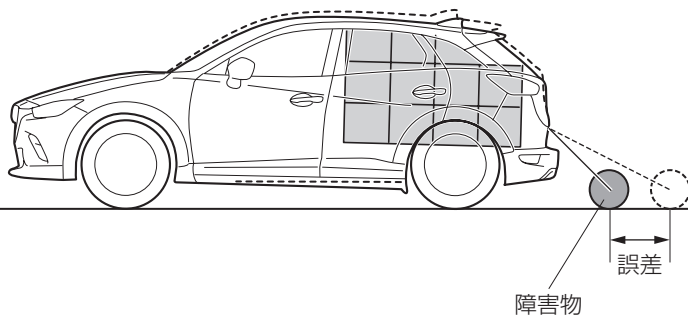


実際の画面と路面の誤差

実際の路面と画面上の路面とは誤差が生じます。距離感の誤差は事故につながるおそれがありますので、次のような誤差の起こりやすい状況を確認しておいてください。

人や荷物の重みで車が傾いているとき

車両が傾いて後部が下がっているときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠くにあるように見えます。



運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

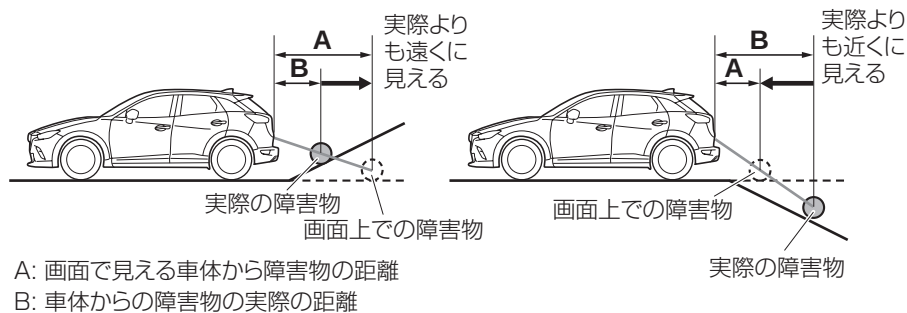
車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

2. 運転するときに 駐車支援システムについて

車両後方に勾配の急な上り坂や下り坂があるとき

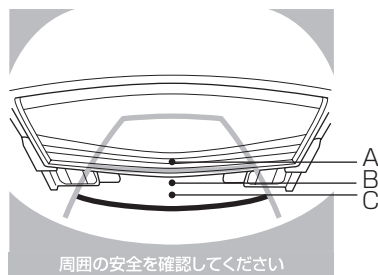
車両後方に勾配の急な上り坂（下り坂）があるときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠く（近く）にあるように見えます。



車両後方に立体物があるとき

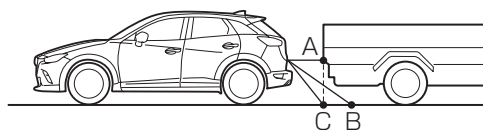
距離目安線は水平な路面を基準に表示されているため、画面に映っている立体物との距離は実際とは異なります。

(画面の状況)



画面上の距離感 $A > B > C$

(実際の状況)



実際の距離 $A = C < B$

画質調整

⚠ 警告



必ず守る

バックガイドモニターの画質調整は必ず車両停止中に行う。

運転中にバックガイドモニターの画質を調整しないでください。車両走行中に、明るさ、コントラスト、色の濃さ、および色合いなどバックガイドモニターの画質調整を行うと、車両操作の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車はチェンジレバーが R のとき、オートマチック車はセレクトレバーが R の位置のときに、画質調整をすることができます。

調整項目には、明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合い、の 4 種類があります。調整するときは車両の周囲を十分に確認してください。

1. 画面のを選択して、タブを表示します。
2. 目的の項目のタブを選択します。
3. スライダを使用して明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整します。
リセットする場合は、リセットボタンを押します。
4. 画面のを選択して、タブを閉じます。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) とは

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) はディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる PM (Particulate Matter: 粒子状物質) のほとんどを捕集し、除去するものです。通常走行中は DPF で捕集された PM は自動で除去されますが、次のようなときは PM が自動で除去されません。

- 車速約 15km/h 以下で走り続けているとき
- 10 分以下の短時間走行の繰り返しやエンジンが暖機できないような走行を繰り返したとき
- 長時間アイドリング状態のとき

知識

走行中に自動で PM を除去しているとき、エンジン音や排気ガスの臭いに変化することがあります。

DPF 表示灯

DPF

点灯するとき

電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。

PM の除去が自動で行なわれず、DPF で捕集した PM が規定量以上になると点灯します。DPF 表示灯が点灯したときは、次の処置をしてください。

PM を除去するために、完全暖機 (水温 80° C 以上) のときに、アクセルを踏み 20km/h 以上でおおよそ 15 分から 20 分走行してください。

点滅するとき

システムに異常があると点滅します。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

注意



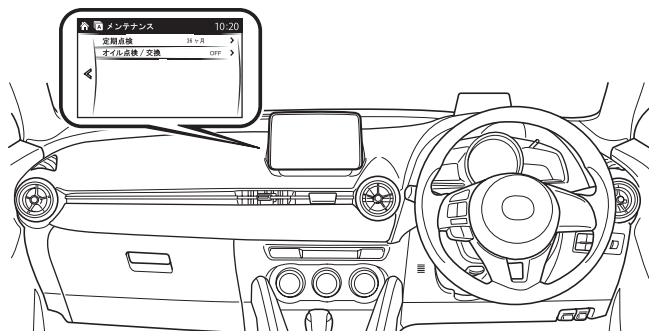
必ず守る

DPF 表示灯が点灯してからそのまま運転を続けると、さらに PM が堆積し、表示灯が点滅し始めることがあります。この場合はただちに点検を受けてください。点検を受けずにそのまま運転を続けると、エンジンの不調につながるおそれがあります。

メンテナンスモニター

あらかじめ設定されたメンテナンス時期になるとセンターディスプレイにお知らせを表示することができます。

(表示例)



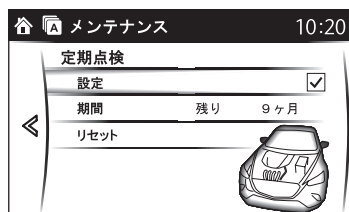
次の項目のメンテナンス時期を設定できます。

- 定期点検
- オイル点検 / 交換

設定方法

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. メンテナンスを選択します。
3. 設定したい項目を選択します。OFF を選択すると非表示になります。
項目により設定できる内容が異なります。

定期点検のとき



定期点検選択後、設定を選択し、点検時期を好みの日数に設定します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

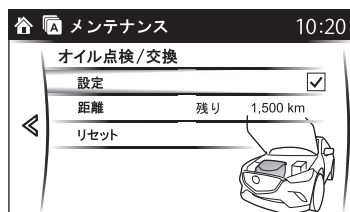
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

2. 運転するときに メンテナンスモニター

オイル点検 / 交換のとき



オイル点検 / 交換選択後、設定を選択し、交換距離を好みの距離に設定します。

リセット方法

メンテナンスを実施した後、リセット（再設定）をすれば、次回メンテナンス時期が近づいたときに表示させることができます。次の手順でリセットしてください。

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. メンテナンスを選択します。
3. 設定したい項目を選択し、リセットを選択します。

知識

オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場、またはお客様自身で記憶値の初期化（オイルデータリセット）を行なってください。

初期化（オイルデータリセット）手順については、次のページを参照してください。

→ 373ページ「エンジンオイルの点検、補充」

悪天候での運転

雨の日の運転

ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。

このようなときは、吹き出し口をに切り替えます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

警告



禁止

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

積雪、寒冷時の運転

すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

→ 403ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。

ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

効が悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

運転する前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

様々な状況での運転のときは

駐車するときは



- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P に入れてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

⚠ 注意



運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりともどしてください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおっております。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

📖 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。

アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車の際にもエンジンを止めましょう。10 分間のアイドリングで、130cc 程度の燃料を浪費します。

不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。100 kg の不要な荷物を載せて走ると、3% 程度燃費が悪化します。

空ぶかしをしない

空ぶかしをやめると、燃料を節約できます。
空ぶかしは環境にも車にもよくありません。

エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。外気温 25° C の時に、エアコンを使用すると、12% 程度燃費が悪化します。

タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
タイヤの空気圧が適正値より 50 kPa (0.5 kg/cm²) 不足した場合、市街地で 2% 程度、郊外で 4% 程度、それぞれ燃費が悪化します。

ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
速度にムラのある走り方をすると、市街地で 2% 程度、郊外で 6% 程度燃費が悪化します。

経済的速度

一般道路で 40km/h、高速道路で 80km/h 程度の等速走行が経済的です。

アクセルペダルの上手な踏みかた

加速終了時（オートマチック車）

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

2. 運転するときに 環境保護のために

一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。

アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

JC08 モード燃費について

「JC08 モード」とは

知識

車両カタログに記載されている「JC08 モード」燃費は、お客様の使用環境変化や燃費測定技術の進歩を踏まえて、図 1 のような実際の走行に近い細かな速度変化での運転条件で、エンジン冷間時、暖機後の 2 パターンを図 2 のようなシャシーダイナモーター上で走行した値です。

ただし、気象条件や渋滞などのお客様の使用環境、急発進、エアコンや電気負荷など実際の走行とは異なる場合があります。

図1.JC08モード走行

走行距離 8.172Km
平均速度 24.4Km/h
最高速度 81.6Km/h

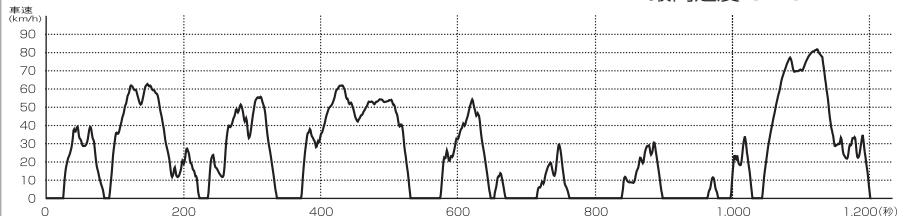
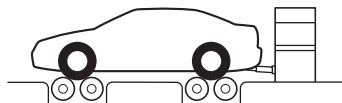


図2.シャシーダイナモーター



3 快適装備の使いかた

空調 260

エアコンの上手な使いかた.....	260
吹き出し口.....	262
フルオートエアコン	264

オーディオ 268

アンテナ.....	268
オーディオの上手な使いかた.....	268
オーディオの操作.....	279
オーディオリモートコントロールス イッチの操作.....	303
ポータブルオーディオ機器を使用して いただくために	305

Bluetooth® 314

Bluetooth®	314
Bluetooth® ハンズフリー	324
Bluetooth® オーディオ	333
トラブルシューティング	345

室内装備 349

サンバイザー.....	349
室内照明.....	349
電源ソケット.....	353
カップホルダー	354
ボトルホルダー	355
収納	355

エアコンの上手な使いかた

エアコンを使用する前に

外気取り入れ口について

フロントガラスとボンネットの間にある外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いておきましょう。外気が導入できないため、車内の換気が十分でなくなるおそれがあります。

暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

エアコンを使用するときは

使用について

エアコンは、エンジンをかけた状態で使用してください。



知識

- エアコンの操作により、アイドリングストップしないことや、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動することがあります。
→ 103ページ「i-stop について」
- アイドリングストップ中は、吹き出し風量がやや減少する場合があります。
- アイドリングストップ中は、快適な温度を保持するため、インストルメントパネル中央付近からエアコン装置（モーター等）の作動音が聞こえることがあります。

外気導入と内気循環について

外気導入は、換気したいときやガラスの曇りを取るときに使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用してください。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは、室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

エアコンを使用したあとは

長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときは、内部のオイル循環のため、1 か月に 1 回程度エアコンを作動させてください。

エアフィルターについて

花粉やほこりなどの集じん機能を持った、エアフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために、エアフィルターを定期的に交換してください。
詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

知識

- エアコンの風量が著しく減少したときは、エアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の
仕方

トラ
ブル
が
起き
たら

車両
仕様

さく
いん

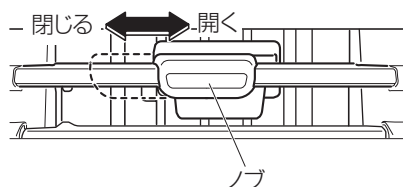
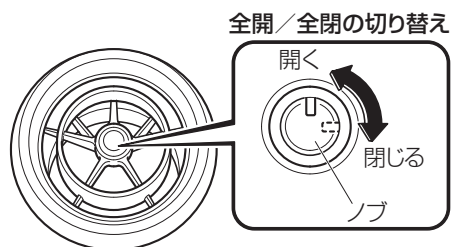
吹き出し口

吹き出し口の調節

吹き出し口の開閉

中央（運転席側）および側面

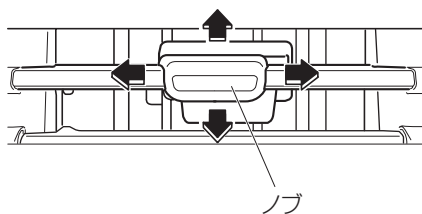
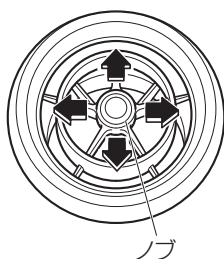
中央（助手席側）



風向きの調節

中央（運転席側）および側面

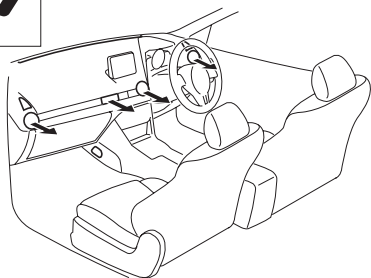
中央（助手席側）



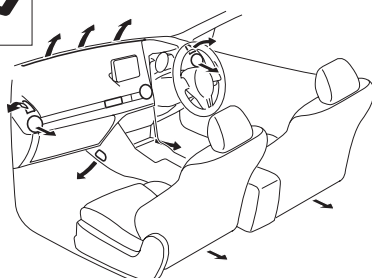
吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

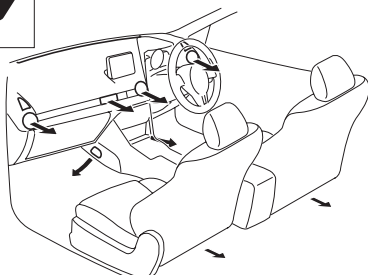
上半身に送風するとき



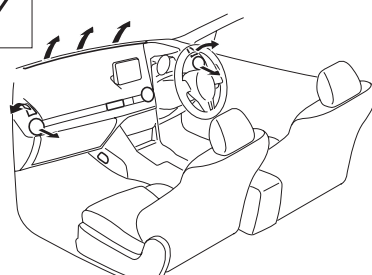
足元への送風とガラスの曇りを取る
とき



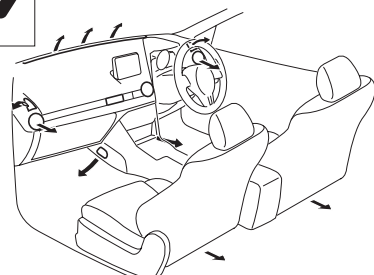
上半身、足元に送風するとき



ガラスの曇りを取るとき



主に足元に送風するとき



運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

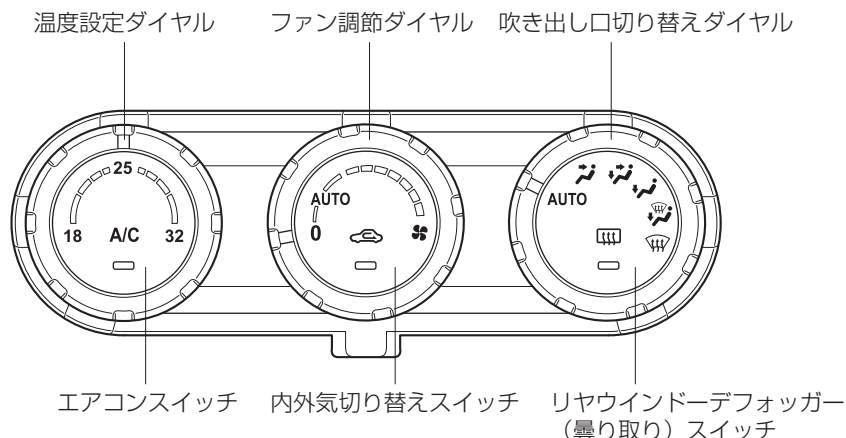
お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さ
く
い
ん

フルオートエアコン



各スイッチの使いかた

温度設定ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。
ダイヤルの表示数字は、室温設定時のめやすとなります。

知識

ダイヤルを左側いっぱいにもわすと最大冷房、右側いっぱいにもわすと最大暖房に固定されます。

ファン調節ダイヤル

AUTO 位置のとき設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御されます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、吹き出し風量をお好みで調節できます。
右側いっぱいにもわすと、最大風量に固定されます。

吹き出し口切り替えダイヤル

AUTO 位置のとき、設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自動で行ないます。
AUTO 以外の位置にダイヤルをまわすと、使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。
→ 263ページ「吹き出し口の選択」

エアコンスイッチ

ファン調節ダイヤルが0以外の位置のとき、スイッチを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り替わります。

エアコンが作動しているときは、表示灯が点灯します。

知識

外気温が0°C近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しない場合があります。

内外気切り替えスイッチ

内気循環（外気を遮断する）と外気導入（外気を室内に入れる）の切り替えができます。スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

- 内気循環（表示灯点灯）
トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入（表示灯消灯）
外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

通常の使いかた

1. 吹き出し口切り替えダイヤルを AUTO の位置にします。
2. 内外気切り替えスイッチを外気導入（表示灯消灯）にします。

知識

寒いときや湿度が高いときに、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

3. ファン調節ダイヤルを AUTO の位置にします。
4. エアコンスイッチを押してエアコンを作動（表示灯点灯）させます。
5. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に調節します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

空調

知識

- 最初は温度設定ダイヤルを 25 前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
- 設定温度を極端に低く（高く）しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

6. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを 0 の位置にします。

ガラスの曇りを取るとき

ファン調節ダイヤルが 0 以外の位置のときに、吹き出し口切り替えダイヤルを  にします。

自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロント窓ガラスに送風されます。

警告



禁止

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。

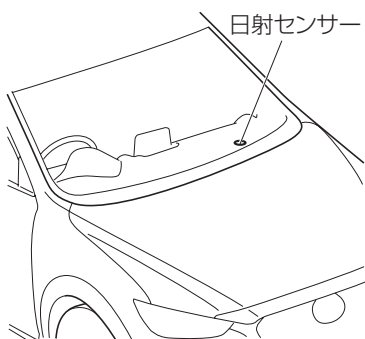
ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

日射センサーについて

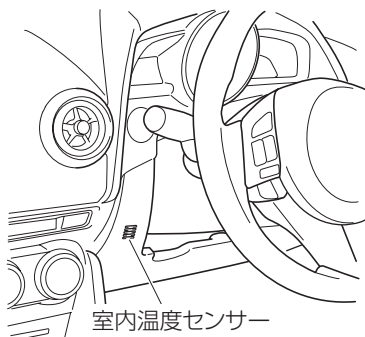


日射センサー 日射センサーの上に物を置かないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

運転
前に

運転
する
とき

室内温度センサーについて



室内温度センサーをふさがないでください。
室内温度が正しく調節されないことがあります。

快適
装備の
使用に
かた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

アンテナ

プリントタイプ グレード/仕様別装備

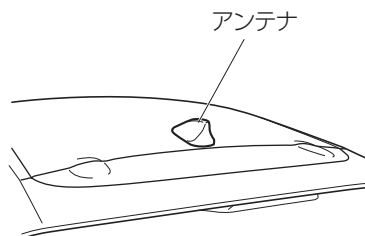
ガラスにプリントされています。

⚠ 注意



アンテナがプリントされているガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、アンテナにそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、アンテナをいためるおそれがあります。
→ 396ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

シャークフィンタイプ



オーディオの上手な使いかた

⚠ 警告



オーディオは、車を止めてから操作する。

走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- エンジンをつめたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ（雑音）が発生することがありますが故障ではありません。

ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

テレビについて

テレビの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

注意



必ず守る

本機は、ARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。



必ず守る

各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



禁止

本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。



禁止

本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

- 本機には、The FreeType Project LICENSE (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>) の適用を受けるソフトウェア freetype (<http://www.freetype.org/>) が組み込まれています。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
(本機には、OpenSSL プロジェクト (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェア OpenSSL Toolkit が含まれています)
- 本機は、Desay SV Automotive Japan 株式会社で製造されたものです。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

地上デジタルテレビ放送について



- 地上デジタルテレビ放送は、大きく分けて 3 種類のサービスがあります。
 - テレビ放送：従来からのテレビ放送
 - ラジオ放送：音声を主とした放送
 - データ放送：現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
※本機では、テレビ放送のサービスを受けることができます（データ放送とラジオ放送には、対応していません）。
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで、受信状態を安定させることができます。
※自動でワンセグ・フルセグ (SDTV) の切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。
- 本機は、ハイビジョン放送の再生には対応していません。ハイビジョン放送は、標準画質 (SDTV) で再生します。
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして「ワンセグ」があります。



- 日本の地上デジタルテレビ放送は、約 6MHz の帯域を 13 個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の放送を行っています。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは 12 セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

コンテンツ権利保護専用方式について

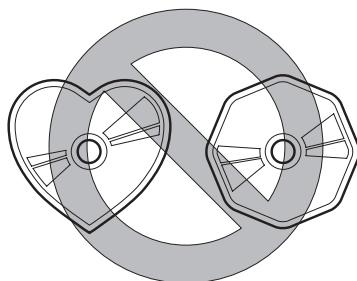
本機は、コンテンツ権利保護専用方式（ソフトウェア方式）を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

CD について

- イラストで示すマークがついている CD のみ使用できます。



- コピーコントロール CD（著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD）の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。
- ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- 本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- 寒いときや雨降りのはときは、プレーヤー内部に露（水滴）が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- 変形したり、ひびがはいったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

- セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理）されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- 700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- 音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ・汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション（ライティングソフト）の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ（CD-DA）再生時に表示できない場合があります。
- CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

MP3 について

MP3 とは、MPEG Audio Layer3 の略称で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。

本機は、拡張子（.mp3）がついているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

注意



オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

フランス、トムソン社からの MP3 特許ライセンスについて

本機は、個人の使用、または非商用的な使用を目的としています。以下のような、商用目的には使用できません。ご使用には、別途、トムソン社からの商用使用許諾が必要です。詳しくは <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

- 有料リアルタイム放送（地上波、衛星、ケーブル、その他の放送媒体）
- インターネットによる放送、またはストリーミング
- イントラネット / ネットワーク
- 有料オーディオ・アプリケーションやオーディオ・オンデマンド・アプリケーションなどの電子情報配信システム

- MP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからディスクに書き込んでください。
- 表示される文字数には制限があります。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.wma) がついているファイルを WMA ファイルとして再生します。

※ Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注意



必ず守る

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

- 記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからディスクに書き込んでください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

オーディオ

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子（.aac/.m4a/.wav）がついているファイルを AAC ファイルとして再生します。

⚠ 注意



オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

- 記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.aac」、「.m4a」、「.wav」を追記してからディスクに書き込んでください。

DVD について

- イラストで示すマークがついている DVD、またはビデオデータ（DVD-Video/DVD-VR ファイル）が書き込まれた DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW のみ使用できます。



- ハート型など特殊形状の DVD は使用しないでください。機械の故障の原因となる場合があります。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露（水滴）が生じ、正しく作動なくなることがあります。このようなときは、DVD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- DVD 信号面に直接手で触れると、DVD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。DVD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- DVD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- DVD の汚れを取るときは、やわらかい布で DVD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、DVD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。

- 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- 変形したり、ひびがはいったりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- セロハンテープやレンタル DVD のラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがある DVD は、使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- DVD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、録画に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常の DVD プレーヤーで再生できるようにする処理）されていない DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は再生できません。
- 音楽用 DVD レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、ディスクの特性、キズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーション（ライティングソフト）の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DVD ビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせて参照してください。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

知識

- DVD/DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW に書き込まれたビデオデータ (DVD-Video/DVD-VR ファイル) を再生することができます。
- 本機は、2 層で記録された DVD/DVD-R の再生にも対応しています。
- 本機は、CPRM (Content Protection for Recordable Media) に対応しています。
- 本機の地域番号は「2」です。

記載している規格以外で書き込まれた DVD-Video/DVD-VR ファイルは、再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

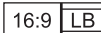
車両
スペク

さく
いん

オーディオ

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
NTSC	カラーテレビの方式です。
	音声のトラック数です。 数字が収録されている音声数を表します。
	字幕の言語数です。 数字が収録されている言語数を表します。
	アングルの数です。 数字が収録されているアングル数を表します。
	選択することができる画面モードです。 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
	
	再生可能な地域番号。ALL は全世界向け、数字は地域番号を表します（「2」は日本を示します）。
	

用語解説

DVD-Video

DVD-Video は、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである MPEG2（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD-VR

DVD-VR は、DVD Video Recording Format の略称で、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

マルチアングル

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

マルチランゲージ (多言語)

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

地域番号 (リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。

再生させるディスクの地域番号が、プレーヤーに設定されている地域番号と異なる場合は、ディスクの再生はできません。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

OGG について

OGG とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.ogg) がついているファイルを OGG ファイルとして再生します。

⚠ 注意



必ず守る

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

- 記載している規格以外で書き込まれた OGG ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.ogg」を追記してからディスクに書き込んでください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

USB 機器について

本機は、オーディオファイルを次のように再生します。

拡張子	本機での再生方法
.mp3	MP3
.wma	WMA
.aac	AAC
.m4a	
.wav	
.ogg	OGG

注意



オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

- 機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。
- 本機は著作権保護された WMA/AAC/OGG ファイルを再生できません。
- 機器に保存された曲順と再生順序が違うことがあります。
- 機器が 1,000mA 以上の電力を使用する場合は、作動しなかったり、充電できない場合があります。
- USB モード中に USB 機器を取り外さないでください（ラジオや CD などの、別のオーディオモード中に取り外すことができます）。
- パスワードで保護されたデータは、再生することができません。
- 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

記載している規格以外で書き込まれた MP3/WMA/AAC/OGG ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

オーディオの操作

知識

本取扱書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。

また、これらのコンテンツは、今後のソフトウェアアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

3つの操作方法があります。

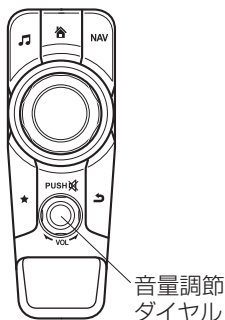
- コマンダーノブと周囲のスイッチ
- センターディスプレイ
- 音声認識

コマンダースイッチの操作方法

知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

音量調節ダイヤルの操作



音量調節ダイヤルを押すと消音できます。もう一度ダイヤルを押すと、もとにもどります。音量調節ダイヤルをまわして音量を調節します。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

運転前に
確認する

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

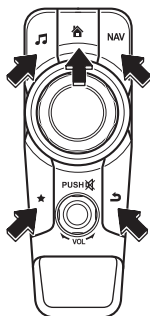
お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

コマンダーノブ周囲のスイッチ



コマンダーノブ周囲のスイッチを押すことで以下の操作ができます。

🏠：ホーム画面を表示します。

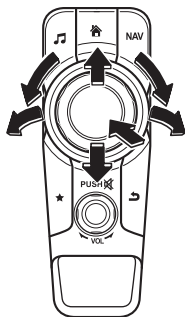
🎵：エンターテインメント画面を表示します。

NAV：ナビゲーション画面を表示します（ナビゲーションシステム装備車）。ナビゲーション画面の操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。また、ナビゲーションシステム用の SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。

★：お気に入り画面を表示します。長押しすると、お気に入りに登録できます（FM/AM ラジオの放送局、電話帳、ナビゲーションシステムの目的地を登録可能）。

↶：前の画面にもどります。

コマンダーノブの操作



（画面上のアイコンを選択するには）

1. コマンダーノブを傾ける、またはまわして、選択したいアイコンにカーソルを移動させます。
2. コマンダーノブを押して、アイコンを選択します。

知識

機能によっては、コマンダーノブの長押しで操作できます。

センターディスプレイの操作方法

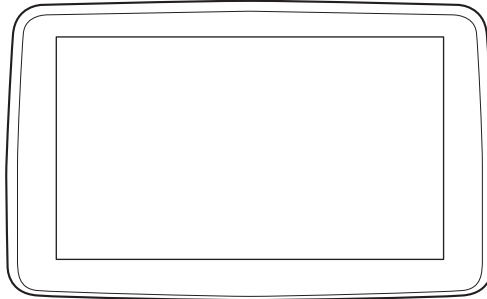
⚠ 注意



画面部分を指で強く押したり、先のとがったものなどで触れたりしないでください。画面に傷がついたり、損傷したりするおそれがあります。

知識

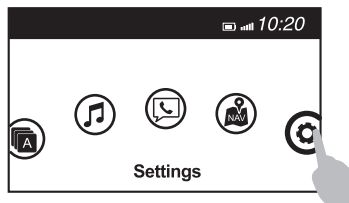
安全のため、走行中はセンターディスプレイの操作をすることができません。ただし、表示がグレーにならない項目は走行中も操作可能ですので、コマンダースイッチで操作してください。



基本的な操作方法

タッチ & タップ

1. 画面に表示されている項目に、指で触れる（タッチする）、または指で軽くたたきます（タップする）。
2. 操作が実行されたり、次の項目が表示されます。



運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

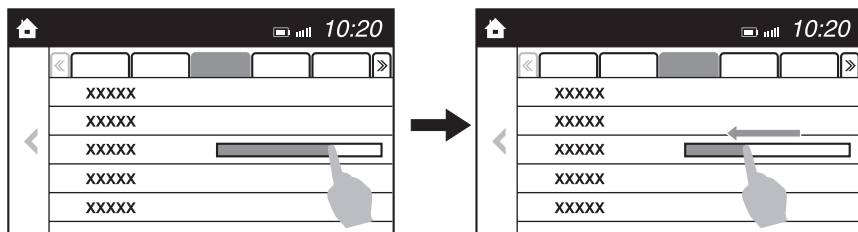
車両
スペ
ック

さく
いん

オーディオ

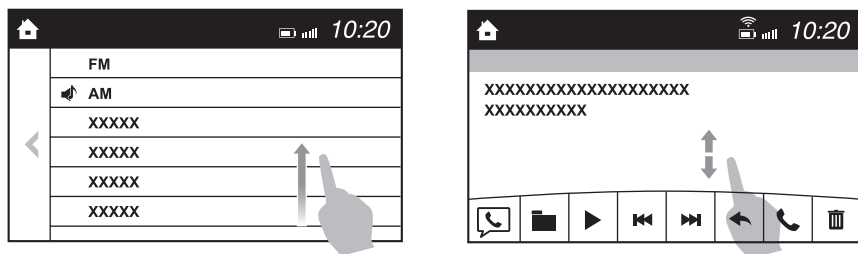
スライド

1. 項目のスライダーバーにタッチします。
2. スライダーを指で押さえながら、設定したい設定値まで移動します。



画面をスクロールする

1. 画面を指で押さえながら、上下に移動します。
2. 表示されていない項目が表示されます。



前の画面にもどる

1.  にタッチします。

ホーム画面を表示する

1.  にタッチします。

ホーム画面	
アイコン	説明
	Applications (アプリケーション) 平均燃費、メンテナンス、警告などの情報を確認できます。
	Entertainment (エンターテインメント) ラジオや CD などのオーディオを操作します。最後に使用された音源が表示されます。その時に使用することができない音源はスキップされ、その前の音源が表示されます。 音源を切り替えるときは、画面の下部に表示されている🎵アイコンを選択します。
	Communication (コミュニケーション) 電話や SMS 機能を使用できます。
	Navigation (ナビゲーション) ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーションシステム用の SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。
	Settings (設定) すべての設定メニュー (AD-Disp、画面、安全装備、サウンド、Bluetooth®など) を表示します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

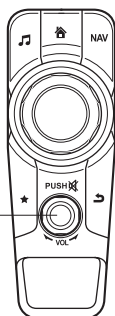
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

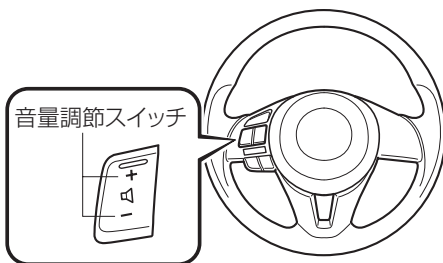
オーディオ

音量 / 画面 / 音質の調節

コマンダースイッチ



オーディオリモートコントロールスイッチ



音量の調節

コマンダースイッチの音量調節ダイヤルをまわして調節します。または、オーディオリモートコントロールスイッチの音量調節スイッチを押して調節します。

画面の調節

1. ホーム画面の $\odot$ を選択して、設定画面を表示します。
2. **画面**タブを選択して、設定したい項目を調節します。
3. 設定したいアイコンやスライダーを選択して調節します。

画面消灯 / 時計表示

画面を消灯することができます。**ディスプレイOFF**を選択すると、画面が消灯します。

ディスプレイOFF+時計表示を選択すると、画面が消灯して時計が表示されます。

画面を元の表示にもどすには、次の操作をします。

- 画面にタッチする。
- コマンダースイッチを操作する。

昼画面 / 夜画面（モード）の切り替え

昼画面 / 夜画面の選択をすることができます。

自動：ライトの点灯 / 消灯により昼画面と夜画面の表示が切り替わります。^{*1}

昼：常に昼画面表示になります。

夜：常に夜画面表示になります。

^{*1} 減光を解除しているときは常に昼画面になります。

→ 125ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

明るさを調節する

明るさ：スライダーで画面の明るさを調節します。

コントラストを調節する

コントラスト：スライダーで画面のコントラストを調節します。

画面設定をリセットする

すべての画面設定値をリセットし、初期値にもどすことができます。

1. **リセット**を選択します。
2. **はい**を選択します。

音質調節

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **サウンド**タブを選択して、設定したい項目を調節します。
3. 設定したいアイコンやスライダーを選択して調節します。

項目	設定内容
Bass (低音調節)	＋側：低音強 －側：低音弱
Treble (高音調節)	＋側：高音強 －側：高音弱
Fade (前後音量調節)	前側：フロントスピーカーの音量強調 後側：リアスピーカーの音量強調
Balance (左右音量調節)	右側：右側スピーカーの音量強調 左側：左側スピーカーの音量強調
ALC (自動音量調節)	Off ～ 7 段階で感度調節
ビーブ音 (操作音設定)	ON/OFF

ALC (自動音量調節)

オートマチックレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量 / 音質が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適な
使用に
ための

お手
入れ
の

トラ
ブル
が
起き

車両
スペク

さく
いん

オーディオ

ラジオの使いかた

- ホーム画面の🎵を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
- 聞きたいラジオを選択すると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。

FM/AM ラジオ

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	放送局リストを表示します。 リストを更新 を選択すると、最大 10 局までの周波数を放送局リストに表示します。 聞きたい周波数を選択します。
	お気に入りリストを表示します。長押しすると、そのとき受信している周波数をお気に入りに登録できます。
	受信可能な放送局を探すことができます。 周波数の低い方から高い方へ 5 秒間ずつ受信していきます。 聞きたい局が受信されたらもう一度選択します。その周波数を受信し続けます。
	手動で周波数を切り替えることができます。 コマンダーノブをまわすか、画面をスライド、または周波数をタッチします。 ◀または▶を押すと、周波数が 1 ステップずつ切り替わります。 ◀または▶を長押しすると、周波数は変化し続けます。アイコンから手を離すと止まります。
	自動選局します。 長押しすると周波数は変化し続けます。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

お気に入りラジオ

選局した放送局を登録しておくとう便利です。最大 50 件の放送局を登録することができます。お気に入りリストは FM、AM で共通です。

お気に入りに登録する

★を長押しすると、現在流れている放送局を登録します。また、以下の手順で登録することもできます。

1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。
2. **追加/編集**を選択します。
3. **(視聴している周波数)を登録**を選択します。
4. お気に入りリストの一番下に追加されます。

知識

バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。

お気に入りから放送局を選択する

1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。
2. 周波数を選択すると、その放送局を受信します。

お気に入りから削除する

1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。
2. **追加/編集**を選択します。
3. **削除**を選択します。
4. 削除したい周波数を選択します。
5. **削除**を選択します。

お気に入りリストの表示順を変更する

1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。
2. **追加/編集**を選択します。
3. **移動**を選択します。
4. 周波数を選択すると、その放送局を移動できるようになります。
5. スライド、またはコマンドースイッチで放送局を移動し、**OK**を選択します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
が
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペク

さく
いん

オーディオ

交通情報の受信

1. ホーム画面の  を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
2. **交通情報** を選択すると、画面の下部に以下のボタンが表示されます。

ボタン	説明
1620/1629	選択するごとに、AM1620kHz と AM1629kHz を切り替えることができます。
設定	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

テレビの使いかた グレード/仕様別装備

1. ホーム画面の  を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
2. **TV** を選択すると、テレビ番組が表示されます。
3. 画面をタッチすると、以下のアイコンが画面の下部に表示されます。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	チャンネルリストを表示します。 TV 1 または TV 2 タブを選択すると、チャンネルリストを切り替えることができます。 Auto Preset を選択すると、最大 12 局までのチャンネルをチャンネルリストに表示します。 視聴したいチャンネルを選択します。
EPG	視聴しているチャンネルの番組情報を表示します。 確認したい番組を選択すると、番組説明を表示します。
	系列局を探してチャンネルを切り替えます。
	選局します。 チャンネルリストに記憶させておいた放送局を呼び出します。 長押しすると自動選局します。
	

アイコン	説明
	設定画面を表示します。
	画面を調節します。 画面の下部にビデオ設定画面を表示します。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

知識

- 安全のため、走行中は映像が表示されません。
- テレビを表示してしばらくすると、フルスクリーン表示に切り替わります。

チャンネルリスト

放送局は、チャンネルリストから探します。

チャンネルリストに登録する

受信可能な放送局を、チャンネルリストに登録することができます。
チャンネルは TV 1、TV 2 それぞれ 12 局まで登録できます。

(視聴している放送局に登録する)

1.  を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. リストのいずれかを長押しすると、放送局に登録します。

(受信可能なすべての放送局に登録する)

1.  を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. **Auto Preset** を選択します。
4. **はい** を選択すると、受信可能な放送局を探し、チャンネルリストに登録します。

チャンネルリストから放送局を選択する

1.  を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. 呼び出す放送局を選択します。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペック

さ
く
い
ん

オーディオ

テレビの各種機能を設定する

テレビの各種機能を設定することができます。

1. を選択すると、設定項目が表示されます。
2. 設定したいアイコンを選択して設定します。

受信設定

フルセグ（地上デジタルテレビ放送）とワンセグの受信設定を変更します。

AUTO：受信状態によってフルセグ受信とワンセグ受信を切り替えます。

フルセグ：常にフルセグを受信します。

ワンセグ：常にワンセグを受信します。

音声多重設定

主 / 副音声を選択することができます。

主音声：主音声に切り替えます。

副音声：副音声に切り替えます。

主／副：主音声 + 副音声に切り替えます。

字幕設定

字幕表示を設定します。

OFF：字幕を表示しません。

字幕 1：字幕 1 を表示します。

字幕 2：字幕 2 を表示します。

音声言語設定

音声言語を設定します。

1. **音声言語設定**を選択すると、選択可能な音声言語設定が表示されます。
2. 聞きたい音声言語設定を選択します。

放送局自動サーチ

放送局自動サーチ機能の ON/OFF を設定します。

OFF：視聴している放送の受信状態が悪くなくても、中継局を探しません。

ON：視聴している放送の受信状態が悪くなると、受信状態の良い中継局を探して自動で切り替えます。

受信機情報

受信機情報を表示します。

受信機情報を選択すると、ソフト情報を表示します。

設定初期化

すべてのテレビ設定値をリセットし、初期値にもどすことができます。

1. **設定初期化**を選択します。
2. **はい**を選択します。

画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定できます。

|||を選択すると、画面の下部に以下のタブが表示されます。

タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。 リセット を選択します。

緊急放送の視聴

本機は、緊急放送を受信することができます。

1. 緊急放送を受信すると、確認画面が表示されます。
2. **はい**を選択すると、緊急放送に切り替わります。
緊急放送が終了すると、もとの状態にもどります。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
が
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

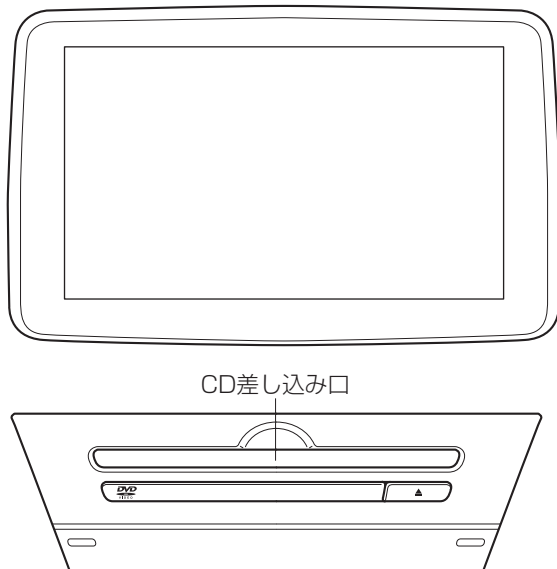
車両
スペク

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

CD プレーヤーの使いかた グレード/仕様別装備



タイプ	再生できるデータ
音楽 /MP3/WMA/AAC CD プレーヤー	● 音楽データ (CD-DA) ● MP3/WMA/AAC ファイル

知識

一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. CD のラベル面を上にして、CD 差し込み口に軽く押し込みます。CD が自動的に送り込まれ、再生を始めます。

CD が入っているときは、エンターテインメントメニュー画面の **CD** を選択します。
再生を開始すると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	(音楽 CD) CD 内のトラックリストを表示します。 聞きたいトラックを選択します。 (MP3/WMA/AAC CD) 一番上の階層のフォルダ / ファイルリストを表示します。 フォルダを選択します。 フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択します。
	(MP3/WMA/AAC CD のみ) 現在再生しているフォルダのファイルリストを表示します。 聞きたいファイルを選択します。
	(音楽 CD) 再生中の曲をくり返して再生します。 もう一度選択すると解除されます。 (MP3/WMA/AAC CD) 再生中の曲をくり返して再生します。 もう一度選択すると、フォルダ内の曲をくり返して再生します。 もう一度選択すると解除されます。
	(音楽 CD) CD 内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。 (MP3/WMA/AAC CD) フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると、CD 内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

オーディオ

アイコン	説明
	(音楽 CD) CD 内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。 (MP3/WMA/AAC CD) フォルダ内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコンまたはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	CD を再生します。もう一度選択すると、一時停止します。
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

 知識

- 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- **(MP3/WMA/AAC CD)**
再生はフォルダ番号の順に行われます。MP3/WMA/AAC ファイルがないフォルダはスキップされます。

使用例 (MP3/WMA/AAC CD の一番上の階層から曲を探すとき)

1. を選択して、一番上の階層のフォルダ / ファイルリストを表示します。

CD	
	Disc
	フォルダ名 A
	フォルダ名 B
	フォルダ名 C
	音楽ファイル名 1
	音楽ファイル名 2

2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ / ファイルリストが表示されます。
3. 聞きたいファイルを選択します。

知識

- を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。
- リピート、シャッフルのアイコンは作動状態ごとに変化します。
- スキャン再生中にオーディオ操作をおこなうと、スキャン再生中の曲が通常再生されます。その後、オーディオは通常操作をおこなうことができます。

CD を取り出すとき

1. ボタンを押します。
2. CD の端を持って取り出します。

運転
前に
する

運
転
に
し
る

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

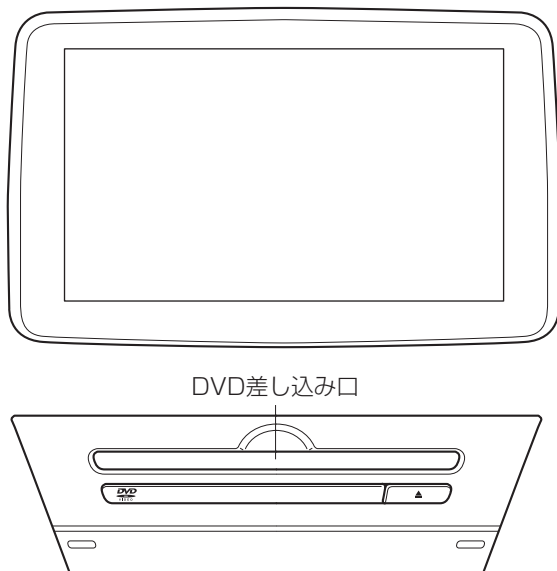
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

3. 快適装備の使いかた

オーディオ

DVD プレーヤーの使いかた グレード/仕様別装備



タイプ	再生できるデータ
DVD VIDEO/DVD-VR プレーヤー	DVD VIDEO/DVD-VR ファイル

再生するとき

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. DVD のラベル面を上にして、DVD 差し込み口に軽く押し込みます。DVD が自動的に送り込まれ、DVD のトップメニュー画面とコントローラーが表示されます。
3. コントローラーで操作して再生を開始すると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。
	DVD のメニュー画面にもどります。

アイコン	説明
	チャプターの再生が始まって数秒以内であれば、前のチャプターの頭にもどります。 チャプターの再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中のチャプターの頭にもどります。 再生中に長押しすると早もどしをします。 一時停止中に長押しすると逆スロー再生をします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	DVD を再生します。もう一度選択すると、一時停止します。
	次のチャプターの先頭に進みます。 再生中に長押しすると早送りをします。 一時停止中に長押しするとスロー再生をします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	選ぶごとに、カメラアングルを変更します（使用可能な DVD の場合）。
	字幕の表示 / 非表示を切り替えます（使用可能な DVD の場合）。
	視聴制限を切り替えます。 視聴制限レベルや、PIN コードの設定を変更することができます。
	再生を一時停止して、DVD 設定画面を表示します。 サウンド設定を選択すると、音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」 アスペクト比を選択すると、アスペクト比（画面の横縦比）を選択できます。16:9 ワイドスクリーン、4:3 レターボックス、4:3 パンスキャンから選択できます。
	画面を調節します。 画面の下部にビデオ設定画面を表示します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

オーディオ

知識

- 12cmDVD サイズ専用です。8cmDVD サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmDVD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- 安全のため、走行中は映像が表示されません。
- コントローラーのをスライドすると、コントローラーが移動します。
- DVD の再生を止めた後に DVD モードに切り替えると、DVD のメニュー画面を表示せずに再生を再開します。

DVD の各種機能を設定する

音質とアスペクト比を設定することができます。

音質を設定する

1. を選択します。
2. **サウンド設定**を選択すると、音質設定画面を表示します。
→ 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

アスペクト比を設定する

1. を選択します。
2. **アスペクト比**を選択します。
3. アスペクト比を選択します。

画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定することができます。

を選択すると、画面の下部に以下のタブが表示されます。

タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。 リセット を選択します。

DVD を取り出すとき

1. ▲ボタンを押します。
2. DVD の端を持って取り出します。

AUX/USB 端子の使いかた

市販のポータブルオーディオを AUX 端子に接続することで、車両のスピーカーで音声を聞くことができます。

また、USB 機器を USB 端子に接続することで、車両のオーディオ機器で再生することができます。

→ 305ページ「ポータブルオーディオ機器を使用していただくために」

運転
前に

運転
ときに

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

オーディオ

設定

 知識

グレードや仕様によって、画面表示が異なる場合があります。

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. タブを切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。
3. 以下の設定を変更することができます。

タブ	アイテム	説明
AD-Disp	高さ 明るさ調節 その他	→ 127ページ「アクティブドライビング ディスプレイ グレード/仕様別装備」
画面	→ 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」	
安全装備	車間認知支援システム SBS/SCBS その他	→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」
サウンド	→ 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」	
時計	時刻設定	現在の設定時刻が表示されます。 ＋を選択すると時間 / 分が進み、－を選択すると時間 / 分がもどります。 12h 表示のときのみ、AM/PM の選択ができます。
	GPS 同期	ON にすると「時刻設定」が無効になります。
	時刻表示	12h/24h 表示を変更します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
車両装備	オートワイパー ドアロック その他	→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

タブ	アイテム		説明
通信	Bluetooth®		→ 316ページ「Bluetooth®の登録」
システム	ボタンの説明表示		ボタンの説明を表示 / 非表示します。
	ミュージックデータベース更新		Gracenote®を更新します。USB オーディオとともに使用されます。 ● 音楽情報の補足（曲名、アーティスト名など） ● 音声認識によるアーティスト再生、アルバム再生の補助 → 311ページ「USB オーディオ再生時に表示される楽曲情報（センターディスプレイ装備車）」
	工場出荷時の状態にリセット		音質設定以外の設定が初期化されます。 ☐ Yes を選択すると初期化が実行されます。
	システム情報	免責事項	免責事項を確認できます。
		バージョン情報	オーディオユニットの OS バージョンと Gracenote データベースバージョンを確認することができます。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手持ちの

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

アプリケーション

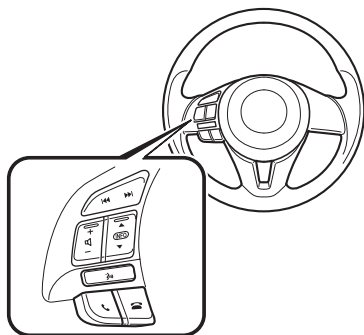
 知識

グレードや仕様によって、画面表示が異なる場合があります。

ホーム画面のを選択して、アプリケーション画面を表示します。以下の情報を確認できます。

トップ画面	アイテム	説明
i-DM	i-DM シンプルモード i-DM トレーニングモード 設定	→ 131ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示」
燃費モニター	燃費情報 i-stop、i-ELOOP 状態 表示 i-stop 効果表示 設定	→ 115ページ「燃費モニター」
ドライバ選択	ドライバ選択 On/Off ドライバ名選択 ドライバ名編集	→ 133ページ「ドライバ選択」
メンテナンス	定期点検 オイル点検 / 交換	→ 253ページ「メンテナンスモニター」
ウォーニング	現在作動しているウォーニングを確認できます。	→ 440ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」

オーディオリモートコントロールスイッチの操作



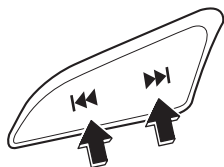
ハンドルの左側にあります。
オーディオの電源が入っているときに、手でオーディオの操作をすることができます。

音量を調節するとき



＋、－スイッチを操作して、音量を調節します。

選局するとき



ラジオを聞いているときに $\lll$ 、 $\ggg$ スイッチを押すと、お気に入りにあらかじめ記憶させておいた放送局を呼び出すことができます。スイッチを押すごとに順次記憶された放送局に切り替わります。
また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。
テレビを視聴しているときに $\lll$ 、 $\ggg$ スイッチを押すと、チャンネルリストを使ってあらかじめ記憶させておいた放送局を呼び出すことができます。スイッチを押すごとに順次登録された放送局に切り替わります。
また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使い
かた

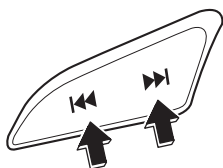
お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

頭出しをするとき



CD、USB オーディオ、または Bluetooth®オーディオを聞いているときに $\lll$ 、 $\ggg$ スイッチを操作すると、曲の頭出しをすることができます。

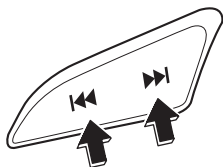
次の曲の頭に進めたいときは $\ggg$ スイッチを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは $\lll$ スイッチを押しします。

DVD を視聴しているときに $\lll$ 、 $\ggg$ スイッチを操作すると、チャプターの頭出しをすることができます。

次のチャプターの頭に進めたいときは $\ggg$ スイッチを押し、今視聴しているチャプターの頭にもどしたいときは $\lll$ スイッチを押しします。

Aha™、または Stitcher™ ラジオを聞いているときに $\ggg$ スイッチを押すと、次の曲の頭に進みます。

評価するとき



Aha™、または Stitcher™ ラジオを聞いているときに $\lll$ 、 $\ggg$ スイッチを長押しすると、次のように評価できます。

Aha™

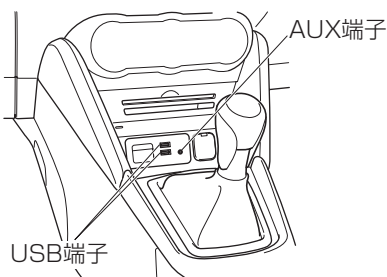
- $\ggg$: 現在のコンテンツを“Like (好き)”評価します。
- $\lll$: 現在のコンテンツを“Dislike (嫌い)”評価します。

Stitcher™ ラジオ

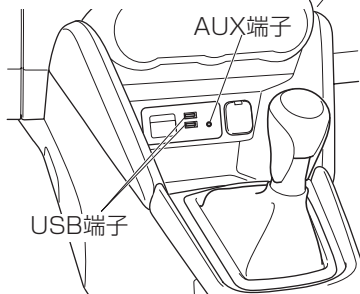
- $\ggg$: 再生中の番組を“Like (好き)”評価します。
- $\lll$: 再生中の番組を“Dislike (嫌い)”評価します。

ポータブルオーディオ機器を使用いただくために

DVD/CDプレーヤー装備車



DVD/CDプレーヤー非装備車



市販のポータブルオーディオを AUX 端子に接続することで、車両のスピーカーで音声を聞くことができます。

また、USB 機器を USB 端子に接続することで、車両のオーディオ機器で再生することができます。

知識

SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム装備車は、地図データが保存された SD カード（マツダ純正品）を SD カードスロットに差し込んで使用します。

警告



必ず守る

車を止めてから操作する。

走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

AUX/USB 端子に接続したコードが、パーキングブレーキレバーやセレクトレバー（オートマチック車）、チェンジレバー（マニュアル車）に絡まないようにする。

運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

オーディオ

⚠ 注意



プラグを接続した状態で、AUX/USB 端子に物を乗せたり、大きな力を加えたりしないでください。



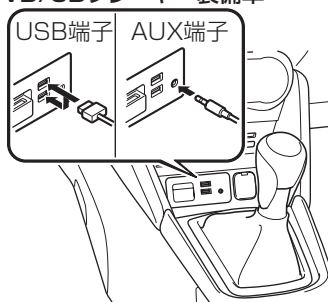
接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります（ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください）。

📖 知識

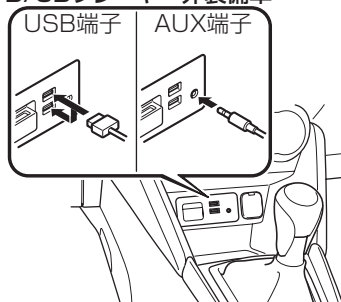
- 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ポータブルオーディオを AUX 端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ (3.5 φ) を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- プラグは AUX/USB 端子に確実に差し込んでください。

接続のしかた

DVD/CDプレーヤー装備車



DVD/CDプレーヤー非装備車



📖 知識

プラグの抜き差しは、AUX/USB 端子の穴に対して垂直に行なってください。

AUX の使いかた

1. ホーム画面の🎵を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
2. **AUX** を選択すると、画面の下部に表に示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

📖 知識

- 機器が AUX 端子に接続されていないときは、AUX モードには切り替わりません。
- 音量調節は、ポータブルオーディオ本体およびコマンダースイッチ、またはオーディオリモートコントロールスイッチで行います。
- 音量調節以外の操作は、ポータブルオーディオ本体で行います。センターディスプレイやコマンダースイッチでは操作できません。
- AUX モード中に AUX 端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜いたりするとノイズが発生することがあります。

USB の使いかた

タイプ	再生できるデータ
USB モード	MP3/WMA/AAC/OGG ファイル

USB3.0 の機器には対応していません。また、その他の機器も、機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。
FAT32 でフォーマットされた機器に対応しています (NTFS フォーマットなどでフォーマットされた機器には対応していません)。

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

オーディオ

再生するとき

1. ホーム画面の🎵を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
2. **USB 1**または**USB 2**を選択して USB モードに切り替えます。画面の下部に表に示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	カテゴリーリストを表示します。
	再生中のトラックリストを表示します。 聞きたい曲を選択すると、再生します。
	再生中の曲をくり返して再生します。 もう一度選択すると、トラックリスト内の曲をくり返して再生します。 もう一度選択すると解除されます。
	再生中のトラックリスト内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。
	Gracenote の More Like This™によって、再生中の曲と似た曲の再生を開始します。More Like This™をキャンセルするには、カテゴリーリストの中から任意の曲を選択します。
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。 曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。
	曲を再生します。もう一度選択すると、一時停止します。
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

知識

- 再生時間を表示しているスライダーを移動することで、好きな場所に移動できます。
- 作動状態によって、リピート、シャッフルのアイコンは変化します。

カテゴリーリスト

を選択すると、表に示すカテゴリーリストが表示されます。

カテゴリーを選択して、聞きたいアイテムを選択します。

カテゴリー	説明
プレイリスト	機器の中にあるプレイリストを表示します。
アーティスト	アーティスト名のリストを表示します。 選択したアーティストの全ての曲や、アルバムごとに再生することができます。
アルバム	アルバム名のリストを表示します。
曲	機器の中にある全ての曲を表示します。
ジャンル	ジャンルのリストを表示します。 選択したジャンルの全ての曲や、アルバム、またはアーティストごとに再生することができます。
オーディオブック	オーディオブックのリストを表示します。 チャプターを選択して再生することができます。
ポッドキャスト	Podcast のリストを表示します。 エピソードを選択して再生することができます。 (一部の Apple 製品専用のサービスです)
フォルダ	フォルダ / ファイルリストを表示します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適な
使いかた

お手入れ
のしかた

トラブル
の起こりかた

車両
の仕様

安全
運転

使用例 (USB 機器内にあるすべての曲を再生するとき)

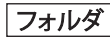
(方法 1)

1. を選択して、カテゴリーリストを表示します。
2. を選択します。
USB 機器内にあるすべての曲が表示されます。
3. 聞きたい曲名を選択します。
聞きたい曲が再生されます。継続して再生をすることで、USB 機器内にあるすべての曲を再生することができます。

知識

ステップ 2 で聞きたいカテゴリーを選択し曲を再生すると、そのカテゴリー内にある曲のみを再生します。

(方法 2)*¹

1. を選択して、カテゴリーリストを表示します。
2. を選択します。
USB 機器内にある全てのフォルダ名が表示されます。
3. を選択します。
USB 機器内にあるすべての曲が表示されます。
4. 聞きたい曲名を選択します。
聞きたい曲が再生されます。継続して再生をすることで、USB 機器内にあるすべての曲を再生することができます。

*1 Android™ 機器、または USB メモリで操作することができます。

知識

ステップ 3 で聞きたいフォルダを選択し曲を再生すると、そのフォルダ内にある曲のみを再生します。

USB オーディオ再生時に表示される楽曲情報

USB 機器でオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。

Gracenote 音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：copyright©2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright ©2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDb、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



知識

「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100% 保証するものではありません。

運転
前に
する

運転
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

Gracenote 音楽認識サービスのご利用について

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。
©2000 to present. Gracenote, Inc.

データベースを更新する

知識

最新の Gracenote データベースは、以下の Web サイトからダウンロードすることができます。

<http://infotainment.mazdahandsfree.com/howto-manageupdates?language=jp-JP>

USB 機器を使用して Gracenote データベースを更新することができます。

1. Gracenote 更新用ソフトウェアを保存した USB 機器を接続します。
2. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
3. **システム** タブを選択し、**ミュージックデータベース更新**を選択します。
4. **検索**を選択します。USB 機器に保存されているアップデートパッケージの一覧とそのバージョンが表示されます。
5. アップデートに使用するパッケージを選択します。
6. **インストール**を選択します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
に
か
た

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

Bluetooth®

Bluetooth® ハンズフリーについて

車両の Bluetooth® ユニットに電波送信で Bluetooth® 対応機器（携帯電話）を接続すると、オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン、ピックアップボタン、ハングアップボタン、またはセンターディスプレイでの操作により、電話に出たり電話をかけたりすることができます。例えば、機器（携帯電話）をコートのポケットに入れている場合でも、機器（携帯電話）を取り出して直接操作することなく、電話をかけることができます。

Bluetooth® オーディオについて

Bluetooth® 通信機能のあるポータブルオーディオ機器を車両の Bluetooth® ユニットに登録すると、登録したポータブルオーディオ機器に録音されている音楽を、車両のスピーカーから聴くことができます。また、ポータブルオーディオ機器を車両の外部入力端子に接続する必要はありません。登録後は、車両のセンターディスプレイで音楽の再生 / 停止が可能です。

知識

- 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング（登録）することができます。車両が発進すると、ペアリングは中断されます。ペアリングを行なう前に、安全な場所に車両を止めてください。
- Bluetooth® 対応機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- Bluetooth® 接続していない場合でも、音声コマンドを発話することによりオーディオの基本操作などは可能です。
- 安全のため、走行中はセンターディスプレイの操作をすることができません。ただし、表示がグレーにならない項目は走行中も操作可能ですので、コマンドスイッチで操作してください。

警告

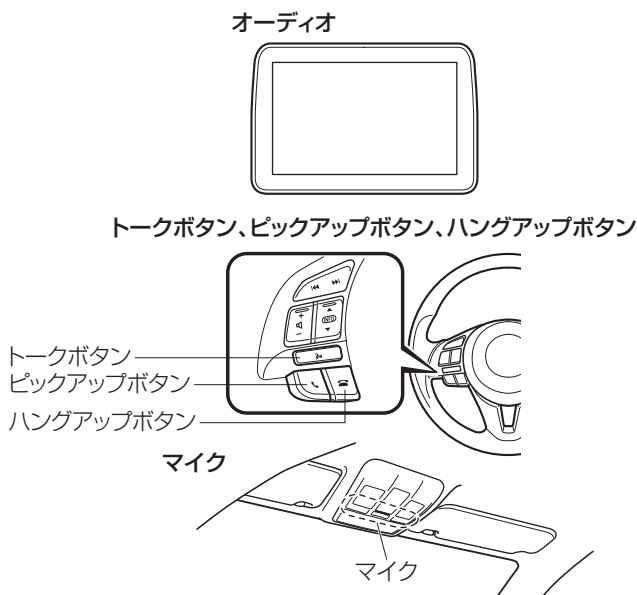


Bluetooth® 機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth® 機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。

対応 Bluetooth® 規格（推奨）

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0（適合）

構成部品



マイク（ハンズフリー）

マイクは音声コマンド、または通話に使用します。

トークボタン、ピックアップボタン、ハングアップボタン

電話発信や通話終了のような Bluetooth® の基本的な機能には、オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン、ピックアップボタン、ハングアップボタンを使用します。

知識

トークボタンは音声認識を起動、ピックアップボタンは着信を受ける、ハングアップボタンは音声認識を終了するときなどに使用します。

コマンダースイッチ

コマンダースイッチは音量の調節とセンターディスプレイの操作に使います。コマンダーノブを傾ける、またはまわしてカーソルを移動します。コマンダーノブを押して、アイコンを選択します。

運転
前に
に
運
転
す
る

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

Bluetooth®

音量の調節

コマンダースイッチの音量調節ダイヤルをまわして、音量を調節します。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。音量はオーディオリモートコントロールスイッチの音量調節スイッチを操作することでも調節できます。

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **設定**を選択します。
3. **通話音量**と**ガイダンス音量**をスライダーで調節します。

知識

他のオーディオモードと比べて、音量が小さいと感じた場合は、機器側の音量を上げてください。

Bluetooth® の登録

機器の登録（ペアリング）

Bluetooth®オーディオとハンズフリーを使用するには、以下の手順で Bluetooth®対応機器を登録します。Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器、または携帯電話を 7 個まで登録することができます。

知識

Bluetooth®システムは、電源ポジションを ACC、または ON に切り替えた後、1 ～ 2 分間操作できない場合がありますが異常ではありません。1 ～ 2 分経過後も Bluetooth®システムが自動接続されない場合は、機器側の Bluetooth®設定が正常である事を確認のうえ、車両側から Bluetooth®機器に再接続を試みてください。

ペアリング手順

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. Bluetooth®の設定を ON にします。
5. **新規機器の登録**を選択して、メッセージを表示して、機器での操作に切り替えます。
6. 機器を操作して、Bluetooth®機器を検索します。
7. 機器の検索結果の機器一覧から「Mazda」を選択します。

8. (Bluetooth®バージョン 2.0 の機器の場合)

表示された 4 桁のペアリングコードを機器に入力します。

(Bluetooth®バージョン 2.1 以上の場合)

オーディオに表示された 6 桁のコードが機器にも表示されていることを確認し **はい** を選択します。携帯機器によっては、携帯機器本体側で接続許可、および電話帳のアクセス許可などが必要です。

9. ペアリングに成功すると、Bluetooth®接続した機器の機能が表示されます。

10. (機器が車両の SMS 機能に対応している場合)

機器の SMS (Short Message Service) が自動ダウンロードされます。機器によっては、機器本体側でダウンロード許可操作を実行する必要がある場合があります。

知識

メッセージの自動ダウンロードは、自動ダウンロード設定が On になっている必要があります。

→ 332ページ「コミュニケーション設定」

登録が完了すると、システムは自動的に機器を識別します。Bluetooth®ハンズフリー機能を起動、または電源ポジションを OFF から ACC に切り替えた後に Bluetooth®ハンズフリー機能を起動すると、機器の接続状態がセンターディスプレイに表示されます。

ペアリングと自動再接続について

知識

- **同じ携帯機器のペアリングをやり直す場合は、携帯機器本体側の Bluetooth®設定画面に表示されている「Mazda」を一度削除する必要があります。**
- 機器の OS をアップデートした場合、ペアリング情報が削除されることがあります。その場合は Bluetooth®ユニットにペアリング情報を再登録する必要があります。
- ペアリングする前に、機器と車両の両方の Bluetooth®の設定が ON になっていることを確認してください。

運転
前に
する

運転
時に

快適
装備
の
使用
が
た

お
手
入
れ
の

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

機器の選択

複数の機器を登録しているときは、最後に登録した機器と接続します。他の登録済み機器と接続したいときは、接続を変更する必要があります。接続を変更した後は、電源ポジションを OFF にしても接続機器の優先順位は維持されます。

他の機器を接続する

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. Bluetooth®の設定を ON にします。
5. 接続したい機器の名前を選択します。
6. **電話とオーディオ**を選択
ハンズフリーと Bluetooth®オーディオ両方の機器として接続します。
電話のみを選択
ハンズフリー機器として接続します。
オーディオのみを選択
Bluetooth®オーディオとして接続します。

知識

ハンズフリー、またはオーディオは、以下の機能を使用することができます。

- ハンズフリー：電話、SMS
- オーディオ：Bluetooth®オーディオ、Aha™、Stitcher™ ラジオ

機器との接続を切断する

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. Bluetooth®の設定を ON にします。
5. 現在接続している機器の名前を選択します。
6. **接続を解除**を選択します。

機器を削除する

機器を指定して削除するとき

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. Bluetooth®の設定を ON にします。
5. 削除したい機器の名前を選択します。
6. **機器の登録を解除**を選択します。
7. **はい**を選択します。

運転
前に
する

運転
する
とき

全ての機器を削除するとき

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. **Bluetooth設定**を選択します。
5. **すべての登録機器を削除**を選択します。
6. **はい**を選択します。

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

パスコードを変更する

パスコード (4 桁) は変更できます。

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信**タブを選択します。
3. **Bluetooth**を選択します。
4. **Bluetooth設定**を選択します。
5. **パスコード変更**を選択します。
6. 新しいパスコードを入力します。
7. **✓**を選択します。

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さく
いん

音声認識操作

この項目では、音声認識の基本操作を説明します。

音声認識を起動する

トークボタンを押す。

音声認識を終了する

以下の操作のいずれかを行います：

- ハングアップボタンを押す。
- 発話：「キャンセル」
- コマンダースイッチ、またはセンターディスプレイ（車両停車時のみ）を操作する。

音声案内をスキップする（素早く操作するために）

トークボタンを押す。

音声認識のトラブルシューティング

音声認識モード中に操作方法が分からなくなったときは「チュートリアル」または「ヘルプ」と発話してください。

常に使用できる音声認識操作

「もどる」と「キャンセル」は、音声認識モード中に常に使用できるコマンドです。

前の操作にもどる

音声認識モード中に「もどる」と発話すると、前の操作にもどります。

キャンセル

音声認識モード中に「キャンセル」と発話すると、Bluetooth®ハンズフリーシステムは待機状態に移行します。

音声認識を失敗しないようにするために、以下のポイントに注意してください:

- 音声案内中やビープ音が鳴っている間は、音声認識を行うことができません。音声案内やビープ音が終わるのを待ってから、音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- 必要以上に大声でしゃべったり、ゆっくりしゃべったりしないでください。
- 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼び出す場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します（「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります）。
- 単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、車両の外の雑音やエアコンの気流を乱すのを防ぐために窓を閉めてください。
- エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。

知識

音声認識操作がうまくできないとき。

→ 345ページ「トラブルシューティング」

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
が
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

主なオーディオ操作

トークボタンを押して、以下のコマンドを発話するとオーディオを操作することができます。() 内のコマンドは、省略することができます。{} 内には、指定する名前が入ります。

音声コマンド	説明	対応するエンターテインメントソース
AM (ラジオ) (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを AM ラジオに切り替えます。	すべて
FM (ラジオ) (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを FM ラジオに切り替えます。	すべて
ブルートゥース (オーディオ) (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを Bluetooth® オーディオに切り替えます。	すべて
Aha (ラジオ) (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを Aha™ に切り替えます。	すべて
Stitcher (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを Stitcher™ ラジオに切り替えます。	すべて
USB (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを USB 1 に切り替えます。	すべて
USB 2 (に移動 / (を) 再生)	エンターテインメントソースを USB 2 に切り替えます。	すべて
プレイリスト {プレイリスト名} を再生	指定したプレイリストを再生します。	USB
アーティスト {アーティスト名} を再生	指定したアーティストを再生します。	USB
アルバム {アルバム名} を再生	指定したアルバムを再生します。	USB
ジャンル {ジャンル名} を再生	指定したジャンルを再生します。	USB
フォルダ {フォルダ名} を再生	指定したフォルダを再生します。	USB

知識

- 上記のコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。
- 機器の接続状況や使用状況によっては、使用できないコマンドがあります。

運
転
す
る
前
に

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

Bluetooth® ハンズフリー

電話の使いかた

電話帳の使いかた

電話はダウンロードされた電話帳、または電話番号が登録された人物の中から、連絡先を発信することによって発信することができます。



知識

- 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- 電話帳に登録されている、ふりがな情報通りに発信してください。

音声での操作

1. トークボタンを押します。
2. ピッという音が鳴るまで待ちます。
3. 発話：（例）「マツダ タロウの携帯に電話」（マツダ タロウという人物が機器側の電話帳に登録されている場合）
4. 電話を発信するために、音声案内に従ってください。

センターディスプレイでの操作

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **連絡先**を選択して、連絡先リストを表示します。
3. 電話を発信したい連絡先を選択して、連絡先の詳細を表示します。
4. 電話番号を選択して、電話を発信します。

連絡先を入力する（電話帳をダウンロードする）

Bluetooth®を使用することで、機器（携帯電話）から電話帳のデータを Bluetooth® ハンズフリー電話帳に登録することができます。

自動ダウンロード

「連絡先の自動同期」の設定が On になっている必要があります。機器が接続したときに自動的にダウンロードされます。

→ 332ページ「コミュニケーション設定」

手動ダウンロード

「連絡先の自動同期」の設定が Off の場合、以下の手順で電話帳のダウンロードを行います。

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **連絡先**を選択して、連絡先リストを表示します。
3. **連絡先を編集**を選択します。
4. **すべての連絡先を同期**または**選択した連絡先を同期**を選択して、機器での操作に切り替えます。
5. **すべての連絡先を同期**を選択した場合は、**同期開始**を選択します。
6. 携帯電話からのダウンロードを開始します。

知識

- 「すべての連絡先を同期」の操作をおこなうと電話帳が上書きされます。
- 最大 1000 件までの連絡先を登録することができます。
- 電話帳、着信 / 発信履歴、およびお気に入りメモリは、プライバシーを保護するために、接続する機器によって変わります。

お気に入りの連絡先

最大 50 件の連絡先を登録することができます。電話番号を登録すれば、電話帳の中から電話したい人を探す必要がなく、より早く電話を発信することができます。

お気に入り登録する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。
3. **追加/編集**を選択します。
4. **連絡先を登録**または**電話番号を登録**を選択します。
5. 表示されたリスト一覧から連絡先を選択します。

知識

- バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。
- 「連絡先を登録」を選択すると、選択した人の名前などの情報も含め登録されます。また、「電話番号を登録」を選択すると、選択した人の電話番号のみ登録されます。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

お気に入りから電話を発信する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。
3. **(電話する連絡先の電話番号が 1 件のとき)**
電話したい連絡先情報を選択します。手順 5 に進みます。
(電話する連絡先の電話番号が複数のとき)
電話したい連絡先情報を選択して、連絡先の詳細を表示します。手順 4 に進みます。
4. 電話したい電話番号を選択します。
5. **はい**を選択します。

お気に入りから削除する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。
3. **追加/編集**を選択します。
4. **削除**を選択します。
5. 削除したい連絡先情報を選択します。
6. **削除**を選択します。

お気に入り一覧の表示順を変更する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。
3. **追加/編集**を選択します。
4. **移動**を選択します。
5. 連絡先を選択すると、その連絡先を移動させることができます。
6. スライド、またはコマンダースイッチで連絡先を移動し、**OK**を選択します。

お気に入りの連絡先名を変更する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。
3. **名前の編集**を選択します。
4. 連絡先を選択して、キーボード画面を表示します。
5. 新しい連絡先名を入力し**OK**を選択して、連絡先名を保存します。

知識

お気に入りリストが表示されているときに連絡先を長押しすると、連絡先情報を編集できます（削除、表示順入れ替え）。

電話番号入力

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **ダイヤル**を押すとダイヤルパッドが表示されます。
3. ダイヤルを使って電話番号を入力します。
4. を選択して電話を発信します。

番号とシンボルの入力

テンキーを使用します。

を長押しすると、+を入力できます。

を選択すると、ひとつ前の入力番号を削除します。

を長押しすると、すべての入力番号を削除します。

リダイヤル機能

携帯電話 / 車両から、最後に電話をかけた相手（発信履歴の最新の人物）に電話を発信します。

1. トークボタンを押します。
2. ピッという音が鳴るまで待ちます。
3. 発話：「リダイヤル」

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

コールバック機能

携帯電話 / 車両に対し、最後に電話をかけてきた相手（着信履歴の最新の人物）に電話を発信します。

1. トークボタンを押します。
2. ピッという音が鳴るまで待ちます。
3. 発話：「コールバック」

着信を受ける

電話の着信があると、着信通知画面が表示されます。「着信通知」の設定が On になっている必要があります。

→ 332ページ「コミュニケーション設定」

通話を開始するには、オーディオリモートコントロールスイッチのピックアップボタンを押すか画面上の **応答** を選択します。

着信を拒否するには、オーディオリモートコントロールスイッチのハングアップボタンを押すか画面上の **拒否** を選択します。

通話中画面には、以下のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。

アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	通話を終了します。
	ハンズフリーから携帯電話に電話を転送する Bluetooth®ユニットと機器（携帯電話）の間の通信が取り消され、通常の電話として機器（携帯電話）側で受けるように切り替えます。
	機器（携帯電話）からハンズフリーに電話を転送する 機器（携帯電話）と接続し、Bluetooth®ハンズフリーの通話に切り替えます。
	通話中にマイクを消音することができます。 もう一度選択すると解除されます。
	通話中に別の相手に発信して三者通話ができます。次の中から連絡先を選択して発信します。 履歴 ：通話履歴が表示されます。 連絡先 ：電話帳が表示されます。 ダイヤル ：ダイヤルパッドが表示されます。電話番号を入力します。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。

アイコン	説明
	保留中の通話が合流し、三者通話になります。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
	保留中の通話を切り替えます。
	DTMF (Dual Tone Multi-Frequency Signal) 送信 ダイヤルパッドで DTMF を送信する場合、この機能を使用します。 一般的に、DTMF 送信を要求するものは家庭用電話の留守番電話、または会社の自動ガイダンスコールセンターです。

知識

- ハンズフリー通話中に電源ポジションが OFF になった場合は、通話は機器（携帯電話）に自動的に転送されます。
- DTMF コードに 2 つ以上の数字またはシンボルがある場合、個別に送信されます。

メッセージの受信と返信 (SMS 対応の電話のみ)

接続している機器が受信した SMS (Short Message Service) メッセージをダウンロードしてセンターディスプレイに表示したり、人工音声で読みあげることができます。また、受信したメッセージに返信したり、その番号に電話することができます。

メッセージをダウンロードする

接続している機器から、最新 20 件までのメッセージをダウンロードし、表示することができます。

自動ダウンロード

「SMS の自動同期」の設定が On になっている必要があります。メッセージはハンズフリーユニットと機器が接続したときに自動的にダウンロードされます。

手動ダウンロード

「SMS の自動同期」の設定が Off の場合、以下の手順でメッセージのダウンロードを行います。

1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **SMS** を選択して、受信トレイを表示します。
3. **更新** を選択します。
4. 携帯電話からダウンロードを開始します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

知識

- 添付データはダウンロードされません。
- 140 バイトまでのメッセージをダウンロードできます。
- メッセージリストは機器ごとに作成されます。
- 接続している機器によってはダウンロードできない場合があります。

メッセージを受信したとき

機器がメッセージを受信すると、メッセージ受信通知が表示されます。「メッセージ新着通知」の設定が On になっている必要があります。

→ 332 ページ「コミュニケーション設定」

読む を選択すると、メッセージが表示されます。

メッセージ詳細の下に、以下のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。

アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	受信トレイを表示します。
	表示中の受信メッセージを音声再生します。 もう一度選択すると一時停止します。
	前のメッセージを表示します。
	次のメッセージを表示します。
	表示中の受信メッセージの送信者のみに返信します。 表示された返信画面の本文を選択して、送信する文章を定型文から選択します。 送信 を選択します。
	表示中の受信メッセージの送信者に電話をかけます。 送信者の電話番号が非通知の場合は、電話を発信することができません。
	表示中の受信メッセージを削除します。 機器に保存されているメッセージも削除されます。

知識

定型文は、最大 3 つまで選択できます。

定型文を編集する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。
2. **設定**を選択します。
3. **定型文**を選択します。
4. 編集したい定型文を選択します。キーボード画面が表示されます。
5. メッセージ内容を入力し、を選択すると定型文として保存されます。

知識

- を選択すると、言語を変更します。
- を選択すると、大文字と小文字を切り替えます。
- を選択すると、編集を保存せずに前の画面にもどります。

運転
前に
する

運転
とき
に

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

コミュニケーション設定

ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。を選択して、設定を変更します。

アイテム	設定	説明
Bluetooth®	—	Bluetooth®機器の接続設定をします。 → 316ページ「Bluetooth®の登録」
着信通知	オン / オフ	電話の着信があったときに、通知します。
SMS の自動同期	オン / オフ	Bluetooth®ユニットと機器が接続したときに、自動的に SMS をダウンロードします。
メッセージ新着通知	オン / オフ	新たにメッセージを受信したときに、通知します。
履歴の自動同期	オン / オフ	Bluetooth®ユニットと機器が接続したときに、自動的に通話履歴をダウンロードします。
連絡先の自動同期 ^{*1}	オン / オフ	Bluetooth®ユニットと機器が接続したときに、自動的に電話帳をダウンロードします。
着信音	車両 / 携帯 / オフ	着信音量の設定を変更します。
通話音量	スライダーで調節します。	通話音量を調節します。
ガイダンス音量	スライダーで調節します。	音声ガイダンスと着信音量を調節します。
連絡先の表示方法	名前、苗字	連絡先の表示順を名前で並び替えます。
	苗字、名前	連絡先の表示順を苗字で並び替えます。
定型文	—	定型文を編集します。
リセット	—	コミュニケーション設定が全て初期化されます。

*1 機器によっては、機器側でダウンロード許可を行う必要があります。

Bluetooth® オーディオ

対応 Bluetooth® 規格（推奨）

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0（適合）

対応プロファイル

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0/1.2
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0/1.3/1.4

A2DP は、音声を Bluetooth® ユニットに転送するだけのプロファイルです。AVRCP に対応せず、A2DP のみに対応している Bluetooth® オーディオ機器の場合、センターディスプレイでの操作はできません。この場合は、Bluetooth® 非対応のポータブルオーディオ機器を AUX 端子に接続したときと同様に、携帯機器本体側での操作のみ可能です。

機能	A2DP	A2DP-AVRCP		
		Ver. 1.0	Ver. 1.3	Ver. 1.4
再生	○	○	○	○
一時停止	○	○	○	○
ファイル（トラック）アップ/ダウン	—	○	○	○
早もどし	—	—	○	○
早送り	—	—	○	○
テキスト表示	—	—	○	○
リピート	—	—	機器に依存	機器に依存
シャッフル	—	—	機器に依存	機器に依存
スキャン	—	—	機器に依存	機器に依存
フォルダアップ/ダウン	—	—	—	機器に依存

○：可能
—：不可能

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

Bluetooth®

知識

- Bluetooth®が接続されているときは、Bluetooth®オーディオ機器のバッテリー消費量が増加します。
- 一般の携帯機器は、USB 接続すると、Bluetooth®接続を切断するため、USB 接続と Bluetooth®接続は同時に使用できません。そのため、USB 接続中の携帯機器では、ハンズフリー電話、Bluetooth®オーディオ再生の機能は使用できません。
- Bluetooth®オーディオ機器によっては、正常に操作できないことがあります。

Bluetooth® オーディオシステムの使いかた

Bluetooth® オーディオモードに切り替える

Bluetooth®オーディオ機器に保存されている音楽や音声を、センターディスプレイで操作するために Bluetooth®オーディオモードに切り替えてください。使用する前に Bluetooth®オーディオ機器を車載の Bluetooth®ユニットに登録する必要があります。→ 316ページ「Bluetooth®の登録」

1. Bluetooth®オーディオ機器の電源を ON にします。
2. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
3. ホーム画面の  を選択して、エンターテインメント画面を表示します。
4. **Bluetooth** を選択すると、Bluetooth®オーディオモードに切り替わり再生を開始します。

知識

- Aha™ や Stitcher™ ラジオを使用後に Bluetooth®オーディオを使用する場合は、先に携帯機器側のアプリケーションを終了させる必要があります。
- Bluetooth®オーディオ機器の再生が始まらない場合は  を選択してください。
- モードが Bluetooth®オーディオモードから他のモード（ラジオモードなど）に切り替わると、Bluetooth®オーディオ機器からの再生は停止します。

再生

Bluetooth®オーディオモードに切り替えると、Bluetooth®オーディオ機器の音声を車両のスピーカーから聞くことができます。

Bluetooth®オーディオモードに切り替わると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。お使いの Bluetooth®オーディオ機器のバージョンによって、表示されるアイコンは異なります。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	(AVRCP Ver. 1.4 のみ) 一番上の階層のフォルダ / ファイルリストを表示します。 フォルダを選択します。フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択します。

3. 快適装備の使いかた

Bluetooth®

アイコン	説明
	(AVRCP Ver. 1.3 以上) 再生中の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると、フォルダ内の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると解除されます。 ソングリピート時、フォルダリピート時にはアイコンが変化します。
	(AVRCP Ver. 1.3 以上) フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると、機器内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。 フォルダシャッフル時、デバイスシャッフル時にはアイコンが変化します。
	フォルダ内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。 もう一度選択すると、機器内の各曲の初めを再生します。 もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。
	前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	Bluetooth®オーディオを再生します。もう一度選択すると、一時停止します。
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコン、またはコマンダーノブから手を離すと止まります。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

使用例（機器の一番上の階層から曲を探すとき）

1. を選択して、一番上の階層のフォルダ / ファイルリストを表示します。



2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ / ファイルリストが表示されます。
プレイリストを選ぶと、その中のファイルリストが表示されます。
3. 聞きたいファイルを選択します。

知識

 を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。

Bluetooth® オーディオ機器情報表示

Bluetooth® オーディオ機器を接続すると、以下の情報が画面に表示されます。

	AVRCP Ver. 1.3 未満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以上
機器名	○	○	○
バッテリー残量表示	○	○	○
曲名	—	○	○
アーティスト名	—	○	○
アルバム名	—	○	○
再生時間	—	○	○
ジャンル名	—	○	○
アルバムアート	—	—	—

○: 可能
—: 不可能

知識

機器によっては、一部の情報が表示できない場合があります。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
に
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

Aha™* の使いかた

Aha は、インターネットラジオや Podcast など、様々なインターネット・コンテンツを利用することができるアプリケーションです。

Facebook や Twitter の一部機能を使用することもできます。

周辺情報サービスを利用して周辺の目的地を探したり、リアルタイムの周辺情報を入手することができます。

Aha によって提供されるサービスの内容は、予告なく Aha によって変更される場合があります。

* Aha、Aha ロゴおよび Aha トレードドレスは Harman International Industries, Inc. の商標、または登録商標です。

 知識

Aha を操作する前に、以下の手続きを行ってください：

- 機器に Aha アプリケーションをインストールする。
- 機器で Aha アカウントを作成する。
- 機器で Aha にログインする。
- 機器でプリセットステーションを設定する。

再生

ホーム画面のを選択して、エンターテインメント画面を表示します。**aha**を選択すると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。選択するステーションによって、表示されるアイコンは異なります。

また、以下のアイコン以外が表示される場合もあります。

アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	メインメニューを表示します。 他のステーションに切り替えたいときに使います。
	コンテンツリストを表示します。 ステーション内の、他のコンテンツに切り替えたいときに使います。
	シャウト 音声を録音します。 音声を録音し、再生可能な音声として Facebook や他のソーシャルステーションに投稿します。

アイコン	説明
	Like^{*1} 現在のコンテンツを“Like（好き）”評価します。
	Dislike^{*1} 現在のコンテンツを“Dislike（嫌い）”評価します。
	15 秒巻きもどします。
	地図（ナビゲーションシステム装備車のみ） 周辺情報サービスを利用して検索した目的地を、ナビゲーションシステム上に表示します。
	電話発信 周辺情報サービスを利用して検索した店などに、電話をかけることができます。 接続している機器が、ハンズフリーとして接続されている場合に、使用できます。
	前のコンテンツにもどります。
	コンテンツの再生を一時停止します。もう一度選択すると、再生を再開します。
	次のコンテンツに進みます。
	30 秒早送りをします。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

*1 ステーションやプロバイダーによっては、違うタイプの「Like」、「Dislike」を使用しています。

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快適
装備
の
使用
が
た
い

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

Bluetooth[®]

メインメニュー

☰ を選択します。



タブを切り替えてステーションのカテゴリを選択します。

タブ	説明
プリセット	機器で設定したプリセットステーションリストを表示します。 プリセットステーション名を選択すると、そのステーションの内容が再生されます。
周辺情報	ステーションリストから好みのステーションを選択します。 検索された、自転車位置周辺の目的地へ案内します。 事前に機器でフィルタ設定することで、好みのカテゴリを指定することができます。

知識

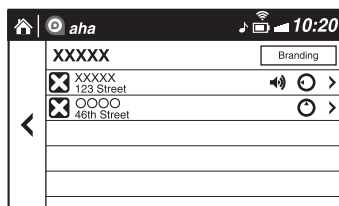
周辺情報サービスは、Aha が提供する内容に依存するため、利用可能なサービスが異なる場合があります。

使用例（周辺情報サービス）

1. メインメニューの周辺情報サービスタブから、好みのステーションを選択します。
検索された目的地の順番で、目的地名や住所などの再生が始まります。



2. を選択すると、現在表示されている目的地をナビゲーションシステム上に表示します（ナビゲーションシステム装備車のみ）。
3. を選択すると、現在表示されている目的地の電話番号に電話をかけます。
4. を選択すると、コンテンツリストを表示します。
一覧から他の目的地を選択できます。



シャウト

Facebook や Caraoke などのソーシャルステーションでは「シャウト」機能を利用した音声メッセージの投稿が可能です。

1. を選択すると、カウントダウン (3, 2, 1, 0) が始まります。カウントダウンが終了すると、録音が始まります。
2. 音声を録音します。
3. を選択すると、録音が保存・投稿されます。

知識

- 録音可能時間は、ステーションによって異なります（最大 30 秒間）。
- 録音可能時間が経過すると、自動的に録音は停止します。その後、投稿するか破棄するかを選択します。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

Stitcher™* ラジオの使いかた

Stitcher™ ラジオとは

Stitcher™ ラジオは、インターネットラジオや Podcast などのストリーミング放送を聴くことのできるアプリケーションです。

気に入ったコンテンツをお気に入りに登録したり、“Like” または “Dislike” することで、自動的にお勧めのコンテンツを選択してくれます。

* Stitcher™、Stitcher™ ロゴおよび Stitcher™ トレードドレスは Stitcher, Inc. の商標、または商標登録です。

知識

Bluetooth® の Stitcher™ ラジオを操作する前に、以下の手続きを行ってください：

- 機器に Stitcher™ ラジオアプリケーションをインストールする。
- 機器で Stitcher™ ラジオアカウントを作成する。
- 機器で Stitcher™ ラジオにログインする。
- 機器でプリセットステーションを設定する。

再生

ホーム画面のを選択して、エンターテインメント画面を表示します。**Stitcher**を選択すると、画面の下部に以下のアイコンが表示されます。

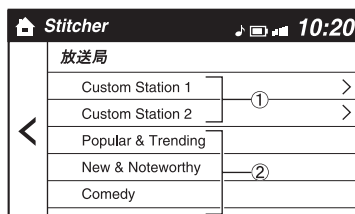
アイコン	説明
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。
	放送局リストを表示します。 他の放送局に切り替えたいときに使います。
	Dislike 再生中の番組を “Dislike (嫌い)” 評価します。
	Like 再生中の番組を “Like (好き)” 評価します。
	再生中の放送局を、お気に入りに追加、またはお気に入りから削除します。
	30 秒巻きもどします。

アイコン	説明
	放送局を再生します。もう一度選択すると、一時停止します。
	次の放送局に進みます。
	音質を調節します。 → 284ページ「音量 / 画面 / 音質の調節」

放送局リスト

1. を選択すると、ステーションリストが表示されます。

- ①お気に入り放送局名：選択すると、お気に入りに登録されている番組が表示されます。
 - ②カテゴリ名：Stitcher™ があなたの好みから選択した、お勧めのカテゴリが表示されます。
- 選択すると、そのカテゴリの番組が表示されます。



2. 番組名を選択すると、再生します。

お気に入りに追加する

再生中の番組が、お気に入りに登録されていない場合、お気に入りに登録することができません。

1. ★を選択して、登録を追加できるお気に入り放送局を表示します。
2. 登録したい放送局名を選択します。
3. **OK**を選択すると、選択したお気に入りステーションに番組が追加されます。

知識

- 複数のお気に入り放送局を選択して、登録することができます。
- 自分で登録したお気に入り放送局だけでなく、デフォルト設定のお気に入りステーションも表示されます。

運転
前に
する

運転
とき
に

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

お気に入りから削除する

再生中の番組が、既にお気に入りに登録されている場合、お気に入りから削除することができます。

1. ★を選択します。
2. 自動的にお気に入り放送局から番組が削除されます。

トラブルシューティング

Bluetooth[®]機器ペアリング、接続の問題

問題	原因	解決方法
ペアリングができない	—	機器が Bluetooth [®] ユニットに対応しているか確認し、機器の Bluetooth [®] と Find Mode ^{*1} が ON になっているのを確認してください。その後、ペアリングを行ってもペアリングできない場合はマツダ販売店にご相談ください。
再ペアリングできない	Bluetooth [®] ユニット、または機器に登録されているペアリング情報を誤認識している。	以下の手順でペアリングを実施します。 ● 機器に登録されている「Mazda」を削除する。 ● 再度ペアリングを行う。
ペアリングができない	機器によっては、Bluetooth [®] や Find Mode ^{*1} が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	Bluetooth [®] と Find Mode ^{*1} が ON になっている事を確認し、再度接続してください。
エンジン始動で自動接続しない		
自動接続していたが、突然自動接続しなくなった		
接続が途切れる	機器を後部座席のカバンの中やズボンの後ろポケットの中等、電波が遮断されやすい場所に置いていませんか？	機器を電波が遮断されにくい場所に移動させてください。
エンジン始動で自動接続しない	機器の OS がアップデートされた際に、登録されているペアリング情報が更新されている。	再度ペアリングを行ってください。

*1 機器の存在が、外から検知されるようにするための設定

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手持ちの

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

知識

- 機器の OS をアップデートした場合、ペアリング情報が削除されることがあります。その場合は Bluetooth® ユニットにペアリング情報を再登録する必要があります。
- 他の車両に登録した機器をペアリングするときは、機器に登録した「Mazda」を削除する必要があります。そのあとに Bluetooth® 検索をもう一度実行してペアリングしてください。
- ペアリングする前に、機器と車両の両方の Bluetooth® の設定が ON になっていることを確認してください。

音声認識に関する問題

問題	原因	解決方法
音声認識がうまくいかない 数値を誤認識しやすい	● 話し方がゆっくりすぎませんか？ ● 話しが強すぎませんか？（怒鳴っていませんか？） ● ビープ音が鳴り終わる前に話していませんか？ ● マイクにエアコンの風などが当たっていませんか？ ● 標準でない表現（方言など）で話していませんか？	左の項目に注意して話してください。また、数値を連続して話す場合、数値間に間を置かずにつなげて話すと認識率は向上します。
音声認識がうまくいかない	マイクに不具合がある。	マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
電話帳の名前をうまく認識しない	Bluetooth [®] システムが認識しにくい状態になっています。	次の対応を行っていただくと、認識率が向上します。 ● 電話帳からあまり使わない連絡先を削除する。 ● 短い名前を避け、長い名前を適用する。 (名前は長いほど認識率が上がります。「ママ」や「パパ」等の短い文言は避けていただくと認識しやすくなります)
	Bluetooth [®] ユニットと機器の接続に問題がある。	ペアリングの状態を確認し、問題がある場合は、Bluetooth [®] 機器ペアリング、接続の問題を確認してください。
	電話帳にふりがな情報が登録されていない。	機器の電話帳にふりがな情報を追加し、電話帳を再ダウンロードしてください。
オーディオ操作の際に、曲名を認識しない	曲名は音声認識することができない。	—
ガイドンスをスキップしたい	—	トークボタンを押すことにより、ガイドンスはいつでもスキップできます。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

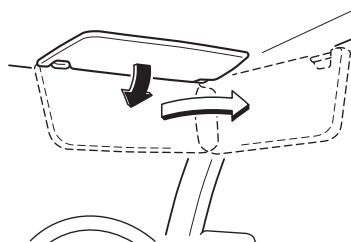
電話に関する問題

問題	原因	解決方法
通話開始時、通話相手に車両のノイズが聞こえる	通話開始から約 3 秒間は、Bluetooth®ユニットのノイズ抑制機能が通話環境の適応に時間が必要な為、通話相手にノイズが聞こえ、声が通りにくい事があります。	機器に問題はありません。
相手の声が聞こえない / 小さい	ボリュームがゼロ、または小さくなっていませんか？	ボリュームを上げてください。

その他の問題

問題	原因	解決方法
機器に表示されるバッテリーの残量と、車両に表示されるバッテリーの残量が異なる	機器と車両で、残量値表示方法が異なる事が原因です。	—
車両で通話を実行時、着信 / 発信履歴が電話番号で更新されるが、名前が出ない	電話帳に登録されていますか？	番号が電話帳に登録されていれば、エンジンを再始動すると、電話帳の名前で着信 / 発信履歴が更新されます。
着信 / 発信履歴が携帯電話と車両間で同期しない	携帯電話によっては、エンジン始動後に、着信 / 発信履歴をダウンロードすることがあります。	携帯電話を操作する必要があります。携帯電話をチェックしてください。

サンバイザー



前からの光をさえぎるときは、下げます。
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。

運転
前に
する

運転
ときに
する

バニティミラー（化粧鏡）

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

室内照明



知識

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。
バッテリーがあがるおそれがあります。

イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチが DOOR の位置で電源ポジションが OFF のときに、次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

- 運転席ドアを解錠すると約 30 秒間点灯します。
- キーが車内にある状態でドアを開けて、閉めたあと約 15 秒間点灯します。
- キーを携帯して車外からドアを開けて、閉めたあと約 5 秒間点灯します。

ルームランプスイッチが DOOR の位置のとき、電源ポジションを OFF にすると約 15 秒間点灯します。

室内装備

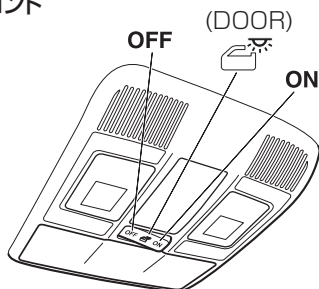
知識

- 次のようなときルームランプはすぐに消灯します。
 - 電源ポジションを ON にしたとき。
 - 運転席ドアを施錠したとき。
 - ルームランプスイッチが DOOR の位置で、約 30 分間ドアが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にルームランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。
 - ラゲッジルームランプスイッチが ON の位置で、約 30 分間リヤゲートが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にラゲッジルームランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。
 - バッテリーあがりを防止するため、ルームランプが点灯したままの場合（ルームランプスイッチが ON の位置またはルームランプのレンズを押して点灯させている場合）、以下の条件で自動的に消灯します。
 - 電源ポジションを OFF にしたあと、何も操作しない状態が約 30 分間続いたとき
 - 電源ポジションを OFF にしたあと、キーの LOCK ボタンを押す、またはリクエストスイッチを押して施錠したとき（数秒後に消灯します。）
- また、消灯したあと、以下の操作をすると再度ルームランプが点灯します。
- 電源ポジションを OFF 以外にする。
 - ドアを開ける。
 - ドアを解錠する。
 - イルミネーテッドエントリーシステムの作動時間を変更することができます。
→ 468ページ「設定変更（カスタマイズ機能）」

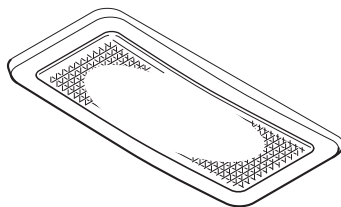
ルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。

フロント



リヤ



スイッチ位置	ルームランプ
DOOR	- ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。 - イルミネーテッドエントリースシステムの作動により点灯 / 消灯します。
OFF	常時消灯
ON	常時点灯

知識

リヤルームランプはフロントルームランプに連動して点灯 / 消灯します。

運転
前に

運転
ときに

快適
使いかた

お
手入
れ

トラ
ブル
が
起
きた
ら

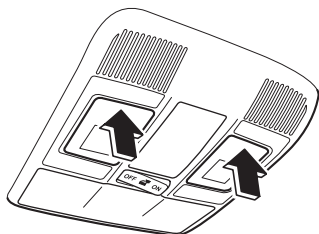
車両
仕様

さ
く
いん

室内装備

マップランプ グレード/仕様別装備

電源ポジションに関係なく使用できます。ルームランプのスイッチ位置が DOOR または OFF のときに、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



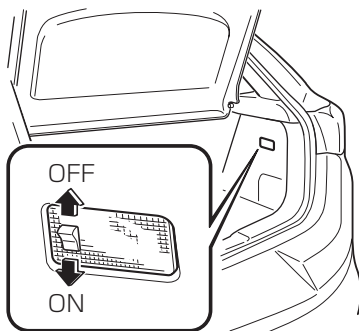
知識

次のときはレンズを押しても消灯しません。

- ルームランプのスイッチ位置が ON のとき。
- ルームランプのスイッチ位置が DOOR でドアが開いているとき。
- イルミネーテッドエントリーシステムが作動しているとき。

ラゲッジルームランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。



スイッチ位置	ラゲッジルームランプ
ON	リヤゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	常時消灯

電源ソケット

電源ポジションが ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。
最大消費電力 120W (DC12V—10A) 以下の電気製品を使用してください。

Aタイプ



Bタイプ



⚠ 注意



必ず守る

使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。



禁止

消費電力が 120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。



必ず守る

電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器を外し、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットから外したあと、電源ポジションを OFF にしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

知識

- エンジンを停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- シガーライターを差し込まないでください。

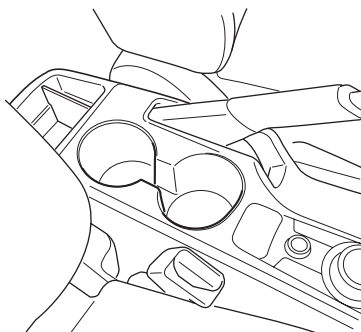
カップホルダー

注意



禁止

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。



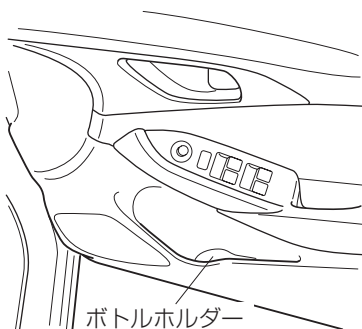
ボトルホルダー

⚠ 注意



禁止

ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中やドアを開閉するときにペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。



ペットボトルなどを置くことができます。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

収納

⚠ 注意



必ず守る

走行中は、グローブボックスなどのフタを必ず閉めてください。急ブレーキ時や衝突時に収納ボックスのフタや内部の物でけがをするおそれがあります。



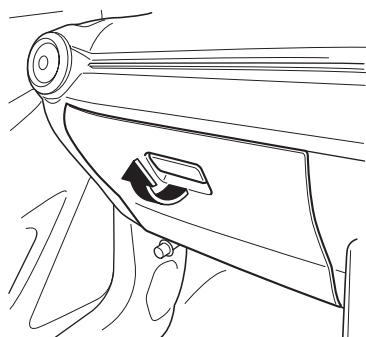
禁止

炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

3. 快適装備の使いかた

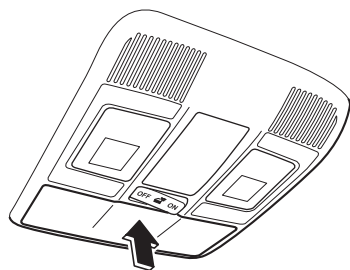
室内装備

グローブボックス



閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

オーバーヘッドコンソール



メガネやサングラスなどを入れることができます。

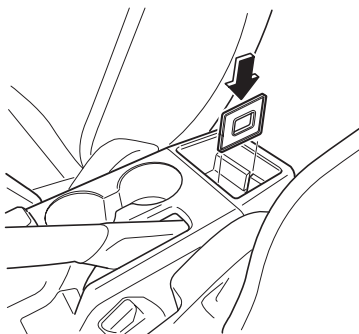
センターコンソールトレイ

⚠ 注意



禁止

走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。



フレキシブルチップを使用することで、カップや小物を置くことができます。
フレキシブルチップを使用しないときは、コンソールマルチトレイを広く使うことができます。

リヤコートフック

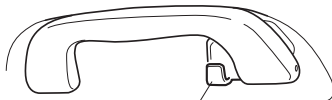
⚠ 警告



禁止

アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけない。

服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



コートフック

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

3. 快適装備の使いかた

室内装備

サブトランクボックス

⚠ 注意



禁止

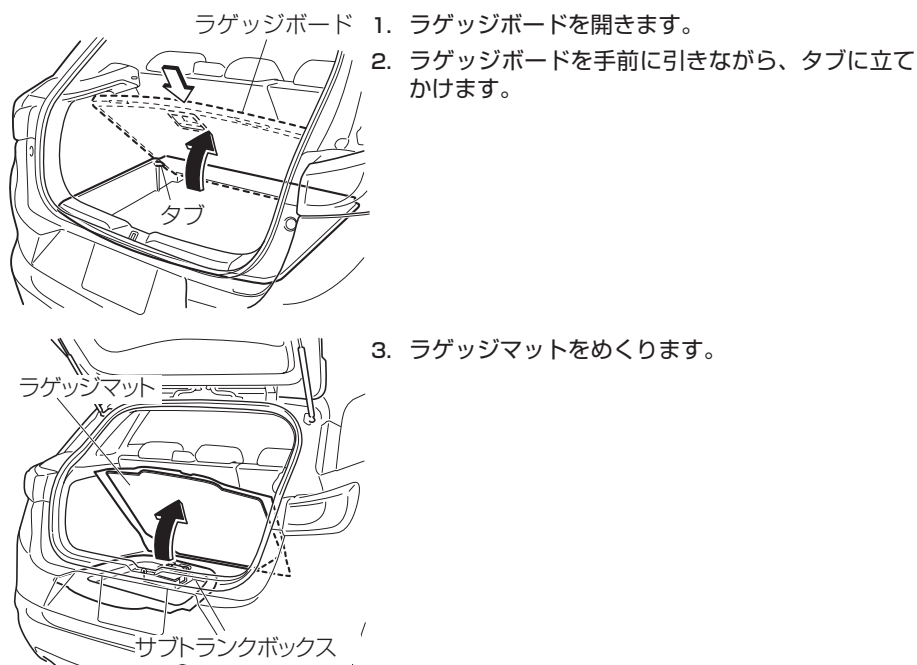
ラゲッジボードを立てかけているときは、ラゲッジボードに無理な力をかけないでください。無理な力がかかると、ラゲッジボードが変形または、損傷するおそれがあります。



必ず守る

走行するときはラゲッジボードをもとの位置にもどしてください。立てかけたまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

サブトランクボックスはラゲッジマットの下にあります。
小物などを収納することができます。



ラゲッジボード

上段で使用するとき

⚠ 注意



必ず守る

ラゲッジボードが確実に溝にはめ込まれていることを確認してください。確実ににはめ込まれていないまま使用すると走行中や急ブレーキ時にラゲッジボードがはずれてけがをしたり、ラゲッジボードが損傷したりするおそれがあります。



下段で使用するとき (BOSE®サウンドシステム非装備車)

⚠ 注意



必ず守る

BOSE®サウンドシステム非装備車のみ下段で使用することができます。BOSE®サウンドシステム装備車は下段で使用することができません。正しく使用しないと、ラゲッジボードが破損したり、ラゲッジボードが正しく固定されず思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

ラゲッジボードとラゲジマットを重ねて収納することで、背の高い荷物を入れることができます。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

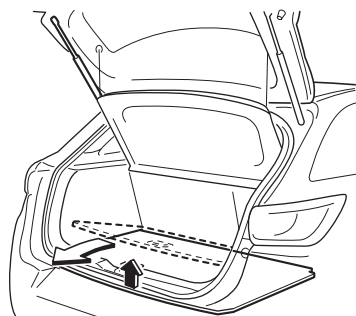
トラブルが起きたら

車両スペック

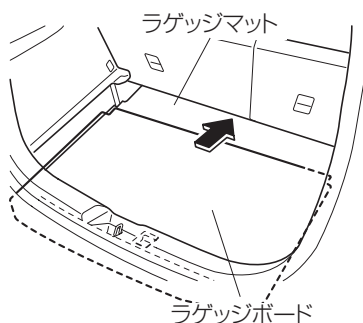
さくいん

3. 快適装備の使いかた

室内装備



1. ラゲッジボードを持ち上げて、手前に引きます。



2. ラゲッジボードをラゲッジマットの上に重ねて置きます。

ラゲッジフック

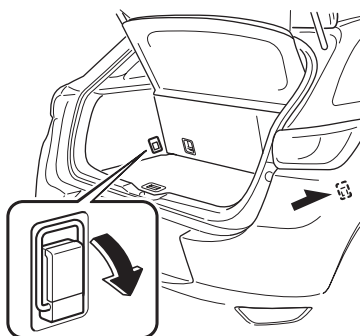
⚠ 警告



必ず守る

荷物を積むときは確実に固定する。

荷物を確実に固定しないと走行中に荷物が移動したりくずれたりして、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。



ロープやネットで荷物を固定するとき 사용합니다。フックの引っ張り荷重は 20 kg です。ロープを掛けて強く引っ張らないでください。

4 お手入れのしかた

車と上手につきあうために 362

必ずまもる..... 362

点検、整備 363

点検整備について..... 363

定期点検..... 364

日常点検の前に..... 365

日常点検..... 367

その他の手入れ..... 376

ヒューズ切れ、電球切れのとき 377

ヒューズの受け持つ装置..... 377

ランプ類、電気装置が作動しない
とき..... 381

電池交換 391

電池を交換するときは..... 391

車の手入れ 394

外装の手入れ..... 394

内装の手入れ..... 398

季節の準備 402

冬にそなえて..... 402

夏にそなえて..... 404

環境保護のために 405

廃棄物を処理するときは..... 405

必ずまもる

違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジンの改造や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品を装着するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。

部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。

また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。

点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

使用済みバッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。

⚠ 警告



必ず守る

点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

無料点検について

新車登録後 1 か月（または走行距離 1,000km）、6 か月（または走行距離 5,000km）は無料で点検が受けられます。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
整備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

点検、整備

車両データの記録について

本車両は、車両の制御や操作、その他の走行環境に関する主要なデータを記録するコンピュータを装備しています。

記録されるデータ

- エンジン回転数や車速など、車両の状態
- アクセル / ブレーキなどの運転状態・車両走行時の環境情報
- 各車載コンピュータの故障診断情報
- その他、各車載コンピュータの制御に関する情報

知識

記録されるデータの項目は、車両のグレードやオプション装備の種類により異なります。なお、コンピュータは会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

マツダおよびマツダの委託先は、コンピュータに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

定期点検

1 年点検、2 年点検はマツダ販売店で受けてください。

知識

● 点検結果について

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。

● シビアコンディションについて

一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。

詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

日常点検の前に

ボンネットの開けかた



1. 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを矢印の方向に倒したままボンネットを持ち上げます。

知識

レバーは車両に向かって中央より左側にあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

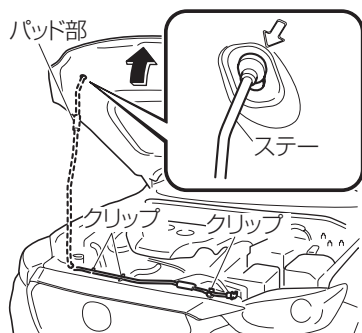
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備



3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

ボンネットの閉めかた



1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。
2. ボンネットを手でささえてステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。
3. ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

⚠ 警告



必ず守る

ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。

走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



禁止

ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。



必ず守る

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。



必ず守る

エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転
前に

運転
時に

快適
装備の
使用に
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。

「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

知識

点検結果について

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

4. お手入れのしかた

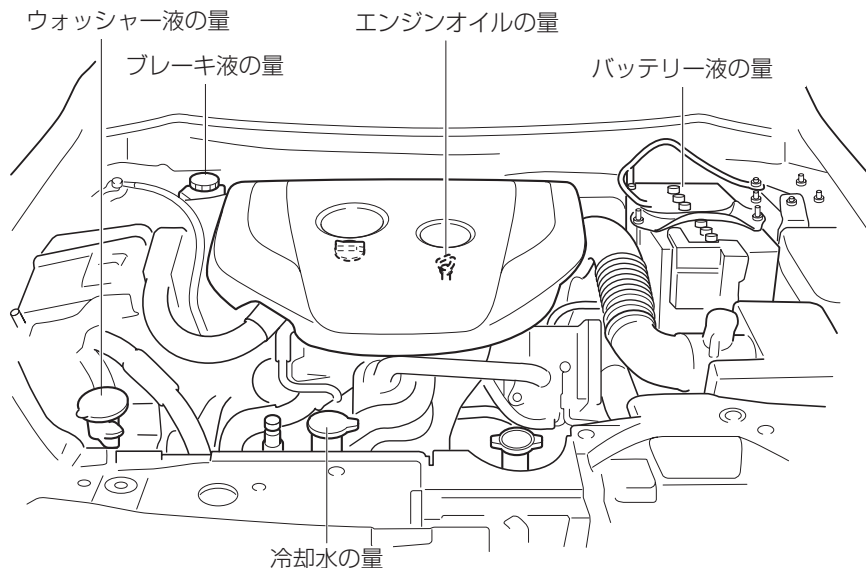
点検、整備

点検項目と点検箇所

運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エンジンルームをのぞいて



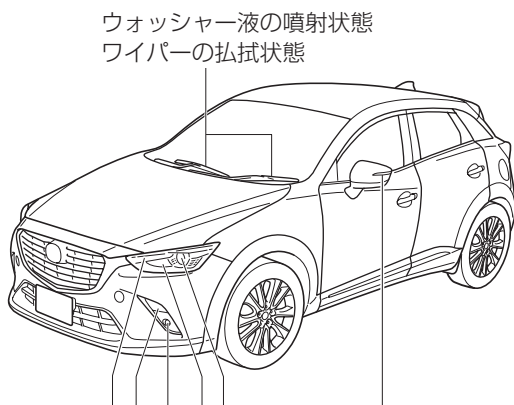
⚠ 注意



エンジンルームを点検したときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

全体を見まわして

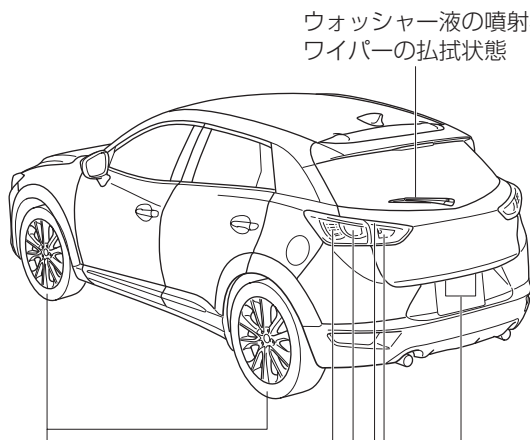
フロント



ウォッシャー液の噴射状態
ワイパーの払拭状態

灯火装置および方向指示灯の点灯
または点滅具合、汚れ、損傷

リヤ



ウォッシャー液の噴射状態
ワイパーの払拭状態

灯火装置および方向指示灯の点灯
または点滅具合、汚れ、損傷

タイヤの空気圧、き裂、損傷
異常摩耗、溝の深さなど

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

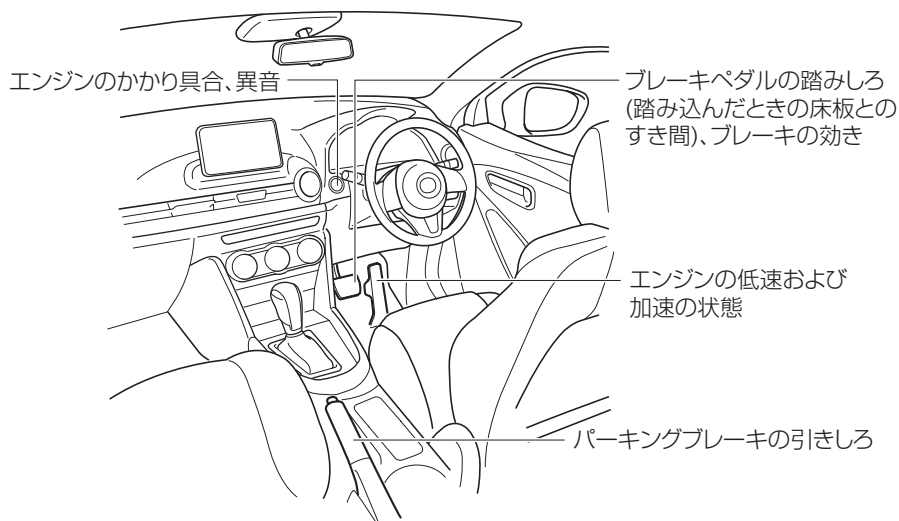
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備

運転席にすわって



タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

知識

タイヤの劣化について

タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後 5 ～ 7 年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

空気圧の点検

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調整してください。

⚠ 警告



禁止

タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。

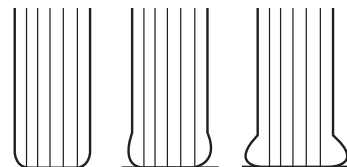
タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤの偏摩耗の原因となります。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。

タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



過多

適正

不足

き裂、損傷の点検

⚠ 警告



禁止

異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

- 走行中にハンドルがとられる
- 異常な振動を感じる
- バンクやバースト（破裂）する
- 車の性能（燃費・走行安定性・制動距離など）が十分に発揮できない
- 部品に悪影響をあたえる

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
した

お手
入れ
の
し
か
た

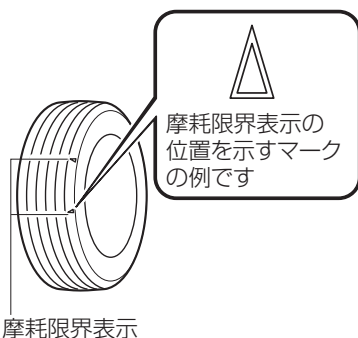
トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペ
ック

さく
いん

4. お手入れのしかた 点検、整備

溝の深さ、異常摩耗の点検



摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

警告



禁止

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が現れているタイヤを使用しない。

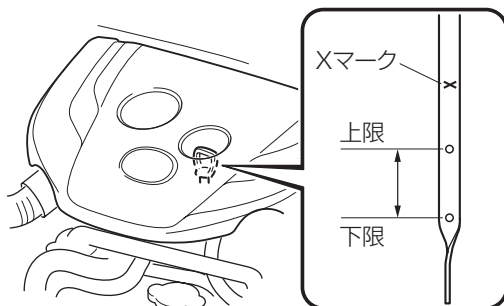
そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。

知識

摩耗限界表示について

摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm だけ浅くなっています。

エンジンオイルの点検、補充



オイルレベルゲージでエンジンオイルの量を点検してください。
不足しているときは上限から下限の間になるよう補充してください。
点検の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

⚠ 注意



必ず守る

指定のエンジンオイルを使用してください。指定以外のオイルを使用した場合、DPF 内にオイル中の灰分が堆積し、燃費の悪化や DPF の交換が必要になることがあります。

→ 457ページ「エンジンオイル」

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

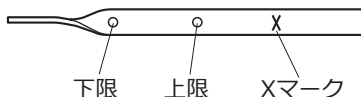
ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 点検、整備

知識



- エンジンオイルの量を点検するときは、オイルレベルゲージをひねらずまっすぐに抜いてください。
また、オイルレベルゲージを差すときは、必ずオイルレベルゲージの×マークを車両前方に向けてひねらずまっすぐ差し込んでください。
- エンジンオイルがレベルゲージの×の位置を超えている場合はオイル交換をしてください。
- DPF に堆積した PM (Particulate Matter: 粒子状物質) が自動で除去されるとき、エンジンオイルに燃料が混ざり、油量が増えることがあります但異常ではありません。

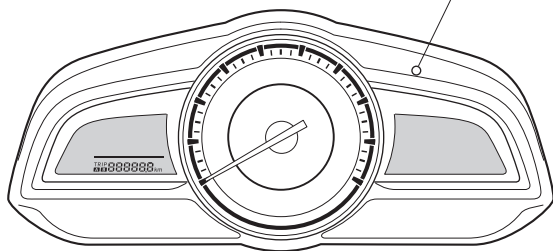
オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化（オイルデータリセット）を行なうか、次の手順で記憶値の初期化を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、レンチ表示灯またはオイル警告灯が点灯することがあります。

知識

記憶値の初期化（オイルデータリセット）は次の手順でも行なうことができます。

1. 電源ポジションを OFF にします。
2. オド/トリップ切り替えボタンを押したまま、電源ポジションを ON にし、マスター警告灯   が点滅するまで、オド/トリップ切り替えボタンを約 5 秒間押し続けます。

オド/トリップ切り替えボタン



3. マスター警告灯   が数秒間点滅したら、初期化は完了です。

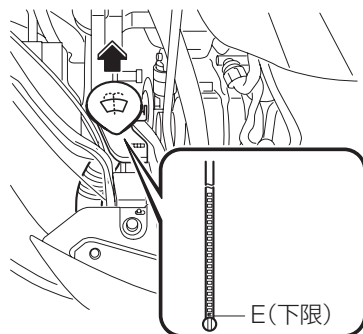
バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

→ 427ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の補充



補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

⚠ 注意



必ず守る

エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。

📖 知識

ウォッシャータンクについて

ウォッシャータンクは、フロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

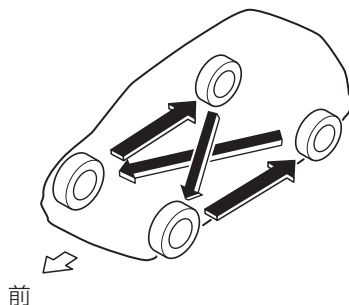
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

その他の手入れ

タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000km 走行ごとにタイヤの位置を交換してください。



⚠ 警告



必ず守る

タイヤを交換するときは指定されたサイズや種類のタイヤを装着する。

指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

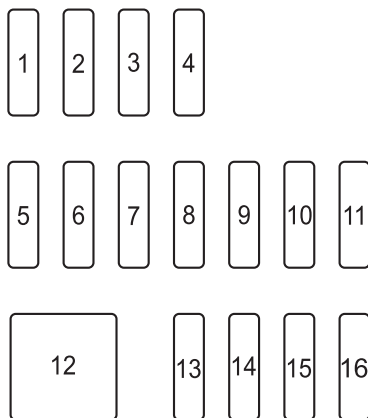
📖 知識

- タイヤの位置交換を行なうまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。
→ 370ページ「タイヤの点検」
- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、お客様自身ではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。

4. お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

ヒューズの受け持つ装置

室内ヒューズボックス



運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使いかた

位置	表示	容量	保護装置
1	—	—	—
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	F.OUTLET	15 A	電源ソケット
6	—	—	—
7	AT IND	7.5 A	セレクトレバー位置表示
8	MIRROR	7.5 A	電動ミラー
9	—	—	—
10	P.WINDOW2	25 A	パワーウィンドー
11	R.WIPER	15 A	リヤワイパー / ウォッシャー
12	—	—	—

お手
入れの
しかた

トラ
ブルが
起きたら

車両
スペク

さく
いん

ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内ヒューズボックス

[illegible]378

位置	表示	容量	保護装置
6	AUDIO2	15 A	オーディオ
7	METER1	10 A	メーター
8	SRS1	7.5 A	エアバッグシステム
9	METER2	7.5 A	メーター グレード/仕様別装備
10	RADIO	7.5 A	オーディオ
11	ENGINE3	15 A	エンジンコントロールシステム
12	ENGINE1	15 A	エンジンコントロールシステム
13	ENGINE2	15 A	エンジンコントロールシステム
14	AUDIO1	25 A	オーディオ
15	A/C MAG	7.5 A	空調
16	AT PUMP	15 A	トランスアクスルコントロールシステム グレード/仕様別装備
17	AT	15 A	トランスアクスルコントロールシステム、エンジンスイッチ
18	D.LOCK	25 A	パワードアロック
19	H/L RH	20 A	ヘッドランプ 右
20	ENG+B2	7.5 A	エンジンコントロールシステム
21	TAIL	20 A	尾灯、番号灯、車幅灯
22	—	—	—
23	ROOM	25 A	ルームランプ
24	FOG	15 A	フォグラмп グレード/仕様別装備
25	H/CLEAN	20 A	—
26	STOP	10 A	制動灯
27	HORN	15 A	ホーン

運転
前に

運転
ときに

快適
装備の
使用に
かた

お
手入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

さく
いん

ヒューズ切れ、電球切れのとき

位置	表示	容量	保護装置
28	H/L LH	20 A	ヘッドランプ 左
29	ABS/DSC S	30 A	ABS、DSC
30	HAZARD	15 A	方向指示灯 / 非常点滅灯
31	FUEL PUMP	15 A	—
32	FUEL WARM	25 A	フューエルウォーマー グレード/仕様別装備
33	WIPER	20 A	フロントワイパー
34	CABIN+B	50 A	各種電源
35	FAN2	30 A	—
36	FUEL PUMP	30 A	—
37	ABS/DSC M	50 A	ABS、DSC
38	EVVT	20 A	—
39	—	—	—
40	FAN1	30 A	—
41	FAN3	40 A	クーリングファン グレード/仕様別装備
42	ENG.MAIN	40 A	エンジンコントロールシステム
43	EPS	60 A	電動パワーステアリング グレード/仕様別装備
44	DEFOG	40 A	リヤウインドーデフォグガー（曇り取り）
45	IG2	30 A	各種電源
46	INJECTOR	30 A	—
47	HEATER	40 A	空調
48	P.WINDOW1	30 A	パワーウインドー
49	DCDC DE	40 A	各種電源 グレード/仕様別装備

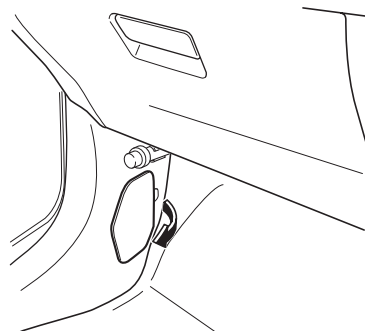
ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。

まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

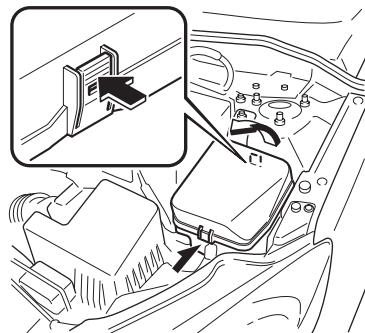
ヒューズの交換

室内ヒューズボックス



1. 電源ポジションを OFF にします。
2. ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席左下と、エンジンルーム内にあります。

エンジンルーム内ヒューズボックス



知識

- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

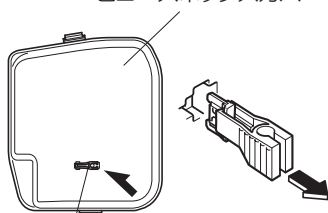
車両
仕様

さく
いん

4. お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

エンジンルーム内
ヒューズボックスカバー

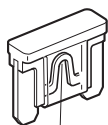


ヒューズはずし具

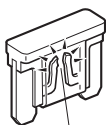
3. ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。

→ 377ページ「ヒューズの受け持つ装置」

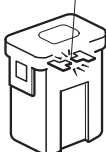
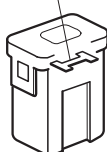
4. ヒューズを抜き取ります。



切れていない場合



切れている場合



5. ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。

6. ヒューズボックスのカバーを元の通り取り付けます。

⚠ 警告



禁止

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。

配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

必ずマツダ純正品または同等品を使用してください。

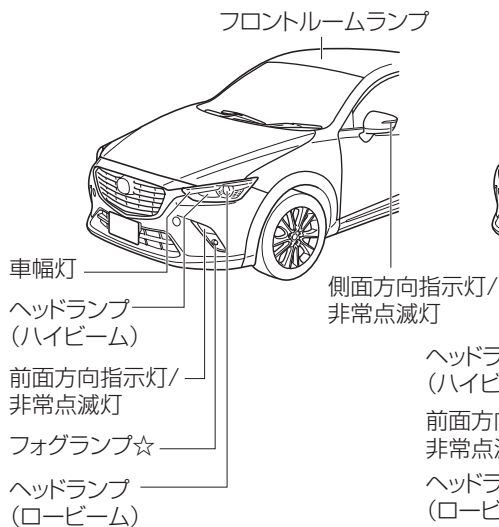
📖 知識

ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

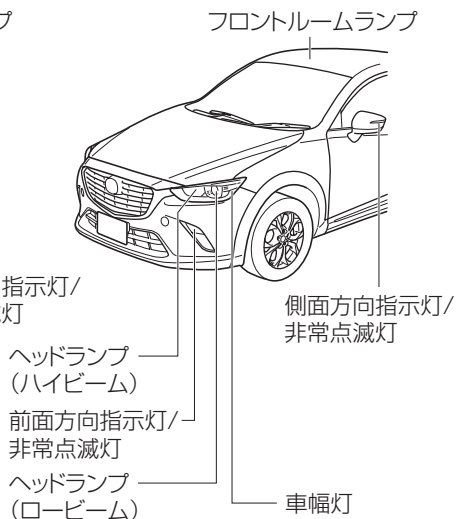
電球（バルブ）の交換

フロント

LEDヘッドランプ装備車

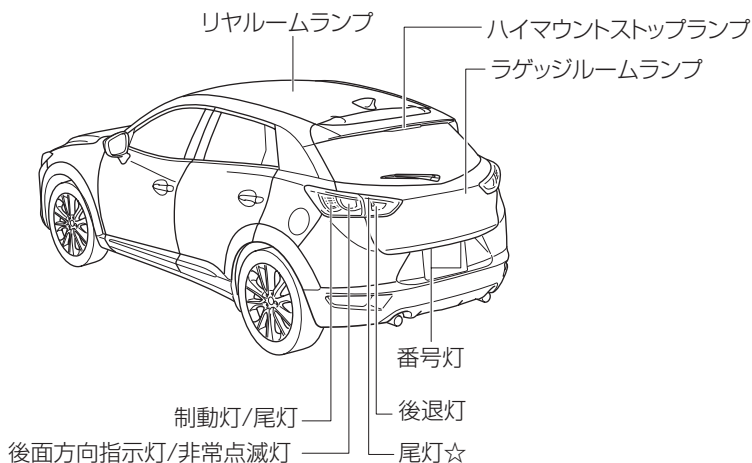


ハロゲンヘッドランプ装備車



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

リヤ



☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ク

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた

ヒューズ切れ、電球切れのとき

注意



電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。



番号灯、ルームランプ、ラゲッジルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズや内装に当たると、傷がつくおそれがあります。



マイナスドライバーなどを使ってレンズやランプ本体を取りはずすときは、マイナスドライバーなどが内部の端子に当たらないようにしてください。マイナスドライバーなどが直接端子に当たると、ショートするおそれがあります。

知識

● ハロゲン球の取り扱いについて

ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。

● 交換する電球について

必ず同じ W 数の電球を使用してください。

● ランプの曇りについて

ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついていたりときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

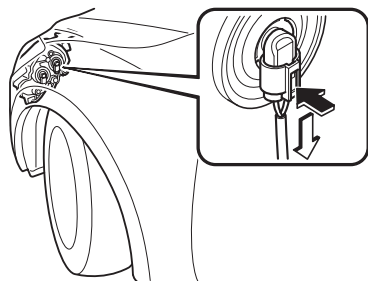
ヘッドランプ (LED ヘッドランプ装備車)

上向き (ハイビーム)、下向き (ロービーム)

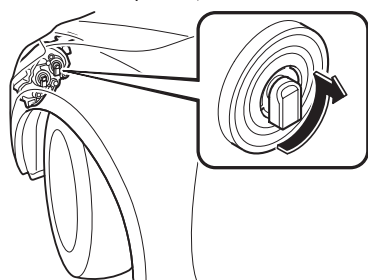
LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

ヘッドランプ（ハロゲンヘッドランプ装備車）

上向き（ハイビーム）

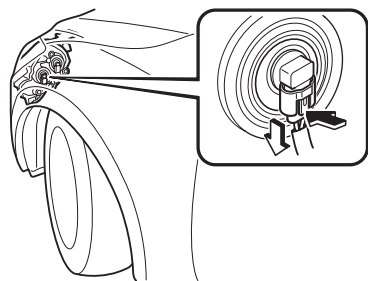


1. ツメを押し、コネクターをはずします。

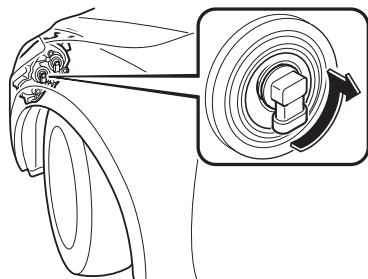


2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

下向き（ロービーム）



1. ツメを押し、コネクターをはずします。



2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。
3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
方法

お
手
入
れ
の
方
法

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペ
ック

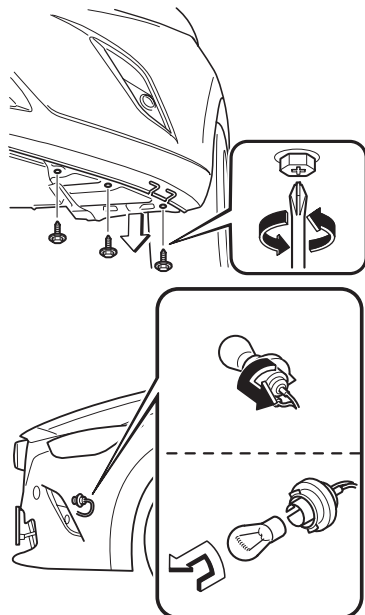
さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

車幅灯 (LED ヘッドランプ装備車)

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

前面方向指示灯 / 非常点滅灯



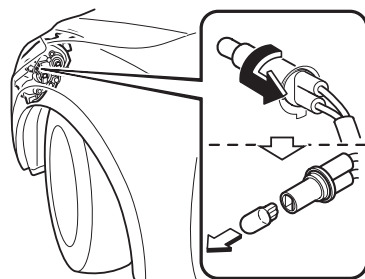
1. ネジをドライバーなどではずし、マッドガードをめくります。

2. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

3. 電球を取り換えます。

4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

車幅灯 (ハロゲンヘッドランプ装備車)



1. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

2. 電球を取り換えます。

3. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

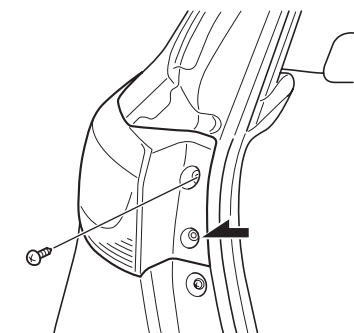
フォグランプ グレード/仕様別装備

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

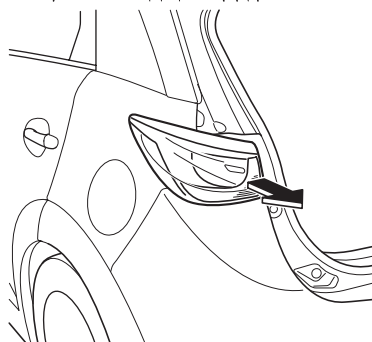
制動灯 / 尾灯 (LED ヘッドランプ装備車)、尾灯 (LED ヘッドランプ装備車)、側面方向指示灯 / 非常点滅灯、ハイマウントストップランプ

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店にご相談ください。

制動灯 / 尾灯 (ハロゲンヘッドランプ装備車)、後面方向指示灯 / 非常点滅灯



1. ネジをはずします。



2. ユニートを車両後方に引き、取りはずします。

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
ス
ペ
ック

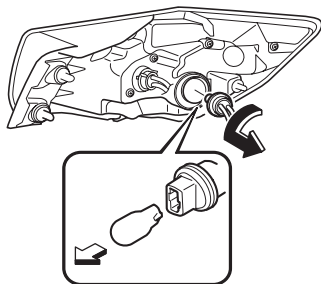
さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた ヒューズ切れ、電球切れのとき

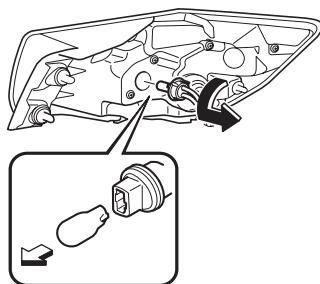
3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。

4. ソケットから電球を取りはずします。

制動灯/尾灯



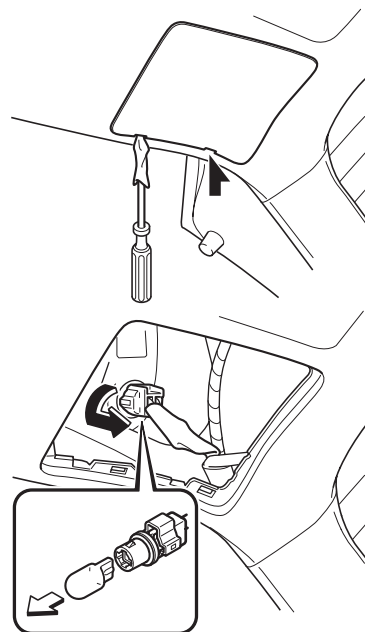
後面方向指示灯/非常点滅灯



5. 電球を取り換えます。

6. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

後退灯



1. リヤゲートを開けます。

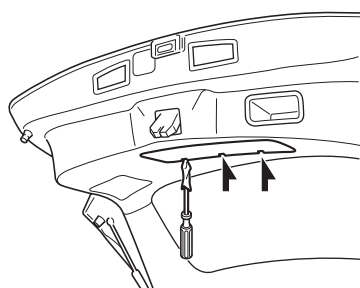
2. カバーを取りはずします。

3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

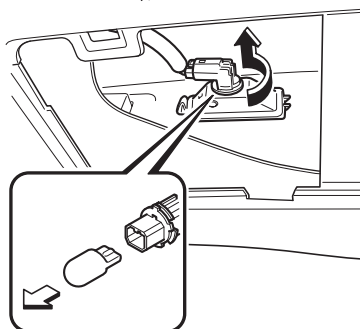
4. 電球を取り換えます。

5. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

番号灯



1. リヤゲートを開けます。
2. カバーを取りはずします。

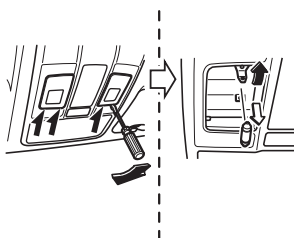


3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
4. 電球を取り換えます。
5. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

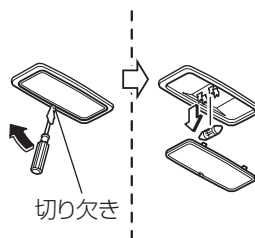
フロントルームランプ、リヤルームランプ

1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。
2. 電球を取りはずします。

フロントルームランプ



リヤルームランプ



3. 電球を取り換えます。
4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備の
使いかた

お手
入れの
しかた

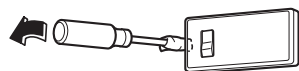
トラ
ブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

ヒューズ切れ、電球切れのとき

ラゲッジルームランプ

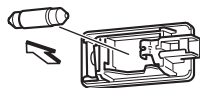


1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。

2. 電球を抜き取ります。



3. 電球を取り換えます。



4. はずした手順と逆の手順で取り付けます。

電池を交換するときは

⚠ 注意



必ず守る

電池の＋側と－側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。



禁止

電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。



必ず守る

電池を交換してもキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

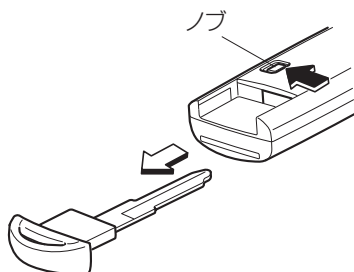
キー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

- エンジンをきったときにメーター内の KEY 表示灯（緑）が点滅する
- キーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、キーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

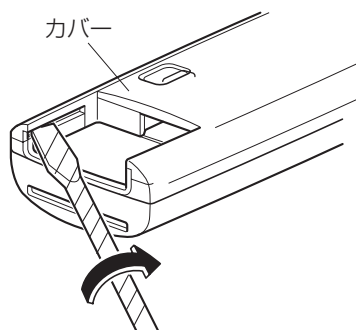
電池の規格：リチウム電池 CR2025



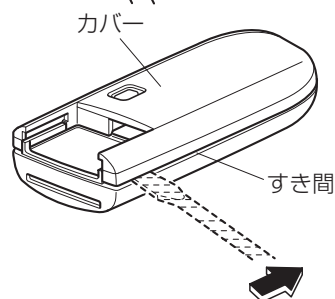
1. ノブを押したまま、補助キーを引き出します。

4. お手入れのしかた

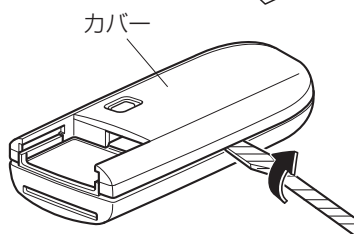
電池交換



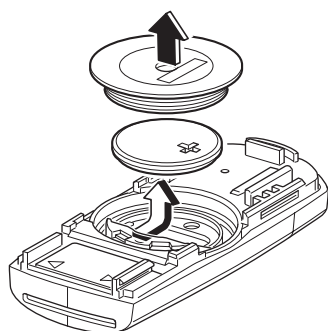
2. 保護テープを巻いたマイナスドライバーなどを矢印の方向にまわし、カバーを少し開けます。



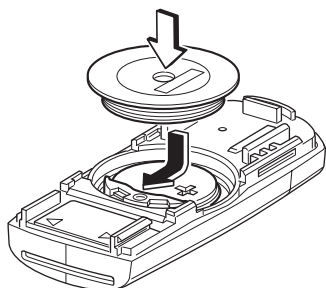
3. 保護テープを巻いたマイナスドライバーなどをすき間に差し込み、矢印の方向にスライドさせます。



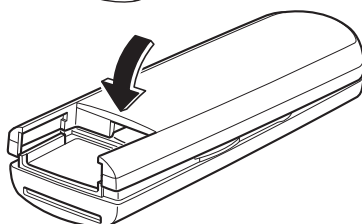
4. マイナスドライバーなどを矢印の方向にまわしてカバーをとりはずします。



5. キャップを外して、電池を取り出します。



6. 新しい電池の十側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。



7. カバーを取り付けます。
8. 補助キーを差し込みます。

⚠ 注意



禁止

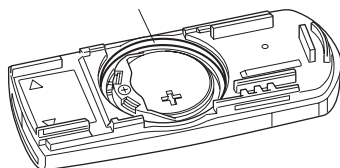
ゴムリングを傷つけないようにしてください。



必ず守る

ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。

ゴムリング



運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

車の手入れ

外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。
そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
 - 海岸地帯を走行したとき。
 - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
 - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
 - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
 - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
 - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
 - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

洗車するとき

水洗いするとき

1. 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2. 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
3. はん点が残らないように水をふき取ってください。

⚠ 注意



必ず守る

オートワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。電源ポジションが ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。



必ず守る

運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから手を添えながらゆっくりと戻してください。勢いよくもどすとワイパーアームやブレードが損傷したり、フロントガラスに傷や割れが生じるおそれがあります。



禁止

エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。



禁止

洗車やワックスかけを行なうときは、車体のルーフ部の一点やアンテナに強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、車体がへこんだり、アンテナが損傷するおそれがあります。

自動洗車機を使用するとき

- ドアミラーを格納してください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください (30cm 以上)。また、同じ場所を連続して洗浄しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行なってください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使用
いた

お手
入れ
の
しか

トラ
ブル
が
起き

車両
スペ

さく
いん

4. お手入れのしかた

車の手入れ

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは月に 1 回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき（体温以下が目安）に行なってください。

知識

ワックスの使用について

- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

注意



熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。

フロントガラスの油膜をとるときは

フロントガラスに油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

アルミホイールの手入れ

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。
汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

注意



中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。
変色・シミの原因となります。

知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。
- **(18 インチホイール)**
アルミホイールが白っぽくなり光沢がなくなったときは、コンパウンド（みがき粉）なしのワックスを使用してください。

外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗装はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- コンパウンド（みがき粉）入りのワックスを使用すると、塗装を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド（みがき粉）がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗装の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

4. お手入れのしかた 車の手入れ

内装の手入れ

警告



禁止

室内に水をかけない。

オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなる場合があります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

警告



必ず守る

シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換する。

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。



必ず守る

シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。

有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

ビニールの手入れ

ブラシや掃除機を使用してビニールのほこりや汚れを落としてください。
革・ビニール用クリーナーを使用してビニールの汚れを落としてください。

布張り、合成皮革部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

(布張り)

1. 水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

(合成皮革)

1. 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
2. 水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れた部分をふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

革張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤（約 5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

運転
前に

運転
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

4. お手入れのしかた

車の手入れ

知識

- 天然素材のため、シボ（本革表面の凹凸）の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油污れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード（日除け）を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になります。早めにやわらかい布などでふき取ってください。

注意



つや出し剤を使用しないでください。

含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗装はがれの原因になります。

インストルメントパネル上面の手入れ

1. 水で薄めた中性洗剤（約5%）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

アクティブドライビング ディスプレイの手入れ グレード/仕様別装備

コンバイナーおよびミラー表面はコーティングされています。手入れをするときは、硬い布、表面が荒い布、洗剤などは使用しないでください。また、薬剤などが付着した場合は、すぐにふきとってください。コンバイナーおよびミラーが破損したり、表面のコーティングが傷ついたりするおそれがあります。メガネ拭きのようなきめの細かい、柔らかい布をお使いください。

パネルの手入れ

パネルが汚れたときは、きれいな水にひたして固くしぼったやわらかい布などで軽くふき取ってください。

特に汚れが気になるときは、次の方法で手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤（約 5 %）をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤やアルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。
変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- 光沢のあるパネル、メッキ部分などの金属部分がある場合は、傷がつきやすいので、特に注意して手入れを行なってください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

4. お手入れのしかた 季節の準備

冬にそなえて

エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→ 457ページ「エンジンオイル」

バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。
バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

不凍液の割合	凍結温度
30%	－ 16° C
50%	－ 37° C

純正ロングライフクーラント（ゴールドen）**FL22**を使用する場合

純正ロングライフクーラント（ゴールドen）**FL22**は濃度調整済みの冷却水です。
薄めずそのままご使用ください。
冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→ 375ページ「ウォッシャー液の補充」

寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

⚠ 警告



タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。

指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみても手順を理解しておきましょう。

→ 403ページ「タイヤチェーンの取り付け」

タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは 4WD 車も前輪に取り付けます。

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。

路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板（停止表示灯）を使用してください。

⚠ 注意



標準タイヤのみタイヤチェーンを装着できます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、タイヤチェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。



純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。



積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。

また、4WD 車は駆動系部品に悪影響をおよぼし故障につながるおそれがあります。



タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下で走行してください。30km/h 以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

運転前に
確認する

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん



知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店で求めください。
- アルミホイール装着車にタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

夏にそなえて

オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エアコンのチェック

エアコンの冷媒（エアコンガス）が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガスを使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。

運転
前に
する

運転
ときに
する

快適
装備の
使いかた

お
手
入
れ
の
しかた

ト
ラ
ブ
ル
が
起きたら

車両
スペック

さく
いん

MEMO

5 **トラブルが起きたら**

故障したとき 408

路上で動けなくなったとき 408
スタックしたとき 409
踏切内で動けなくなったとき 410

緊急用具の取り扱い 411

発炎筒 411
工具、ジャッキの格納場所 412
ジャッキの取り扱い 413

パンクしたとき 418

タイヤパンク応急修理キット 418

バッテリーがあがったとき 427

バッテリーあがりについて 427

エンジンが始動しないとき 431

燃料切れしたときは 431

オーバーヒートしたとき 432

オーバーヒートについて 432

キーが作動しないとき 434

キー一時停止機能 434

けん引について 435

けん引してもらうとき 435
固定用フックについて 438

万一事故が起きたとき 439

警告灯 / 表示灯 440

警告灯が点灯、点滅したときは 440
センターディスプレイにメッセージが
表示されたときは 448

警報チャイム 450

チャイムがなったときは 450

リヤゲート 453

リヤゲートが開けられなくなった
とき 453

アクティブ ドライビング ディスプレイ 454

アクティブ ドライビング ディスプレ
イが作動しないとき 454

5. トラブルが起きたら 故障したとき

路上で動けなくなったとき

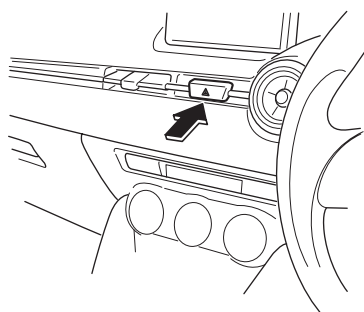
一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。
チェンジレバー / セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

⚠ 警告



万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止める。

爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

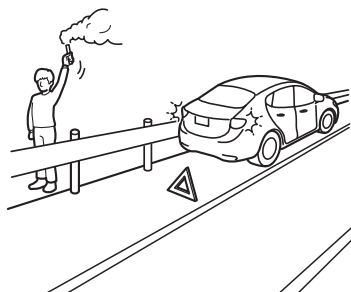


1. 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

2. 必要に応じて停止表示板（停止表示灯）、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。

→ 411ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板（停止表示灯）を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。



3. 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。

4. 安全を確保した後、救援を求めます。

故障の修理などお困りの際はマツダ販売店に連絡してください。

知識

停止表示板（停止表示灯）について

停止表示板（停止表示灯）はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店で求めいただけます。

運転
前に
する

運転
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ン
プ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

スタックしたとき

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。

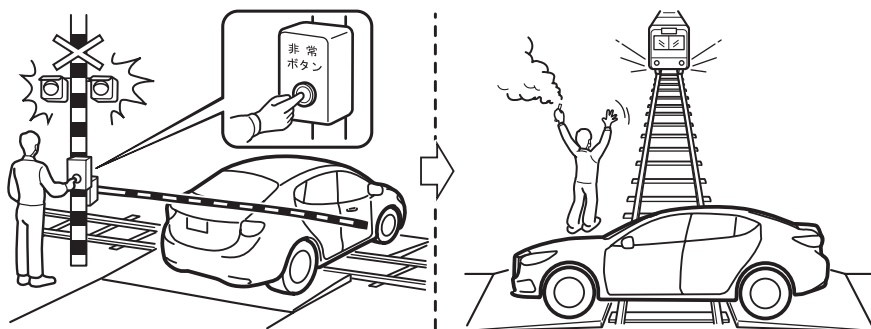
- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを D または R にいれて、アクセルペダルを軽く踏みます。チェンジレバー / セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

5. トラブルが起きたら 故障したとき

踏切内で動けなくなったとき

脱輪などで動けなくなったとき

1. 踏切の非常ボタンを押します。緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→ 411ページ「発炎筒」
2. 付近の人に救援を求めます。



エンストで動けなくなったとき

1. エンジンをかけ直します。
2. エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
→ 411ページ「発炎筒」
3. 付近の人に救援を求めます。
チェンジレバー / セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

知識

緊急避難について

スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

発炎筒

警告



禁止

油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。

火災につながるおそれがあります。



禁止

使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけない。

やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

お子さまにはさせない。

誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

トンネル内では発炎筒を使用しない。

トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

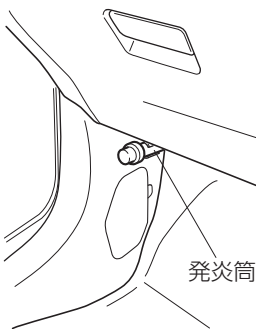
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

発炎筒について



事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読み、あらかじめ確認しておいてください。

- 使用方法
- 使用上の注意事項
- 発炎時間
- 有効期限

5. トラブルが起きたら 緊急用具の取り扱い

工具、ジャッキの格納場所

⚠ 警告



車に搭載されているジャッキを使用する。

車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。

車に搭載されている以外のジャッキを使用すると、車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意



ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。



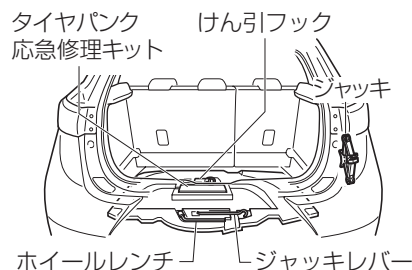
工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。

📖 知識

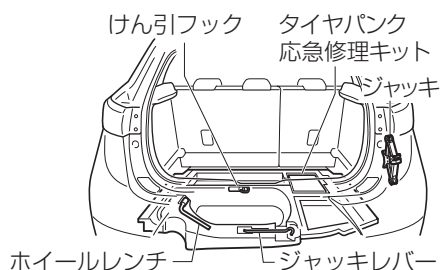
スペアタイヤはお客様のお車に標準で搭載されておりません。スペアタイヤの取り扱いについては、マツダ販売店にご相談ください。

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。

Bose® サウンドシステム非装備車



Bose® サウンドシステム装備車



ジャッキの取り扱い

ジャッキアップする前に

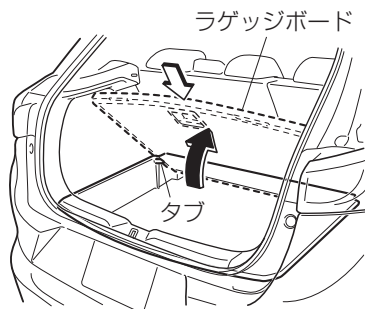
1. 車を交通のさまたげにならない、地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動します。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（停止表示灯）を使用します。
→ 408ページ「路上で動けなくなったとき」
5. 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。
→ 412ページ「工具、ジャッキの格納場所」
6. 輪止めを用意します。

知識

輪止めについて

輪止めはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

ジャッキを取り出すとき



ラゲッジボード

1. ラゲッジボードを開きます。
2. ラゲッジボードを手前に引きながら、タブに立てかけます。

運転
前に
する

運転
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

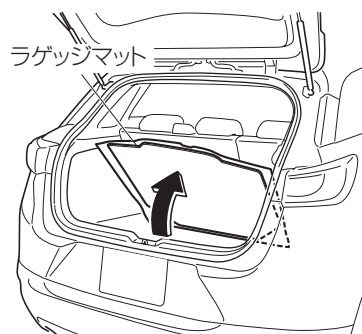
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

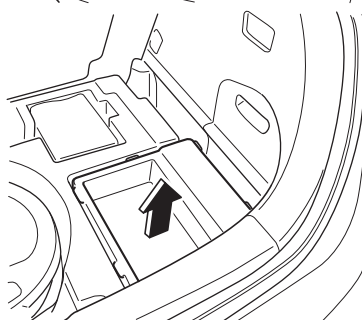
さ
く
い
ん

5. トラブルが起きたら 緊急用具の取り扱い



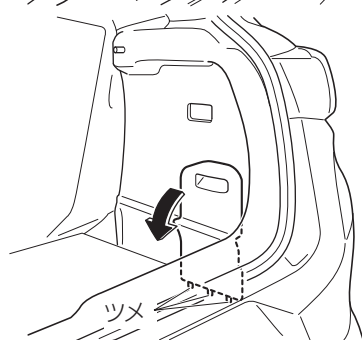
3. (Bose®サウンドシステム装備車)

ラゲッジマットをめくります。

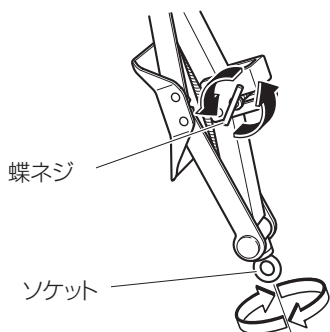


4. (Bose®サウンドシステム装備車)

サブトランクボックスを取りはずします。



5. カバーを取りはずします。



6. 蝶ネジを左にまわしてはずし、ソケットをゆるめてジャッキを取り出します。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快適
装備
の
使い
かた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さく
いん

ジャッキアップするとき

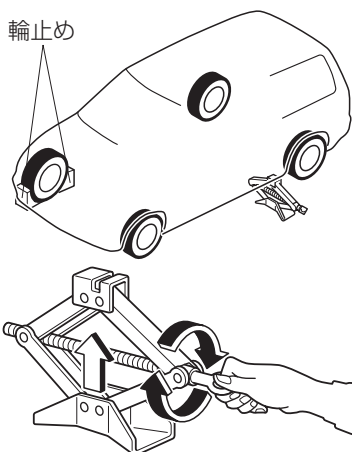
⚠ 警告



必ず守る

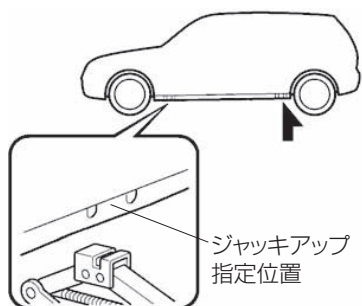
ジャッキアップするときはマニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P にいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをする。

チェンジレバーが 1 または R、セレクトレバーが P にはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

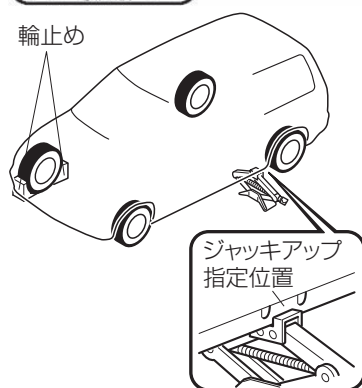


1. ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
 - ・ 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
 - ・ 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後
2. ジャッキを地面に置きます。
3. ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにくるよう調節します。

5. トラブルが起きたら 緊急用具の取り扱い



4. ジャッキをジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央に直角にセットします。



5. ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央にジャッキがはまっていることを確認します。

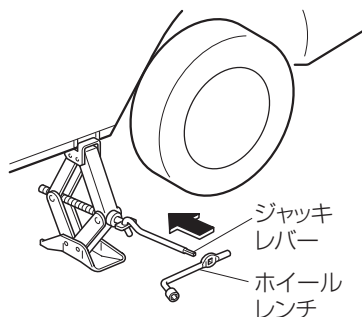
⚠ 警告



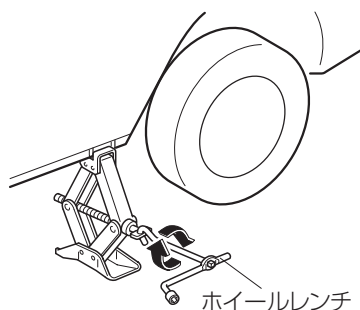
禁止

ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れない。

車体に変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。



6. ジャッキにジャッキレバーをかけ、ジャッキレバーにホイールレンチを組み付けます。



7. タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。

⚠ 警告



禁止

必要以上にジャッキアップしない。

車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけない。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

ジャッキアップした車の下には絶対にはいらない。

万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

人を乗せたままジャッキアップしないでください。

ジャッキを格納するとき

1. ジャッキを取り出すときと逆の手順で格納します。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用
に
あた

お手
入れ
の
しか

トラ
ブル
が
起き
たら

車両
スペ

さく
いん

5. トラブルが起きたら パンクしたとき

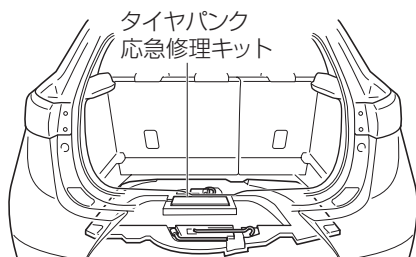
タイヤパンク応急修理キット

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。

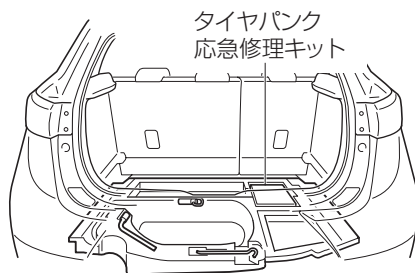
タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。

タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。

Bose® サウンドシステム非装備車



Bose® サウンドシステム装備車



タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。



修理剤



注入ホース



エアコンプレッサー



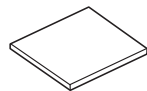
予備バルブコア



コアまわし



速度制限シール



取扱説明書

警告



必ず守る

万一誤飲したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。

修理剤を誤飲すると健康に害があります。



必ず守る

修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗淨する。

それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。



禁止

お子さまには修理剤をさわらせない。

誤って使用すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。



禁止

天然ゴムに対するアレルギーを有する人は修理剤に触れない。

アレルギー症状を発症する可能性があります。

知識

修理剤の使用について

- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店で求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店またはJAFなどに連絡してください。
 - 修理剤の有効期限がきれているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています）
 - 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - 接地部以外が損傷を受けたとき
 - パンクしたまま走行し、タイヤ側面が損傷しているとき
 - タイヤがホイールからはずれているとき
 - ホイールやバルブが破損しているとき
 - タイヤが 2 本以上パンクしているとき

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

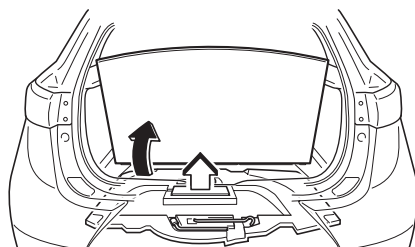
さ
く
い
ん

5. トラブルが起きたら パンクしたとき

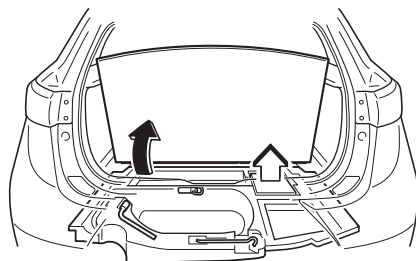
タイヤパンク応急修理キットの使いかた

1. 車を交通のさまたげにならない、地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動します。
2. マニュアル車はチェンジレバーを 1 または R に、オートマチック車はセレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（停止表示灯）を使用します。
5. 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。

Bose® サウンドシステム非装備車



Bose® サウンドシステム装備車



6. 修理剤のボトルをよく振ります。



⚠ 警告



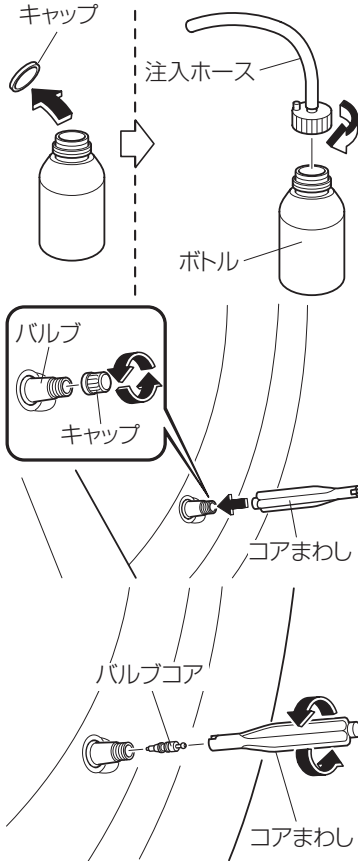
注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。

注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散り、衣服などに付着すると取れないおそれがあります。

知識

修理剤の性質について

0° C 以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。



7. ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態では注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。

8.パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押してタイヤの空気を完全に抜きます。

9. コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。

⚠ 注意



必ず守る

バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。

運転
前に
に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

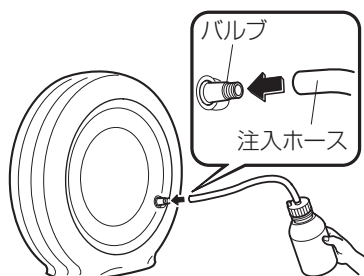
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

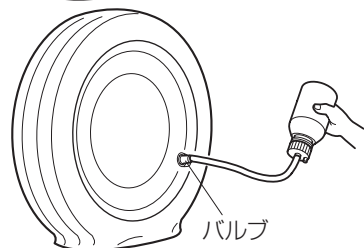
5. トラブルが起きたら パンクしたとき

知識

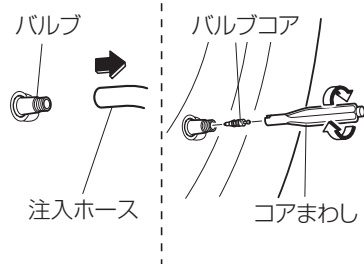
バルブコアは汚れないように保管してください。



10. 注入ホースをバルブに差し込みます。



11. ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤を全てタイヤの中に注入します。



12. 注入ホースをバルブから引き抜きます。

13. コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブコアを取り付けます。

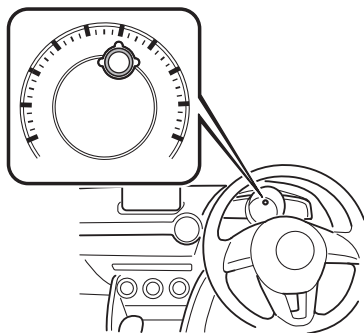


14. 残った修理剤が漏れないようにするために、注入ホースをタブに取り付けます。

知識

修理剤の回収について

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または修理の際に使用済み修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。



15. 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。

警告



禁止

ハンドルのパッド部に速度制限シールを貼らない。

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

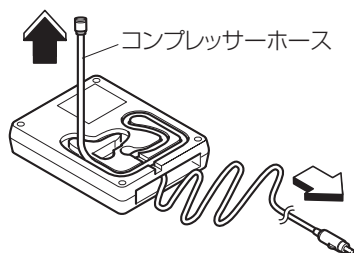
お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

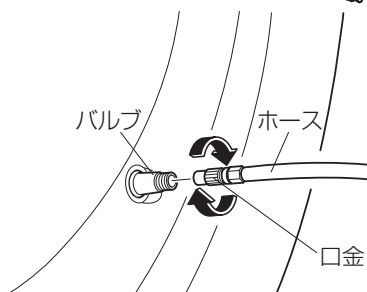
車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

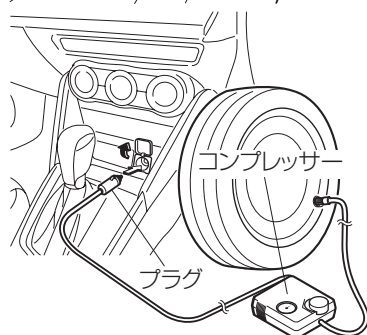
5. トラブルが起きたら パンクしたとき



16. エアコンプレッサーからコンプレッサーホースと電源プラグを引き出します。



17. エアコンプレッサーのホースの口金を右にまわしてバルブに取り付けます。



18. エアコンプレッサーのプラグを車内の電源ソケットに差し込み、電源ポジションを ACC にします。
→ 353ページ「電源ソケット」

⚠ 注意



必ず守る

電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。

19. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

知識

空気圧の調整について

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10 分以上連続して作動させないでください。
- 10 分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店または JAF などに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

20. 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースの口金を左にまわしてバルブから抜きます。

21. バルブキャップを取り付けます。

22. 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、ただちに走行を始めます。

注意



80km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80km/h 以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。

23. 10 分間もしくは 5km 程度走行後に手順 17 の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックします。適正空気圧より低下していたら、手順 18 の作業から再度行ないます。

警告



空気圧が 130kPa (1.3kgf/cm²) 以下に低下していたら、運転を中止してマツダ販売店または JAF などに連絡する。

本修理キットによる応急修理はできません。



手順 17 ~ 23 の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止する。

マツダ販売店または JAF などに連絡してください。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
きた
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

5.トラブルが起きたら パンクしたとき

注意



タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてから確認してください。

24. 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。

知識

応急修理をしたタイヤとホイールは

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早く新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

知識

修理剤の有効期限について

修理剤には有効期限があります。有効期限がきれたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきれる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。

⚠ 警告

正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。



必ず守る

必ず保護メガネを着用する。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。



必ず守る

バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、バッテリー液をこぼさない。

バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。



必ず守る

絶対に火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。



必ず守る

換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわない。また、充電中はバッテリーに近づかない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

運転
前に
する

運転
する
とき
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

バッテリーがあがったとき

⚠ 警告



ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検する。

バッテリー液の量が下限（LOWER LEVEL）より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂（爆発）につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。

処置方法

押しがけによる始動はできません。

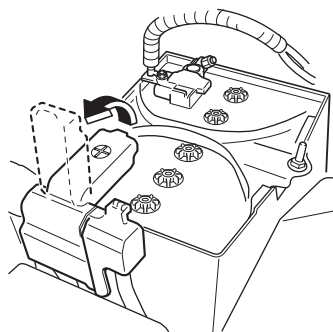
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。

自車と同じ 12V バッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠ 注意



ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。



1. 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
2. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切っていることを確認します。
3. バッテリーキャップを取りはずします。

4. 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。

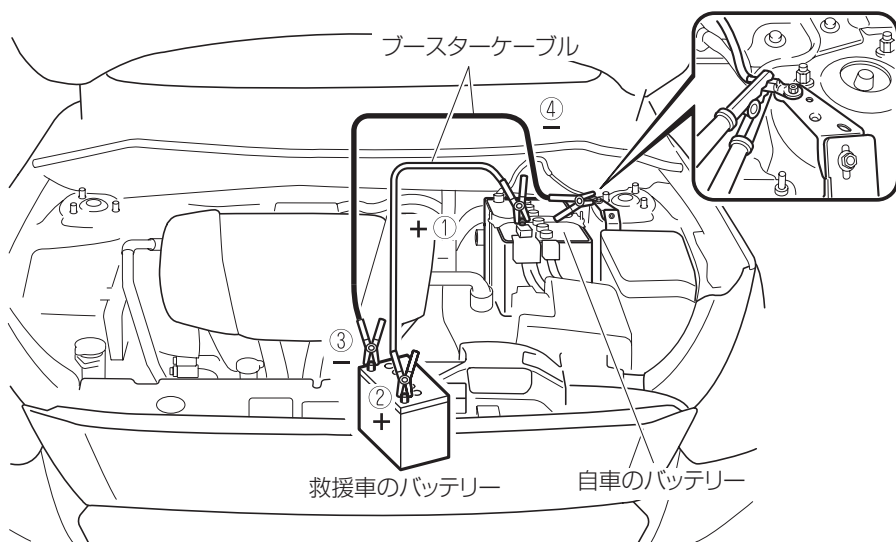
ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子（+、-）の位置を確認してください。

● **1 本目**

- ①自車のバッテリーの+ 端子
- ②救援車のバッテリーの+ 端子

● **2 本目**

- ③救援車のバッテリーの- 端子
- ④図で表示の箇所（アースを取る）



警告



禁止

バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけない。

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。

- ④の接続は自車バッテリーの- 端子に接続しないでください。
- ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、+ 端子がボディーや- 端子に触れないように十分注意してください。

5. 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
フ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

バッテリーがあがったとき

6. 自車のエンジンをかけます。約 3 分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。

警告



禁止

充電中はバッテリーに近づかない。

バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

7. ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。
8. バッテリーキャップを取り付けます。
9. 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

知識

バッテリーがあがりやすいときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

燃料切れしたときは

⚠ 注意

連続して 30 秒以上エンジン始動の操作をしないでください。スターターを損傷するおそれがあります。

エンジンが始動しない場合、10 秒待ってから再度エンジン始動を試みてください。

燃料切れを起こした場合、少なくとも 10L の燃料を補給してからエンジンを始動してください。燃料切れが起きると燃料系統に空気が入り、エンジン始動に時間がかかることがあります。燃料を補給したあとでエンジンが始動しない場合、エンジン始動を数回試みてください。それでも始動しないときはマツダ販売店へ連絡してください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備の
使用
に
かた

お手
入れ
の
かた

トラ
ブルが
起き
たら

車両
スペク

さく
いん

5. トラブルが起きたら オーバーヒートしたとき

オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯（赤）が点灯し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

警告



禁止

エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。



禁止



エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けない。

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止



エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まってもファンが回転することがあるため、手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

処置方法

1. 安全な場所に車を止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

エンジンルームから蒸気が出ているときは

エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。

エンジンルームから蒸気が出ていないときは

エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。

クーリングファンが作動していることを確認し、高水温警告灯（赤）が消灯したらエンジンを止めます。

⚠ 注意

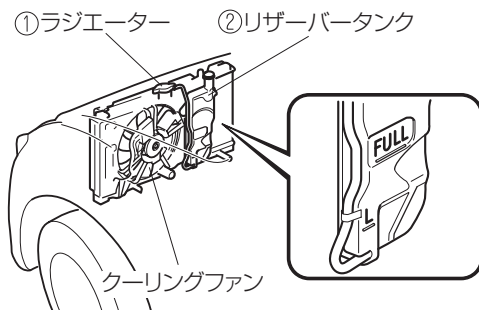


クーリングファンが作動していないときは、クーリングファンの故障が考えられます。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。

3. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。冷却水量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。

冷却水がない場合は一時的に水を補充してください。

補充後はキャップを確実に取り付けてください。



早めに最寄りのマツダ販売店で点検を受けてください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
仕様

さ
く
い
ん

キーが作動しないとき

キー一時停止機能

キーが車内にあるとき、車内に置いてあるキーの機能（プッシュボタンスタートでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作）が盗難防止のため、一時停止する場合があります。車内から一時停止したキーのアンロックスイッチを押すと復帰します。

けん引してもらうとき

けん引はできるだけマツダ販売店または JAF などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店または JAF などに連絡してください。

⚠ 警告



必ず守る

長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引する。

ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

オートマチック車をロープでけん引してもらうときは、速度 30km/h 以下、走行距離は 30km 以内にしてください。



必ず守る

4WD 車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地状態で搬送してください。駆動装置の故障時は、トレーラーなどに搭載して搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



必ず守る

金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

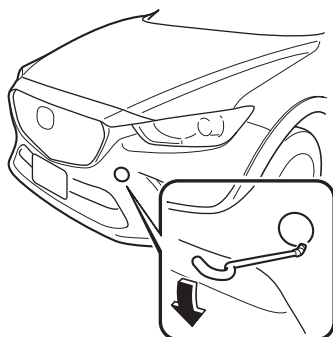
さ
く
い
ん

5. トラブルが起きたら けん引について

やむをえずロープでけん引してもらうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

1. けん引フック、ホイールレンチをラゲッジルームから取り出します。

→ 412ページ「工具、ジャッキの格納場所」



2. ジャッキレバーなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

⚠ 注意

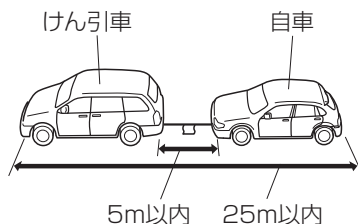


必ず守る

カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。



3. ホイールレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。



4. けん引ロープをフックにかけます。
5. ロープは5m以内に、中央に0.3m平方(0.3m × 0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。
6. けん引してもらう車はエンジンをかけ、チェンジレバー/セレクタレバーをNにいます。エンジンがかからないときは、電源ポジションをACCにします。

警告



必ず守る

やむをえずエンジンがかかっている状態でけん引される場合は、慎重に運転する。

エンジンがかかっているときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意



必ず守る

けん引中は電源ポジションを OFF にしないでください。OFF にするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

7. パーキングブレーキを解除します。
8. けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

運転
前に
する

運転
時に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

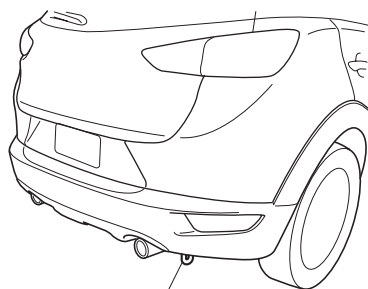
ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さく
いん

5. トラブルが起きたら けん引について

固定用フックについて



固定用フック

リアバンパー下部の運転席側のフックは車両輸送時の固定用フックです。他車をけん引することはできません。

ただし、自車が雪などでスタックして走行できなくなったとき、緊急用として他車に引っ張り出してもらうときには使用できます。

⚠ 注意



必ず守る

緊急用として使用するときは次の点に注意してください。固定用フックや車体を損傷するおそれがあります。

- 車両の横方向に荷重がかからないよう、車両の後方にまっすぐ引っ張り出してください。
- 固定用フックを使用したとき、バンパーを損傷するおそれがあります。
- 金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

1. 事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

2. 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

3. 警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

4. 相手の氏名、住所などの確認

5. マツダ販売店、保険会社への連絡



知識

事故がおきたら

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

運転
前に
する

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

5. トラブルが起きたら 警告灯 / 表示灯

警告灯が点灯、点滅したときは

警告灯が点灯 / 点滅した場合は、それぞれの方法で対処してください。消灯すれば問題ありませんが、消灯しない場合、または再度点灯 / 点滅する場合はマツダ販売店にご相談ください。

センターディスプレイで警告の詳細を確認することができます。

1. 警告灯点灯時にホーム画面の  を選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 「ウォーニング」を選択すると、現在発生している警告が表示されます。
3. 確認したい警告を選択すると、警告の詳細が表示されます。

ただちに安全な場所に停車する

次の警告灯が点灯したときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 ブレーキ警告灯	• パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯します。 • 次のようなときは点灯し続けます。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。 • ブレーキ液が不足しているとき。 • ブレーキ装置（電子制御制動力配分システム）に異常があるとき。  警告  禁止 ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。 ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。  必ず守る ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。 急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 充電警告灯	エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯します。ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。 警告  充電警告表示が点灯したまま走行しない。 エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。
 オイル警告灯	次のようなときに点灯します。ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。 - エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下したとき - エンジンオイルが異常に劣化したとき 点灯したときは、エンジンオイルの量を点検し、不足しているときは補充してください。 → 373ページ「エンジンオイルの点検、補充」 エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。
 (赤) 高水温警告灯	エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯します。 点灯したときは オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。 → 432ページ「オーバーヒートについて」 点滅したときは エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。

運転
前に
する

運
転
す
る
と
き
に

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

5. トラブルが起きたら 警告灯 / 表示灯

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 電動パワーステアリング警告灯	エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯 / 点滅します。 点灯 / 点滅したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。 エンジンを再始動した後も点灯 / 点滅するときは、マツダ販売店に連絡してください。  知識 - 点灯 / 点滅したときは電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ハンドル操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。 - 停車中または低速走行時にハンドル操作を繰り返すと、システム保護のためハンドル操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ハンドル操作をしないでください。しばらくするとともにもどります。

マツダ販売店で点検を受ける

次の警告灯または表示灯が点灯 / 点滅したときは、システムになんらかの故障または異常のおそれがあります。マツダ販売店に連絡し、点検を受けてください。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 マスター警告灯	システムに異常があると点灯します。 センターディスプレイで点灯理由を確認してください。 → 440ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 ABS 警告灯	システムに異常があるときは点灯し続けます。 マツダ販売店で点検を受けてください。  警告  ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。 急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。  知識 ABS 警告灯が点灯しているときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。
 エンジン警告灯	エンジン制御システムに異常があると点灯 / 点滅し続けます。 高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。 点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯 / 点滅したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。
i-stop (橙) (点滅) i-stop 警告灯	システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
i-ELOOP i-ELOOP 警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
AT オートマチック トランスミッション警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

運転
前に

運転
ときに

快適
装備の
使いかた

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さく
いん

5. トラブルが起きたら 警告灯 / 表示灯

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 (点灯) 車線逸脱警 報システム (LDWS) 警告 灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
4WD 4WD 警告灯 グレード/仕様別装備	点灯するとき 次のようなときに点灯します。システムの異常が考えられたため、マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 4WD システムに異常があるとき ● 前後輪のタイヤサイズが大きく異なるとき 点滅するとき 次のようなときに点滅します。安全な場所に停車し、消灯したことを確認して発進してください。点滅し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。 ● ディファレンシャルオイルの温度が異常に高くなったとき ● むかるみから脱出しようとする場合など前後輪のタイヤに大きな回転差が生じたとき
 ブラインドス ポットモニタ リング (BSM) OFF 表示灯 グレード/仕様別装備	次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 ● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき ● ブラインドスポットモニタリング (BSM) スイッチを操作しても点灯し続けるとき  知識 悪天候、バンパーの汚れ等によりレーダー感度が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯	次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。 - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。 - 点灯 / 点滅し続けるとき。 警告  エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。 衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。
 (赤) (点灯) KEY 警告灯	システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。 注意  同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙) が点滅している場合は、エンジンが始動できなくなるおそれがあります。ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。
 (橙) ハイビームコントロールシステム (HBC) 警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。
 LED ヘッドランプ警告灯 グレード/仕様別装備	システムに異常があると点滅します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お取り扱いのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

5. トラブルが起きたら 警告灯 / 表示灯

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件
 (橙) マツダレー ダークルーズ コントロール (MRCC) 警告 灯 グレード/仕様別装備	マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) が ON のとき、システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

処置する

それぞれの処置方法で警告灯が消灯することを確認してください。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
 燃料残量警告灯	電源ポジションが ON のとき、 燃料が少なくなると点灯します。  知識 - 燃料タンク内の燃料残量が 9L 前後になったときに点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。 - 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。	燃料を補給してください。
 PASS  シートベルト警 告灯	点灯するとき 電源ポジションが ON のとき、 運転席 / 助手席シートベルトを 着用していないと点灯します。 点滅するとき 運転席 / 助手席シートベルトを 着用しないまま約 20km/h 以上 になるとしばらくの間点滅しま す。	シートベルトを着用してくだ さい。

表示 / 名称	点灯 / 点滅条件	処置方法
 半ドア警告灯	いずれかのドアが確実に閉まっていないときに点灯します。	ドアを確実に閉めてください。
 (橙) スマートブレーキサポート / スマートシティブレーキサポート (SBS / SCBS) 警告灯 グレード / 仕様別装備	フロントガラスが汚れているとき、フロントのエンブレムが汚れているとき、またはシステムに異常があるときに点灯します。	センターディスプレイで点灯理由を確認してください。 → 440ページ「警告灯が点灯、点滅したときは」 点灯理由がフロントガラス、またはフロントのエンブレムの汚れのときは、フロントガラス、またはフロントのエンブレムを清掃してください。他の理由のときはマツダ販売店で点検を受けてください。
 (赤) (点滅) KEY 警告灯	キーの電池が切れたとき。	電池を交換してください。 → 391ページ「電池を交換するときは」
	キーが作動範囲内にないとき。	キーを作動範囲に入れてください。
	キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき。	→ 20ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
	キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき。	キーに類似した他社のキーを作動範囲外に出してください。
	電源ポジションをOFFにせずに、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき。	キーを車内に戻してください。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手持ちの

トラブルが起きたら

車両スペック

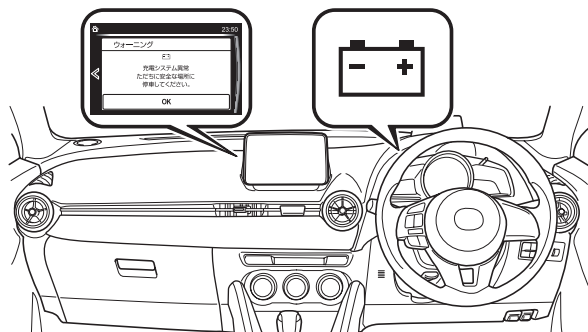
さくいん

5. トラブルが起きたら 警告灯 / 表示灯

センターディスプレイにメッセージが表示されたときは

センターディスプレイにメッセージが表示されたときは、落ち着いて表示されたメッセージの方法で処置してください。

(表示例)



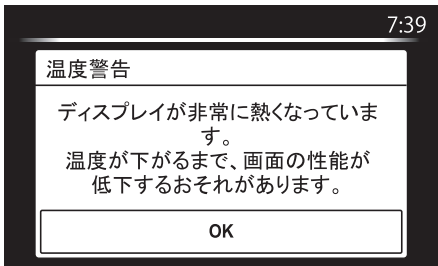
ただちに安全な場所に停車する

次のメッセージが表示されたときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示	表示条件
	充電装置に異常があると表示します。
	エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに表示します。

表示内容を確認する

次のときに表示します。

表示	表示条件 / 処置方法
	センターディスプレイ周辺温度が高温状態となっているときに表示します。 車室内の温度を下げる、直射日光を避けるなどセンターディスプレイ周辺温度を下げることをおすすめします。

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さく
いん

5. トラブルが起きたら 警報チャイム

チャイムがなったときは

システムの故障や、使用上の注意が必要な場合に警報チャイムでお知らせします。

チャイム	現象	確認してください
ランプ消し忘れ防止	電源ポジションを OFF にして運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り続ける。	ランプを点灯させたままになっていないか。
エアバッグ警告 / プリテンショナー警告	約 35 分のあいだに、毎分 6 秒間チャイムが鳴り続ける。	 警告  エアバッグ 警告チャイム / プリテンショナー 警告チャイムが鳴っているまま走行しない。 衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。
シートベルト着用忘れ	車速が約 20 km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴る。	運転席 / 助手席シートベルトの着用を確認する。着用すると鳴り止む。
電源オフ忘れ警報	運転席ドアを開けたときに、車内のチャイムが鳴り続ける。	電源ポジションを OFF にしているか。

チャイム	現象	確認してください
キー車外持ち出し警報	すべてのドアを開めたときに車外のチャイムが6回鳴ったあと、車内のチャイムが6回鳴り、メーター内のKEY警告灯（赤）が点滅し続ける。	電源ポジションをOFFにせず、キーを車外に持ち出していないか。
リクエストスイッチ不動作警報	キーを携帯してドアのリクエストスイッチを押すと、車外のチャイムが約2秒間鳴る。	いずれかのドア、リヤゲートが開いていないか。 電源ポジションをOFFにしているか。
リヤゲート内キー閉じ込み警報	フロントドアを施錠した状態でリヤゲートを閉めたときに、車外のチャイムが約10秒間鳴る。	キーを荷室に置いていないか。
キー車内閉じ込み警報	キーを携帯して施錠しようとしたときに、車外のチャイムが約10秒間鳴る。	キーを車内に置いていないか。
i-stop 警告	アイドリングストップ中にチャイムが鳴り、メーター内のi-stop警告灯（橙）と他の警告灯も点灯した。	シートベルトをはずして運転席ドアを開けていないか。
	アイドリングストップ中にチャイムが鳴る。	運転席ドアが開いていないか。
電動ハンドルロック警告	プッシュボタンスタートを押した後、チャイムが鳴る。	ハンドルがロックしていないか。
スマートブレーキサポート/スマートシティブレーキサポート (SBS/SCBS) 衝突警報	前方車と衝突する可能性がある場合、警報音が鳴る。	前方車に近づきすぎではないか。
AT 誤発進警報（オートマチック車）	前方車や障害物と衝突する可能性がある場合、警報音が鳴る。	アクセルペダルを踏み間違えていないか。

運転
前に
する

運転
ときに
する

快適
装備の
使い
かた

お
手入
れの
し
か
た

ト
ラ
ッ
プ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペク

さく
いん

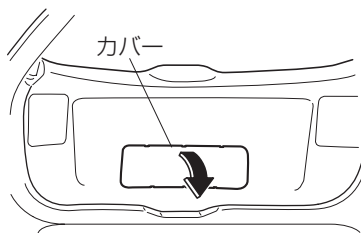
警報チャイム

チャイム	現象	確認してください
電動パワーステアリング警告	チャイムが鳴ると同時に電動パワーステアリング警告灯が点灯 / 点滅した。	安全な場所に停車し、エンジンを停止する。再始動後にも吹鳴するときはマツダ販売店で点検を受ける。
リバースポジション（オートマチック車）	電源ポジションが ON のとき、セレクトレバーを R にすると鳴る。	R 以外にすると鳴り止む。車外には聞こえないので注意する。
ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報 グレード/仕様別装備	前進時（ブラインドスポットモニタリング (BSM) 作動） ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯点灯側へ方向指示器のレバーを操作すると鳴る。 後退時（リアクロストラフィックアラート (RCTA) 作動） 車両後方の左右から接近してくる車両と衝突する可能性がある場合、鳴る。	車両後方の、移動する車両や二輪車などを確認する。
車線逸脱警報システム (LDWS) 警報 グレード/仕様別装備	車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断したときに鳴る。	車線から逸脱していないか。

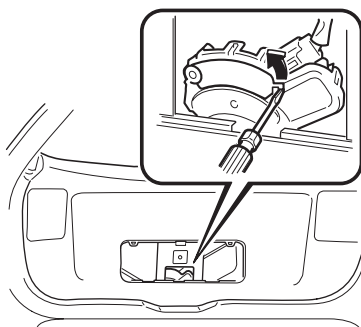
確認してもチャイムが鳴り止まないときは、マツダ販売店に連絡してください。

リヤゲートが開けられなくなったとき

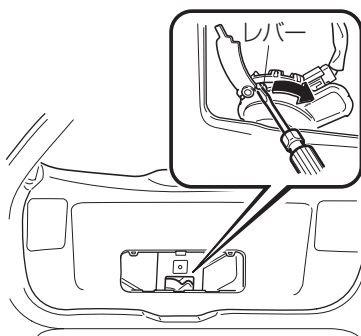
バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置として以下の方法で開けることができます。



1. リヤシートを倒します。
→ 38ページ「荷室を作るとき」
2. マイナスドライバーなどを使ってリヤゲート車内側にあるカバーをはずします。



3. ドライバーで内側のカバーを開きます。



4. ドライバーでレバーを右側に動かして解錠します。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お手
入れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
ス
ペ
ック

さく
いん

アクティブ ドライビング ディスプレイ

アクティブ ドライビング ディスプレイが作動しないとき

アクティブ ドライビング ディスプレイが作動しないときは電源ポジションを OFF にして、再度エンジンを始動させてください。エンジンを始動させても作動しないときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

MEMO

運転する
前に

運転する
ときに

快適装備の
使いかた

お手入れの
しかた

トラブルが
起きたら

車両
スペック

さく
いん

燃料

使用燃料については、65ページ「給油するとき」もあわせてお読みください。

項目		サービスデータ
使用燃料		低硫黄軽油
タンク容量 (参考値)	2WD 車	48 L
	4WD 車	44 L

ディーゼル車の使用燃料について

ディーゼル車の使用燃料（軽油）は、外気温が低くなると凍結し、燃料パイプが詰まってエンジンの始動ができなくなるなど故障の原因になります。

寒冷地域に移動するときは、現地に着くまでに燃料の残量が 1/2 以下になるようにしておき、到着後はできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

知識

フェリーを利用して寒冷地域に移動するときは、到着後すぐに寒冷地用の燃料を補給できるよう、乗船前の燃料の残量を 1/2 以下にしておいてください。

軽油の種類	使用限界の目安温度 ^{*1}
JIS 特 1 号	+5 ° C
JIS1 号	− 2.5 ° C
JIS2 号	− 7.5 ° C
JIS3 号	− 20 ° C
JIS 特 3 号	− 30 ° C

*1 使用条件や環境により多少異なります。

フューエルフィルター

項目	サービスデータ
交換時期	60,000 km 走行ごと
水抜き時期	20,000 km 走行ごと

⚠ 注意



水抜き作業についてはマツダ販売店にご相談ください。水抜きをせずに走行を続けると、エンジンを破損するおそれがあります。

エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。
 交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。
 寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

項目		サービスデータ	
交換時期		標準	10,000 km または 1 年ごと
		シビアコンディション ^{*1}	5,000 km または 6 か月ごと
オイル グレード ^{*2}	純正ディーゼルオイル エクストラ SKYACTIV-D ^{*3}	SAE 0W-20	
		SAE 0W-30	
	純正ディーゼルオイル エクストラ DL-1	JASO DL-1、SAE 5W-30	

運転
前に
する

運転
とき
に
する

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
き
た
ら

車両
スペク

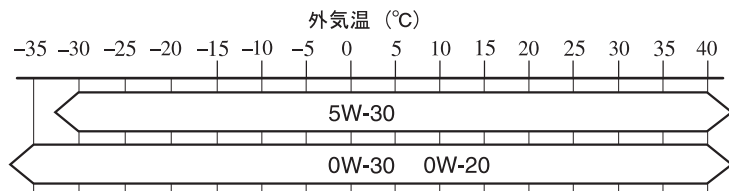
さく
いん

項目		サービスデータ
交換量 (参考値)	オイルのみ	4.7 L
	オイルとオイルフィルター	5.1 L

- *1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。
- *2 表に記載されたエンジンオイルを使用してください。表に記載されていないエンジンオイルを使用すると、ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) の劣化が早くなります。オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化（オイルデータリセット）を行なうか、お客様自身で記憶値の初期化を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、レンチ表示灯またはオイル警告灯が点灯することがあります。
→ 373ページ「エンジンオイルの点検と補充」
- *3 純正ディーゼルオイルエクストラ SKYACTIV-D (OW-20) は省燃費性に優れたエンジンオイルです。SKYACTIV-D 1.5 には、純正ディーゼルオイルエクストラ SKYACTIV-D (OW-20) の使用を推奨します。

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



エンジンオイルフィルター

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	10,000 km または 1 年ごと
	シビアコンディション ^{*1}	5,000 km または 6 か月ごと

- *1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載していません。

マニュアルトランスミッションオイル

項目		サービスデータ
推奨オイル		純正ロングライフギヤオイル SAE 75W-80 (GL-4)
容量（参考値）	2WD 車	1.65 L
	4WD 車	1.70 L

オートマチックトランスミッションフルード

項目	サービスデータ
推奨フルード	純正 ATF FZ
容量（参考値）	7.8 L

ディファレンシャルオイル (4WD)

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	無交換
	シビアコンディション ^{*1}	60,000 km 走行ごと
推奨オイル	マツダロングライフハイポイドギヤオイル SG1	
容量（参考値）	0.35 L	

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転
前に

運転
する
とき

快
適
装
備
の
使
い
か
た

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ン
ス
ミ
ッ
シ
ョ
ン
が
起
きた
ら

車
両
ス
ペ
ック

さ
く
い
ん

トランスファーオイル (4WD)

項目	サービスデータ
推奨オイル	マツダロングライフハイポイドギヤオイル SG1
容量 (参考値)	0.40 L

ブレーキ液

液量の確認は、リザーバートank表面のゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
交換時期	2 年ごと (初回は 3 年)
推奨液	純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3)

冷却水

液量の確認は、リザーバートank表面のゲージで行なってください。

項目		サービスデータ
交換時期	純正ロングライフクーラント	2 年ごと (初回は 3 年)
	純正ロングライフクーラント (ゴールドen)* ¹	100,000 km 走行または 4 年ごと (初回は 180,000 km 走行または 9 年)
推奨液		純正ロングライフクーラント、 純正ロングライフクーラント (ゴールドen)* ¹

項目			サービスデータ
容量 (参考値)	エンジン	マニュアルトランスミッション	6.6 L
		オートマチックトランスミッション	6.8 L
	水冷式インタークーラー		2.1 L

*1 ラジエーターキャップまたはその付近に「**FL22**」のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント（ゴールド）を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

項目	サービスデータ
タンク容量 (参考値)	2.2 L

運転
前に
する

運転
時に
する

快適
装備の
使用に
かた

お手
入れの
かた

トラ
ブルが
起き
たら

車両
スペック

さく
いん

各部の点検値、交換時期

ブレーキペダル

項目	サービスデータ
遊び	5.4 mm 以下
床板とのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	108 mm 以上
フロアマットとのすき間 (踏力 147 N {15 kgf})	88 mm 以上

パーキングブレーキ

項目	サービスデータ
引きしろ (操作力 98 N {10 kgf})	1 ~ 4 ノッチ

クラッチペダル

項目	サービスデータ
遊び (クラッチ油圧が立ちあがるまでのストローク)	8.2 mm 以下
床板とのすき間 (クラッチが切れたとき)	95 mm 以上
フロアマットとのすき間 (クラッチが切れたとき)	66 mm 以上

オルタネーターベルト

項目	サービスデータ
たわみ量	自動調整式 (使用限度をこえているものは交換)

エアクリナーエレメント

項目	サービスデータ	
交換時期	標準	50,000 km 走行ごと
	シビアコンディション ^{*1}	25,000 km 走行ごと

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さ
く
い
ん

バッテリー

項目		サービスデータ
型式	i-ELOOP 装備車	Q-85 ^{*1}
	i-ELOOP 非装備車	S-95 ^{*1}

*1 Q-85、S-95 はアイドリングストップ車用です。アイドリングストップシステムを正しく動作させるために、Q-85、S-95 を使用してください。

マツダ純正バッテリーの使用を推奨します。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

電球 (バルブ) の容量

電球 (バルブ)			W 数 (12 V 用)	規格 (UNECE ^{*1} (SAE))
ヘッドランプ	ハロゲンヘッドランプ装備車	上向き (ハイビーム)	60 W	HB3 (9005)
		下向き (ロービーム)	55 W	H11 (H11)
	LED ヘッドランプ装備車	上向き (ハイビーム)	LED ^{*2}	— (—)
		下向き (ロービーム)	LED ^{*2}	— (—)
車幅灯	ハロゲンヘッドランプ装備車		5 W	W5W (—)
	LED ヘッドランプ装備車		LED ^{*2}	— (—)
フォグランプ グレード/仕様別装備			LED ^{*2}	— (—)
前面方向指示灯 / 非常点滅灯			21 W	PY21W (—)
側面方向指示灯 / 非常点滅灯			LED ^{*2}	— (—)

電球 (バルブ)		W 数 (12 V 用)	規格 (UNECE ^{*1} (SAE))
後面方向指示灯 / 非常点滅灯		21 W	WY21W (7443NA)
制動灯 / 尾灯	ハロゲンヘッドランプ装備車	21/5 W	W21/5W (7443)
	LED ヘッドランプ装備車	LED ^{*2}	— (—)
尾灯 (LED ヘッドランプ装備車)		LED ^{*2}	— (—)
後退灯		16 W	W16W (921)
番号灯		5 W	W5W (—)
ハイマウントストップランプ		LED ^{*2}	— (—)
フロントルームランプ / マップランプ		8 W	— (—)
リヤルームランプ		10 W	— (—)
ラゲッジルームランプ		5 W	— (—)

*1 UNECE は United Nations Economic Commission for Europe (国連欧州経済委員会) の略です。

*2 LED は Light Emitting Diode の略で発光するダイオードです。

ヒューズ

→ 377ページ「ヒューズの受け持つ装置」

運転
前に
する

運転
する
とき

快適
装備
の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

ト
ラ
ブ
ル
が
起
きた
ら

車両
スペック

さ
く
い
ん

6. 車両スペック

タイヤ / ホイール

タイヤ / ホイールサイズ

標準タイヤ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイール		
	サイズ	インセット (オフセット)	ピッチサークル直径
215/60R16 95V	16 × 6-1/2J	50 mm	114.3 mm
215/50R18 92V	18 × 7J		

タイヤ空気圧

標準タイヤ

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

→ 370ページ「タイヤの点検」

タイヤサイズ	タイヤ空気圧	
	前輪	後輪
215/60R16 95V	250 kPa (2.5 kgf/cm ²)	230 kPa (2.3 kgf/cm ²)* ¹ /250 kPa(2.5 kgf/cm ²)* ²
215/50R18 92V	250 kPa (2.5 kgf/cm ²)	230 kPa (2.3 kgf/cm ²)* ¹ /250 kPa(2.5 kgf/cm ²)* ²

*1 2WD 車

*2 4WD 車

ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。

108N・m ~ 147N・m (12kgf・m ~ 14kgf・m)

ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

運転
前に

運転
する
とき

快適
装備の
使用

お
手
入
れ
の
し
か
た

トラ
ブル
が
起
き
た
ら

車両
スペック

さ
く
い
ん

設定変更（カスタマイズ機能）

以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

また、機能によっては、お客様自身で設定を変更できます。

変更できる機能は、仕様によって異なります。

①センターディスプレイの画面操作で設定を変更できます

②車両のスイッチ操作などで設定を変更できます

③マツダ販売店で設定を変更できます

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
安全装備	スマートシティブレーキサポート (SCBS) → 215 ページ「スマートシティブレーキサポート (SCBS) とは」	スマートシティブレーキサポート (SCBS) を作動しないように変更できます。 ^{*1}	ON	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	—
	スマートブレーキサポート (SBS) → 224 ページ「スマートブレーキサポート (SBS) とは」	スマートブレーキサポート (SBS) を作動しないように変更できます。 ^{*1}	ON	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		衝突警報の作動距離を変更できます。	近い	近い/ 遠い	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		衝突警報の音量を変更できます。	大	大/ 小/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
安全装備	車線逸脱警報システム (LDWS) → 184 ページ「車線逸脱警報システム (LDWS) とは」 グレード/仕様に装備	車線から逸脱する可能性がある」とシステムが判断する距離を変更できます。	自動	自動 / 近い / 標準 / 遠い	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		警報感度（警報しやすさ）を変更できます。	標準	高い / 標準 / 低い	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		車線逸脱警報システム警報チャイムの音を変更できます。	ランブル	ビープ / ランブル	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		車線逸脱警報システム警報チャイムの音量を変更できます。	ランブル	小	大 / 中 / 小	○ → 300 ページ「設定」	—
	ブラインドスポットモニタリング (BSM) → 191 ページ「ブラインドスポットモニタリング (BSM) とは」 グレード/仕様に装備	ビープ	小	大 / 小	○ → 300 ページ「設定」	—	○
			大	大 / 小 / OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○

運転前に

運転するときに

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

設定変更（カスタマイズ機能）

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
安全装備	車間認知支援システム (DRSS) → 197 ページ「車間認知支援システム (DRSS) とは」 グレード/仕様別装備	車間認知支援システム (DRSS) を作動しないように変更できます。 ^{*1}	ON	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		ディスプレイ内の前方車表示が点滅する距離を変更できます。	近い	近い/ 中間/ 遠い	○ → 300 ページ「設定」	—	○
車両装備	アドバンストキーレスエントリーシステム → 23 ページ「キーによる施錠 / 解錠」	アンロックスイッチ / リクエストスイッチを押して解錠したあと、ドアまたはリヤゲートを開けなかった場合に自動的に施錠される時間を変更できます。	30 秒	90 秒 / 60 秒 / 30 秒	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		オートロック機能を作動するように変更できます。	OFF	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		施錠 / 解錠時のチャイムの音量を変更できます。	標準	大 / 標準 / 小 / OFF	○ → 300 ページ「設定」	○ → 23 ページ「キーによる施錠 / 解錠」	○

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
車両 装備	イルミネーテッドエントリーシステム → 349 ページ「イルミネーテッドエントリーシステム」	ドアを閉めてからルームランプが消灯するまでの時間を変更できます。	15 秒	60 秒 / 30 秒 / 15 秒 / 7.5 秒	○ → 300 ページ「設定」	—	○
		ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。	30 分	60 分 / 30 分 / 10 分	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	オートワイパー機能 → 167 ページ「フロントワイパー / ウォッシャー」	オートワイパー機能を作動しないように変更できます。	ON	ON / OFF*3	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	オートライト機能 → 157 ページ「ランプスイッチ」	ヘッドランプが点灯するタイミングを変更できます。	標準	早く / 少し早く / 標準 / 少し遅く / 遅く	○ → 300 ページ「設定」	—	○

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

設定変更（カスタマイズ機能）

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
車両装備	ハイビームコントロールシステム (HBC) → 182 ページ 「ハイビームコントロールシステム (HBC) とは」 グレード/仕様別装備	ハイビームコントロールシステム (HBC) を作動しないように変更できます。 ^{*1}	ON	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	AFS (アダプティブフロントライティングシステム) → 181 ページ 「AFS (アダプティブフロントライティングシステム) とは」 グレード/仕様別装備	AFS (アダプティブフロントライティングシステム) を作動しないように変更できます。 ^{*1}	ON	ON/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	ランプ消し忘れ防止チャイム → 159 ページ「ランプ消し忘れ防止チャイム」	ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更できます。	大	大/ 小/ OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○

機能		内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
					①	②	③
車両装備	カミングホームライトシステム → 161 ページ「カミングホームライトシステム」	すべてのドアを閉めてからヘッドランプが消灯するまでの時間を変更できます。	30 秒	120 秒 / 90 秒 / 60 秒 / 30 秒 / OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	リービングホームライトシステム → 161 ページ「リービングホームライトシステム」	リービングホームライトシステムを作動するように変更できます。	OFF	ON / OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	方向指示器 → 163 ページ「方向指示器」	方向指示器のブザー音量を変更できます。	大	大 / 小	○ → 300 ページ「設定」	—	○
	スリーフラッシュターンシグナル → 164 ページ「スリーフラッシュターンシグナル」	スリーフラッシュターンシグナルを作動しないように変更できます。	ON	ON / OFF	○ → 300 ページ「設定」	—	○

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

設定変更（カスタマイズ機能）

機能	内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
				①	②	③
燃費モニター → 115ページ 「燃費モニター」	燃費モニターの エンディングを 表示するように 変更できます。	OFF	ON/ OFF	○ → 115 ページ「燃 費モニ ター」	—	○
	燃費のリセット とトリップメー ターのリセット を連動しないよ うに変更できま す。	ON	ON/ OFF	○ → 115 ページ「燃 費モニ ター」	—	○
アクティブ ド ライビング ディ スプレイ → 127ペー ジ「アクティブ ドライビング ディスプレイ （グレード/仕様別装備） 」	アクティブ ドラ イビング ディ スプレイのター ン バイ ターン (TBT) を非表示 にできます。	ON	ON/ OFF	○ → 127 ページ「ア クティブ ドライビ ング ディ スプレイ （グレード/仕様別装備） 」	—	○

機能	内容	初期設定	変更内容	設定変更方法		
				①	②	③
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) → 129ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)」	インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプを非表示にできます。	ON	ON/ OFF	○ → 131ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示」	—	○
	インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) のエンディングを表示するように変更できます。	OFF	ON/ OFF	○ → 131ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示」	—	○

*1 特段の理由がない限り、初期設定での使用を推奨します。

*2 音量を変更できるのは、ブラインドスポットモニタリング (BSM) 作動時の警報音のみです。リアクロストラフィックアラート (RCTA) 作動時の警報音は音量を変更できません。

*3 オートワイパー機能を OFF に変更すると、ワイパーレバーのAUTO位置で間欠作動になります。

運転前に

運転するとき

快適装備の使いかた

お手入れのしかた

トラブルが起きたら

車両スペック

さくいん

A

AAS モード.....	146
ABS (アンチロックブレーキシステム).....	172
AFS (アダプティブフロントライティングシステム).....	181
AT 誤発進抑制制御.....	220

B

Bluetooth®.....	314
Bluetooth®.....	314
Bluetooth® オーディオ.....	333
Bluetooth® ハンズフリー.....	324

D

DPF (ディーゼルパティキュレートフィルター).....	252
DSC (ダイナミックスタビリティコントロール).....	177

E

EDR	
イベントデータレコーダー.....	80

I

i-ACTIVSENSE.....	179
AFS (アダプティブフロントライティングシステム).....	181
AT 誤発進抑制制御.....	220
車間認知支援システム (DRSS) ...	197
車線逸脱警報システム (LDWS).....	184
スマートシティブレーキサポート (SCBS).....	215
スマートブレーキサポート (SBS).....	224
ハイビームコントロールシステム (HBC).....	182
フォワードセンシングカメラ (FSC).....	227
ブラインドスポットモニタリング (BSM).....	191
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC).....	203
リアクロストラフィックアラート (RCTA).....	200
レーザーセンサー (フロント)...	233
レーザーセンサー (フロント)...	230
レーザーセンサー (リア).....	236
i-DM.....	129
i-ELOOP (アイイーループ).....	113
i-stop (アイストップ).....	103

S

SRS エアバッグシステム.....	70
EDR.....	80
エアバッグの種類.....	70
エアバッグの注意点.....	71

T

TCS (トラクションコントロールシステム).....	175
-----------------------------	-----

ア

アイドリングストップ	103
アクティブセーフティ技術	179
アクティブ ドライビング ディスプレ イ	127
作動しないとき	454
アルミホイール	
手入れ	396
アンチロックブレーキシステム (ABS)	172
アンテナ	268

イ

イグニッション (エンジン)	
キー	17
イベントデータレコーダー	
EDR	80
イモビライザーシステム	68
イルミネーテッドエントリーシステ ム	349
インテリアライト (室内照明)	349
インテリジェント・ドライブ・マス ター	129
インナーミラー	
ルームミラー	46

ウ

ウインカー (方向指示器)	
電球 (バルブ) 交換	383
レバー	163
W (ワット) 数	464
ウインドー	
曇ったとき (フルオートエアコ ン)	266
手入れ	396
はさみ込み防止機構	64
パワーウインドー	62
リヤウインドーデフォッガー (曇 り取り) スイッチ	170

ウォッシャー

ウォッシャー液の補充	375
ウォッシャースイッチ	166
タンク容量	461
冬にそなえて (濃度の調節)	402

エ

エアクリナーエレメント	
交換時期	463
エアコン (空調)	260
上手な使いかた	260
吹き出し口 (空調)	262
フルオートエアコン	264
エアバッグシステム	70
EDR	80
エアバッグの種類	70
エアバッグの注意点	71
エマージェンシーシグナルシステム (ESS)	174
エンジン	
かけかた	95
キー	17
きるとき	102
始動しないとき	431
スイッチ	94
エンジンオイル	
交換時期、オイルグレード、交換 量	457
点検	373
フィルター	458
冬にそなえて	402
エンジンフード (ボンネット)	
開けかた	365
閉めかた	366
エンスト	
故障したとき	410

オ

オーディオ	268
アンテナ	268
オーディオの操作	279
オーディオリモートコントロール	
スイッチ	303
上手な使いかた	268
ポータブルオーディオ機器	305
オートマチックトランス	
ミッション	143
オートマチックトランスミッション	
フルード	
推奨フルード、容量	459
オーバーヒートしたとき	432
オーバーヘッドコンソール	356
お子さまの安全	
お子さま専用シート選択の目安 ..	56
お子さま専用シートについて	54
お子さま専用シートの種類	55
固定口アアンカレッジ	59
チャイルドシートを固定するとき ..	59
チャイルドブルーフ	28
オドメーター	
(タコメーター装備車)	121
オルタネーターベルト	
点検基準値	462

カ

外気温表示	126
ガソリン (燃料)	
燃料補給口	65
カップホルダー	354
カミングホームライトシステム	161
カメラ、センサ	180
ガラス	
曇ったとき (フルオートエアコ	
ン)	266
手入れ	396
リヤウインドーデフォッガー (曇	
り取り) スイッチ	170

キ

キー	17
キー車外持ち出し警報	450
キー車内閉じ込み警報	450
キーナンバープレート	17
キーの電池交換	391
作動しないとき	434
作動範囲	20
ドアの施錠 / 解錠	23
リクエストスイッチ不動作警報 ..	450
リヤゲート内キー閉じ込み警報 ..	450
キー (アドバンストキーレス機能装備車)	
ドアの施錠 / 解錠	23
ギヤシフトインジケーター	142
緊急用具	411

ク

空気圧 (タイヤ)	466
空調 (エアコン)	260
吹き出し口 (空調)	262
フルオートエアコン	264
曇り取り (デフォッガー)	
スイッチ	170
クラクション (ホーン)	171
クラッチスタート	95
クラッチペダル	
点検基準値	462
クルーズコントロール	238
グローブボックス	356

ケ

警告灯	134
4WD 警告灯	442
ABS 警告灯	442
i-ELOOP 警告灯	442
i-stop 警告灯	108, 442
KEY 警告灯	442, 446
LED ヘッドランプ警告灯	442
エアバッグ警告灯	442
エンジン警告灯	442
オイル警告灯	440
オートマチックトランスミッショ ン警告灯	442
高水温警告灯	440
シートベルト警告灯	446
車線逸脱警報システム (LDWS) 警告灯	442
充電警告灯	440
スマートシティブレーキサポート (SCBS) 警告灯	446
スマートブレーキサポート (SBS) 警告灯	446
電動パワーステアリング警告灯 ..	440
燃料残量警告灯	446
ハイビームコントロールシステム (HBC) 警告灯	442
半ドア警告灯	446
プリテンショナー警告灯	442
ブレーキ警告灯	440
マスター警告灯	442
マツダレーダークルーズコント ロール (MRCC) 警告灯	442
警告灯 / 表示灯が点灯、点滅した ..	440

警報チャイム	450
AT 誤発進警報	450
i-stop 警告チャイム	109, 450
エアバッグ / プリテンショナー警 告チャイム	450
キー車外持ち出し警報	450
キー車内閉じ込み警報	450
シートベルト着用忘れチャイム ..	450
車線逸脱警報システム (LDWS) 警報	450
スマートシティブレーキサポート (SCBS) 衝突警報	450
スマートブレーキサポート (SBS) 衝突警報	450
電源オフ忘れ警報	450
電動パワーステアリング警告チャ イム	450
電動ハンドルロック警告 チャイム	450
ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報	450
ブラインドスポットモニタリング (BSM) 警報チャイム	194
ランプ消し忘れ防止チャイム ..	450
リクエストスイッチ不作動警報 ..	450
リバースポジションチャイム ..	450
リヤゲート内キー閉じ込み警報 ..	450

化粧鏡

バニティミラー	349
けん引	435
減光解除機能	125

コ

交換

タイヤの位置交換 (タイヤロー テーション)	376
電球 (バルブ) 交換	383
電池交換 (キー)	391
ヒューズの交換	381
工具	412

さく
いん

後退灯 (バックランプ)	
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464

サ

サービスデータ	
設定変更 (カスタマイズ機能) ...	468
サイドミラー	
ドアミラー	44
サブトランクボックス	358
サンバイザー	349

シ

シート	
正しい運転姿勢	34
フロントシート	35
ヘッドレスト	40
リヤシート	38
シートヒーター	37
シートベルト	
ELR (緊急時固定) 機構	47
3 点式シートベルト	52
種類	47
高さ調節	53
正しい着用のしかた	48
着用忘れチャイム	52
手入れ	398
プリテンショナー機構	47
ロードリミッター機構	48
室内照明	349
イルミネーテッドエントリース	
テム	349
ラゲッジルームランプ	352
ルームランプ	351
室内灯 (ルームランプ)	
スイッチ	351
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
車間認知支援システム (DRSS)	197
車線逸脱警報システム (LDWS) ...	184

ジャッキ	413
車幅灯 (スモールランプ)	
スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
収納	355
オーバーヘッドコンソール	356
グローブボックス	356
サブトランクボックス	358
センターコンソールトレイ	357
ラゲッジボード	359
リヤコートフック	357

ス

スイッチ	
TCS OFF スイッチ	176
i-stop OFF スイッチ	110
ウォッシャースイッチ	166
オーディオリモートコントロール	
スイッチ	303
クルーズコントロールスイッチ ...	238
車線逸脱警報システム (LDWS)	
スイッチ	187
非常点滅灯スイッチ	164
フォグランプスイッチ	165
ブラインドスポットモニタリング	
(BSM) スイッチ	196
ヘッドランプスイッチ	157
ルームランプスイッチ	351
ワイパースイッチ	166
スタックしたとき	409
ステアリング	
ハンドル	43
ロックされたとき	94
ストップランプ (制動灯)	
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
スノータイヤ	403
スピードメーター	120

スマートシティブレーキサポート (SCBS).....	215
スマートブレーキサポート (SBS)...	224
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
スリーフラッシュターンシグナル...	164

セ

制動灯 (ストップランプ)	
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
洗車	395
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
センターコンソールトレイ	357

タ

ターンシグナル (方向指示器)	
電球 (バルブ) 交換	383
レバー	163
W (ワット) 数	464
ダイナミックスタビリティコント ロール (DSC).....	177
タイヤ	
空気圧	466
サイズ	466
チェーン	403
点検	370
パンク応急修理キット	418
パンクしたとき	418
冬にそなえて	403
ローテーション (位置交換)	376
ダイレクトモード	151
タコメーター	120
脱輪などで動けなくなったとき	410

チ

チェーン (タイヤチェーン).....	403
チャイルドシート	54
お子さま専用シート選択の目安 ...	56
お子さま専用シートの種類	55
固定ロアアンカレッジ	59
チャイルドシートを固定するとき ...	59
チャイルドブルーフ	28
駐車支援システム	243
バックガイドモニター	244
駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)	
操作方法	155
点検基準値	462
チルトステアリング	43

テ

ディーゼルパティキュレートフィル ター (DPF)	252
定期点検	364
ディスプレイ	
アクティブ ドライビング ディス プレイ	127
ディファレンシャルオイル	
推奨オイル、容量	459

手入れ

アクティブ ドライビング ディス プレイ	401
アルミホイール	396
外装	394
外装樹脂部品	397
ガラス	396
革張り部分	399
シートベルト	398
樹脂部品	400
洗車	395
内装	398
布張り部分	399
フロントガラスの油膜をとるとき は	396
ミラー	396
ワックスかけ	396

テールランプ (尾灯)

スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464

電球

電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464

点検整備について

電源ソケット	353
電源ポジション	94

電動格納ミラー

ドアミラー	44
-------------	----

電動ミラー

ドアミラー	44
-------------	----

ト

ドア	22
チャイルドブローフ	28
ドアミラー	44
パワードアロック	27
リヤゲート	29

ドアミラー	44
角度調節	44
格納	44
曇り取り	171
盗難防止システム	68
トノカバー	33
ドライバ選択	133
トラクションコントロールシステム (TCS)	175
トランスミッション オートマチック	143
マニュアル	141
トリップコンピューター (タコメー ター装備車)	122
トリップメーター (タコメーター装備 車)	121

ナ

夏にそなえて	404
ナンバープレートランプ (番号灯) スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464

ニ

荷室を作るとき	38
日常点検	365, 367

ネ

燃費モニター	115
燃料 給油するとき	65
使用燃料、容量	456
燃料切れしたとき	431
燃料計	124

ハ

パーキングブレーキ

操作方法	155
点検基準値	462

ハイビームコントロールシステム (HBC).....	182
ハイビーム (ヘッドランプ上向き)	
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
ハイマウントストップランプ	
W (ワット) 数.....	464
ハザードランプ (非常点滅灯)	
スイッチ.....	164
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
はさみ込み防止機構.....	64
発炎筒.....	411
バックガイドモニター.....	244
バックミラー	
ルームミラー.....	46
発進補助装置.....	111
バッテリー	
あがったとき.....	427
型式.....	464
点検.....	375
冬にそなえて.....	402
バニティミラー	
化粧鏡.....	349
パネルライトコントロール	
スイッチ.....	125
バルブ (電球)	
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
パワーウィンドー.....	62
パワードアロック.....	27
番号灯 (ナンバープレートランプ)	
スイッチ.....	157
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
ハンドル.....	43
ロックされたとき.....	94

ヒ

非常点滅灯	
スイッチ.....	164
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
尾灯 (テールランプ)	
スイッチ.....	157
電球 (バルブ) 交換.....	383
W (ワット) 数.....	464
ヒューズ	
エンジンルーム内ヒューズボックス.....	378
ヒューズ点検、交換.....	377
表示灯.....	134
i-stop 表示灯.....	108
TCS/DSC 作動表示灯... 175, 178	
TCS OFF 表示灯.....	176
クルーズコントロール表示灯 (緑).....	238
クルーズメイン表示灯 (橙).....	238
車線逸脱警報システム (LDWS) OFF 表示灯.....	189
スマートシティブレーキサポート (SCBS) OFF 表示灯.....	219
スマートシティブレーキサポート (SCBS) 表示灯 (赤).....	219
スマートブレーキサポート (SBS) OFF 表示灯.....	226
スマートブレーキサポート (SBS) 表示灯 (赤).....	226
低水温表示灯 (青).....	139
ハイビームコントロールシステム (HBC) 表示灯 (緑).....	183
ブラインドスポットモニタリング (BSM) OFF 表示灯.....	195, 442
ブラインドスポットモニタリング (BSM) 接近表示灯.....	194
マツダレーダークルーズコントロール (MRCC) 表示灯 (緑)...	206
レンチ表示灯.....	139

ヒルローンチアシスト (坂道発進補助機能)..... 173

フ

ブースターケーブルのつなぎ方 428

フォグランプ

スイッチ 165

電球 (バルブ) 交換 383

フォワードセンシングカメラ

(FSC) 227

吹き出し口 (空調) 262

フック

けん引 435

踏切内で動けなくなったとき 410

フューエルキャップ 67

フューエルリッド

燃料補給口 66

冬にそなえて 402

冬用タイヤ (スノータイヤ) 403

ブラインドスポットモニタリング

(BSM) 191

プリクラッシュセーフティ技術 179

ブレーキ液 (フルード)

交換時期、推奨液 460

ブレーキペダル

点検基準値 462

ブレーキランプ (制動灯)

電球 (バルブ) 交換 383

W (ワット) 数 464

フロントシート 35

ヘ

ヘッドランプ (前照灯)

スイッチ 157

電球 (バルブ) 交換 383

W (ワット) 数 464

ヘッドレスト 40

ホ

ホイール

サイズ 466

手入れ 396

方向指示器

電球 (バルブ) 交換 383

レバー 163

W (ワット) 数 464

ホーン 171

ボトルホルダー 355

ボンネット 365

マ

マツダレーダークルーズコントロー

ル (MRCC) 203

マニュアルトランスミッション 141

ギャシフトインジケーター 142

マニュアルトランスミッションオイル

推奨オイル、容量 459

マニュアルモード 146

ミ

ミラー

手入れ 396

ドアミラー 44

バニティミラー 349

ルームミラー 46

メ

メーター 119

メンテナンスモニター 253

ヤ

ヨ

4WD 156

ラ

ライセンスプレートランプ (番号灯)	
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464
ラゲッジボード	359
ラゲッジルームランプ	352
ランプ	
カミングホームライトシステム ..	161
消し忘れ防止チャイム	159, 450
スイッチ	157
電球 (バルブ) 交換	383
点灯しないとき	381
リービングホームライト	
システム	161
W (ワット) 数	464

リ

リアクロストラフィックアラート (RCTA)	200
リービングホームライトシステム ..	161
リヤウインドーデフォッガー (曇り 取り) スイッチ	170
リヤゲート	
開けかた	31
開けられなくなったとき	453
閉めかた	32
リヤコートフック	357
リヤシート	38

ル

ルームミラー	46
ルームランプ	351
スイッチ	351
電球 (バルブ) 交換	383
W (ワット) 数	464

レ

冷却水	
交換時期、推奨液、容量	460
冬にそなえて (濃度の調節)	402

レーザーセンサー (フロント)	233
レーダーセンサー (フロント)	230
レーダーセンサー (リア)	236

ロ

路上で動けなくなったとき	408
--------------------	-----

ワ

ワイパー	
寒冷地用ワイパーブレード	402
スイッチ	166
ワックスがけ	396

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ(株)コールセンター
全国共通フリーダイヤル

 0120-386-919

受付時間

平日 9:00～17:00

土・日・祝日 9:00～12:00 13:00～17:00

携帯電話からご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。
(<http://www.mazda.co.jp>)

発行元 **マツダ株式会社**

〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

発行 2015 年 2 月

印刷 2015 年 9 月

485 頁 3 版